

拓殖大学大学院 言語教育研究科
言語教育学専攻 博士論文

「気になる表現」が社会的に認知されるに至るまで

How "Expressions of Concern" Became Socially Recognised

学生番号 G0D5022020

名前 田坂 康浩

指導教授 阿久津智教授

2023 年 11 月

目 次

第 1 章 序論	1
1. 研究の意義と目的	1
2. 本論文の構成	3
第 2 章 総論	5
1. 国語に関する世論調査	5
1.1 国語に関する世論調査の概要	5
1.2 「気になる言い方」に係る調査	6
1.3 国語の乱れ	7
1.4 「国語の乱れ」に関するその他の調査	11
1.5 「国語の乱れ」に関する「国語に関する世論調査」のまとめ	12
2. 言葉の変化の捉え方に関する先行研究	13
2.1 「国語の乱れ」に関する調査結果概要	13
2.2 国語のどの点が乱れているかに関する先行研究	14
2.2.1 敬語史	14
2.2.1.1 敬語の分類	14
2.2.1.2 素材敬語の変化	15
2.2.1.3 対者敬語の成立	15
2.2.1.4 被支配待遇から対者敬語へ	17
2.2.1.5 尊敬語から対者敬語へ	17
2.2.1.6 受け手尊敬から対者敬語へ	18
2.2.1.7 その他の対人配慮表現	18
2.2.2 敬語の使い方	18
2.2.3 若者言葉	20
2.2.4 新語・流行語の多用	22
2.3 「変化」という捉え方	22
2.3.1 言葉の「乱れ」の捉え方	22
2.3.2 「正しい」言葉の捉え方	23
2.3.3 言葉の変化に対する研究態度	24
3. 本稿の立場	26
第 3 章 各論（1） 敬称「さん」の組織名等への多用と敬意の揺れ	29
1. はじめに	29
1.1 問題意識	29
1.2 教養書の指摘	29
1.3 調査の目的	30
1.4 研究の方法	31
2. 定義	31
2.1 敬意	31
2.2 揺れ	31
2.3 組織名	32
2.4 普通名詞	32
3. 先行研究	33

3.1 国語辞典	33
3.2 論文等	39
3.2.1 日本語教科書	39
3.2.2 『敬語の指針』(2007)	40
3.2.3 野口(2009)	40
3.2.4 秋山(2009)	41
3.2.5 木村(2014)	41
3.2.6 平成28年度「国語に関する世論調査」(2017)	43
3.2.7 河・金井(2017)	43
4. 予備調査	45
4.1 国会会議録	46
4.2 日本語話し言葉コーパス	48
4.3 日本語日常会話コーパス	49
5. 本調査	52
5.1 調査対象	52
5.1.1 調査対象選定基準	52
5.1.2 調査の手順	53
5.1.3 コーパスの全体像	54
5.2 調査結果	56
5.2.1 「組織名+さん」	56
5.2.1.1 発言件数	56
5.2.1.2 発言件数推移	57
5.2.1.3 発言者使用件数推移	58
5.2.2 「普通名詞+さん」	61
5.2.2.1 発言件数	61
5.2.2.2 使用件数推移	63
5.2.2.3 発言者使用件数推移	64
5.2.3 「組織名+様」、「普通名詞+様」	65
5.2.4 「さん付け」の傾向ー前接語のモーラとの関係	67
5.2.5 まとめ	69
5.3 考察	70
5.3.1 統一的な使われ方か否か	70
5.3.2 同席者への配慮の有無	74
5.3.3 同席者以外への配慮の有無	78
5.3.4 「列挙時」の「さん」の扱われ方	81
5.4 「組織名等+様」の使われ方	82
5.4.1 同席者への配慮の有無	82
5.4.2 「列挙時」の「様」の扱われ方	85
6. まとめ	86
6.1 結論	86
6.2 今後の課題	87
第4章 各論(2) 「しかない」の多用の実態と「違和感」の理由	90
1. はじめに	90
1.1 研究の動機	90
1.2 研究の目的	91

1.3 研究の方法	92
2. 「しか」の使われ方とその効果	92
2.1 国語辞典の記述	92
2.2 文法概論書における説明	97
2.3 日本語教育における取扱い	97
2.3.1 教科書における使用例	97
2.3.2 文型辞典による説明	99
2.3.3 誤用辞典による説明	99
2.3.4 類義表現との比較	100
2.4 意味論の観点からのとりたて詞の特徴	101
3. コーパスを用いた用例の収集と分析	102
3.1 調査対象	102
3.2 中納言を用いた現代日本語書き言葉均衡コーパスによる用例収集と分析結果	102
3.3 中納言を用いた日本語日常会話コーパスによる用例収集と分析結果	108
3.4 審議会議事録をコーパスとした用例収集と分析結果	111
3.5 特定の個人によるブログをコーパスとした用例収集と分析結果	114
3.6 多数の個人によるブログをコーパスとした用例収集と分析結果	117
3.7 「違和感」のある「しかない」の用例収集と分析結果	122
4. まとめ	125
4.1 結論	125
4.2 今後の課題	127
第 5 章 各論 (3) 元氣、やる氣、勇氣のやりもらい考	131
1. はじめに	131
1.1 多用される “氣になる” 表現「勇氣をもらう」	131
1.2 作家の指摘	132
1.2.1 林真理子	132
1.2.2 逢坂剛	133
1.2.3 酒井順子	133
1.2.4 桜木紫乃	134
1.2.5 まとめ	134
1.3 多数の個人によるブログの実態	134
1.3.1 「元氣のやりもらい」の実態	136
1.3.2 「やる氣のやりもらい」の実態	138
1.3.3 「勇氣のやりもらい」の実態	139
1.4 調査の目的	141
1.5 調査の方法	141
2. 「氣のやりもらい」の語釈	142
2.1 国語辞典の語釈と用例	142
2.1.1 元氣、やる氣、勇氣の語釈	142
2.1.2 与える、あげる、くれる、もらうの語釈	147
2.2 先行研究、教養書及びインターネットの指摘	151
2.2.1 先行研究	151
2.2.1.1 『日本語文法百科』における解説	151
2.2.1.2 『基礎日本語－意味と使い方』における指摘	151
2.2.1.2.1 あたえる	152

2.2.1.2.2	くれる・もらう	152
2.2.1.2.3	やる	153
2.2.1.3	日本語コミュニケーションにおける授受形式の役割について	154
2.2.2	教養書の指摘	155
2.2.2.1	『NHK 気になることは一調べてナットク意外な発見！』	155
2.2.2.2	『不適切な日本語』	155
2.2.3	インターネットにおける議論	156
2.2.3.1	インターネット上における「気のやりもらい」に関する意見	156
2.2.3.2	毎日新聞の「元気をもらう」に関する特集記事	161
2.2.3.3	生成 AI	162
3.	コーパスを用いた用例の収集と分析	163
3.1	調査対象	163
3.2	調査方法	166
3.2.1	元気、やる気、勇気を含む用例の収集	166
3.2.1.1	国会会議録	166
3.2.1.2	溜池通信	166
3.2.1.3	BCCWJ、SHC	166
3.2.1.4	文藝春秋	167
3.2.1.5	週刊東洋経済	167
3.2.1.6	明治文学全集	167
3.2.2	「気のやりもらい」例の収集	168
3.3	分析	168
3.3.1	話し言葉－国会会議録	168
3.3.2	打ち言葉－溜池通信	171
3.3.3	書き言葉	175
3.3.3.1	書き言葉－BCCWJ	175
3.3.3.2	書き言葉－SHC	178
3.3.3.3	書き言葉－文藝春秋	181
3.3.3.4	書き言葉－週刊東洋経済	183
3.3.3.5	書き言葉－明治文学全集	186
3.4.	「気のやりもらい」の考察	188
3.4.1	「気」を与える	190
3.4.2	「気」をあげる	193
3.4.3	「気」をくれる	194
3.4.4	「気」をもらう	198
4.	まとめ	201
4.1	結論	201
4.1.1	「気のやりもらい」の出現時期と出現形態	202
4.1.2	「気のやりもらい」を行う対象	203
4.1.2.1	与える	204
4.1.2.2	あげる	205
4.1.2.3	くれる	205
4.1.2.4	もらう	205
4.1.3	「違和感」はどこから生じているのか	206
4.2	今後の課題	207

第 6 章 結論	211
1. まとめ	211
2. 日本語教育への示唆	213
3. 今後の課題	214
謝辞	215
参考文献	216
＜資料集＞	219
【資料 1】国会会議録における「政党名＋さん」の使用回数推移（表 3-9）	220
【資料 2】「日本語日常会話コーパス」における「さん付け」の状況（表 3-11）	222
【資料 3】調査対象金融審議会	228
【資料 4】金融審議会における審議時間とその 5 年平均の推移（図 3-2）	229
【資料 5】金融審議会における「組織名＋さん」の用例（表 3-13）	230
【資料 6】金融審議会における「組織名＋さん」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-3）	234
【資料 7】金融審議会における「組織名＋さん」の使用者（表 3-14）	235
【資料 8】金融審議会における「普通名詞＋さん」の用例（表 3-17）	241
【資料 9】金融審議会における「普通名詞＋さん」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-5）	244
【資料 10】金融審議会における「普通名詞＋さん」の使用者（表 3-19）	245
【資料 11】金融審議会における「組織名＋様」、「普通名詞＋様」の用例（表 3-21）	251
【資料 12】金融審議会における「組織名／普通名詞＋様」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-6）	253
【資料 13】さんの前接語の拍数別件数（図 3-7、図 3-8）	254
【資料 14】金融審議会における「組織名＋さん」の使われ方の推移（図 3-10）	255
【資料 15】同席の別による「組織名＋さん」の使われ方の推移（図 3-11、図 3-12）	256
【資料 16】同席の別による「組織名／普通名詞＋様」の延べ語数推移（図 3-14、図 3-15）	257

第 1 章 序論

1. 研究の意義と目的

本研究は、2020 年前後に筆者が日常生活において見聞きした「気になる」言葉や表現について、現状、どこで誰がどの程度用いているのか、いつ頃から用いられるようになったのか、また、使用場所、使用媒体を調査し、今、正しく変化している日本語の一側面を記録することを目的としたものである。併せて、友人との会話や街中、マスメディアで多用されている表現として見聞きするこれらの表現について、日本語教育の現場における理解促進の一助となることも目的としたものである。

日本語の誤用、乱れ、また、気になる表現に係る議論は昔から多く行われており、書店では「乱れた」日本語を指摘するエッセイ本や「正しい」日本語の使い方を教えるハウツー本を多く見ることができる。また文化庁が平成 7（1995）年度から実施している「国語に関する世論調査¹⁾」では、平成 11（1999）年度から定期的に、国民が「国語の乱れ」をどう捉えているか調査を行っている。「国語に関する世論調査」では、また、調査開始以来、本来の意味とは異なる用いられ方をする敬語や文法、慣用表現その他の表現を列挙し、回答者が「気になる」かどうか、また、本来の意味と、それとは異なる、多用されている意味を列挙し、回答者がどちらの意味で用いているかについての調査を行う等、日本語の変化に対する高い関心を示している。

本研究において筆者は、見聞きした「気になる」言葉や表現について、「誤用」や「乱れ」といった観点は取らない。なぜ多く見聞きするようになったのか、筆者自身が「気になる」又は「違和感」を覚える理由・原因がどこにあるのか追及したいというのが研究の動機である。

具体的には、以下の 3 つを取り上げる。

1 つ目は、「組織名へのさん付け」である。

ある時期から筆者の勤務先において、電話口で「法務部さんにも意見を伺って…」、「経理部さんにも確認した上でお返事します」といった、それまで聞き覚えのなかった、社内の部署名に「さん」付けする表現を頻繁に耳にするようになった。他社の人と同席した際に当該他社名に言及しなければならない際に社名を「さん」付けする例を聞くことはそれまでも多々あったが、社内部署名の「さん」付け例はそれまで記憶がなく、新鮮な驚きをもって聞いた記憶がある。結果的には声の大きな一個人が部署名への「さん」付けを多用

していたため、当該者の異動後はそれまでのようには耳にしなくなったが、同じように部署名に「さん」付けをする人は自部署、他部署を問わず広がっていただけでなく、同業他社との会議等でも多く聞かれるようになった。

また、同時期に読んでいた法律専門雑誌に掲載された商法・金融商品取引法学者の対談記事に、証券会社を指して「業者さん」と呼んでいるのを見て、これもまた驚いた記憶がある²。

このようにこれまで組織名に「さん」付けをしなかった人が次第にこの表現を使い始め、また使う対象が次々と広がる様を目の当たりにし、強く関心を抱いたのが本研究の動機の一つである。

2つ目は、「しかない」の多用である。

2020 年からのコロナ禍で、情報収集と息抜きの一環としてスマートフォンを用いて情報検索を頻繁に行うようになった。コロナに関するニュースや個人がインターネットや SNS で発信している情報を見ると、他と比較をした上で限定する副助詞「しか」、具体的には「しかない」の表現が、他との比較や限定の意味を持たず、単に強調として用いられている文を多数見るようになった。先の組織名への「さん」付けと異なり、「しかない」は勤務先で見聞きすることではなく、文字にしたものとしてはもっぱらインターネットや SNS 上の情報、及び話し言葉としてはテレビのバラエティー番組で見聞きするものであった。形式的な文法上の誤りはないものの、使用方法が本来の用法とは異なっており、かつ、ビジネスの場面では用いられていないことに非常に興味を持ち、その使用時期、使用範囲、使用頻度等を明らかにしたいと思ったのが本研究のもう一つの動機である。

3つ目は、「気のやりもらい」である。

「気のやりもらい」とは、「元気」、「やる気」、「勇氣」と「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」とを組み合わせた表現のことである。この表現、具体的には「勇氣を与えた」、「元気をもらった」等との表現は、2000 年のシドニーオリンピックが契機と説明する書もあり、その起源や「違和感」の理由については決着がついた用法かと思っていたが、シドニーオリンピックから 20 余年が過ぎても、なお、この用法に「違和感」を覚える向きが、筆者を含め多いことに気付き、その実態に明らかにしたいと思ったのも本研究の動機の一つである。

上述の組織名への「さん」付けや、他との比較や限定の意味を持たず、単に強調として用いられている「しかない」は、現時点では日本語の教科書には掲載されていない。しか

し、ひとたびインターネットや SNS を開きテレビをつけ、日本語母語話者の文章や会話を見聞きすれば、教科書には掲載されていない用例に多数直面する。

筆者は現在、日本語教育には携わっていないが、近い将来日本語教育の現場に立つべく、日本語教育に係る知識・技術の習得並びに日本語・日本語教育に関する調査・研究能力の取得・向上に努めている。これらの表現は、日本語学習者自らが積極的に用いる必要はないが、変化の途上にある表現として、既に多くの日本語母語話者が使用している表現であるため、日本語学習者が正しく理解できるよう、日本語を教える側が理解を深めていく必要があると考える。その際、教える側の理解の促進の一助となれば、本研究の意義があったものとする。

2. 本論文の構成

本論文は、以下の 6 章で構成される。

第1章 序論

第2章 総論

第3章 各論 (1) 敬称「さん」の組織名等への多用と敬意の揺れ

第4章 各論 (2) 「しかない」の多用の実態と「違和感」の理由

第5章 各論 (3) 元気、やる気、勇気のやりもらい考

第6章 結論

第 2 章では総論として、文化庁の『国語に関する世論調査』の平成 7 (1999) 年度の初回調査から 2023 年 9 月に公表された最新の令和 4 (2022) 年度調査までの結果を分析し、「国語の乱れ」が国民にどう捉えられていたかを分析するとともに、その背景等について先行研究を整理する。

第 3 章から第 5 章の各論では、筆者が「気になる」使われた方をしている言葉を 3 つ取り上げ、考察を試みる。具体的には、第 3 章で組織名等への「さん」付けの多用の実態と違和感の所在について分析する。次に第 4 章では他との比較や限定の意味を持たない「しかない」の多用の実態と違和感の所在について分析する。第 5 章では、「元気」、「やる気」、「勇気」の 3 語を、「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 系列の「やりもらい」動詞と組み合わせた表現の実態と違和感の所在について分析する。

第3章から5章における具体的な分析方法は、まず、取り上げた語や用法を国語辞典で調べ、現時点で何が「規範的」な用法かを確認する。次に先行研究、文型辞典や誤用辞典等を用いて、問題の背景を確認する。次に各種コーパスを用いて、問題となる語や用法が使用され始めた時期や頻度、またどのような場面で用いられているかを分析し、各章の終わりで各種コーパスの分析結果をまとめ、今後の課題について述べる。

第6章では、各章における調査内容を整理し、全体を通してのまとめを行う。

参考文献

NHK アナウンス室 (2008)『NHK 気になることば一調べてナットク意外な発見！一』東京書籍
「座談会 金融商品取引法施行10年を振り返って」『ジュリスト』2017年11月号有斐閣

¹ https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kokugo_yoronchosa/

² 神田秀樹学習院大学教授・東京大学名誉教授の発言。「(前略) 金融庁のホームページに採択をした業者さんの一覧が出ていましたが、469 ですね (平成 29 年 8 月 1 日現在)。これは金商業者だけではなくて、銀行、保険を含めて業者が完全に横断的になってしまっていて、(後略)」(下線筆者) 同じ「業者」でも前後で意味が異なり、前者にのみ「さん付け」されているのは興味深い。(『ジュリスト』(2017 年 11 月号): 32)

第2章 総論

1. 国語に関する世論調査

1.1 国語に関する世論調査の概要

文化庁は平成7（1995）年度より毎年、国語に関する世論調査を行っている。これは「現在の社会状況の変化に伴う日本人の国語に関する意識や理解の現状について調査し、国語施策の立案に資するとともに、国民の国語に関する興味・関心を喚起する¹⁾」ことを目的としたもので、その調査結果を毎年公表している。この調査目的は年によって若干異なるが、「今後の施策の参考とする」、「国語施策の立案に資する」ことを目的としている点では一貫しており²⁾、また、平成23（2011）年度以降は目的に「国民の国語に関する興味・関心を喚起する」ことが加わり、現在に至っている。

その調査項目は多岐にわたっている。調査年によって調査項目が異なるため、同種の質問項目を調査年度ごとにまとめたのが表2-1である。

表2-1 『国語に関する世論調査』調査各年の調査項目

年度	国語への関心	国語能力	美しい日本語	国語の乱れ	敬語	気になる言い方	外国人の日本語	外来語・カタカナ	ローマ字表記	漢字	表記	日本語の国際化	読書	新聞等を読む頻度	コミュニケーション	情報機器	その他	「その他」の内容
1995年度（平成7年度）	○			●	○	○	○	○	○	○		○				○		
1996年度（平成8年度）					○	○		○										
1997年度（平成9年度）					○	○		○										
1998年度（平成10年度）					○	○		○	○	○								
1999年度（平成11年度）				○		○		○				○						
2000年度（平成12年度）				●												○	○	家庭での言語環境
2001年度（平成13年度）	○	○	○			○	○	○								○		
2002年度（平成14年度）				○		○		○				○						
2003年度（平成15年度）					○	○				○						○	○	発音
2004年度（平成16年度）					○	○				○	○						○	手紙
2005年度（平成17年度）					○	○												
2006年度（平成18年度）						○				○	○			○		○		
2007年度（平成19年度）		○		○		○	○	○									○	これからの言葉遣いの在り方、家庭での言葉のしつけ
2008年度（平成20年度）	○		○					○					○		○	○		
2009年度（平成21年度）										○				○				
2010年度（平成22年度）	○					○	○		○								○	共通語と方言、公用文の在り方、英語の国際化
2011年度（平成23年度）		○			○	○				○	○					○		
2012年度（平成24年度）		○				○		○		○						○		手紙
2013年度（平成25年度）				●	○	○				○			○		○	○		
2014年度（平成26年度）				○		○	○										○	手書き文字の字形、複合語・省略語
2015年度（平成27年度）	○		○			○	○								○			
2016年度（平成28年度）					○	○									○			
2017年度（平成29年度）						○		○			○					○		
2018年度（平成30年度）	○					○			○	○	○		○					
2019年度（令和元年度）	○			○	○		○			○								
2020年度（令和2年度）	○					○			○	○						○		
2021年度（令和3年度）	○					○			○							○	○	
2022年度（令和4年度）	○					○			○								○	○
計	10	4	3	5	12	26	6	11	7	12	5	2	4	2	8	10	8	

（注）○印は当該年度の調査の対象となっている項目を示す。1つの項目に複数の質問がある一方、複数の分野にまたがる設問（例えば、「気になる言い方（敬語）」は、「敬語」と「気になる言い方」の双方に○印が付く。）も

あるため、○の数は設問数を表していない。

●印は「国語（言葉）の乱れ」について、○印の調査年とは異なる設問形式で問うていることを示す。

「気になる言い方」は、言葉遣いに関する質問として、慣用句や熟語について、本来の意味と本来とは異なる意味のどちらで理解しているか等に関する問も含む。

「国語への関心」には、「日本語を大切にしているか」、「国語に関する国への期待」といった質問を含む。

（出所）文化庁『国語に関する世論調査』（平成7年度版～令和4年度版）より筆者作成。

表 2-1 からは、その時の国語政策上、何に焦点が当てられているかが読み取れる。近年では、2006 年に国立国語研究所が「『外来語』言い換え提案」を公表、2007 年には文化庁が「敬語の指針」を公表、また 2010 年には「常用漢字表」（改定）が告示されているが、その公表・告示の前後に関連項目に関する調査が多く行われている³。

これまで「国語に関する世論調査」は令和 4（2022）年度まで全 28 回の調査が行われているが、「気になる言い方」の調査はそのうち 26 回と最多調査項目であり、次に「敬語」と「漢字」の調査が 12 回、「外来語・カタカナ」の調査が 11 回、「国語への関心」（表 2-1 の注のとおり、「日本語を大切にしているか」、「国語に関する国への期待」といった質問を含む。）と「情報機器」の調査が 10 回と続く。「気になる言い方」が最多の調査項目であることから、国が高い関心をもって、国民の意識を調査し使用状況を確認していることが分かる。

1.2 「気になる言い方」に係る調査

「気になる言い方」について、質問の形態は様々だが⁴、以下のような質問が繰り返し行われている。

まず、「間違った言い方又はふさわしくない言い方」を聞いた際の感じ方について問うものがある。具体的には、「ふだんの生活の中で、間違った言い方やふさわしくない言い方として、人の言葉が気になることがあると思いますが、ここに挙げた（中略）文中の下線部分の言い方は、あなたにとって気になりますか、それとも気になりませんか」として、「先生は心配しておられたよ」（「気にならない」が 51.8%）、「先生は講義がお上手ですね」（同 68.1%）、「誠に申し訳なく、深く反省させていただきます」（同 53.4%）等の言い方が「気になるか」、「気にならないか」を尋ねている。（『平成 10 年度国語に関する世論調査』〔平成 11 年 1 月調査〕：32-35）。

また、意味が揺らいでいる又は変化した言葉の現状を把握するため、慣用句や熟語について、本来の意味とそれとは異なる意味の両方を提示し、どちらで理解しているかを問う形式も頻出している。具体的には、「あなたは、（中略）かぎ括弧内の内容を表現するとき、

それぞれ、(a)、(b)のどちらの言い方を使いますか」として、「(1)『チームや部署に指図を与え、指揮すること』を (a) 采配^{さいはい}を振る、 (b) 采配を振るう」、「(2)『目上の人の気に入られること』を (a) お目にかなう、 (b) お眼鏡にかなう」(以下略)等を提示し、どちらを使うかを尋ねている。([『平成 20 年度国語に関する世論調査』〔平成 21 年 3 月調査〕: 103-106)。((1) は (a) が 28.6%、(b) が 58.4%、(2) は (a) が 39.5%、(b) が 45.1%。実際の調査結果では、他に「(a) と (b) の両方とも使う」、「(a) と (b) のどちらも使わない」、「分からない」との選択肢があるが、本稿では略。)

また、慣用句を示し、その意味を問うものもある。具体的には、「ここに挙げた (1) から (3) の言葉は、それぞれ (ア) と (イ) のどちらだと思いますか。一つ選んでください」として、「(1) 手をこまねく 例文: 手をこまねいて待っていた。(ア) 何もせずに傍観している、(イ) 準備して待ち構える」、「(2) 敷居が高い 例文: あそこは敷居が高い。(ア) 相手に不義理などをしてしまい、行きにくい、(イ) 高級過ぎたり、上品過ぎたりして、入りにくい」、「(3) 浮足立つ (ア) 喜びや期待を感じ、落ち着かずそわそわしている、(イ) 恐れや不安を感じ、落ち着かずそわそわしている」([『令和元年度国語に関する世論調査』〔令和 2 年 3 月調査〕: 47-50)を提示し、回答者の使用状況を確認している。((1) は (ア) が 37.2%、(イ) が 47.4%、(2) は (ア) が 29.0%、(イ) が 56.4%、(3) は (ア) が 60.1%、(イ) が 26.1%。実際の調査結果では、他に「(ア) と (イ) の両方とも使う」、「(ア) と (イ) のどちらも使わない」、「分からない」との選択肢があるが、本稿では略。)

『国語に関する世論調査』は、その目的にあるように「現在の社会状況の変化に伴う日本人の国語に関する意識や理解の現状について調査」するものであるため、調査結果について、属性（性別、年齢、地域ブロックによる別）に係る分析を行うにとどまり、結果についての考察は加えられていない。

1.3 国語の乱れ

本世論調査では、過去 5 回、令和元 (2019) 年度、平成 26 (2014) 年度、平成 19 (2007) 年度、平成 14 (2002) 年度、平成 11 (1999) 年度に「国語の乱れ」の有無についての調査を行っている。

令和元年の調査は「あなたがふだんの生活の中で接している言葉から考えて、今の国語は乱れていると思いますか。それとも、乱れていないと思いますか」と問い、「非常に乱れていると思う」、「ある程度乱れていると思う」、「余り乱れていないと思う」、「全く乱れて

いないと思う」、「分からない」の 5 つから選択させる問いであった。なお、平成 26 (2014) 年度以前の質問は、「あなたがふだんの生活の中で接している言葉から考えて、今の国語は乱れていると思いますか。(それとも、乱れていないと思いますか)」(括弧内は平成 26 (2014) 年度の問い。) であった⁵。

その結果の推移をまとめたのが図 2-1 である。

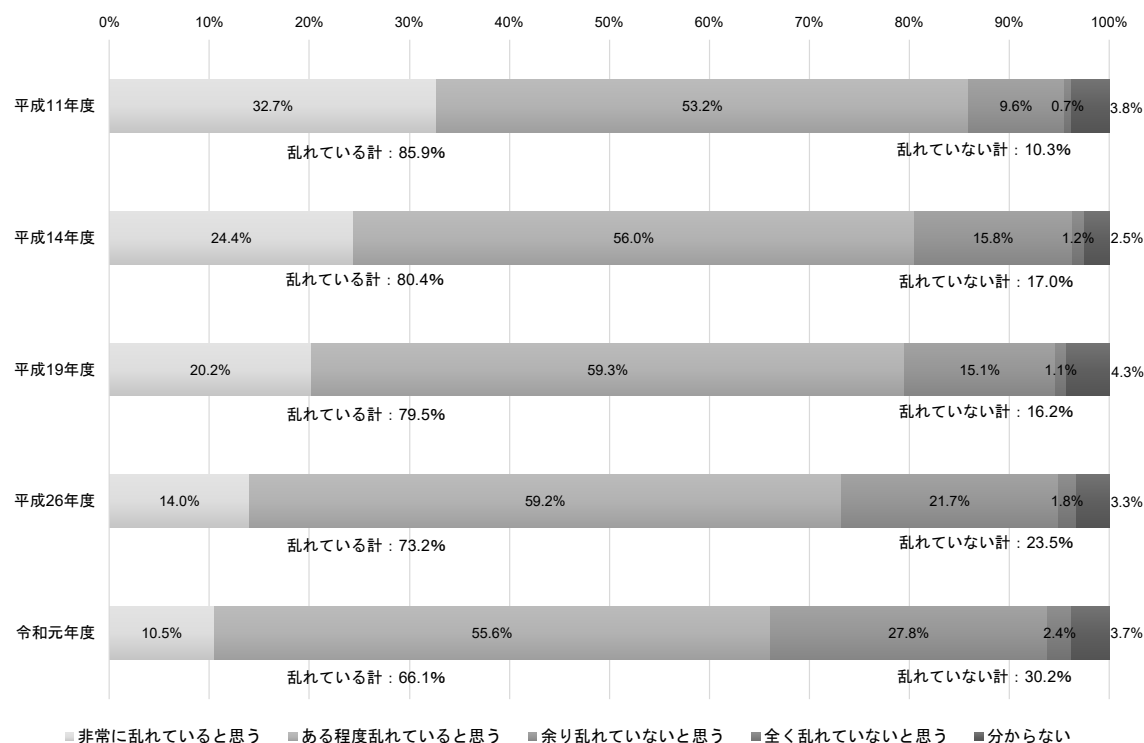


図 2-1 「国語が乱れていると思うか」調査結果推移

(出所) 文化庁『令和元年度国語に関する世論調査〔令和 2 年 3 月調査〕』より筆者作成。

各回の調査共に国語の「乱れ」に関する定義はなく、回答者が国語の現状をどう考えているかを上述の 5 つの選択肢から選択して回答したものである。平成 11 (1999) 年度では全体の約三分の一弱が国語は非常に乱れていると感じ、また、「ある程度乱れていると思う」と合わせた「乱れていると感じている人」の数は全体の 9 割弱いるとの結果だった。これが調査を経るごとに減少し、令和元 (2019) 年度の調査では、「非常に乱れていると思う」が全体の約 1 割、「ある程度乱れていると思う」と合わせた「乱れていると感じている人」の数は全体の三分の二まで減少している。報告書概要でもこの結果を「『乱れていると思う(計)』は 6 割台半ば、過去の調査と比較すると減少傾向が明確に」とまとめている(『令

和元年度「国語に関する世論調査」の結果の概要』：1)。

また国語に関する世論調査では、「非常に乱れていると思う」、「ある程度乱れていると思う」と回答した人に、どの点で乱れているかと思うか、選択肢から3つまで選択の上回答させている。その推移をまとめたのが、図2-2である。

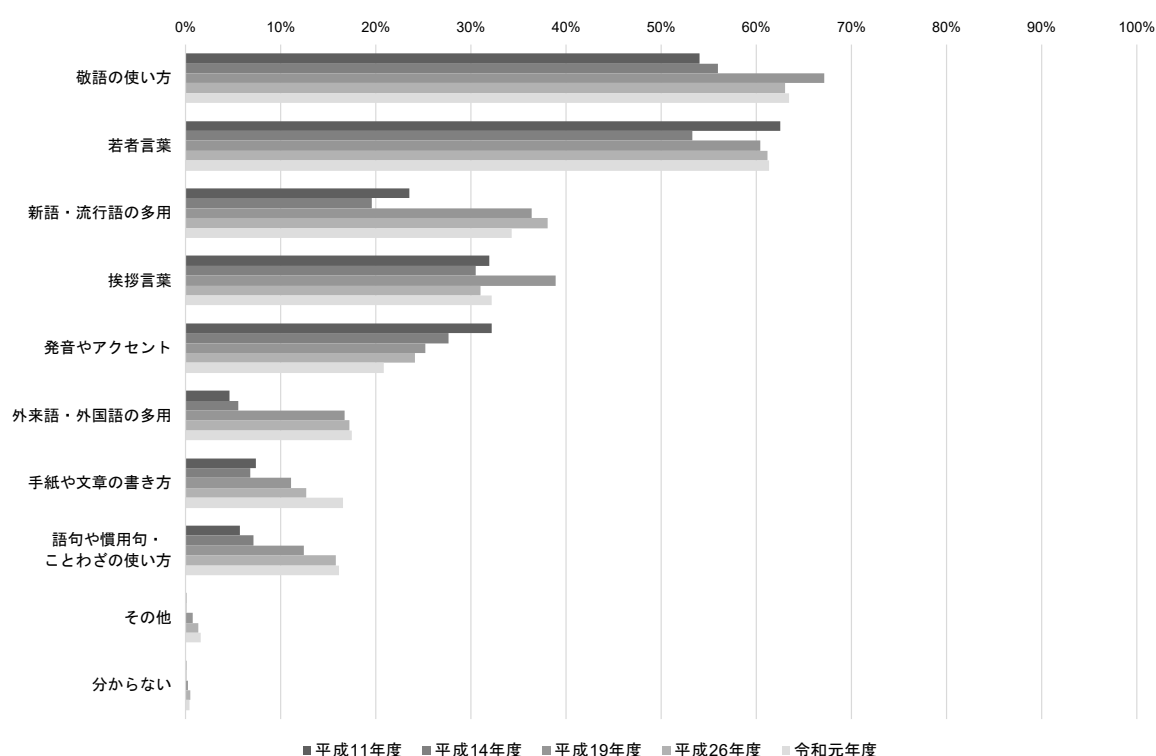


図2-2 「どの点で国語が乱れていると思うか」調査結果推移

(注) 平成11、14年度調査は、「言葉遣い」(平成11年度66.3%、平成14年度67.3%)の選択肢があった。

(出所) 文化庁『令和元年度国語に関する世論調査〔令和2年3月調査〕』より筆者作成。

いずれの調査結果でも、「敬語の使い方」と「若者言葉」が多くの人に国語の乱れとして認識されていることが判明した。このうち「若者言葉」については、平成14(2002)年度調査で53.3%だったが、その他の年の調査では6割台であった。一方、「敬語の使い方」については、平成19(2007)年度調査の突出(67.1%)を除けば、平成11(1999)年度の初回調査時の54.0%から年々増加し、直近3回の調査では6割強となっていることが分かった。

「新語・流行語の多用」については、全5回の調査のうち、前半2回は全体の2割前後だったものが、後半3回の調査で全体の3割台半ばに上昇したこと、「発音やアクセント」については、これが乱れているとの指摘は調査を経るごとに減少していることも判明した。

また、全体の占める割合は小さいものの「語句や慣用句・ことわざの使い方」は、平成 11（1999）年度の初回調査時は 5.7%だったものが年々上昇し、直近令和（2019）元年度調査では 16.1%になっている。

また、各回の世論調査では、国語が「余り乱れていないと思う」と「全く乱れていないと思う」を選択した人に対して、選択肢から一つ選択する形でその理由を尋ねている。その結果の調査年ごとの推移をまとめたのが図 2-3 である。

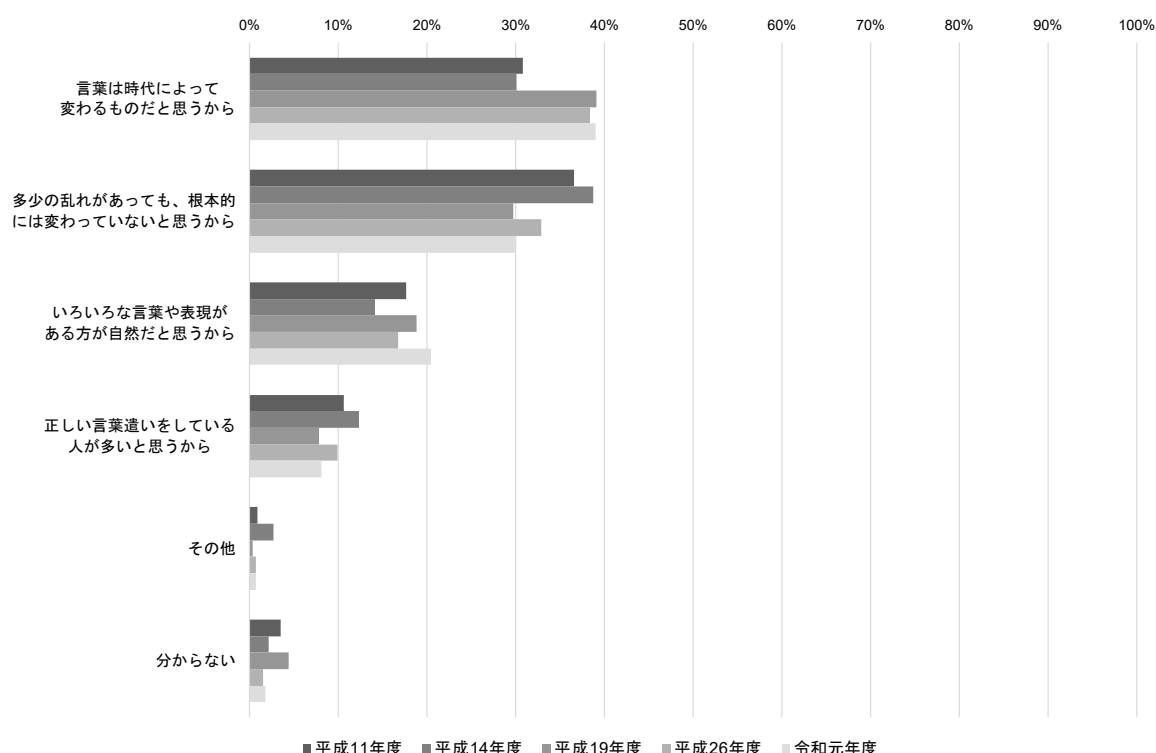


図 2-3 「国語が乱れていないと思う理由」調査結果推移

（出所）文化庁『令和元年度国語に関する世論調査〔令和 2 年 3 月調査〕』より筆者作成。

令和元（2019）年度の調査では、国語が乱れていないと思う理由として「言葉は時代によって変わるものだと思うから」を選択した人が 39.0%、次の「多少の乱れがあっても、根本的には変わっていないと思うから」を選択した人が 29.9%であった。

過去 5 回の調査結果推移をみると、「言葉は時代によって変わるものだと思うから」は、初回平成 11（1999）年度及び 2 回目の平成 14（2002）年度調査では 30%だったものが、平成 19（2007）年度、平成 26（2014）年度及び令和元（2019）年度調査では 40%近くまで上昇したこと、一方で、「多少の乱れがあっても、根本的には変わっていないと思うから」

は初回平成 11 年度及び平成 14 年度調査で 36.6%、38.7%と 30%台後半だったものが、直近令和元（2019）年度調査では 29.9%まで低下していることが判明した。

1.4 「国語の乱れ」に関するその他の調査

文化庁が実施した「国語に関する世論調査」で直接「国語の乱れ」について調査を行ったのは、上述の 5 回だったが、そのほかの年の調査で、「国語（言葉）の乱れ」に言及した言葉の実態の調査が、平成 7 年（1995）年度、平成 12（2000）年度、及び平成 13（2001）年度の 3 回行われた。

初回、平成 7 年（1995）年度の調査では、「言葉に関する意識」に関する質問項目で、「今の言葉は乱れている」との意見について、回答者がどう思うか、「そう思う」、「そうは思わない」で答えさせる問いがあった。結果は、「そう思う」が 73.6%、「そうは思わない」が 19.6%、「どちらとも言えない」が 5.6%、「分からない」が 1.3%であった。（世論調査報告書 平成 7 年 4 月調査『国語に関する世論調査』：5-7）

平成 12（2000）年度の調査では、「あなたは、ふだんの生活で接する人やテレビで見る人などの言葉遣いが、乱れていると感じることがありますか」との問いが設けられている。この問いに対しては「よくある」が 31.5%、「時々ある」が 40.1%、「たまにある」が 17.3%、「ない」が 9.7%、「分からない」が 1.4%との結果だった。「言葉が乱れている」と「言葉遣いが乱れている」では若干ニュアンスが異なるが、選択肢として挙げられたものの中から幾つでも選ぶことのできる回答方式での上位 3 位は、「ものの言い方が乱暴なとき」が 50.3%、「あいさつをきちんとしないとき」が 48.4%、「人を傷つける言葉を使っているとき」が 44.9%、「汚い言葉を使っているとき」が 43.1%、「敬語を間違って使っているとき」が 35.9%であった。（『平成 12 年度国語に関する世論調査〔平成 13 年 1 月調査〕』：8-14）

平成 13（2001）年度の調査では、「あなたは、ここに挙げる言い方を「言葉の乱れだ」と思いますか、それとも別の見方をしますか」との問いの下、(1)「来ることができる」という意味で「来られる」という言い方ではなく、「来れる」を使うこと、(2)「おっしゃる」や「言われる」という意味で「申される」と言うこと、(3)「花に水をやる」ということを「花に水をあげる」と言うこと、の 3 例について、(ア)「言葉の乱れ」だと思う、(イ)そういう言い方をしても構わないと思う、(ウ)「言葉の乱れ」ではなく「言葉の変化」だと思う、(エ)正しい言い方だと思う、(及び「分からない」)から選択させるものであった。

この調査結果は図 2-4 のとおりである。

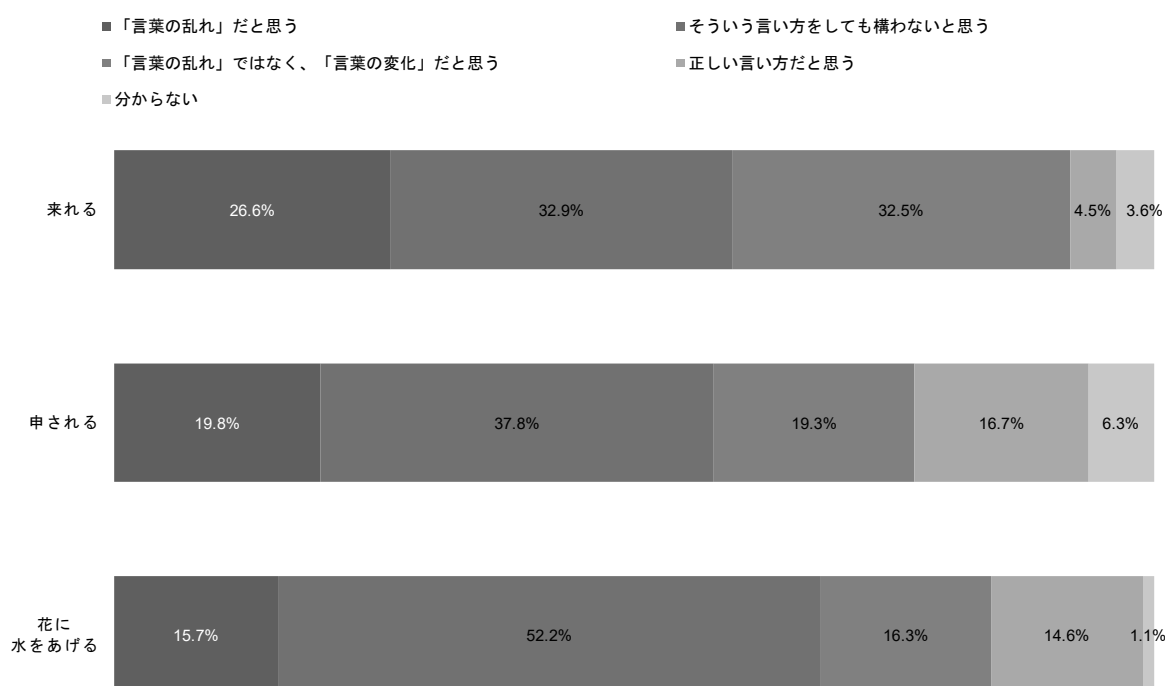


図 2-4 「来れる」、「申される」、「花に水をあげる」に対する意識調査結果

(出所) 文化庁『平成 13 年度国語に関する世論調査〔平成 14 年 1 月調査〕』より筆者作成。

「言葉の乱れ」と捉える回答者が最も多かったのが「来れる」の 26.6%、次に「申される」の 19.8%。「花に水をあげる」は 15.7%だった。一方、これらの使い方を「言葉の乱れ」ではなく「言葉の変化」と捉える回答者が最も多かったのも「来れる」で 32.5%、次に「申される」の 19.3%。「花に水をあげる」は 16.3%だった。また「そういう言い方をしても構わないと思う」としてこれらの表現を容認する人は、逆に、「花に水をあげる」が最も多く 52.2%、次に「申される」37.8%、「来れる」が 32.9%との結果だった。(『平成 13 年度国語に関する世論調査〔平成 14 年 1 月調査〕』: 98-99)

1.5 「国語の乱れ」に関する「国語に関する世論調査」のまとめ

文化庁は「現在の社会状況の変化に伴う日本人の国語に関する意識や理解の現状について調査⁶⁾」を行う「国語に関する世論調査」を通して、これまで 5 回、「国語の乱れ」に対する国民の国語に対する意識の変化についての調査を行ってきた。1999 年度の初回調査

と直近の調査の 2019 年度との比較から、この 20 年間の意識の変化を追うことができる。

「国語の乱れ」に関する初回調査時には約 86%が「国語が乱れている」と感じていたが、20 年後の 2019 年度にはその比率が約 66%と 20%ポイント低下した。本調査では何ををもって「乱れ」とするかを定義していないものの、「国語が乱れている」と感じている人は 20 年で全体の約 2 割低下した。（一方で、「国語は乱れていない」と感じている人も 20 年で全体の約 2 割増加した。）理由は明確ではない。しかしながら、「乱れていない」と感じている人に尋ねたその理由のうち、「言葉は時代によって変わるものだと思うから」との回答比率がこの 20 年で大きく増加していることから、言葉の変化を必然的ものとして前向きに捉える人が増えたと考えられる。

しかし、それでも調査回答者全体の約三分の二は国語が乱れていると捉えており、これが現在の日本語の立ち位置（日本語母語話者の認識）である点に留意が必要である。

2. 言葉の変化の捉え方に関する先行研究

本節では、『国語に関する世論調査』における「国語の乱れ」に関する調査結果も踏まえ、国語のどの点が乱れているか、及び国語が乱れていないと思う理由について、先行研究を整理する。

2.1 「国語の乱れ」に関する調査結果概要

前節でみた『国語に関する世論調査』における「国語の乱れ」に関する調査は、20 年にわたる国民の国語の変化に対する意識の変化を捉えている。「国語の乱れ」に関する調査結果をまとめれば以下のとおりである。

- 「乱れ」が何であるかを定義せず、「国語が乱れているか」との設問に対して、「非常に乱れている」、「ある程度乱れている」（集計においては以上 2 つを合わせて「乱れている」）、「余り乱れていない」、「全く乱れていない」（集計においては以上 2 つを合わせて「乱れていない」）、「分からない」の 5 つから選択させる形で、国民の国語の乱れに対する意識を調査
- 「乱れている」計は、初回の平成 11（1999）年度調査の全体の約 86%から 20 年後の令和元（2019）年度の調査では全体の約 66%に低下

- 「乱れていない」計は、初回の平成 11（1999）年度調査の全体の約 1 割から 20 年後の令和元（2019）年度の調査では全体の 3 割まで増加
- 国語のどの点が乱れているかの回答の上位 3 位は、①敬語の使い方、②若者言葉、③新語・流行語の多用
- 国語が乱れていないと思う理由の上位は、①言葉は時代によって変わるものだと思うから、②多少の乱れがあっても、根本的に変わっていないと思うから

2.2 国語のどの点が乱れているかに関する先行研究

2.2.1 敬語史

1.1 で見たように、敬語は「国語に関する世論調査」における頻出調査項目である。第 3 章において敬称の「さん」を取り上げて、しばしば問題になる「敬語の使い方」について述べるに当たり、まず「敬語史」を概観しておきたい。

敬語は上代より存在し時代とともに変化し、敬語、敬語史については多くの研究がなされているが、ここでは敬語の最近の傾向である丁寧語化、美化語化につながる敬語の歴史を概略する。

2.2.1.1 敬語の分類

敬語とはそもそも、「話し手が、話し手自身・聞き手・話題の中に登場する人物相互の関係に応じ、当該の人物に敬意を表するために用いる形式」であり、「この場合の『敬意を表す』とは、話し手がある人物を『上位』に待遇しているという表明を行うことである。」（森山 2013 : 185）

森山（2013）は敬語の使用における古典語と現代語の違いについて「親疎」を用いて説明している。すなわち、「古典語の敬語においては、対面コミュニケーション場面における距離よりも、むしろ絶対的な上下関係の比重が重く、上位の第三者に対する敬語は標準的に用いられ、組織のウチソトといった関係はあまり配慮されない」が、「現代語の敬語は、（中略）その場にいない第三者に対してよりも、対面コミュニケーションの場面で直接聞き手に向けて用いられる場合での使用が大きな非常を占める。そういった、対面コミュニケーションの場面では、その人物が年齢や地位の面で『上位』である場合だけでなく、あまり親しくない、すなわち『疎』の関係にある場合、また、話し手の属する組織の『外』に位置づけるといったことも、敬語使用の重要な要因」だとしている。（森山 2013 : 186）

敬語は大きく、「①『話題の人物に対する敬語』（素材敬語）と、②『聞き手に対する敬語』（聞き手敬語・対者敬語）」の2つに分けられ、「古典語においては、話題の人物が発話場面にいた場合でも素材敬語が省略されることはほとんどない。反対に、現代語においては聞き手に対する敬語が省略されることがない。古典語に比して現代語は、話題の人物に対する敬意よりも、聞き手に対する敬意が重視されることが言える」と素材敬語に係る古典語と現代語の違いも説明している。（森山 2013：187-188）

2.2.1.2 素材敬語の変化

話題の人物に対する敬語である素材敬語は、「敬意の対象となる人物がその行為等の主語であるか否かによって」、「尊敬語」と「謙譲語」に二分される。尊敬語は、「行為の主体に対する敬意を表すために用いられる敬語」、謙譲語は、「敬意の主体とならない素材に対する敬意を表すために用いられる敬語」である。尊敬語は、「上代から現代まで一貫して用いられる敬語」であり、「運用面においては、通時的な変化はさほど認められない」。一方謙譲語は、「行為の主語とならない素材に対する敬意を表す表現であるとの定義づけ」だが、更にその下の分類として、「行為の及ぶ相手に対する敬意を表す」「非主語尊敬」と、「行為の主体を下位に位置づける表現である」「被支配待遇」（「その場で想定される支配者であり、行為者を、尊者の支配のもとにある『被支配』の立場に位置づける」の意。）に分けることができる。（森山 2013：190-204）

2.2.1.3 対者敬語の成立

一方、敬語の二分類のもう一方の聞き手に対する敬語である対者敬語は、「話題の位置づけに関わりなく、基本的にすべての文末（あるいは句末）に用いて聞き手への敬意を表す」「丁寧語」で、「現代語においては、『～です』『～ます』『～（で）ございます』が、これにあたる」。もう一方の「行為の主体が聞き手に対して下位である場合に用いて、聞き手に対する敬意を表すもの」で「丁重語」とも呼ばれ、『（～）致す』『参る』『おる』などがこれにあたる。丁重語は、『聞き手に対する敬語』でありながら、『話題の人物』の位置づけも関与してくるため、『素材敬語』と『対者敬語』との中間的な性質をもつもの、「つまり、現代語においては、行為の主体を低めるという点で『謙譲語』と共通する性質を有することから、素材敬語のほうを『謙譲語Ⅰ』と呼び、こちらを『謙譲語Ⅱ』と呼ぶことがある」とされている。また、森山（2013）では、「現代の大人同士の会話では、よほど親し

い間柄を除き、『丁寧語』は特別な表現ではなく、常に使用することがむしろ一般的」であるのに対して、『丁寧語』は、話し手の、より改まった姿勢を表すときに用いられる」、とその使用範囲も説明している。(森山 2013: 204-205) また、「現在の『謙譲語Ⅱ(丁寧語)』には、原則として敬意の対象を主語としないという制限がある。一方、『丁寧語』は、話題の主語が自然物、敬意の対象、聞き手など何であっても関係なく聞き手との関係に応じて用いられる」との違いもある。(森山 2015: 231) また、『です』『ます』は、聞き手が話し手にとって敬意の対象であれば、話題の内容に関わらず、ほぼすべての文の述部に用いられて、『です』『ます』文体を形成する」として、「連休にはどこかいらっしゃいましたか？」と「連休にはどこかいらっしゃった？」の例を挙げ、いくら尊敬語を用いても、後者は親しい間柄での話し方だ、と指摘している。(森山 2015: 242)

敬語を、「素材敬語」と「対者敬語」とその下位分類に沿って分類し、時代の移り変わりとともに変化した敬語を一覧にしたものが、表 2-2 である。

表 2-2 敬語の種類と形成の形式、及びその変遷

	素材敬語			対者敬語	
	尊敬語	非主語尊敬 (受け手尊敬)	被支配待遇	丁寧語	謙譲語Ⅱ (丁寧語)
		謙譲語Ⅰ			
上代	—(い)ます・—す・—たまふ	—奉る・—まつる・—まをす	—たまふ[下二]・—はべり		
中古	—おは(しま)す・—(さ)せおはします・—(さ)す・—(さ)せたまふ・—たまふ・—(ら)る	—聞こゆ・—聞こえさす・—奉る・—まかり・—申す・—参らす	↓補助動詞化 (—たまふ[下二]・—はべり) ↓ 置き換え→	—(一)はべり・—たまふ[下二]・—さふらふ	
中世	(御)—ある・(御)—なさる・御—になる・(御)—やる・—(さ)しまう・—(さ)します・—(さ)せおはします・—(さ)せたまふ・—しめたまふ・—たまふ・—(させ)(ら)る	—参らす(まらす・まいする)・—まかり・—申す・—申し上ぐる	尊敬語起源→	—さふらふ(さう・そろ・す)・～でござる・～でござる・～でござる・～でござりまする・～です・—まらす(まつする・まする・ます)	(—致す・—申す)
近世	(御)—あそばす・(御)—ある・(御)—なさる(なはる)・(御)—やる・—さんす・—(さ)しゃる・—さしゃんす・—しゃんす	—ます・—申す・—お申す	(現代語の)です← (現代語の)ます←	～でござる・～でござりまする・～でございます・—ます・—やす・—やんす・—んす	(—)致す・(—)申す

	素材敬語			対者敬語	
	尊敬語	非主語尊敬 (受け手尊敬)	被支配待遇	丁寧語	謙讓語Ⅱ (丁重語)
		謙讓語Ⅰ			
	一なる・一(ら) る・一んす				
後期	御一になる				

(出所) 森山 (2013) より筆者作成。下線・波線・網掛け・ゴシック体・矢印は筆者。

2.2.1.4 被支配待遇から対者敬語へ

森山 (2013) は、「日本語において対者敬語が用いられるようになったのは、平安時代に入ってからで」、被支配待遇の動詞「一はべり」「一たまふ (下二段)」が補助動詞となったことがその先駆けとされる。(表 2-2 下線部参照。)'被支配待遇とは、(中略)ある行為を尊者の支配下にあることとして意識しながら述べる表現'で「この、支配一被支配の関係は、天皇と臣下といった、実質的な世界での関係に基づくものであったのだが、それが、発話現場における支配者と被支配者、すなわち聞き手と話し手との関係に置き換えられたのが、被支配待遇が対者敬語化する発端であると考えられる」とその誕生の経緯を説明する。「その後、平安後期には、「一はべり」も荘重な語感を持つ古語となり衰退」、「代わって同様に『貴人のもとに居る』という原義を持つ『一候ふ (さぶらふ・さうらう・そろ、他)』が多用され、院政期には丁寧語として機能するようになった。書状などでは、『候文体』として、すべての文末に『候』が付されるようになる。「候」が、改まった場面での文末表現として定着することで、行為の主体を下げるという本来の意味も失われて、書き言葉における、文体としての丁寧語が成立」した。(森山 2013 : 206-209)

2.2.1.5 尊敬語から対者敬語へ

「室町時代に入って話し言葉の中でさかんに用いられた対者敬語は、尊敬語に起源を持つ『～でおぢやる』『～でおりやる』『～でござる』の系統」で、その変化は「『～でござる』が存在詞であったことに求めている」。これが「現代の『～です』『でございます』につながる対者敬語である」。(表 2-2 波線部参照。)(森山 2013 : 209-210)

金水 (2004) は「謙讓語起源の形式が上代から近世までいろいろな形式から生み出されているのに対して、尊敬語の形式は、室町時代末のわずかな語に限定されているという点には注目してよい。(中略)謙讓語から丁寧・丁重語への変化は、自然でなめらかな推移として起こりやすいのに対し、尊敬語からの場合は、いくつかの条件がそろわなければ実現しない、どちらかというともれな変化であると言えそうである」と指摘している。(金水

2.2.1.6 受け手尊敬から対者敬語へ

「現代の『一ます』につながる対者敬語が、動詞連用形に直接接続する「一まらする（まっする・まする）」であり、この『一まらする』のもとの形は『参らす』で、中古には受け手尊敬の謙讓語として機能していた語である」。(表 2-2 二重下線部参照。) 森山 (2013) では、「受け手尊敬として用いられていた語が対者敬語として使われるようになる前段階としては、まず、『主語以外の関係する人物への敬意を表す』という受け手尊敬の機能が、『話し手の行為を低く表現する』という機能へと変化していることが必要」と推測、「そのうえで、改まった発話場面を背景として対者敬語としての機能を獲得していったであろう」と説明している。(森山 2013 : 210)

2.2.1.7 その他の対人配慮表現

上記のほかに、「現代語における対人配慮の表現として、重要な役割を果たしているのが、『一てくれる』『一てもらう』(それぞれの謙讓語・尊敬語としての『一てくださる』『一ていただく』といった受給表現である)」として受給動詞を挙げている。「現代においては、実質的な授受の意味を失って、敬意を表すために用いられることがある」が、これは『一てくださる』という形式を用いて、仮想的に聞き手から話し手に利益の授受が行われるように表することで、聞き手を上位に待遇しようとする表現」だとしている。(森山 2013 : 211-212)

2.2.2 敬語の使い方

書店に行けば敬語の誤用や「正しい」敬語の使い方に関する書籍が多く並べられており、国語の乱れの筆頭に敬語が挙げられているのは容易に理解できる。

本項では、敬語の最近の傾向である丁寧語化、美化語化について、先行研究をまとめる。

丁寧語や美化語といった対者敬語敬語化の傾向は、“最近の傾向”として大石 (1981) にも取り上げられている。すなわち「戦前の敬語は上下敬語・身分敬語であり、戦後の敬語は左右敬語・社交敬語であると言うことができよう」(大石 1981 : 226) として、「敬語使用の大きな基準となってきたものの一つは、疎の関係」(大石 1981 : 227) であるとして、2.2.1.1 や 2.3.1 に先立って、「現代の敬語の使用における対者敬語的傾斜は、注目すべ

き現象であると見られる」と指摘していた。(大石 1981 : 236)

井上 (2022) は、「敬語は文字からいうと『敬意・うやまい』を表すための言葉だが、現実の用法を見ると、必ずしも『敬う』から敬語を使うわけではない」(井上 2022 : 138) と指摘する。続いて日本語史の観点から、敬語の対象の変遷について述べている。すなわち「歴史的に見て、世の中が変わると、敬語の使い方が変わった。敬語が神仏や天皇からふつうの人々にまで広がって、絶対敬語から相対敬語になり、目の前の人との対人関係を重んじるようになった。登場人物よりは目の前の聞き手に気を使うことが多くなり、敬語全体が丁寧語の『ですます』に似た使い方になった。現代の商業敬語が典型である。日本語史の長期的傾向である。敬語の使い方の変化は第三者敬語、つまり登場人物への敬語に現れる。昔の敬語では、お互い目上目下の関係が分かれば、片方の目下の話し手だけが敬語を使った。第三者を話題にするときも、話し手にとって目上や目下かを考えればよく、話し相手にとって目上か目下かは考えなくてもよかった。その後敬語は、話題の人物の上下関係を表すものから、話し相手との左右関係を表すものに変化した」(井上 2022 : 138-139) として、敬語の重点が「話題の人物の上下関係を表すものから、話し相手との左右関係を表すものに変化」したことを述べている。

そもそも敬語の特徴として、「同じ語形の敬意の度合・効果が、使われているうちに下がる・薄れる現象」である「敬意低減（逋減）の法則⁸⁾」(井上 2022 : 138) がある。敬意が下がる方向に変化することを運命付けられた敬語を使う側の、当該敬語・敬意に対する意識の変化は人それぞれで、その「ギャップ」が「乱れ」との認識につながるものと考えられる。

また椎名 (2022) は、令和元年度の『国語に関する世論調査』でも「誠に申し訳なく、深く反省させていただきます」(『令和元年度 国語に関する世論調査〔令和 2 年 3 月調査〕』: 26-27) が気になるかどうかを尋ねている⁹⁾、近年、「爆発的に使用されている」(椎名 2022 : 5)「させていただく」について、700 人の意識調査や新旧コーパス比較も行った上で、「自己愛的な敬語」(椎名 2022 : 77) と結論付けている。これは、「元々敬語は、尊い他人に向いていくようなものが原形だったのではないかと思います。ところが『させていただく』は自分のことだけを述べているので、少し方向性が異なります。相手に向けるのと同じくらいの丁寧さを表現しながら、自分のことだけを述べる敬語となっているからです。相手への敬意を示す表敬の敬語から、自分を丁寧に示す品行の敬語へとシフトしていると解釈できます」(椎名 2022 : 205) とまとめた上で、「現代日本語の敬語が行き着

く先にあるのは、敬意が他者へ向かない敬語、他者を必要としない敬語かもしれません」
(椎名 2022 : 212) と日本語の敬語の未来を予見している。

「自分を丁寧に示す品行の敬語」としての丁寧語は、古くから「話手が自分の言葉の嗜みとして他人への敬意とは無関係に用いられる敬語」(渡辺 1971 : 119)、「美化語・ぞんざい語は、それぞれ、敬語・軽卑語とつながるところがあるが、これを狭義の待遇語外の別系列のものと扱い、合わせて品格語と名づける。その基本性格を話手自身の言葉の品格に主としてかかわるものと見るところによる」(大石 1976 : 140) と認識されていたが、世論調査の対象となった「気になる」表現がこれに当たり、また、敬語の将来像¹⁰を大きく変える事例の一つとして、今後の推移を注視していきたい。

2.2.3 若者言葉

米川 (2006) は若者言葉を、「中学生から三十歳前後の若い男女が仲間内で娯楽・会話促進・連帯・イメージ伝達・隠蔽・緩衝・浄化などのために使う、規範からの自由と遊びを特徴に持つ特有の語や言い回しである。その使用や意識には個人差がある」と定義している。(米川 2006 : 20)

雑誌『月刊言語』は 2006 年 3 月号において、「若者ことば大研究―変容するコミュニケーション環境の中で」と銘打って若者言葉の特集を組んでいる。具体的には、『乱れている』『礼儀をしらない』など、若者の言葉遣いにはとかく批判のまなざしが向けられがちである。しかし一方、若者が流行させる言葉や表現は、社会状況は人々の心理を映し出す鏡であると同時に、規範的な言葉を揺さぶり言語の変化をもたらす原動力ともなってきた。インターネットの爆発的な普及など 21 世紀に突入してますます変容するコミュニケーション環境における、若者のことばの現在を探る」(『月刊言語』2006 年 3 月号目次) 特集であった。若者言葉は、『国語に関する緒論調査』でも国語の乱れの原因の一つとして挙げており、平成 14 (2002) 年度調査で 53% となった以外は全体の 60% から 63% がその原因の一つとして挙げている項目である。

いわゆる「マニュアル敬語」もしばしば問題視される。しかしながらこの「マニュアル敬語」に対しても様々な指摘がある。飯田 (2002) は以下のように指摘している。

「新しい接客表現に出会うたび戸惑いを感じ、それが言葉の〈乱れ〉であると解釈しがちである。しかし、それは店員がわざと乱暴に接客しているのではなく、店員の「丁寧さ」

の表現の仕方が少しずつ〈変化〉してきていると考えるべきである。本稿で紹介した接客表現¹¹は、店員が客に対して扱う金銭や商品・サービス名等の後部に、ある種の要素を付与することによって丁寧な表現にすることを試みている点で共通する。すなわち新接客表現では、丁寧を表現する部分が生産性のある“接尾型”へと移行しているのである。(中略) 若者が接客場面で仕事のミスをしないようにしながら、複雑な敬語表現を臨機応変に駆使するのは至難の業であるが、より生産的な敬語体系を生み出すことにより、丁寧さを表現する新たな言語形式を作り出している。今後、この体系が接客表現以外にも使われるようになるか注目して行きたい」(飯田 2002 : 56)。

また、井上(2002)は次のようにも指摘している。

「マニュアル敬語には経済性があり、敬語習得が不十分な新卒者やアルバイトのためには効率的である」(井上 2022 : 142)。

さらに、若者言葉について、「わかりみ」を例に、「名詞化接尾『一み』の台頭」が「出てくる背景や理由として考えられるのが「可愛さ」ではないだろうか。特に女子高生を中心とした若者言葉の使用者は「面白さ」や「分かりやすさ」、「可愛さ」に言葉遊びの楽しみを見出しているようである。また大人の使用する語彙とは異なるもので隠語のように自分達の言葉を持つことで同世代との繋がりを感じているのであろう」(堀尾 2022 : 129-130)という見方もある。このように指摘される若者言葉の今後について、米川(2006)は2006年時点で注目すべき点として、①若者言葉の低年齢化・幼稚化、造語法や表現の仕方に変化が生じる可能性、②更に狭い仲間内で使われる言葉が増える「暗号化」、「隠語化」、③(本来口頭の言葉である若者言葉に)メール言葉、メールの書き言葉の増加、の三点を挙げている。(米川 2006 : 25)

また、井上(1998)は、「若者の間に新しい言い方が見つかったときに、ことばが変わった理由を考えると、ちゃんと言語体系上の理由が見つかる。歴史言語学であげてきたような、単純化・明晰化、労力の節約(省エネ)とか活用体系の整備など(中略)。ことばが変化したときにその原因を探ると、ことばそのもの、つまり言語体系に関して、変化したあとの方が合理的になるような理由が、探せばちゃんと見つかる」(井上 1998 : 197)として、若者言葉の合理性を指摘している。

2.2.4 新語・流行語の多用

「新語」とは、「新しく現われたことば」(『三省堂国語辞典』(以下「三国」という。)第八版)、「新しく(作られて)使われ出した言葉」(『新明解国語辞典』第八版)、また、「流行語」とは、「一時広く世間の人々が、同じように口にすることば」(『三国』第八版)、「ある一時期に興味をもたれ、多くの人々によって盛んに使用される単語や句。はやり言葉」(『大辞林』第四版)のことである。

金澤他(2021)は、新語を含めた言葉の変化について、『誤用』『ゆれ』『新語』などとして注目される語句の形態や用法、表記や音声のゆれなどの現象がある。これらは従来の規範やルールから逸脱しているためにこのような呼び方をされ、ときに批判されたり珍しがられたりしてきた。(中略)気づかない変化の兆しが身の回りに存在すること、そして単なる誤用や逸脱表現として簡単に片づけられないことがうかがえる」(金澤他 2021 : iii)として、若者言葉同様、「言葉の乱れ」と一つとの扱いにとどめるべきではないことを指摘している。すなわち、「このような表現の産出は、言葉が新しい意味用法や機能を獲得する場合のプロセスの一端を示しているともいえる。これまでに生じた言語変化のうちで定着してきたものは、われわれに変化の要因を読み解くヒントを与えてくれる」(金澤他 2021 : iii)として、新語が変化の要因分析の鍵と成り得ることを示唆している。

また、橋本(2021)は、新語の定着について、「それまでの語彙体系に欠けていた部分、すなわち〈語彙体系の穴〉を埋める働きも、この語が定着する要因として働いたものと考えられる」と指摘している。「語彙体系の穴」とは、新語が「語彙体系の構成要素を充足する役割」を担った語であると、それがたとえ新語であっても「新語意識が稀薄で広く用いられ」るものであり、橋本(2021)は新語定着の「主要な条件に数えられるものとみることができだろう」と指摘している。(橋本 2021 : 136-137)

このように、先行研究はいずれも「乱れ」を「変化」として捉えている。

2.3 「変化」という捉え方

2.3.1 言葉の「乱れ」の捉え方

『国語に関する世論調査』では「乱れ」の有無に関する説明に対して、回答者の3割は「乱れていない」と考えていることが判明した。その理由として、言葉は時代によって変わるものと受け止めていることも分かった。社会言語学でもこれまで、言葉は変わりゆくものとして「乱れ」ではなく「変化」と捉えられてきた。

例えば雑誌『月刊言語』は 2002 年 8 月号で「日本語は乱れているか!?!」と題して特集を組んだが、その中で芳賀（2002）は、「…言葉の仕組み（構造）にわたる約束事を“乱す”現象に眉をひそめる向きもちろんある。構造にわたる“乱れ”については、言語・国語の専門学者が一般生活者と憂慮を共有し、『正しい方向』を厳然と指し示してくれれば、と純真に期待する人が以前は多かった。ところが、とにかく専門家の態度は、その期待に反するものだった。言語事象のうちの何をもって“乱れ”とするか、概念規定が必要で、定義確定の上で該当・非該当を選別しよう、と学者は落ち着きはらっている。それどころか、そもそも“乱れ”という俗な呼称（非難の用語、反価値のシンボル）をそのまま学術的操作の用具には出来ない、生起・進行する事象（の全部か、自分の気に入らない部分）を“乱れ”ときめつける主観的態度は科学の立場になじまない、『言語を時系列的に見ると、変化するという本性があります。その現象の中に、“乱れ”が感じられるだけの話でしょう』とでも言われたら『冷たい反応だ』と心外だろう」（芳賀 2002：78）と述べ、言葉の「乱れ」に対する一般生活者の期待と専門家の態度を整理している。

また飯野他（2003）も言葉の変化を受け入れる立場から、「ことばは社会生活の中で使われており、その社会が常に変化しているのであるから、ことばもそれに対応して常に変化していくのは自然であるという考え方だ。（中略）『ことばは生きている』などと言われるとおり、ことばは常に変化し続けるものである。（中略）そして、このことばの変化は時間をかけて徐々に進行する。そのため、その過程において複数の用法が共存することがある。よく言われる『「ことばが揺れている」状態である』と言葉の変化を捉え、併せて「言語学の領域では規範的な立場から批判しないで、『乱れ』を『変化』として捉え、記述、分析する傾向がある」と言語学の立場をまとめている。（飯野他 2003：42）

2.3.2 「正しい」言葉の捉え方

前節で示したとおり芳賀（2002）は、一般生活者は専門家が「正しい方向」を指し示してくれることを期待していると指摘した。「乱れ」があるということは、それに対峙する「正しい日本語」の存在が示唆される。しかしながらこの「正しさ」とは何なのか。金澤他（2021）では、「言葉の『正しさ』を規定することは困難であり、（中略）『言語は変化する』という前提からすると、『言葉の正しさ』の追究という表現には矛盾さえ感じられる」（金澤他 2021：v）と、正しさの規定は困難と断じ、塩田（2023）は『「公的な場面で望ましいとされていることばづかい」も、実は輪郭がぼんやりしています。個々人によって考え方が

異なり、また地域によっても違います。さらに時代によっても変化し、その一端は年代差という形で観察されることがあります」（塩田 2023 : 4）として、規範的な言葉遣いの全体像を把握することすら困難であることに言及している。

先の飯野他（2003）はこの「正しさ」については「いつの時代でもどこの世界にも『最近の人は…』と時の流れと変化を嘆く人はいる。ことばに関しても例外ではない。ことばの変化を『乱れ』と批判する人たちには、ことばや社会や文化を反映するのだから、『ことばの乱れ』は『社会の乱れ』、『倫理の乱れ』であるという人もいる。このような人たちが『正しい日本語』とか『日本語のあるべき姿』とか『日本語の本来の姿』という場合、それは自分たちが育った時期に使われていたことばや表現のことを指している場合も多い。私たちは自分が生まれ育った時代に『規範』とされてきたものを正しいことばとしたがる傾向があるからだ」（飯野他 2003 : 41-42）として、「正しい」と主張する言葉が実は「自分たちが育った時期に使われていたことばや表現のことを指している場合も多い」と指摘する。

また新野（2020）は言葉の正誤等の判断について、以下のように更に踏み込んだ考えも示している。すなわち、「個別的な言語形式・言語使用・言語行動、あるいは言語一般・日本語一般に関する、『正しいか・誤りか』『使ってよいか・使うべきでないか』という問題をめぐる意識。言語実態の正確な把握に基づく客観的・理性的判断のうえに成立するのが望ましいものであるが、実際には、言語実態の不正確な把握に基づく場合や、『好悪』『美醜』『親疎』といった個人の趣味・嗜好に関わる主観的・感情的な要素が深く関与している場合も少なくない」（新野 2020 : 13）として、「個人の趣味・嗜好に関わる主観的・感情的な要素」の関与を指摘している。

2.3.3 言葉の変化に対する研究態度

小林（2002）は、言葉の『乱れ』の正体について、（中略）どのような現象に対して、誰が、なぜ乱れを感じるのか、（中略）『乱れ』はさまざまな角度から観察しないと、その正体がわからない」（小林 2002 : 66-67）として、表 2-3 にまとめた 5 つの視点による分析を提唱している。

表 2-3 言葉の乱れの分析の際の視点

視点	内容	具体策
言語的視点	「乱れ」と意識されやすいことばの、形式や運用面での特徴を明らかにする	意味的に敬意に関わる形式はそうでない形式に対して「乱れ」が意識されやすい、などと言えるかどうか
位相的視点	「乱れ」を生産する集団と反発する集団の特徴、あるいは、「乱れ」が生ずる文体的特徴などについて明らかにする	「乱れ」は若者が生み出し老人が反発する、また、書きことばより話しことばで発生しやすい、などと言えるかどうか
社会的視点	「乱れ」の発生や拡大のメカニズム、それに対する評価の様相を、社会の特徴との関係で明らかにする	政治的に安定した社会ではそうでない社会に比べて「乱れ」に対する評価が厳しい、などと言えるかどうか
心理的視点	「乱れ」の認識に働く心理的要因を、さまざまな角度から明らかにする	新しがり屋の人は伝統を好む人よりも「乱れ」に対して寛容である、などと言えるかどうか
教育・政策的視点	「乱れ」に対する言語教育や政策面での対応について明らかにする	現代では「乱れ」を「変化」として中立的にとらえ、規範的な立場から対処しない傾向が強い、などと言えるかどうか

(出所) 小林 (2002) より筆者作成。

水藤 (2005) は、「規範を崩すことで普通ではない表現—耳目を引き口に上り、記憶に残る表現が創り出される。日頃無頓着でありながらルール通りでないことにはすぐ気付き、多くの人がそこにおもしろみを覚える」(水藤 2015 : 79) として、規範から外れた言葉の注目度に目を向けることを示唆している。同様の示唆は飯野他 (2003) にも見られる。すなわち『誤用』か『正しい使い方』かがはっきりしない言葉がある。また、上の例で見たようにかつて誤用であったものが正しいと認められたことばも少なくない。冒頭の文化庁の調査では『情けは人のためならず』ということわざは、半数以上の人誤用をしている。もしかしたら、将来この誤用が正しい使い方として認められる日が来るかもしれない。こうしてみると、『乱れ』と嘆かれているものはもはや『乱れ』ではなく、変化する過程の「揺れ」ということになる。ことばの『揺れ』を『乱れ』と嘆くか『変化』と楽しむか。意見の分かれるところであろう」と指摘し、「ことばの『乱れ』を指摘したり、新しい言い方を批判、排除したりしようとするだけではなく、なぜそのような変化が出てきたのか、そして、どのようなことばや用法が残り、あるいは消えたのかを考えてみるのである。そのような視点でことばを見ると、人間関係においても、お互いに非難しあって、嘆いているだけではなく、より効果的なコミュニケーションがとれるようになるのではないだろうか」と、前向きに捉えるべきことを勧めている。(飯野他 2003 : 41-42)

また、言葉の「乱れ」対して井上 (2022) は、「日本語の『乱れ』の例として敬語が檜玉に挙げられることが多いが、『変化』として扱うほうがいい。『誤用は変化の始まり』と考

えられ、普及するに従って『言いまちがい→誤用・乱れ→ゆれ→慣用→正用』段階を踏む。

（中略）使用者の評価に関わるので、人生訓として『自らには厳しく、他人にはゆるやかに』が勧められる。新現象を取り入れるには、保守的に、『半歩遅れて』採用するのがよいとされる」（井上 2022 : 138）と、言葉の「乱れ」への対応に当たっての姿勢を説いている。

言葉が「乱れる」とは言うが、言葉を「乱す」とは言わないことから、言葉の「乱れ」や「変化」は、自然に生じるものと考えがちである。

変化の一因には、「実際のコミュニケーションの中で排除されない以上、用いるだけの利があるはずだ。（中略）表現の経済性が高まる点も見逃せない」（水藤 2015 : 55）との指摘がある。「誤用が生じた場合、言語学者は合理的な理由を見つけ、説明しようとするが、合理的な理由が常にあるとは限らない」（米川 2002 : 71）との指摘もあるが、「社会言語学においては、ことばは確かに変化しますが、それは『自然に』おきるのではなく、ことばを使う話者たちの選択によって『変えていく』ものであり」（佐野 2015 : 11）「学習者独自の文法はそれ自身基本的に、必然性があるて生まれた合理的なものであるという点で、そうした独自の文法が「誤用」になるとすると、その場合は元となる日本語そのものに不合理なところがある」（金澤他 2021 : 4）とも指摘されている。

3. 本稿の立場

2.3.3 で述べたように、小林（2002）は、言葉の『乱れ』の正体について、（中略）どのような現象に対して、誰が、なぜ乱れを感じるのか、（中略）『乱れ』はさまざまな角度から観察しないと、その正体がわからない」（小林 2002 : 66-67）として、表 2-3 にまとめたように、言語的視点、位相的視点、社会的視点、心理的視点、及び教育・政策的視点の 5 つの視点による分析を提唱している。

第 3 章以下で取り上げる具体例は、いずれも現在進行中の「揺れ」の段階にある言葉であり、最終的にどう落ち着くのか定まっていなと考えている。このように「変化の過程」の状態にある言葉を扱うため、小林（2002）が提唱する 5 つの視点のうち「言語的視点」の立場を取り、『乱れ』と意識されやすいことばの、形式や運用面での特徴を明らかにしたいと考える。すなわち、対象となる語の本来的な意味・用法と乖離した形で用いられている現状、具体的にはその経緯、範囲、程度について明らかにすることが本稿の目的である。

参考文献

- 飯田朝子（2002）「〈新・接客表現〉はことばの乱れか変化か」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子編著（2003）『新世代の言語学—社会・文化・人をつなぐもの—』くろしお出版
- 井上史雄（1998）『日本語ウォッチング』（岩波新書（新赤版）540）岩波書店
- 井上史雄（2022）「第7章 敬語と社会」井上史雄・田邊和子編著『社会言語学の枠組み』くろしお出版
- 江湖山恒明（1943）『敬語法』三省堂
- 大石初太郎（1976）「待遇語の体系」北原保雄編（1978）『論集日本語研究9 敬語』有精堂出版
- 大石初太郎（1981）「現代敬語の特質、その将来」宮地裕編『講座日本語学9 敬語史』明治書院
- 金澤裕之・川端元子・森篤嗣編（2021）「若者の言葉から見た日本語の未来」『日本語の乱れか変化か—これまでの日本語、これからの日本語』ひつじ書房
- 金水敏（2004）「日本語の敬語の歴史と文法化」『月刊言語』2004年4月号大修館書店
- 小林隆（2002）「日本語史から見た『日本語の乱れ』」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 佐野直子（2015）『社会言語学のまなざし』三元社
- 椎名美智（2022）『「させていただく」の使い方 日本語と敬語のゆくえ』KADOKAWA
- 塩田雄大（2023）『変わる日本語、それでも変わらない日本語』世界文化社
- 滝浦真人（2021）『「国語に関する世論調査」に見る敬語意識—言葉と行為のはざまに見えるもの—』『日本語学』2021年夏号明治書院
- 田中ゆかり（2021）「社会言語学からみた『国語に関する世論調査』—調査データの用途と活用の観点から—」『日本語学』2021年夏号明治書院
- 新野直哉（2020）『近現代日本語の「誤用」と言語規範意識の研究』ひつじ書房
- 芳賀綏（2002）「ことばは変わりゆくものか—観察者の眼と生活者の感覚—」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 橋本行洋（2021）「新語の定着とその条件」金澤裕之・川端元子・森篤嗣編『日本語の乱れか変化か—これまでの日本語、これからの日本語』ひつじ書房
- 文化審議会（2007）『敬語の指針』
- 文化庁『国語に関する世論調査』（平成7年版～令和4年度版）
- 堀尾佳以（2022）『若者言葉の研究—SNS時代の言語変化—』九州大学出版会
- 水藤新子（2015）「第3章 文法と表現」沖森卓也他編『品詞別 学校文法講座 第七巻』明治書院
- 森山由紀子（2013）「第六章 敬語史」木田章義編『国語史を学ぶ人のために』世界思想社
- 森山由紀子（2015）「第9章 敬語の史的変遷」沖森卓也他編『品詞別 学校文法講座 第七巻』明治書院
- 米川明彦（2002）「誤用の拡散」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 米川明彦（2006）「若者ことば研究序説」『月刊言語』2006年3月号大修館書店
- 渡辺実（1971）「敬語体系」北原保雄編（1978）『論集日本語研究9 敬語』有精堂出版

¹ 文化庁『令和3年度「国語に関する世論調査」〔令和4年1月調査〕』

² 滝浦（2021）は、「世の『状況』が『変化』する中で人々の『意識』の『現状』を知り、それを『参考』としながら『施策』の立案をしていく」と調査の目的をまとめている。（滝浦 2021：49）

³ 田中（2021）では、報告書目次主見出し頻出名詞（10度数以上）を掲げ分析しているほか、調査と関連して公表された報告・答申17件も掲載している。（田中 2021：19-20）

⁴ 質問文・選択肢・例示（文）がしばしば変更されてきた理由について、田中（2021）は文化庁国語科に尋ねた結果、「①経年後の社会状況の変化に合わせた、②当初の不備を修正しようとした、③今後、経年で調査する項目とするために、過去の問いの中から問いを絞り再構成しようとした」との回答があったと述べている。（田中 2021：25）

⁵ 平成14年度調査では「現在使われている言葉は乱れていると思いますか」と尋ねた。（『令和元年度「国語に関する世論調査」の結果の概要』：1）

⁶ 脚注1参照。

⁷ 原文は「謙譲語1」、「謙譲語2」と書かれているが、文化審議会（2007）『敬語の指針』の表記に合わせて「謙譲語Ⅰ」、「謙譲語Ⅱ」とした。

⁸ 古くは江湖山（1943）が、「敬語といふものは、その語が登場して来てから暫らくの間は、語感も新鮮であり、その語に伴つてゐる敬意も濃厚であるが、段々使ひ馴れてゐる中には、次第に敬意が稀薄になつて行くものであつて、かうした點を、國語學者は『敬意漸減の法則』として指摘してゐるのである」と述べている。（江湖山 1943:138）

⁹ 調査結果は、「気になる」が49.0%、「気にならない」が48.0%、「どちらとも言えない」が2.3%、「分

からない」が 8.7%と、「気になる」と「気にならない」が拮抗している。

¹⁰ 大石（1981）は、敬語の将来に対する希望・期待として、敬語の簡素化を挙げている。理由としては、敬語は日本人の論理的思考を発達させていく上で邪魔物にしかならないとして、将来の敬語は「デス・マス」の丁重語を残すだけくらいになることが望ましいと言及、既に、第三者尊敬の衰え、謙譲語の衰え、丁重語の優勢などの先駆的現象が、その可能性を予見せしめている言ってもよからう、とまで述べている。（大石 1981：243）

¹¹ ここで「接客表現」とは、①「～の方」は美化表現のための生産的な“接尾語”、②「〇〇円からお預かります」論争の行方、③過去形を使うとより丁寧？、のことを指す。

第3章 各論（1） 敬称「さん」の組織名等への多用と敬意の揺れ

1. はじめに

1.1 問題意識

組織名に「さん」を付けて呼ぶこと、例えば「みずほ証券さん」、「日証協（日本証券業協会の略称）さん」といった言い方は、以前からその場に同席する会社等に言及する場合によく聞かれていた。しかし最近では、会話の場に言及する会社がいなくても用いられることが多くなったほか、仲間内の会話で通常同席することがない、したがって「さん付け」をするような対象でなかった組織名、例えば「アップル」といったメーカーに「さん付け」をして、『アップルさん』はセキュリティがしっかりしているので…』といった言い方で聞かれるようになった。

また、社内における業務上の会話で他部署に言及する際、『広報部さん』にお願いしたところ…』や『法務部さん』に確認してもらいました』といった、社内の部署名に「さん付け」をする表現も多く聞かれるようになった。加えて会社名や部署名ではない語（例えば「業者」、「証券界」、「他社」等）や、役職名に分類できるかもしれないが、従来、敬称付きでは用いられなかった語（例えば「スタッフ」、「主婦」等）にも「さん」が付けられているのを見聞きすることが多くなった。

「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」を多用する背景には、これらの表現を用いないと「相手又は聞き手に対する敬意が足りない」と考える人が増えていることがあるのだろうか。そうであれば、「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」を用いない「正しい表現」を用いている人が、周囲からは「敬意の足りない表現を使う失礼な人」と見られている、又は今後、そのように見られるおそれがあるのではないかと懸念が生じた。

1.2 教養書の指摘

日本語や話し方に関して多くの著書を記しているフリーアナウンサーの梶原しげるは、彼の比較的初期の著書である梶原（2008）の中で、敬語についての様々な事例を取り上げ、問題点や解決法を示している。その中の「肩書きに敬意をこめて」と題する章に「団体へのさん付け」がある。（梶原 2008：175-178）

ここでは、2006年夏の高校野球で名勝負を繰り広げた早稲田実業と駒大苫小牧が、同年

秋の兵庫国体の決勝戦で再度対戦することになった際のインタビューを取り上げている。記者に囲まれ「また同じカードでの決勝戦ですがどんな気持ちですか？」と問われた駒大苫小牧の田中選手¹の「はい。今回もまた、早実さんとご一緒できて楽しみです」（下線筆者）との答えを聴き、梶原を含め何割かは「（インタビューに答えた選手である）田中君、あんたは商人か？」と突っ込みを入れたことだろうと指摘する。

梶原はここで組織名への「さん付け」について、以下のように整理している。

- 大人の世界では、特に同業他社について（日本テレビを「日テレさん」という具合に）社名を略した上で「さん付け」で呼ぶ人が少なくない（たとえ社名でも呼び捨ては失礼）
- 社名への「さん付け」は、日本語の用法として許されないとして、敬語本でも戒めているものあり
- 面前の相手の会社への呼び捨てには抵抗感あり
- 2006年から2007年にかけてサラリーマンを対象に行った調査では、調査対象の8割が面前の人の会社への「さん付け」には抵抗がないとの回答

梶原（2008）のここでの指摘は、まだ高校生の田中選手が社会人のような「あまりに世慣れた物言いに違和感を覚えた」のであって²、会社名への「さん付け」に対する包括的な「違和感」ではない。しかし、会社名への「さん付け」の是非について、興味深い点に言及している。

1.3 調査の目的

1.1 で述べたとおり、筆者は「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」といった表現を用いないが、筆者はこれらの表現を用いている人から「敬意の足りない表現を使う失礼な人」と見られている、又は今後、そのように見られるおそれがあるのではないかとの懸念が生じた。そこで、その懸念の背景を探るべく、本研究では「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」の多用について、以下の点を探っていくこととした。

- ① 「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」の使用状況について、いつ頃から使われるようになったのか。

- ② 「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」の使われ方にどのような特徴があるのか。
- ③ 「組織名＋さん」又は「組織名以外の語＋さん」は、筆者の周りの卑近な例に過ぎないのか、それとも、既に社会で一般に広まった、又は今後広まるおそれのある現象であるのか。

1.4 研究の方法

研究に当たっては、以下の方法によることとする。

まず、本研究で用いる用語を定義する（2 節）。

次に、先行研究を取り上げる。まず、各種国語辞典で「さん」の語釈や用例を調査し（3.1 項）、併せて先行研究における指摘を挙げる（3.2 項）。

次に、予備調査として、国会会議録、日本語話し言葉コーパス及び日本語日常会話コーパスを用いて「さん付け」の過去と現在の状況を確認する（4 節）。

本調査として、金融審議会を基に作成したコーパスの分析を行いその結果から判明した「組織名へのさん付け」及び「組織名以外の語へのさん付け」の特徴について考察を行う（5 節）。

最後にこれらの調査によって判明したこと及び今後の課題についてまとめる（6 節）。

2. 定義

2.1 敬意

文化審議会（2007）では、敬語は「社会的な立場を尊重して使う」ものであるとし、敬意を「必ずしも尊敬の気持ちだけではなく、その人の社会的な立場を尊重すること」の現れの一つとしている。

本研究では、「さん」を用いる相手の社会的な立場を尊重する行為を「敬意」と定義して、それがどのような場面で用いられ、又は用いられていないかを分析していく。

2.2 揺れ

井上（2007）では、「誤用から正用への動きは、連続的で切るのが難しい」としながら、誤用から正用への動きを以下のように「定義」している。

①ほんの一部の人が使う段階を「間違い」、②覚えやすい、インパクトがあるとの理由で広がり、四分の一くらいが使い、気づく人が多くなった段階を「誤用」、③騒がれても、広がるものは広がり、半分くらいの人が使う段階を「揺れ」、④更に使う人が増えて、四分の三くらいに使われる、優勢な言い方を「慣用」、⑤更に増えて大部分の人が使うようになった段階を「正用」としている。

表 3-1 誤用から正用への動きの「定義」

間 違 い	ほんの一部の人が使う段階
誤 用	覚えやすい又はインパクトがある等の理由で広がり、四分の一くらいが使い、気づく人が多くなった段階
揺 れ	騒がれても広がるものは広がり、半分くらいの人が使う段階
慣 用	更に使う人が増えて、四分の三くらいに使われる、優勢な言い方
正 用	更に増えて大部分の人が使うようになった段階

(出所) 井上 2007 : 161 より筆者作成

どれくらいの人が使っているのかを測定することは実際には難しいが、井上（2007）で定義されている「騒がれても、広がるものは広がり、四分の一から半分くらいの人を使う段階」を「揺れ」の目安として、研究を進めていくことにする。

2.3 組織名

本章で「組織名」とは、金融庁や経済産業省等の省庁名、日本証券業協会や全国銀行協会等の業界団体名、及び野村証券、第一生命等の企業名を指すものと定義する。ただし、例えば「協会」と言った際、証券業界では日本証券業協会を指す場合に単に「協会」と言うことが多々あるため、日本証券業協会を指したもののか、一般的な協会を指したものかについては、個別に文脈を判断して分類する。

2.4 普通名詞

「組織名」以外の名詞について、「理事長さん」や「会長さん」等の「役職名や肩書」、及び「蕎麦屋さん」や「本屋さん」等の「店の業種を指す名詞」以外の名詞を「普通名詞」と定義する。

ただし、ワーキング・グループ等の長を指す「座長」も、用例（1）のように座長を指名

する前で特定の個人を指していない、単なるポストの場合は「普通名詞」とし、用例（2）のように文脈から座長職に就いた特定の個人を指していると判断される場合は「役職名」として扱い、「普通名詞」とは扱わないこととした。

- （1） 2 つワーキング・グループの座長さんを決めなければいけないわけでございます。
（金融審議会金融分科会第二部会会合（第 2 回）、福井俊彦）（下線は筆者、以下同）
- （2） ワーキング・グループでは、きょうのこの部会の議論のあと、また、続いてさらに詰めの段階の議論をしていただく予定になっておりますので、座長さんのご意見をちょっとここでお伺いしておきますけれども…。（金融審議会金融分科会第二部会（第 3 回）福井俊彦）

また、「委員」も、用例（3）のように個人名が付かない場合は「普通名詞」として扱い、用例（4）のように個人名に付く場合は「役職名」として扱い、上述の定義に従い、「普通名詞」として扱わないこととした。

- （3） 最後に、ほかの委員さんからもありましたが、iDeCo 運営管理機関によって対応にかなり差があります。（金融審議会「市場ワーキング・グループ」（第 21 回）、竹川美奈子）
- （4） ただ、いかんせんそこら辺も踏まえましても、先ほど吉野委員さんからありましたように…。（金融審議会「協同組織金融機関のあり方に関するワーキング・グループ」（第 4 回）、奥和登）

3. 先行研究

3.1 国語辞典

先行研究に当たって、まず、国語辞典における「さん」の語釈及び用例を調査した。具体的には、現在、容易に入手できる又は図書館で閲覧できる 25 の国語辞典、具体的には、大型国語辞典 1 冊、中型国語辞典 9 冊、小型国語辞典 14 冊、及び特殊辞典 1 冊である。そして、これらの国語辞典の「さん」の語釈・用例を一覧にしたのが、次に掲げる表 3-2 で

ある。これは、例えば『大辞泉』には「①人を表す語や人名・役職名・団体名 などについて、尊敬の意を表す。また、動物名などに付いて、親愛の意を表すこともある。『お嬢一』『田中一』『部長一』『お猿一』（下線は筆者。）と書かれているが、これを表 3-2 では、「人名」、「役職名・見分」、「人・人格を表す語」、「団体名」、「(左記) など」、「動物」の欄に○印を付け、どの辞書がどのような語釈・用例を示しているかを一覧できるようにしたものである。

表 3-2 国語辞典の「さん」の語釈・用例

整理番号	項目名 辞書名	出版年	人名	役職名・身分	人・人格を表す語	団体名	居所・神仏	(左記) など	動物
1	日本国語大辞典第二版	(注)	○	○				○	
2	国語大辞典	1981 年	○	○				○	
3	角川国語大辞典	1982 年	○	○	○			○	
4	国語大辞典言泉	1986 年	○	○				○	
5	学習国語大辞典第二版	1988 年	○		○			○	○
6	新辞林	1999 年	○	○				○	
7	講談社カラー版日本語大辞典第二版	2000 年	○	○				○	
8	大辞泉第二版	2012 年	○	○	○	○		○	○
9	広辞苑第七版	2018 年	○					○	
10	大辞林第四版	2019 年	○	○				○	○
11	旺文社標準国語辞典新訂版重版	1992 年	○					○	
12	新潮国語辞典－現代語・古語－第二版	1995 年	○					○	
13	新潮現代国語辞典第二版	2000 年	○					○	
14	新選国語辞典第九版	2011 年	○	○					
15	集英社国語辞典第 3 版	2012 年	○	○				○	
16	学研現代標準国語辞典改訂第 3 版	2016 年	○		○				
17	現代国語例解辞典第五版	2016 年	○	○			○	○	
18	学研現代新国語辞典改訂第六版	2017 年	○		○	○		○	○

整理番号	項目名 辞書名	出版年	人名	役職名・身分	人・人格を表す語	団体名	居所・神仏	(左記) など	動物
19	岩波国語辞典第八版	2019 年	(そのものに対する敬称)						
20	新明解国語辞典第八版	2020 年	○		○			○	○
21	明鏡国語辞典第三版	2021 年			○	○		○	○
22	三省堂国語辞典第八版	2022 年	○		○	○	○	○	○
23	旺文社国語辞典第十二版	2023 年	○	○				○	
24	三省堂現代新国語辞典第七版	2024 年 ³	○	○	○			○	○
25	基礎日本語辞典	1989 年	○	○	○	○	○	○	

(注) 網掛けは、団体名に「さん」が付く記述のあるものを指す。日本国語大辞典の出版年は 2000 年～2002 年。

(出所) 各国語辞典より筆者作成。

全 25 冊中、団体名等にも「さん」が付くことを語釈に示したのは、『大辞泉』第二版(2012 年刊)、『学研現代新国語辞典』(以下「現代新国語」という。)改訂第六版(2017 年刊)、『明鏡国語辞典』(以下「明鏡」という。)第三版(2021 年刊)、『三省堂国語辞典』(以下「三国」という。)第八版(2022 年)、及び『基礎日本語辞典』(以下「基礎日本語」という。)(1989 年刊)の 5 冊であった。

『三国』は、2001 年に発行された第五版には団体名に付く旨の記述はなかったが、2008 年発行の第六版に「団体名につけることもある」との記述が現れた。そのほか、『基礎日本語』の元である森田(1980)にも、団体名に付くこともある旨の記述がある。

また、『大辞泉』や『明鏡』には、語釈には団体名等にも「さん」が付く旨の記述があるがその用例は示されていない。一方、『三国』には用例が示されている上に、第八版では、第七版までにはなかった「地図上の会社名にまで『さん』をつける例は二〇〇〇年ごろから指摘がある」との記述が「豆知識⁴⁾」に見られた。

表 3-3 は、『大辞泉』、『明鏡』及び『三国』の語釈等の変遷を時系列にまとめたものである。

表 3-3 『大辞泉』、『明鏡』及び『三国』における語釈・用例の変遷

辞書名 発行年	大辞泉	明鏡国語辞典	三省堂国語辞典
1995 年	人を表す語や人名・役職名・団体名などに付いて、尊敬の意を表す。(初版)		
1998 年	人を表す語や人名・役職名・団体名などに付いて、尊敬の意を表す。(増補・新装版)		
2002 年		〈人を表す語や団体名などに付いて〉軽い尊敬や親しみの気持ちを表す。(初版)	
2008 年			人の名前・(人をあらわすことば)のあとにつけて尊敬の気持ちをそえることば。…「[さま]より敬意は低い、したしみのある言い方。団体名につけることもある。「〇〇銀行」」(第六版)
2010 年		〈人を表す語や団体名などに付いて〉軽い尊敬や親しみの気持ちを表す。(第二版)	
2012 年	人を表す語や人名・役職名・団体名などに付いて、尊敬の意を表す。(第二版)		
2014 年			「人名や人をあらわすことばなどのあとにつけて」尊敬の気持ちをそえることば。「…[他社をさして] 〇〇銀行」(第七版)
2021 年		〈人を表す語や団体名などに付いて〉軽い敬意や親しみの気持ちを表す。(第三版)	
2022 年			「人をあらわすことばなどのあとにつけて」軽い敬意や親しみをあらわすことば。「…本屋さん…」 [!]同業どうして「〇〇銀行さん」のように呼びあう例は戦前からある。地図中の会社名にまで「さん」をつける例は二〇〇〇年ごろから指摘がある。(第八版)

(出所) 各国語辞典より筆者作成。

以上のように、「さん」が団体名に付く語釈や用例は、少なくとも 1980 年代には『基礎日本語』に掲載されていたことから必ずしも新しいものではない。しかし、まだ規範的な用法の一つとは認識されていないと考えられる。それは、特殊辞典である『基礎日本語』を除く国語辞典の語釈に載るのは 1995 年が初めてであること、複数の国語辞典に組織名への「さん付け」が掲載されるのは 2000 年代初であること、それから 20 年経過し令和になってから新たに 7 冊の国語辞典の改訂版が出版されたが、令和改訂版において団体名へ

の「さん付け」について記述しているのは、まだ『明鏡』と『三国』の2冊にとどまっている、等による。

次に、「さん」の元の語である「さま（様）」について、表3-2と同様、語釈・用例について辞書ごとに整理したのが表3-4である。

表 3-4 国語辞典の「さま」の語釈・用例

整理 番号	項目名 辞書名	出版年	人名	役職 名・身分	人・ 人格を表す語	団体名	居所・ 神仏	(左記) など	動物
1	日本国語大辞典第二版	(注)	○	○			○		
2	国語大辞典	1981 年	○	○			○		
3	角川国語大辞典	1982 年	○	○	○		○		
4	国語大辞典言泉	1986 年	○	○			○		
5	学習国語大辞典第二版	1988 年	○		○			○	
6	新辞林	1999 年	○	○			○	○	
7	講談社カラー版日本語大辞典第二版	2000 年	○	○				○	
8	大辞泉第二版	2012 年	○	○	○	○		○	
9	広辞苑第七版	2018 年	○	○			○	○	
10	大辞林第四版	2019 年		○	○		○	○	
11	旺文社標準国語辞典新訂版重版	1992 年	○	○				○	
12	新潮国語辞典－現代語・古語－第二版	1995 年	○	○			○	○	
13	新潮現代国語辞典第二版	2000 年	○	○			○	○	
14	新選国語辞典第九版	2011 年	○					○	
15	集英社国語辞典第3版	2012 年	○					○	
16	学研現代標準国語辞典改訂第3版	2016 年	○					○	
17	現代国語例解辞典第五版	2016 年	○	○				○	
18	学研現代新国語辞典改訂第六版	2017 年	○		○			○	
19	岩波国語辞典第八版	2019 年	(そのものに対する敬称)						
20	新明解国語辞典第八版	2020 年	○		○	○			

整理番号	項目名 辞書名	出版年	人名	役職名・身分	人・人格を表す語	団体名	居所・神仏	(左記)など	動物
21	明鏡国語辞典第三版	2021 年			○	○		○	
22	三省堂国語辞典第八版	2022 年	○			○	○	○	
23	旺文社国語辞典第十二版	2023 年	○		○		○	○	
24	三省堂現代新国語辞典第七版	2024 年	○					○	
25	基礎日本語辞典	1989 年	○		○		○		

(注) 網掛けは、団体名に「さま」が付く記述のあるものを指す。日本国語大辞典の出版年は 2000 年～2002 年。
(出所) 各国語辞典より筆者作成。

「さま」は『大辞泉』、『明鏡』、『三国』のほか、『新明解国語辞典』（以下「新明解」という。）第八版（2020 年刊）に団体名に付く旨の語釈がある。『新明解』第八版の団体名に付く旨の語釈は、「さま」にはあるが「さん」にはない。一方、「さん」は団体名に付く旨の記述がある『現代新国語』及び『基礎日本語』には団体名に「さま」が付く旨の記述がない。

以上のとおり、調査対象とした国語辞典には、『三国』の「(他社をさして) ○○銀行一」を除き、「さん」が団体名に付く用例は示されていない。一方、「さま」が団体名に付く用例は、「商店会御一行一」(『大辞泉』)、「協同組合御一行一」(『明鏡』)、「(他社を指して) ○○証券一」(『三国』) の例が見られた。また『新明解』には「店の側が客に対して、社名・団体名などに付けても用いられる」との記述はあるがその用例は示されていない。

『大辞泉』及び『明鏡』の用例は、例えば、宿の玄関に掛けられる、宿泊客を歓迎する札に見られる例と思われる。これは、その社全体を指しているのではなく、泊り客として当該旅館を訪れるその社の社員の一部を歓迎するために指したもので、団体名というより人の集合体を指していると解すべきだろう。また、『三国』の例も、どのような場面で使われるかは、この辞書の用例からだけでは判明しない。

表 3-5 は、上述の「さま」が団体名に付く旨の語釈・用例を掲載している各国語辞典の語釈・用例をまとめたものである。

表 3-5 団体名に「さま」が付く語釈・用例を載せている辞書の語釈・用例一覧

辞書名	発行年	語釈・用例
大辞泉第二版	2012 年	人を表す語（名詞・代名詞）または人名・役職名・団体名などについて、尊敬の意を表す。…「商店会御一行」
新明解国語辞典 第八版	2020 年	人の名前や人を表わす語などのあとに付けて敬意を表わす。〔手紙のあて名にも用いられる。また、口頭語では、改まった場で、また店の側が客に対して、社名・団体名などに付けても用いられる〕
明鏡国語辞典第三版	2021 年	〈人を表す語や団体名などに付いて〉尊敬を表す。「…協同組合御一行」
三省堂国語辞典 第八版	2022 年	〔人をあらわすことばなどのあとにつけて〕「さん」より高い敬意をあらわすことば。「…〔他社を指して〕〇〇証券」

（出所）各国語辞典より筆者作成。

3.2 論文等

3.2.1 日本語教科書

初級日本語教科書には「さん」をどのような場面で用いるかの説明はないが（例えば『みんなの日本語 初級 I』、『はじめよう日本語初級』）、教師用の手引きには「まず、日本語では聞き手や第三者のあとに、『さん』をつけることを導入する」（『みんなの日本語 初級 I 教え方の手引き』）、「自分以外の人の名前は『さん』『先生』などの敬称をつける」（『初級 ひらけ日本語 使用の手引き』）といったように、導入時に「さん」の使い方に言及しているものもある。

また、水谷・水谷（1977）*An Introduction to Modern Japanese* には、ある種の職業に「さん」を付けた呼びかけをすべきとして、以下の説明がある。

Note Addressing with *-san*

To address someone in a service occupation, you can call them by the occupation title plus *-san*. This is a use of *-san* different from its function as an equivalent of Mr., Mrs., or Miss. Some common terms of address using *-san* are : *sakanaya-san*, *nikuya-san*, *yuubin'ya-san* (mailman), *shinbun'ya-san* (newspaper boy) and *denkiya-san* (electric appliance salesman or repairman). A driver is called an *untenshu-san*, and a train conductor a *shashoo-san*. Addressing someone by their occupation title without adding *-san*, although sometimes heard, should be avoided as it is considered impolite. (*An Introduction to Modern Japanese* p.352)

3.2.2 『敬語の指針』（2007）

1952年に国語審議会が建議した『これからの敬語（建議）』には、敬称について、『さん』を標準の形とする、『さま（様）』は、あらたまった場合の形、または慣用語に見られるが、主として手紙のあて名に使う」との記述があるが、文化審議会（2007）『敬語の指針』には、「さん」、「様」のような接尾辞型敬称についての記述はない。しかしながら、「第3章 敬語の具体的な使い方」「第1 敬語を使うときの基本的な考え方」に、イ）現代の敬語は、相互尊重を基本として使う（現代社会においては、その人を尊重しようとする気持ちを表すこと、その人の立場に配慮すること（中略）などの意識に基づいて使われる）、ロ）敬語は社会的な立場を尊重して使う（敬意は必ずしも尊敬の気持ちだけではなく、その人の社会的な立場を尊重することも敬意の現れの一つ。（中略）むしろ、敬語を使うべき場面で敬語を使わないことは、社会人として、相手に礼を失するおそれがあることに留意すべき）、ハ）敬語は過剰ではなく適度に使う（敬語をたくさん使えば丁寧になるというわけではない）、とある。（文化審議会 2007：33-35）

「組織名＋さん」を多用する人は、「敬語を使うべき場面で敬語を使わないことは、社会人として、相手に礼を失するおそれがある」と感じているのか、を念頭に置きながら、検証を進めることとする。

3.2.3 野口（2009）

野口（2009）は、「第二章 現代敬語考」の中で、「日本語の丁寧語化は『様』と『さん』にどのような変化をもたらしたか」と題して「様」と「さん」の気になる用法とその背景について述べている。

まず「様」については、「日本語がだんだん、というより、どんどん丁寧になっている。銀行や郵便局の窓口で、利用客の名は長い間『さん』をつけて呼ばれていたが、気がつくと『様』に変わっている」として、銀行、美容院で耳にした例に続いて、「人名だけでなく、企業名に『様』をつける人もいる」文書例を挙げている。

すなわち、「小会では、学校様のご依頼を受け、入学試験問題等に使用された著作物の二次利用等の許諾申請業務を代行しております。このたび、A大学様より、二次利用等の申請業務の代用を受託いたしました」（注：下線は筆者。）との例を挙げ、「これは、私には過剰敬語としか思えない」、「『学校様』のように、普通名詞に『様』を付けることは、ほかでも行われているのだろうか」と疑問を呈している。（野口 2009：93-97）

次に「さん」については、「さん付け」されていた人に「様」が付くことが一般化したとして「これまで人名に添えられていた『さん』はどこへ行ったか」といって、企業、組織、団体名につくようになった」としている。企業や組織への「さん付け」は以前から行われていたが、これは「あくまで同業者間で行われるものだった」が、「日本語が丁寧になってくるにつれて、一般の人の中にも、企業名に『さん』をつける人が出てきた」とし、「まずは相手に敬意を表して、相手の所属する、または相手と関係のある会社の名前に『さん』をつける。そのうちに、何の関係もなくとも、会社名を出すときには『さん』づけする」と、「さん付け」多用への流れを解説している。そして、「大人たちの使う日本語を学習した」学生に波及したと結論付けている。(野口 2009 : 97-100)

3.2.4 秋山 (2009)

秋山 (2009) は、他称で丁寧な言い方の接尾辞型敬称「さん」について昨今、交際相手を指し示す際に「彼氏さん」や「彼女さん」といった言い方をしているのをメディアや若い人の会話でよく耳にする、として、首都圏在住の 10 代から 60 代までの、会社員や自営業、主婦や学生等、多様な職業の人 223 人に対してアンケート調査を行っている。

本論文において組織名等への「さん」の多用に言及はないが、「彼氏さん」や「彼女さん」といった言い方が増加している要因として、イ) 言及対象の名称を必ずしも知っているわけではない、ロ) 他の言い方（ここでは「奥さん」や「旦那さん」）に準じた用法、ハ) テレビドラマや雑誌等で多用、ニ) やわらかい言い回し化が可能、等を推測している。(秋山 2009 : 90-99)

3.2.5 木村 (2014)

木村 (2014) は、「現代共通語の平均的な『さん』と『さま』の使用傾向」を記すことを目的に (木村 2014 : 281)、「さん」、「さま」の前節成分をいくつかの分野でまとめその語例を掲げ、それぞれに「さん」、「さま」が付けられるか否かを記号で示した表を提示している。これは、「待遇価値の高い『さま』は付きうる前接成分が限定的であるのに対し、相対的に待遇価値の低い『さん』は比較的自由に前接成分と結合し、その範囲が広いと考えられている」として、A (人称詞等)、B (親族)、C (歴史上の人物名等)、D (職業)、E (一屋等)、F (一員等)、G (職位)、H (一人 (ニン／ジン))、I (属性・性質)、J (相対的關係の一方)、K (階層)、L (位置)、M (人数)、N (動物)、O (宗教者等)、P (あいさつ・

慣用語）に分けて分類したものである。そのうち、D（職業）、E（一屋等）、F（一員等）及びG（職位）について抜き出したのが表3-6である。（木村 2014：268-274）

表 3-6 「さん」、「さま」の使用傾向

分類	分野	語例	さん	さま
D	職業	大工・刑事・ガイド・デザイナー・女優・はなし家	◎	×
		医者（おーさん／さま）	◎	◎
		相撲（おーさん）	◎	×
		作家・記者・ライター・レポーター	△	×
E1	一屋	本屋・魚屋・八百屋・葬儀屋・電気屋・運送屋・ラーメン屋	◎	×
E2	一社	商社・葬儀社・新聞社・出版社	△	×
E3	一店	本店・支店・書店・工務店・代理店	△	×
F1	一員	駅員・行員・工員・係員・議員・乗務員・従業員・事務員	◎	×
		銀行員・公務員・裁判員	×	×
F2	一士	栄養士・会計士・看護師・弁護士・弁理士・保育士	◎	×
F3	一師	医師・庭師・教師・道化師・奇術師	×	×
		調理師・調教師・薬剤師	◎	×
F4	一手	歌手・技手・砲手	×	×
		運転手・交換手	◎	×
G1	職位 1	部長・社長・局長・店長・工場長・センター長	○	×
G2	職位 2	教授・取締役・頭取・サブリーダー	×	×
		マネージャー・アルバイト・派遣	○	×

（注）◎：一般的に付けられる、○：付くのが許容される、△：条件が満たされれば付く、×：付かないのが一般的、職位 1 は「一長」、職位 2 は「一長以外」。

（出所）木村 2014：272-273 より筆者抜粋（一部改変）。

木村（2014）は、表 3-6 に抜粋した D（職業）から G（職位）について、注意すべき点として以下の説明を行っている。

D（職業）については、「直接対面して会話することが多い職種なので『さん』をつけることが多いのではないだろうか」（「対面性が高い」）としている。女優やはなし家は、「見る側が（一方的ではあるが）映像等を通じて疑似的に対面性が高いと感じ、親しみを感じ

るため」ではないかと指摘している。

E と F を分けた理由として、「F のように従来から『さん』を付けて呼ぶ職種と、以前は『さん』を付けなかった例が、近年のビジネス世界で付けられるようになった例がある、と判断したから」としている。(木村 2014 : 270-271)

E1 (「一屋」) や F1 (「一員」) は、「屋」や「員」を「造語成分として持つ職種も対面性が高いと考えられる」とし、F2 (「一士」) も「現代では対面性の高い職種」と考えられるが、F3 (「一師」) のように、「本来高い技術を持つと考えられる職業名と、資格取得等によって新たに誕生した職業名で多少の差があるように思われる」として分けて掲載されている。(木村 2014 : 270-271)

D (職業) は、前述の「対面性が高い」職種以外に、「お」を伴って「さん付け」と「様付け」の両方ができる語と、「お」を伴うものの「さん付け」しかないものに区別している。また、「作家・記者・ライター・レポーター」への「さん付け」については「条件が満たされれば付く」の意味の「△」が付されているが、その条件は木村 (2014) では示されていない。この分類の語に対する「さん付け」例は多く見聞きするものの、これらの語が「さん付け」されると「違和感」を覚えることも多く、その傾向や動向を注視すべき分類と考える。

3.2.6 平成 28 年度「国語に関する世論調査」(2017)

文化庁 (2017) には、「改まった場で、それほど親しくない相手をどう呼ぶか」との問いに対する結果が掲載されている。

選択肢の中からいくつでも回答できる方法で、最も多かったのが、「名字+さん」の 63.3% (前回 (2005 年度) 調査 44.3%) で、次に「役職名・職業名・相手の所属する組織団体名」(例えば、課長・先生・〇〇銀行等) が 32.9% (前回調査 21.7%)、「役職名・職業名・相手の所属する組織団体名+さん」が 27.9% (前回調査 22.8%) との結果だった。また、「役職名・職業名・相手の所属する組織団体名+さま」も 11.7% (前回調査 11.0%) と、前回調査より増加していた。あなた、そちらさま、おたく、おたくさま、あなたさま、といった言い方は、前回調査に比べて減少していた。(文化庁 2017 : 19)

3.2.7 河・金井 (2017)

河・金井 (2017) は、「国語に関する世論調査」における敬語表現に関わる言い方の調査

では、「敬語表現としての規範性の変化に注目したものの、現在の調査方法では、敬語表現の規範性の認識だけに焦点が置かれているため、表現の揺れの原因とは何か、また今後、どのような変化が見られるか、という判断材料としては不十分」と指摘した。「言葉の変化は、言語使用の効率化による言語内的要因や言語接触または新しいもの・概念などによる言語外的要因などが相互作用して起こる」ものの、「一時的に新しい現象が見られ、その後、しばらく勢力が広まるものの、次第に使われなくなってしまう場合」もあることから、「言葉の変化には、表現に対する規範性の認識だけでなく、多くの人々からの支持が必要不可欠であるが、その支持は単なる支持ではなく肯定的評価に基づいた支持でなければならない」とも指摘した。その上で、言葉の変化の将来性について、表 3-7 の規範性と印象のマトリックスを用いて分析を試みた。(河・金井 2017 : 15-16)

表 3-7 規範性と印象のマトリックス

	好印象	悪印象
表現として気にならない ⇒ 規範性が高い	A	B
表現として気になる ⇒ 規範性が低い	C	D

(出所) 河・金井 (2017)。

このマトリックスについては河・金井 (2017) は、言葉の変化の将来性について、一般論として以下を示している。

- 表現としての規範性が高く、かつ好印象を与える A は、正用として認識されやすい
- 表現の規範性が高いが悪印象を与える B は、今後その使用が徐々に減っていく可能性が高い
- 表現の規範性が低い为好印象を与える C は、今後その使用が徐々に増えていく可能性が高い
- 表現としての規範性が低く、かつ悪印象を与える D は、誤用として認識されやすい (河・金井 2017 : 16)

河・金井 (2017) はこの仮説に基づき、日本語母語話者である大学生 49 名に、過剰敬

語についての意識調査（アンケート）を実施した。この意識調査では、文化庁における「国語に関する世論調査」や先行研究で指摘のあった表現、具体的には、二重敬語、敬称、マニユアル敬語に対する規範性と印象を尋ね、その結果を分析している。

敬称では、「大学生の A さんは、就職の説明会で司会者が『本日の説明会の順序は東芝さん、日立さん、日産さんでございます』のように会社名に『さん』をつけて紹介するのを聞いた」との設問を見てどう感じたか、表現としての規範性と印象について尋ねた。その結果をまとめたのが表 3-8 である。16 名の回答者が「表現が気になる」とし（すなわち 33 名は、表現は気にならないとした）、また、40 名の回答者が「印象がよい」（すなわち、9 名は印象が悪い）との結果だった。

表 3-8 「東芝さん、日立さん、日産さん」に対する規範性と印象に関する調査結果

	好印象	悪印象	合 計
表現として気にならない	32	1	33
表現として気になる	8	8	16
合 計	40	9	49

（出所）河・金井 2017：20。網掛けは筆者。

河・金井（2017）は、日本語の丁寧語化の一環として、サービスを提供する立場の人間が客の名前に「様」をつけることが一般的になって、これまで人名に添えられていた「さん」は企業、組織、団体名に付くようになり、大人たちの過剰な「さん付け」が大学生に刷り込まれていると指摘した野口（2009）を引用し、表現が気にならず好印象と答えた人数が全体の 32 人（表 3-8 の網掛け部分、すなわち表 3-7 の A で「表現としての規範性が高く、かつ好印象を与え、正用として認識されやすい」とした部分）と、全体（49 人）の 6 割を超えていることから、「現在、正用として認識されている表現」（河・金井 2017：25）と結論付けた。

4. 予備調査

次節で金融審議会議事録を基にしたコーパスを用いて「さん付け」の状況について詳しく調査・分析するのに先立ち、予備調査として、国会会議録を用いて「さん付け」が過去、

どのように行われてきたか、また、日本語話し言葉コーパス及び日本語日常会話コーパスを用いて、現在の日常会話における状況を確認することとする。

4.1 国会会議録

3.1 で言及したように、組織名にも敬称「さん」が付くとの語釈は、複数の国語辞典や特殊辞典で見られる。

組織名にも敬称「さん」が付くとの語釈を載せた最も古い辞書は、1995 年刊の『大辞泉』で「人を表す語や人名・役職名・団体名などに付いて、尊敬の意を表す」との記述が見られる。

『三国』では、2001 年刊の第五版には組織名に敬称「さん」が付くとの定義は見られないが、2008 年刊の第六版には「団体名につけることもある『〇〇銀行ー』」との用例が見られる。

また、『基礎日本語』の基となった森田（1980）にも「自分側ではない団体や企業・機関などを指すときに付けることがある。『うちは私学ですから、東大さんとは違います』『××会社さんはだいたい業績を挙げておられますな』」との記述が見られる。

以上のことから、20 世紀の終わりには、組織名に敬称「さん」を付けることが、また 2000 年代の早い時期にそれまでの言葉の変化を辞書に取り入れられる等、一部の辞書に載る程度には一般的になっていたことが分かった。

そこで、「国会会議録検索システム」を用いて、国会議員の発言に見られる「さん付け」の用例を探すこととした。

「国会会議録検索システム」を用いることとした理由は、長期間にわたり発話の記録を追うことができるからである。

また、検索する用語の選定に当たって、以下の点を考慮した。

- 国会の場で、長期間にわたって言及される組織であること
- 当該組織が長期間存在するだけでなく、名称の変更がないこと

以上から、調査対象を 1955 年結党の「自由民主党」とし、併せて自由民主党結党以降の「日本共産党」の 2 党に焦点を当てて「さん付け」の用例を調査した。

具体的な調査方法は、以下のとおりである。

調 査 期 間： 1955 年 11 月から 2022 年 12 月まで

対 象 会 議： 衆議院、参議院及び両院協議会・合同審査会等の全会議

検索対象語： 自由民主党さん、自民党さん、日本共産党さん、共産党さん

集 計 方 法： 国会会議録検索システムに表示される、暦年での各検索対象語の検索件数

検索の結果を 1955 年から 10 年ごとにまとめたのが表 3-9 である。(ただし、2015 年以降は 2022 年までの 8 年間。)

表 3-9 国会会議録における「政党名＋さん」の使用回数推移

期間	自由民主党さん	自民党さん	日本共産党さん	共産党さん
1955 年～1964 年	55	470	0	13
1965 年～1974 年	9	396	2	78
1975 年～1984 年	10	542	5	112
1985 年～1994 年	17	852	1	117
1995 年～2004 年	27	572	7	279
2005 年～2014 年	24	1,147	4	231
2015 年～2022 年	10	493	5	155
計	152	4,472	24	985

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 1 に掲載。

(出所) 国会会議録より筆者作成。

自由民主党が結党されたのは 1955 年 11 月だったため、同年、自由民主党を「さん付け」する議員発言は「自由民主党さん」が 1 件、及び「自民党さん」さん 1 件の計 2 件のみだった。しかし、1955 年から 10 年間で「自由民主党さん」は 55 回、「自民党さん」は 470 件も使用される等、国会内という非常に公的な場における発言にもかかわらず、政党名への「さん付け」は 60 年以上も前から使われていることが分かった。長年政府・与党であった自由民主党は国会の議論の場における中心的存在であり、他党より言及される頻度が高くそれに伴い「さん付け」も多かったものと考えられる。一方、日本共産党への「さん付け」が自由民主党に比して少ないのは、複数ある野党の 1 つで議論の場に上る回数が少な

いことによるものと推察される。

また、政党名（自由民主党、自民党、日本共産党、共産党）への「さん付け」件数の年ごとの推移を図示したのが、図 3-1 である。表 3-9 同様、1955 年から 10 年ごとの平均（ただし、2015 年からは 2022 年までは 8 年間の平均。）も併せて示した。図 3-1 から、直近 8 年間は対象年数が他の期間とは異なるため同列には扱えないが、この 70 年弱の対象年のうち、当初 30 年は年平均 50 件前後で推移していた政党名への「さん付け」が、1980 年代後半以降は大幅に増加し、年平均 100 件前後で推移していることが分かった。

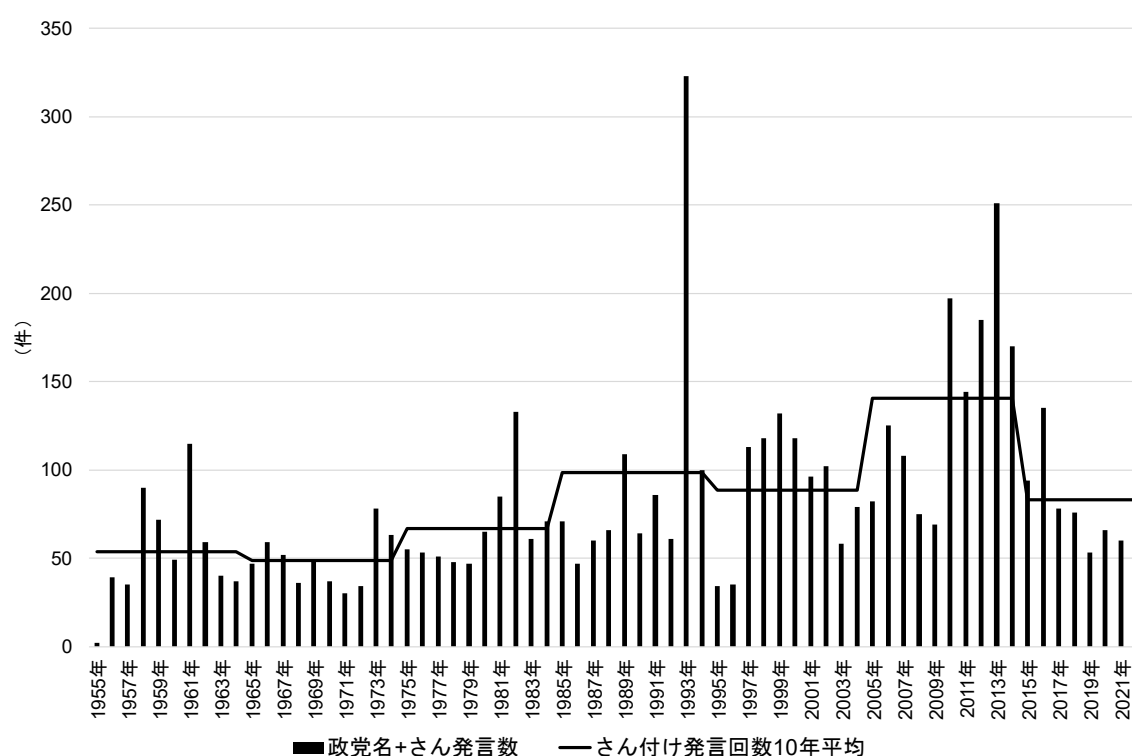


図 3-1 国会会議録における「政党名+さん」の発言回数とその 10 年平均推移

（出所）国会会議録より筆者作成。

なお、どちらの政党も、正式名称である自由民主党、日本共産党への「さん付け」は、その略称である自民党、共産党に比べ極端に少ないことが分かった。この点については、5.2.4 で考察を試みる。

4.2 日本語話し言葉コーパス

ある語彙の使用頻度を調査する際、話し言葉の場合はその調査対象として国立国語研究

所の「日本語話し言葉コーパス」(以下「CSJ⁶」という。)を利用することが考えられる。しかし CSJ は公開が 2006 年と、本研究の目的にとってはやや古く、最近の話し言葉の傾向を必ずしも示しているとは言えないこと、経年の変化が追えないこと、また、表 3-10 から分かるように、学会における講演及び模擬講演その他が全体の 95.0%、また朗読が 3.2%を占めるなど、「フォーマル」な「独話」を主とするコーパスであるため、最近の会話における組織名への「さん付け」を分析する本研究には不向きと判断した。

表 3-10 「日本語話し言葉コーパス」の音声タイプと収録時間

種類	タイプ	収録時間	比率
学会講演	独話	274.4 時間	41.5%
模擬講演その他	独話	354.0 時間	53.5%
インタビュー等	対話	12.2 時間	1.8%
朗読	独話	21.0 時間	3.2%
計		661.6 時間	100.0%

(出所) 前川 2015 : 3 より筆者作成。

4.3 日本語日常会話コーパス

国立国語研究所は 2022 年 3 月に、日本語日常会話コーパス (以下「CEJC⁷」という。)を公表した。CEJC は、「461 セッション、577 会話、計 200 時間のデータが含まれる」バランスよく収録した大規模なコーパスで、「話者は延べ 1,675 人、異なり 862 人、語数は約 240 万語 (短単位)」(小磯 2022 : 226)である。CEJC は、「性別・年齢などの観点からバランスを考慮して選別された協力者 40 名 (20 代・30 代・40 代・50 代・60 歳以上の男女、各 4 名) に機材機器等を 2-3 か月ほど貸し出し、協力者の日常生活で自然に生じる会話を協力者自身に記録」させたもので、会話の収録時期は 2019 年から 2020 年である⁸。

検索は、①短単位検索、②「キー」の「品詞」の「中分類」が「名詞—普通名詞」、③後方共起 1「キーから」「1」「語」の「書字形出現形」が「さん」と設定して行った。

その結果、検索対象語数 2,421,162 語、記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数 2,419,171 語、検索対象会話数 577 件のうち、3,787 件の検索結果 (延べ語数) が抽出できた。また異なり語数は 315 件だった。

異なり語数 315 件、及び延べ語数 3,787 件を、木村 (2014) の「さん」の前接成分で分

類した表を基に分類したのが表 3-11 である。

表 3-11 「日本語日常会話コーパス」における「さん付け」の状況

分類	異なり 語数	異なり語数全体 に占める割合	延べ 語数	延べ語数全体 に占める割合	CEJC の具体例
A (人物呼称)	2	0.6%	255	6.7%	皆 (253)
B (親族)	33	10.5%	2,444	64.5%	母 (810)、父 (558)
C (人物)	0	0.0%	0	0.0%	—
D (職業)	55	17.5%	166	4.4%	医者 (42)、ライター (12)
E (一屋)	31	9.8%	109	2.9%	本屋 (15)、肉屋 (10)
F (一員等)	12	3.8%	56	1.5%	店員 (16)、会員 (13)
G (職位)	19	6.0%	97	2.6%	師長 (27)、部長 (20)
H (〇〇人)	3	1.0%	10	0.3%	職人 (6)、外人 (3)
I (属性・性質)	9	2.9%	13	0.3%	ちび (3)、上り (2)
J (相対的関係の一方)	15	4.8%	287	7.6%	客 (151)、患者 (59)
K (階層)	0	0.0%	0	0.0%	—
L (位置)	1	0.3%	1	0.0%	番 (1)
M (人数)	0	0.0%	0	0.0%	—
N (動物)	15	4.8%	49	1.3%	鳥 (18)、カワセミ (5)
O (宗教)	14	4.4%	44	1.2%	坊 (11)、いなり (7)
P (あいさつ・慣用語)	6	1.9%	24	0.6%	苦勞 (11)、疲れ (6)
Q (自然) *	2	0.6%	5	0.1%	雷 (3)、月 (2)
W (擬人化・愛称) *	14	4.4%	31	0.8%	年少 (9)、人形 (4)
X (店名・会社名) *	23	7.3%	45	1.2%	(関東) バス (11)
Y (人名) *	19	6.0%	41	1.1%	味噌 (9)
Z (その他) *	3	1.0%	39	1.0%	おっ (さん) (37)
YY (普通名詞) *	37	11.7%	69	1.8%	会計 (9)、業者 (8)
ZZ (不明) *	2	0.6%	2	0.1%	携帯 (1)、席 (1)
総計	315	100.0%	3,787	100.0%	

(注) * 木村 (2014) に筆者加筆。() 内は延べ語数の件数。本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 2 に掲載。

- X (店名・会社名) は、「関東バス」や「ジェイコム」といった会社名で、本章の研究対象の「組織名」に相当する

もの。そのほか、話者の身近な店に言及する場合に「さん付け」する例がここに含まれる。

- Y (人名) は、CEJC で品詞の中分類を「名詞—普通名詞」にして検索した結果、抽出された語だが、前後関係から人名と判断したもの。また、CEJC で聴くことのできる音声を確認した結果、個人情報隠すいわゆる「ピー音」で該当部分の音声が入っていたこと（ただし文字情報では明記されている）からも、人名と判断した。
- Z (その他) は、「おっさん」、「こっくりさん」、「やーさん」。それぞれ、「属性・性質」、「宗教」、「職業」に分類することも考えたが、不適切と考え「その他」とした。
- YY (普通名詞) は、「農家」や「老舗」といった、「さん付け」されないであろうと考えられる例で、本章の研究対象である「普通名詞」がここに含まれる。
- ZZ (不明) は、検索結果では「助手席さん」（キーは「席」、「助手」は前接語）、「携帯さん」。音声を確認したが、複数の声がかぶって聞こえ、必ずしも文字表記されたように話していたと考えられなかったため、「不明」とした。
(出所) CEJC より筆者作成。

表 3-11 から、以下のことが判明した。

延べ語数の検索結果は 3,787 件と多いが、その約三分の二は「お父さん」、「妹さん」といった親族表現であること。

次に用例の多い「J (相対的關係の一方)」は、「お客さん」や「患者さん」、「学生さん」といった例だが、木村 (2014) は「現代の比較的若年層の用法として、恋人を意味する『彼氏』『彼女』に『さん』を付ける用法が広がりつつあるという」(木村 2014 : 268) と指摘しここに分類している。

この「彼氏」への「さん付け」例が、CEJC には用例 (5) の 1 件あった。

- (5) 河原だと #それである上のほう行ったら #はあ #うん #そっか #僕の知り合いの彼氏さんがバーベキューを仕事にしてる会社のんバーベキューをな
んですかバーベキューの会社を (T017_004)

一方、異なり語数を見ると、最も件数の多い分類は「D (職業)」の 55 件（異なり語数全体に占める割合は 17.5%、延べ語数全体に占める割合は 4.4%）で、「大工・刑事」等の「対面性の高い」職業が 15 件、「お医者さん」や「歯医者さん」の「医者」が 1 件、「お相撲さん」が 3 件、また、3.2.5 で「注視すべき」と述べた「作家・記者」等に分類したものが 36 件あった。

次に多い分類は「YY (普通名詞)」の 37 件（同 11.7%）で、表 3-11 の注にも記載したが、「農家」や「老舗」といった語への「さん付け」が全体の 1 割強もあることが判明し、5 節以下における本調査を前に「違和感」のある「さん付け」の広がりが確認できた。

なお、X (店名・会社名) には、「関東バス」や「ジェイコム」といった本章の研究対象の「組織名」に相当すると考えられる会社名が含まれるものの、その多くは、話者の身近

な店に言及する場合に「さん付け」する例がここに含まれている。用例（6）はその一例である。

- (6) あそこで #あ #せいちゃんとお寿司屋さん行ったんでしょ #おばあちゃん
#うん #よね寿司さん #はい #うん #あの卵焼きが上手なところ #はー
#あ #そう #行ったの #うん #あのカ佳奈さん (K005_006)

5. 本調査

5.1 調査対象

5.1.1 調査対象選定基準

本調査に当たって、金融庁がその事務を所管する金融審議会議事録を基にコーパスを作成し、そこから「組織名＋さん」の出現件数や使われ方を分析することとした。

金融審議会とは、金融庁設置法（平成十年法律第百三十号）第7条に規定される「内閣総理大臣、長官又は財務大臣の諮問に応じて国内金融に関する制度等の改善に関する事項その他の国内金融等に関する重要事項を調査審議すること」（同条第1項第1号）、及び「前号に規定する重要事項に関し、内閣総理大臣、長官又は財務大臣に意見を述べること」（同条第1項第2号）等を行う会議体である。また、「金融審議会の委員その他の職員で政令で定めるものは、内閣総理大臣が任命する」（同条第2項）こととされている。

金融審議会議事録を調査対象に用いることとした理由は、以下のとおりである。

- 原則として 2001 年以降の審議会議事録が、要旨ではなく発言録として、金融庁ウェブサイトで公表されていること
- 特定のテーマに係るフォーマルな議論の場における対話であること
- 発言者が特定できること
- 発言者が、学者、公務員、金融機関関係者、その他有識者と、多様かつ構成が明らかであること
- 発言者の中で、特に学者及び公務員は、長期にわたって委員や事務局を務めることが多く、必要であれば経年の変化を追うことが可能であること

ただし、以下の限界がある点に注意が必要である。

- 民主党政権下の 2010 年には金融審議会が開催されなかったこと
- 公開のフォーマルな場での発言であり、特に委員の初回発言は、事前に用意した原稿を読み上げる形での発言が多いと思われること
- 金融庁ウェブサイトにおける議事録公表前に、各委員に議事録案の確認が求められることから、発言内容が修正されて議事録として公表されている可能性があること

筆者は上述の注意点について、以下の点から解決できるものと考えた。

- 「発言の事前準備」の点に関しては、委員の 2 回目以降の発言や質疑に対する応答は事前に準備することがかなわないため、全体としては発言者の自然な発話と考えられること、またフォーマルな場での発言であることから、発言者の発話が途中で遮られることが少なく、主述がはっきりしており、またフィラーの少ない発話であること
- 「発言内容の修正の可能性」に関しては、委員の一人⁹から「主述がはっきりしないなど、文意が分かりにくいときに必要最低限の修正をするにとどめている」旨を確認したこと、またそのことは、書き言葉であれば書き残さないようなことが文字化されていることから裏付けられると考えたこと

金融庁には金融審議会のほか企業会計審議会が設置されているが、審議の対象が企業の会計、監査といった狭い分野を対象としていること、また、資料が公表されていない会議が多く発言者を特定できないことから、調査の対象とはしないこととした。

5.1.2 調査の手順

調査は、金融審議会の議事録をエクセルにコピー・ペーストし、(1) 発言の中から「さん付け」(及び「様付け」)の用例を抽出しデータベース化、(2) (1)の作業で作成したデータベースを基に、「さん付け」(及び「様付け」)の用例の、イ)組織名か普通名詞の別の整理、ロ)年代別の整理、ハ)発言者の氏名と職業の整理、(3)同じく(1)の作業で作成

したデータベースを基に、「さん付け」（及び「様付け」）の用例の、イ）同席事例かどうかの判定、ロ）統一的な使用例か否か、ハ）配慮の有無、ニ）列挙時の敬称の付き方、を分析する。

上述の（２）の作業により、1.3 で掲げた、①「さん付け」表現の現れる時期、②「さん付け」表現の特徴、③「さん付け」表現の３つの調査の目的のうち、①と②が解明されると考える。また、（３）の作業により、目的の③を判断する材料が得られるものとする。

5.1.3 コーパスの全体像

金融審議会は金融庁ウェブサイト¹⁰に掲載された全会議のうち、議事要旨又は資料のみの公表で議事録の公表のない「自動車損害賠償責任保険制度部会」、「金利調整分科会」、「第一部会－ディスクロージャーワーキング・グループ」、「第一部会－法制ワーキング・グループ」、「第一部会－公開買付制度等ワーキング・グループ」、及び「基本問題懇談会」の６つ会議体を除く会議体のうち、2001年１月から2020年12月末までの20年間に開催されたものを本研究の調査対象とした。なお、前述のとおり、2010年は民主党政権下、金融審議会は開催されなかった。なお、本件の調査対象審議会の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料３に掲載した。

調査対象となる金融審議会の総審議時間は、871.7 時間だった。審議時間は年によってばらつきがあるが、20年間の平均で年43.6時間（金融審議会が開催されなかった2010年を除く19年間平均は、年45.9時間）だった。図3-2に、各年の審議時間と、その5年平均の推移を図示した。

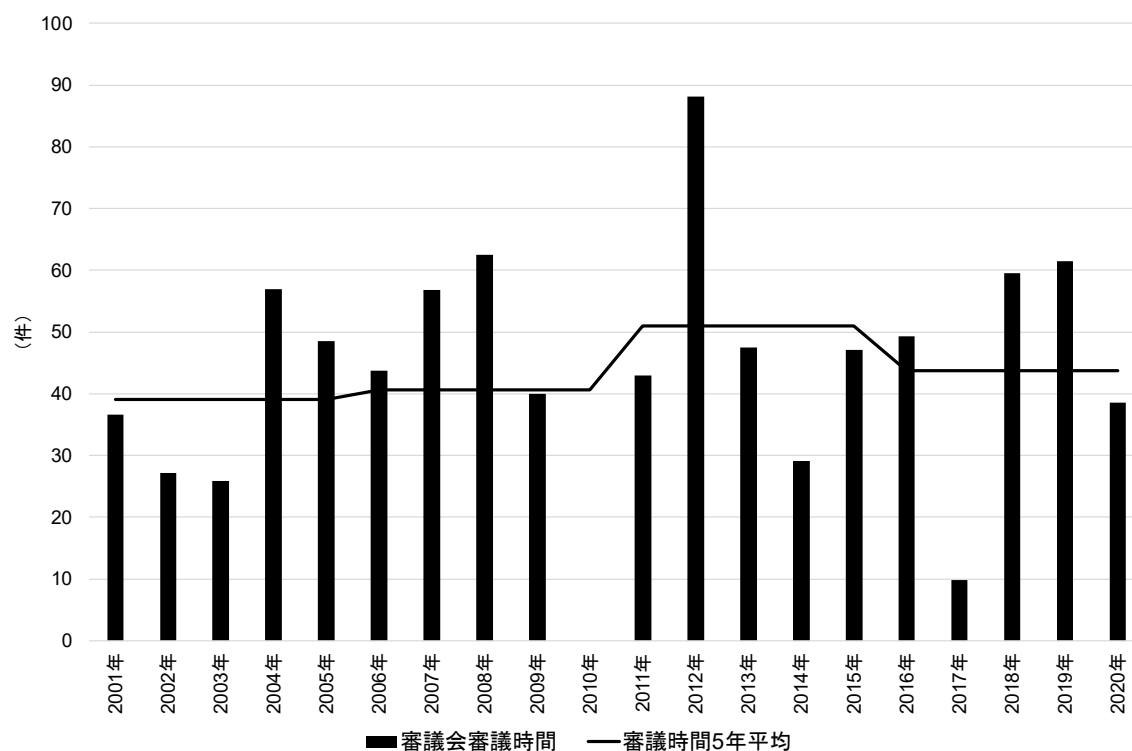


図 3-2 金融審議会における審議時間とその 5 年平均の推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 4 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

また、調査期間の発言者総数は、1,058 人で、その職業別の人数と全体に占める割合を表 3-12 に示した。

表 3-12 金融審議会における発言者の職業区分とその比率

職業区分	人数（名）	比率
金融機関勤務者	447	42.2%
公務員	237	22.4%
学者	119	11.2%
事業会社勤務者	113	10.7%
政治家	31	2.9%
弁護士	20	1.9%
その他	91	8.6%
計	1,058	100.0%

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

金融機関勤務者が 447 名で全体の 42.2%、主として金融庁勤務の公務員が 237 名（同 22.4%）、学者が 119 名（同 11.2%）、事業会社勤務者が 113 名（同 10.7%）等との結果だった。

5.2 調査結果

5.2.1 「組織名＋さん」

5.2.1.1 発言件数

金融審議会において「組織名＋さん」がどのくらい使われているかを勘定した。その数は、延べ語数で 1,120 件、異なり語数は 344 件あった。延べ語数の多い上位 5 例を挙げたのが表 3-13 である。

表 3-13 金融審議会における「組織名＋さん」の延べ語数上位例と「さん付け」比率

順位	用例	「組織名＋さん」 延べ語数 (A)	全体に占める割合 (A) / (B)	当該語の延べ語数 (C)	「さん付け」比率 (A) / (C)
1	金融庁さん	136	12.1%	2,420	5.6%
2	東証さん	67	6.0%	662	10.1%
3	ヤフーさん	23	2.1%	111	20.7%
3	全銀協さん	23	2.1%	229	10.0%
5	経済産業省さん	21	1.9%	229	9.2%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
		1,120 (B)	100.0%	—	—

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 5 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

具体的には「金融庁さん」が 136 件、以下、「東証さん」67 件、「ヤフーさん」及び「全銀協さん」23 件、「経済産業省さん」21 件だった。

次に、「組織名＋さん」がどれくらいの頻度で使われているか、その比率をみる必要があるが、当該語、例えば「金融庁さん」における「金融庁」が使われた件数が金融審議会コーパス全体で何件あるかを厳密に勘定するのは難しい。表 3-13 の当該語の延べ語数は、エクセルのフィルターを用いて当該語の件数を単純に集計したものである。金融庁や東証を例にとると、例えば、

- (7) 金融庁側のメンバーを紹介させていただきます。(金融審議会金融分科会第一部会(第1回)、大森泰人)。「金融庁」の後に他の語である「側」が続き、複合語となっているケース(下線筆者、以下同。)
- (8) この報告を昨年12月18日に頂きました後、金融庁といたしまして、12月21日に市場強化プランというものを取りまとめさせて頂きました。(金融審議会金融分科会第一部会(第53回)、池田唯一)(池田は金融庁職員)
- (9) そうなれば、今現在の東証一極というような状況に対する対抗勢力としては十分に力を持つことができると考えています。(金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第9回)、有田浩之)(複合語とまでは言えないケース)
- (10) 投資をした対価だから、あるいは東証のシステムを利用する際に利用料払っているからいいのかというふうに言い切っていいのかというところも…。(金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第1回)、永沢裕美子)

といった例がみられる。複合語になっている用例(7)、「身内」に言及している用例(8)、複合語とまでは言えないが間に「さん」を入れて「東証さん一極」とは言いづらいといった、間に別の語を入れにくい用例(9)は勘定せず、用例(10)のような語を集計し、なぜ「さん」を付けなかったかを分析すべきであろう。しかしながら、現実的にはそれは難しいことから、上述のとおり、便宜上、エクセルのソート機能を用いて集計した結果を用いることとした。

その結果、金融庁は延べ語数が多いため「金融庁さん」の「さん付け」比率が5.6%にとどまっているが、他の語は1割から2割と、高い比率で「さん付け」していることが判明した。また「組織名+さん」の延べ語数に占める「金融庁さん」の延べ語数の割合は12.1%と、突出して多いことも判明した。

5.2.1.2 発言件数推移

4.6 で見たように、2010年には金融審議会が開かれなかったことからデータがなく、また、2017年は開催回数が5回で審議時間が計10時間しかなかったことから、「組織名+さん」の発言頻度がないか極端に少ない結果となっている。一方2008年は、審議時間は他の年に比べ長かった訳ではないが、「組織名+さん」の延べ語数は187件と突出して多かった。

「組織名＋さん」の発言頻度の年ごとの推移を示したのが図 3-3 である。「組織名＋さん」の延べ語数は年によって大きなバラツキがあるため、2001 年から 5 年ごとの「組織名＋さん」の延べ語数の平均も併せて示した。2001 年から 5 年ごとに、28.6 件、60.0 件、59.0 件、76.4 件と、5 年平均でみると、この 20 年間で約 2.7 倍になったことが明らかになった。

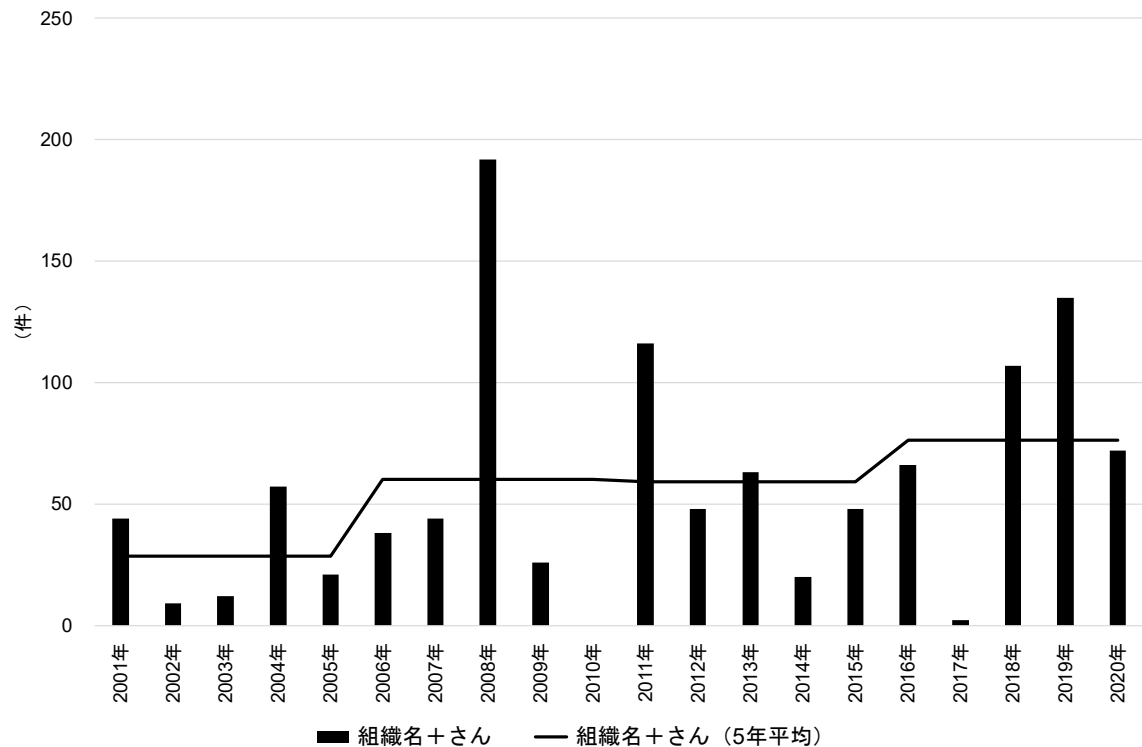


図 3-3 金融審議会における「組織名＋さん」の発言件数とその 5 年平均推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 6 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.2.1.3 発言者使用件数推移

金融審議会において「組織名＋さん」の使用者数は、総発言者 1,058 人中、27%に当たる 285 人だった。「組織名＋さん」の延べ語数は、5.1.1.1 で述べたとおり 1,120 件である。表 3-14 は「組織名＋さん」の発言回数上位 10 人の委員名、職業、発言件数（延べ語数）とその全体に占める比率を表にしたものである。

表 3-14 金融審議会における「組織名＋さん」の上位使用者

順位	委員名	職業	件数 (A)	全体に占める比率 (A) / (B)
1	A	金融機関勤務者	35	3.1%
1	B	事業会社勤務者	35	3.1%
3	C	学者	32	2.9%
4	D	その他	31	2.8%
5	E	金融機関勤務者	21	1.9%
6	F	公務員	20	1.8%
7	G	金融機関勤務者	18	1.6%
8	H	事業会社勤務者	16	1.4%
9	I	学者	15	1.3%
9	J	金融機関勤務者	15	1.3%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
101～129	(略)	(略)	各 3	0.3%
130～182	(略)	(略)	各 2	0.2%
183～285	(略)	(略)	各 1	0.1%
計			1,120 (B)	

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 7 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

次に表 3-15 は、「組織名＋さん」の発言回数の多い上位 50 人の発言件数とそれが全体に占める割合を示したものである。人数では全体の 4%に満たない上位 10 人で、「組織名＋さん」の発言件数の約 2 割、全体の約 14%の上位 40 人で「組織名＋さん」の発言件数の半数近くを占める等、「組織名＋さん」を使う人にかかなり偏りがあることが判明した。

表 3-15 金融審議会における「組織名＋さん」の上位使用者の発言件数

上位人数	使用者数全体 (285 人) に 占める割合	「組織名＋さん」 延べ語数	延べ語数 (1,120 件) に 占める割合
上位 10 人	3.5%	238	21.3%
上位 20 人	7.0%	365	32.6%
上位 30 人	10.5%	465	41.5%

上位人数	利用者数全体（285 人）に 占める割合	「組織名＋さん」 延べ語数	延べ語数（1,120 件）に 占める割合
上位 40 人	14.0%	543	48.5%
上位 50 人	17.5%	603	53.8%
⋮	⋮	⋮	⋮
計	100.0%	1,120	100.0%

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

次に表 3-16 は、表 3-12 で示した金融審議会における発言者数の職業構成比率と「組織名＋さん」の利用者数の職業構成比率、及び各職業分類の「組織名＋さん」使用者比率を示したものである。

上述のように、金融審議会において組織名を「さん付け」した人は 285 人で、全発言者 1,058 人の約四分の一強だったが、その約半数近くは、金融機関及び業界団体等の役職員であるとの結果だった。

表 3-16 金融審議会における職業別発言者数及び「組織名＋さん」発言者とその比率

職業分類	発言者数 (A)	発言者数の 職業別構成比 (A) / (B)	「組織名＋さん」 利用者数 (C)	「組織名＋さん」 利用者数の構成比 (C) / (D)
金融機関勤務者	447	42.2%	130	45.6%
公務員	237	22.4%	29	10.2%
学者	119	11.2%	38	13.3%
事業会社勤務者	113	10.7%	47	16.5%
政治家	31	2.9%	1	0.4%
弁護士	20	1.9%	9	3.2%
その他	91	8.6%	31	10.9%
計	1,058 (B)	100.0%	285 (D)	100.0%

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

金融審議会の発言者の職別構成及び、「組織名＋さん」を使用した委員の職業別構成を比較したのが図 3-4 である。このグラフから、金融審議会では、発言者全体の職業構成に比べ、「組織名＋さん」を使用する金融機関及び事業会社出身委員が多いこと、また、「組織名＋さん」を使用する、主として金融庁職員で構成される公務員は、金融審議会全体にお

ける構成比に比して少ないことが判明した。

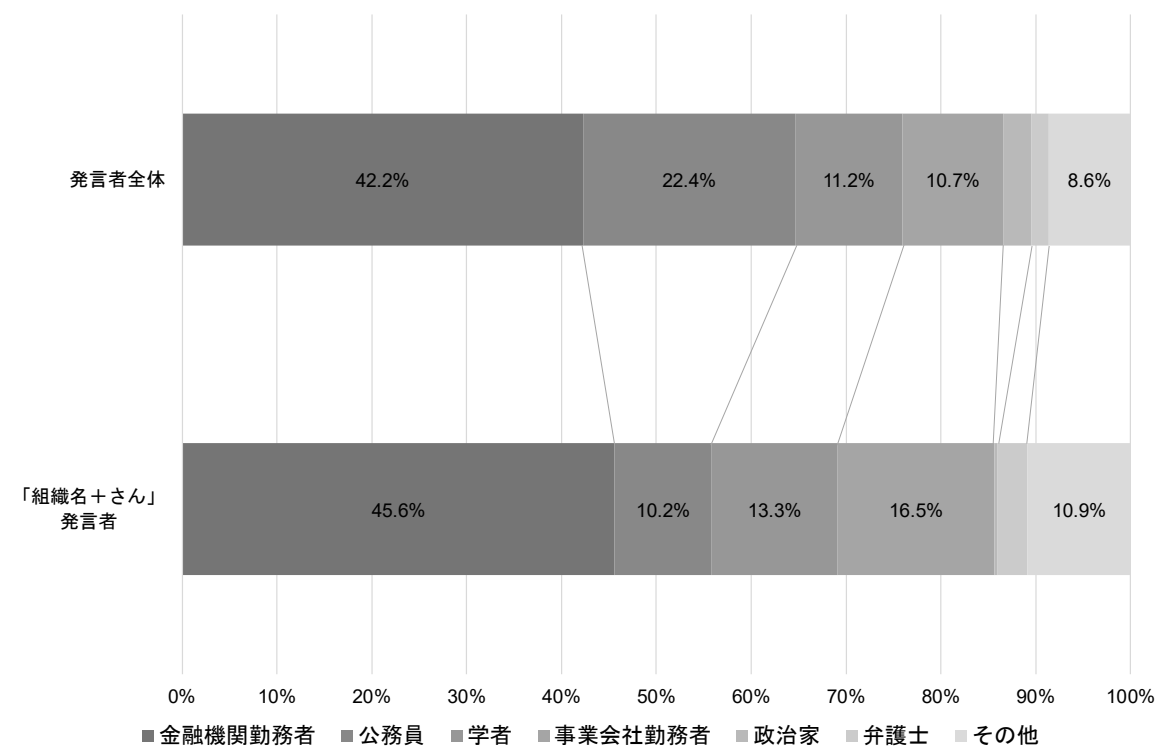


図 3-4 金融審議会発言者及び「組織名+さん」発言者の職業別構成比比較

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.2.2 「普通名詞+さん」

5.2.2.1 発言件数

2.4 において、組織名以外の名詞のうち、「理事長さん」や「会長さん」等の役職名や肩書、及び「蕎麦屋さん」や「本屋さん」等の店の業種を指す名詞以外の名詞を「普通名詞」と定義した。この「普通名詞」の中でも、5.1.1 で調査した「さん付け」対象組織をより抽象化した語、具体的には、「証券」や「銀行」等に「さん」が付くものと想定して調査を開始したが、筆者の想定を超える名詞に「さん」を付けている実態が明らかになった。

まず、普通名詞に「さん」を付けた用例の上位 10 件を表 3-17 に示した。

表 3-17 金融審議会における「普通名詞+さん」の延べ語数上位例と「さん付け」比率					
順位	用例	「組織名+さん」 延べ語数 (A)	全体に占める割合 (A) / (B)	当該語の延べ語数 (C)	「さん付け」比率 (A) / (C)
1	銀行さん	145	8.7%	9,142	1.6%

順位	用例	「組織名＋さん」 延べ語数 (A)	全体に占める割合 (A) / (B)	当該語の延べ語数 (C)	「さん付け」比率 (A) / (C)
2	会社さん	124	7.4%	12,274	1.0%
3	企業さん	109	6.5%	7,092	1.5%
4	業者さん	70	4.2%	5,905	1.2%
5	金融機関さん	69	4.1%	5,693	1.2%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
		1,665 (B)	100.0%	—	—

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 8 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

「銀行さん」の 145 件を筆頭に、「会社さん」、「企業さん」、「業者さん」と続き、異なり語数 307 件、延べ語数 1,665 件を数えた。異なり語数は上述の「組織名＋さん」と比較すると約 11%少ないが、「普通名詞＋さん」の延べ語数は「組織名＋さん」の約 1.5 倍に上る。

「組織名＋さん」と同様「普通名詞＋さん」も、当該語の全体に占める割合を算出する必要があるが、5.1.1.1 でも述べたとおりこれを厳密に集計することは難しく、エクセルのソート機能を利用して当該語の延べ語数を単純に数え上げたものを基に集計した。そのため、「銀行」の「さん付け」比率が 1.6%と低い数値が出ているが、これは上述のとおり当該語の延べ語数に対する比率である上、金融審議会において「銀行」の語に言及することが非常に多いため、比率が低く出たものと考えられる。

ここでは、金融審議会における当該語の具体的な用例を見る。

- (11) このグラフをごらんいただければ、ある意味原因は一目瞭然かなという気がするわけでございまして、ではなぜ銀行さんはこういった行動をされるのか。(金融審議会金融分科会第一部会 (第 5 回)、大崎貞和)
- (12) 一方、アメリカ、もしくは日本においても、投資家から報酬を取ることを中心とした会社さんもございます。(金融審議会金融分科会第一部会 (第 53 回)、北山慶)
- (13) もう一つは、企業さんによりわかりやすく、従業員の方に向けて、退職一時金、企業年金が現時点でどの程度積み上がっているのかという開示をよりお願いしたいです。(金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第 16 回)、竹川美奈子)

(14) その場で事業規模を聞いても質問のしようがありませんので、どれぐらいの規模の業者さんをお呼びになって、どういうヒアリングをするか事前にお知らせいただけるのでしょうか。(金融審議会金融分科会第二部会会合(第18回)、加藤貞男)

(15) 総合的な情報源というのは、設立から撤退まで金融機関さんは専門家でありますので、また、そういったことの代理人であっていただきたいと希望しております。(金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」(第6回)、高須俊行)

表 3-18 は、上位 10 語から 50 語までの語が金融審議会でも何回使われたか、及びそれが延べ語数に占める割合を示したものである。上位 10 語で全体の 45%、上位 20 語で半数を超え 6 割弱に上り、上位 50 語で全体の約四分の三となるなど、「さん付け」をした同じ普通名詞名が、金融審議会でも繰り返し使用されていたことが明らかになった。

表 3-18 金融審議会における「普通名詞+さん」の使用頻度上位語の使用件数

上位語数	用例数全体(307件)に 占める割合	「普通名詞+さん」 延べ語数	延べ語数(1,665件)に 占める割合
上位 10 語	3.3%	755	45.3%
上位 20 語	6.5%	978	58.7%
上位 30 語	9.8%	1,108	66.5%
上位 40 語	13.0%	1,194	71.7%
上位 50 語	16.3%	1,251	75.1%
⋮	⋮	⋮	⋮
計	100.0%	1,665	100.0%

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.2.2.2 使用件数推移

「普通名詞+さん」がいつ頃から頻繁に使われるようになってきたかを示したのが、図 3-5 である。年によってばらつきが多く、傾向は一概には見出せないが、「組織名+さん」の用例調査と同様に 5 年ごとの平均の推移を見ると、2006 年以降、それまでの 5 年平均 50 件以下から 100 件前後に増加したことが見て取れる。

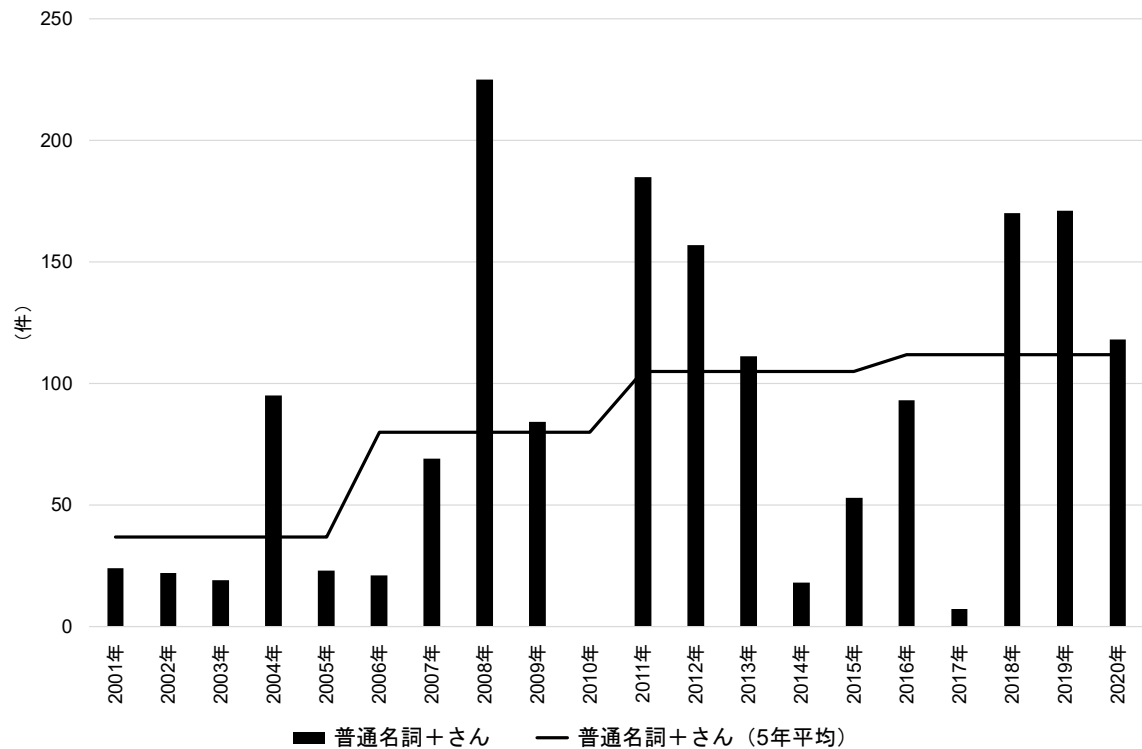


図 3-5 金融審議会における「普通名詞＋さん」の発言件数とその5年平均推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料9に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.2.2.3 発言者使用件数推移

金融審議会において「普通名詞＋さん」の使用者数は、総発言者 1,058 中 27%に当たる 286 人だった。「普通名詞＋さん」の延べ語数は、1,665 件だった。表 3-19 は、金融審議会における「普通名詞＋さん」の上位使用者 10 名の氏名、職業、件数及びその全体に占める比率をまとめたものである。

表 3-19 金融審議会における「普通名詞＋さん」の上位使用者

順位	委員名	職業	件数	全体に占める比率
1	A	金融機関勤務者	66	4.0%
2	B	事業会社勤務者	39	2.3%
3	C	公務員	38	2.3%
4	D	金融機関勤務者	36	2.2%
5	E	その他	35	2.1%

順位	委員名	職業	件数	全体に占める比率
6	F	金融	31	1.9%
7	G	学者	30	1.8%
8	H	事業会社	30	1.8%
9	I	金融	28	1.7%
10	J	学者	26	1.6%
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
計			1,665	100.0%

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 10 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

次に表 3-20 は、「普通名詞＋さん」の使用件数の多い 50 人の延べ語数とそれが全体に占める割合を示したものである。人数では約 4%弱に過ぎない上位 10 人で、「普通名詞＋さん」の延べ語数は 2 割強、全体の約 15%弱の上位 40 人で、「普通名詞＋さん」の延べ語数の半数を占める等、「さん付け」発言者に偏りがあるのは、「組織名＋さん」と同様の結果だった。

表 3-20 金融審議会における「普通名詞＋さん」の上位使用者の発言件数

上位人数	使用者数全体（286 人）に 占める割合	「普通名詞＋さん」 延べ語数	延べ語数（1,665 件）に 占める割合
上位 10 人	3.5%	359	21.6%
上位 20 人	7.0%	583	35.0%
上位 30 人	10.5%	754	45.3%
上位 40 人	14.0%	880	52.9%
上位 50 人	17.5%	985	59.2%
⋮	⋮	⋮	⋮
計	100.0%	1,665	100.0%

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.2.3 「組織名＋様」、「普通名詞＋様」

組織名及び普通名詞（以下「組織名等」という。）への「さん付け」調査の早い段階から、組織名等に「様」が付く用例が散見されたため、併せてその用例の件数や使われ方について

て調査を行った。

その結果、金融審議会において組織名に「様」を付けた異なり語数は 84 例、延べ語数 157 件、普通名詞に「様」を付けた語の異なり語数は 87 件、延べ語数は 224 件あった。そのうち延べ語数の上位 5 位を、表 3-21 にまとめた。

表 3-21 金融審議会における「組織名＋様」、「普通名詞＋様」の上位用例と件数

項番	組織名＋様	延べ語数	普通名詞＋様	延べ語数
1	金融庁様	17	企業様	23
2	楽天様	7	加盟店様	18
3	東証様	7	ユーザー様	15
4	全銀協様	6	金融機関様	12
5	ファラロン・キャピタル様	5	投資家様	10
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮
	計 84 件	157 件	計 87 件	224 件

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 11 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

次に、「組織名等＋様」がいつ頃からどの程度使われたのか、件数を時系列に示したのが図 3-6 である。

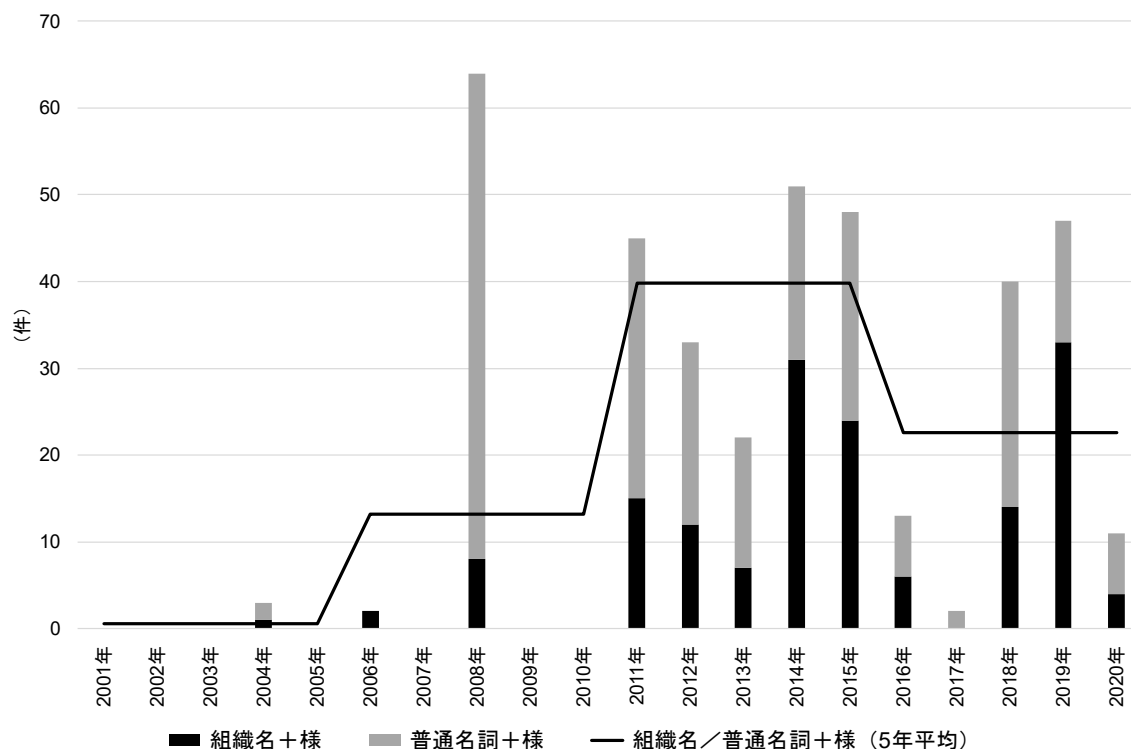


図 3-6 金融審議会における「組織名／普通名詞+様」の発言件数とその5年平均の推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 12 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

2008 年には、非常に多くの普通名詞が「様付け」されたものの、これを除くと 2000 年代の「様付け」例は非常に少ない。多く見られるようになったのは、2011 年以降であることが判明した。

5.2.4 「さん付け」の傾向－前接語のモーラとの関係¹¹

4.1 の国会会議録を基にした政党名への「さん付け」について、「自民党さん」及び「共産党さん」に比べ、両党の正式名称である「自由民主党」及び「日本共産党」への「さん付け」、すなわち「自由民主党さん」、「日本共産党さん」の例が極端に少なかった点を指摘した。自由民主党は「自由党」と「民主党」の2つの政党が合同して結成した際、両党の名を足して命名、また、日本共産党は「共産党」に国名を冠した政党名であり、両党とも正式名称が長いことから略称が頻繁に用いられているものと考えられる。しかしながら「さん」の前接語モーラが長い場合、「さん付け」が回避されるか、又は略称があればモーラの短い略称を用いるのではないかと考えた。

会社名は相手企業の「名前」であり、当該会社の社員以外が略称を用いるのは普通、失

札に当たるので「組織名＋さん」の用例は用いず、「普通名詞＋さん」の用例のモーラを勘定し、その異なり語数をグラフ化したのが図 3-7、また、延べ語数をグラフ化したのが図 3-8 である。

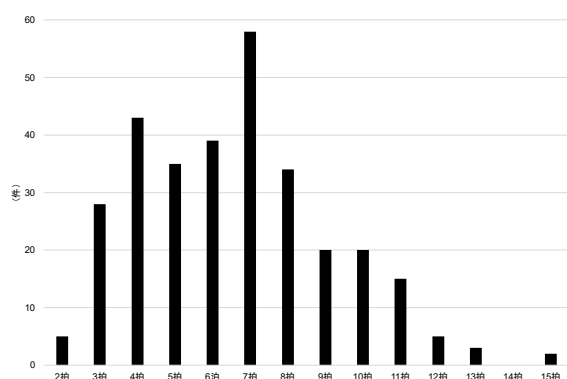


図 3-7 さんの前接語のモーラ数別件数（異なり語数）

（注）本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 13 に掲載。
（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

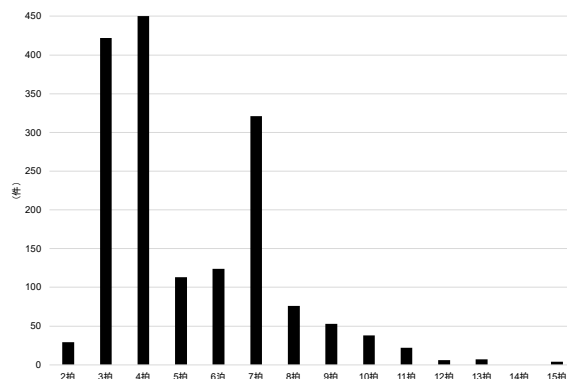


図 3-8 さんの前接語のモーラ数別件数（延べ語数）

（注）本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 13 に掲載。
（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

「さん付け」と「さん」の前接語のモーラ数を見ると、異なり語数では 8 モーラ以下が多いが、2 モーラの例を除き、大きな差は見られないこと、一方、延べ語数で見ると、4 モーラ、3 モーラ、7 モーラの順に多く、これら 3 つは他のモーラ数の用例の件数を圧倒していることが分かった。

また、正式名称と略称の関係を見ると、地方銀行は「地方銀行さん」（前節語の拍数 7 モーラ）9 件に対してその略称に「さん付け」をした「地銀さん」（同 3 モーラ）は 32 件だった。それに対して、信用組合は、「信用組合さん」（同 8 モーラ）18 件に対して、その略称「信組さん」（同 3 モーラ）は 14 件と正式名称に対する「さん付け」の方が多く、また信用金庫に至っては、「信用金庫さん」（同 7 モーラ）が 49 件に対して、その略称である「信金さん」（同 4 モーラ）が 28 件であり、前接語のモーラ数の多寡と「さん付け」との関係がはっきりしない結果だった。

金融審議会の「さん付け」用例は、金融に係る専門的な内容でモーラ数の多い語が多いこと、また、公的な場で話していることもあり、一般に略称を用いにくいことも考えられる。単にモーラ数と件数の関係にとどまらない別の要素を考える必要があり、今後の課題としたい。

5.2.5 まとめ

ここまで、2001年1月から2022年12月までの20年間にわたる金融審議会における委員の発言を分析し、「組織名+さん」及び「普通名詞+さん」が誰にどのように使われてきたのかを明らかにしてきた。

図3-9は、前述の図3-3及び図3-5を並べて比較したものである。併記することで両者の差が一層明らかになった。

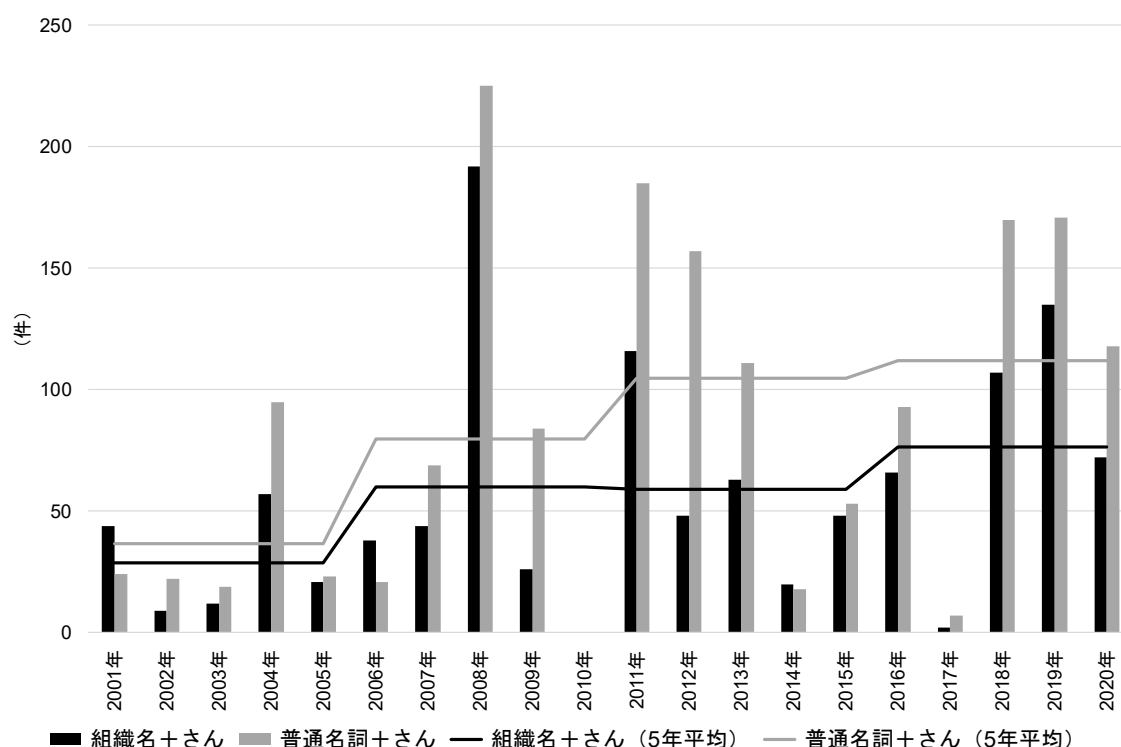


図3-9 金融審議会における「さん付け」の延べ語数及び5年平均推移

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5年ごとの平均の推移をみると、「組織名+さん」も「普通名詞+さん」も共に、年を経るごとに増加傾向しているが、「普通名詞+さん」の方が「組織名+さん」に比して使用件数の増加が著しいことが分かった。

表3-2で見たように、一部の国語辞典では、団体名に「さん」を付ける旨の記述が現れてはいるが、「普通名詞」にまで「さん付け」する例がある旨の記述はまだない。組織名への「さん付け」でさえ「違和感」を感じる中、「普通名詞」への「さん付け」例が「組織名」への「さん付け」以上に使われていることが明らかになり、筆者の経験を裏付ける結果と

なった。

また、「組織名等」への「さん付け」は、限られた人により頻繁に用いられる傾向にあることも分かった。これもまた、冒頭の問題意識で示した筆者の体験を裏付ける結果となった。

5.3 考察

5.2 調査結果及び分析では「さん付け」を組織名と普通名詞に分けて、その使用頻度等を見てきた。

5.3 項では以下、「さん付け」にどのような傾向があるのか、「揺れ」はあるのか、あるとすれば何に対してどの程度あるのかを調べるために、(必要に応じて「組織名+さん」と「普通名詞+さん」の別による違いを見るものの、) 基本的には、組織名と普通名詞を区別せずに、(1) 統一的な使われ方か否か、(2) 同席者への配慮の有無、(3) 同席者以外への配慮の有無、及び (4) 「さん付け」をされた組織名等が列挙された際の使われた方、について考察を行う。

5.3.1 統一的な使われ方か否か

発言者が自身の発言で組織名等に「さん付け」する際、対象となった語全てに「さん」を付けているかどうかを調査した。

具体的には、まず、ある発言者が議長から指名され発言の機会が与えられてから自分の発言が終了するまでを「1 ターン」と定義した。そして、その 1 ターン中、「さん付け」されたある語が常に「さん付け」されていた場合を「統一的」な使用とした。

用例 (16) では、大楠参考人と藤原メンバーに挟まれた飛山メンバーの発言を「1 ターン」とし、この 1 ターンの発言に現れた 2 回の「金融庁」の語が 2 度共「さん付け」されていることから、これを「組織名等+さん」の「統一的」な用例として勘定した。なお、ここでは「金融庁さん」が 2 回出てくることから「統一的」な用例件数 2 件と勘定した。

(16) **大楠参考人**：…そういう意味では東証さんがやっぱり独自のリーダーシップを発揮して頂きたいと思っております。

飛山メンバー：欧米では、金融庁さんの資料にもありましたけれども、一定以上の第三者割当には一定の制限があるとか、株主割当が原則でありますし、そうし

たことから日本の第三者割当は外国の投資家から見ますと非常に強い批判にさらされているということでもあります。まずは、MSCB の発行についてですが、問題意識としましては、既存株主の権利が著しく希薄化されるおそれがあること、さらに、株価下落を誘引しやすいのではないかとということでもあります。現在の東証における規制は、先ほど金融庁さんからもご説明いただいたとおりですが、MSCB 発行時に尊重すべき事項を企業行動規範として定めておりまして、その違反行為については公表措置をとり得るとということが明記されております。

藤原メンバー：2 つ目は MSCB に関してです。…（金融審議会「我が国金融・資本市場の国際化に関するスタディグループ」（第 17 回）、大楠泰治、飛山康雄、藤原美喜子）

次の用例（17）では、貝塚会長と島上委員に挟まれた福間委員の発言を「1 ターン」として、その間、「銀行」の語が 3 度使われているが、初回は「銀行さん」と「さん付け」しているにも関わらず、2 回目以降は「さん付け」はしていない。本研究ではこれを「不統一」な使用とした。またこの「不統一」な用例件数は 3 件と勘定した。

（17）**貝塚会長：**…ある意味では銀行と企業の関係で変化が起きているとというふうに理解してよろしいのでしょうか。

福間委員：一つはさっき言いましたように企業の資金調達に大きな変化が生じてきたということ。もう一つは銀行さん自体もメインバンクだから云々という論理で動いていては、コスト・リターンからだんだん採算が合わないというのが実情になっていまして、恐らく今後の形は、日本での融資形態も、我々はプロジェクトのファイナンスではそうしているんですが、あらかじめリスクの限界を明確に定めたシンジケートローンというような格好に変わってくるのではないかなと思っています。かつての底積み資金、あるいは運転資金的なものは CP と社債に代替されてきたので、そうなると、リスクのはっきりした個別のプロジェクトのシンジケーションを銀行ではやられる。この場合もシンジケーションの幹事行はかつてのメインバンクがおやりになることが多い。というのは、やはり企業が取り組んでいるプロジェクトをより理解されていることだろうと思います。繰り返

しになりますが、企業の資金調達が多様化ということが、銀行と企業との関係の変質、つまりややアメリカ型の CORE BANKS というような形に変わってきていると思います。

島上委員：私どもも CORE BANKS というコンセプトで今やっておりますけれども、…。(金融審議会金融分科会第二部会(第5回)、貝塚啓明、福岡年勝、島上清明)

また、1ターンの発話中、「さん付け」をした語が1回しか出てこなかった場合は、統一的な使われ方か否かを「不明」とした。

金融審議会における「組織名等+さん」が1ターン中どのように使われたかをまとめたのが表3-22である。

表 3-22 金融審議会における「組織名等+さん」の1ターンの発話中の使われ方

	件数	比率	「不明」を除いた件数	「不明」を除いた比率
不 明	1,484	50.7%		
統一的	837	28.6%	837	58.0%
不統一	560	19.1%	560	38.9%
その他	44	1.5%	44	3.1%
計	2,925	100.0%	1,441	100.0%

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

「さん付け」延べ語数は、5.1 で解説した「組織名+さん」1,120 件、及び「普通名詞+さん」1,665 件のほか、「弁護士さん」や「会計士さん」といった職業等に「さん付け」した例 138 件、及び「課長」等の肩書に「さん付け」した例 2 件の、計 2,925 件である。

この 2,925 件のうち、1 ターン中に「さん付け」をした同一組織名等が複数回ない「不明」件数が 1,484 件あり、これが全体の約 50.7%を占めた。この「不明」を除いた 1,441 件のうち、統一的に「さん付け」が行われていたのが 58%に当たる 837 件あった。また、不統一用例が約 39%の 560 件あった。

なお、表中の「その他」44 件は、1 ターンの発話中、「組織名等+さん」と「組織名等+様」が混在した事例で、その例を用例(18)に示した。

- (18) そういう意味では、直接これがふさわしい例なのかどうかよくわからないのでございますけれども、スタディ・グループのたしか第 5 回だったと思いますが、資金移動業者様から送金限度額の引き上げといった要望がなされていたと記憶しているのでございますけれども、私どもが拝見するところによりますと、移動業者様の送金 1 件当たりの平均金額というのは実は 2 万円程度ということでございまして、そういった 100 万円を超えるようなニーズがどれだけあるのかなといったところは、いささか疑問なしとしないところでございます。私どもも例えばグローバルな意味でファイナンシャルインクルージョンということで、銀行サービスをこれまで使われてこなかったようなお客様に、リーズナブルな料率でサービスを提供するといった意義については十分承知しておりまして、2010 年施行の資金決済法に伴って移動業者さんが参入されてきたことについては、その存在意義については私どもも全く異議はございませんけれども、こと、限度額については、実際それほどのニーズがあるのかなといったのが正直なところでございます。(金融審議会「決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ」(第 1 回)、鳥海巖)

次に図 3-10 は、「組織名等+さん」が統一的に使われた用例及び不統一な使われ方をした用例の年ごとの推移、並びそれらの 5 年平均推移を示したものである。統一的に使われた用例の 5 年間の平均は、2001 年から 2005 年は 16.6 件だったものが、2006 年から 2010 年は 49.6 件に大幅に増加、2011 年から 2015 年は 45.4 件と微減したものの、2016 年から 2022 年には 55.8 件と大幅に増加した。一方、不統一な使われた方をした件数の 5 年ごとの年平均件数は、2001 年から 2005 年は 10.0 件だったものが、2006 年から 2010 年が 29.4 件、2011 年から 2015 年が 28.8 件、2016 年から 2022 年が 43.8 件と大幅に増加したするなど、いずれも顕著な傾向を示すに至った。

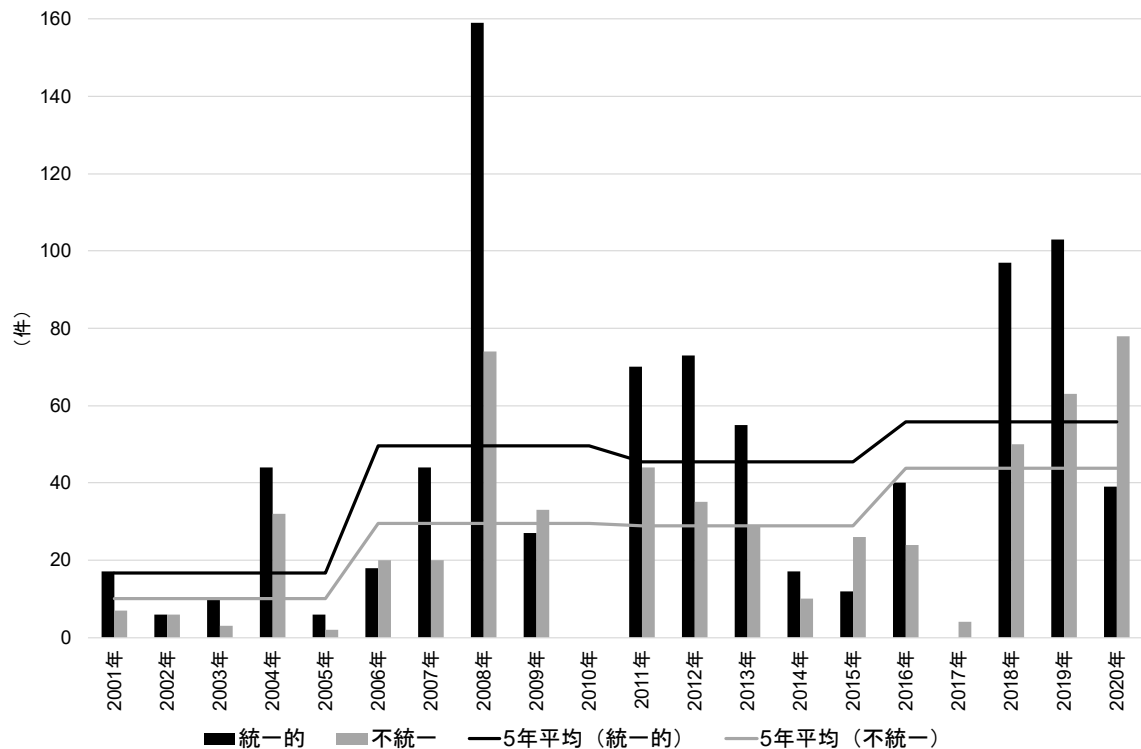


図 3-10 金融審議会における「組織名＋さん」の使われ方の推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 14 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

以上のとおり、金融審議会では約 6 割の発言において、「さん」を統一的に使われていることが調査結果から明らかになった。すなわち「さん付け」を 1 ターンで複数回行った語の 6 割で統一的に使われていることから、「さん付け」がかなり定着しているとも言える。しかしながら、4 割弱が不統一な使われ方をしている点には留意する必要がある。人に敬称を用いる場合、ある時「さん付け」をした人に再度言及する際、同じ人を今度は呼び捨てにすることは通常ないため、「組織名等＋さん」には、「敬意」を示す語としての用いられ方に「揺れ」が存在すると考えられる。

5.3.2 同席者への配慮の有無

ここで「同席者」とは、発言者と同じ審議会に参加している委員やオブザーバー等のことを言う。用例 (19) はその一例で、明渡氏が発言している金融審議会「市場ワーキング・グループ」第 1 回に東証（東京証券取引所）からも委員又は参考人として参加しているため、東証は明渡氏の「同席者」とした。

(19) そういったことも東証さんで検討いただけるとありがたいと思います。以上です。

(金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第1回)、明渡則和)(東証(東京証券取引所)は、このワーキング・グループに参加。)

また、審議会の事務局を務める金融庁職員は常に審議会に参加しているので、発言者が「金融庁さん」と言った場合、これは常に「同席者」として勘定した。用例(20)はその一例である。

(20) 今、現在、パブリックコメントを金融庁さんの方で出されているので、そういう形で我々の方としてもコメントを返そうとは思っていますが、ちょっとこれは過剰ではないかなと思います。(金融審議会金融分科会第一部会(第30回)、田中浩)

一方、本研究では、普通名詞に「さん」が付いたものについても、それが同席者に対するものか否かも分析した。これは、例えば「銀行」といえば、預金のお出し入れや融資を行う金融機関のことであるが、本研究では、対象の審議会の出席者と発言内容を確認し、同じ審議会に出席している銀行又は銀行業界を指していると判断したものを「同席」事例として勘定した。

用例(21)はその一例で、下線部の「信用金庫」は、中小企業向け金融機関である「信用金庫」一般を指すのではなく、日銀の取引先として、そしてその一つの多摩信用金庫の理事長が委員として本ワーキング・グループに参加しているため、「同席者」認識して「さん付け」したものを思われる。

(21) 私ども日銀は信用金庫さんとだけおつきあいがあるので、ちょっと信用金庫に限ってお話をさせて頂きたいのですが、(金融審議会「協同組織金融機関のあり方に関するワーキング・グループ」(第13回)、早崎保浩)(本ワーキング・グループには、多摩信用金庫理事長が委員として参加。)

「組織名+さん」の使われ方を、「さん付け」された相手が同じ会議に同席しているか否かを見たのが、図3-11である。同席者に対しては「さん付け」する傾向、すなわち、同席

者に配慮する（敬意を表する）傾向が年を経るごとに高まっていることがうかがわれる。

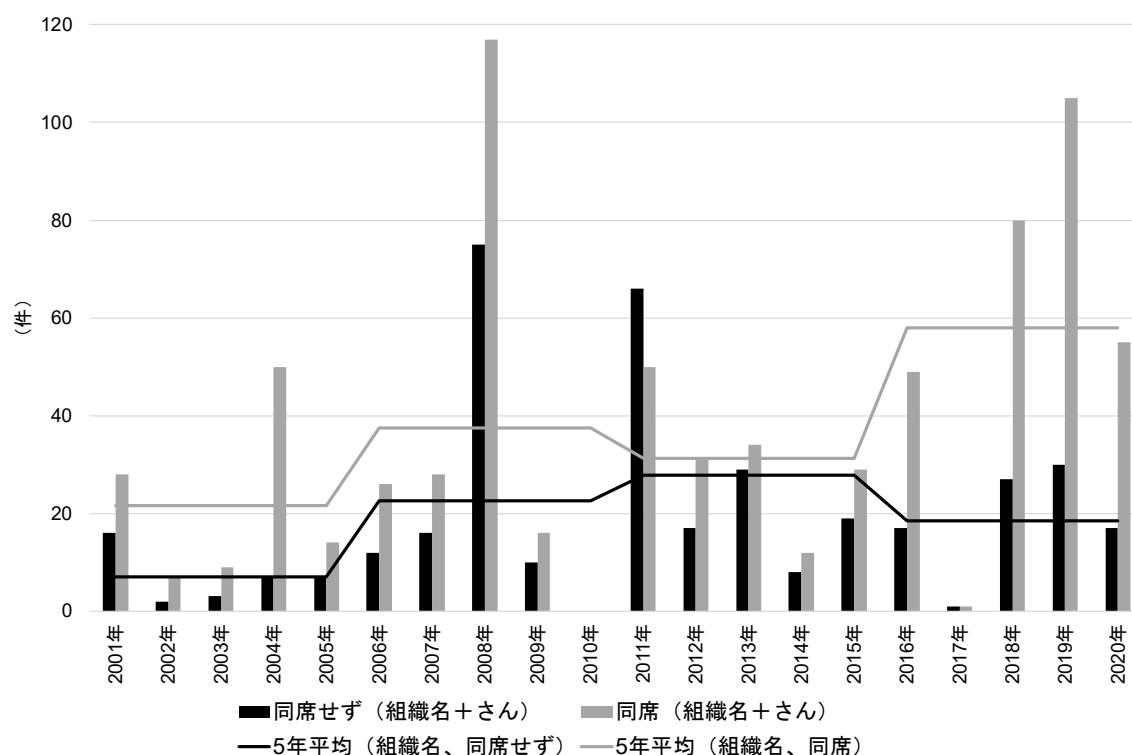


図 3-11 同席の別による「組織名+さん」の使われ方の推移

（注）本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 15 に掲載。

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

一方、図 3-12 は、「普通名詞」への「さん付け」を同席者の有無で示したものである。本来、人や組織を表さない「普通名詞」に対し、敬意や配慮を払う必然性はないのだから、用例（21）で見たように、同席者が属する「業界」等に対して、その人や組織同様に敬意や配慮を払う傾向にあるのかを見るために作成したものである。

図 3-12 によれば、図 3-11 とは逆に、そもそも普通名詞に対する「同席」の概念が“人工的”なため、2006 年から 2010 年にかけての 5 年平均で若干増加したものの、その後は低調なままで推移している。

一方、「普通名詞」への「さん付け」は図 3-5 で見たように増加傾向にあるが、これは図 3-12 からわかるように、「同席者」への「さん付け」とは関係なく「普通名詞」に「さん付け」した結果と考えられる。

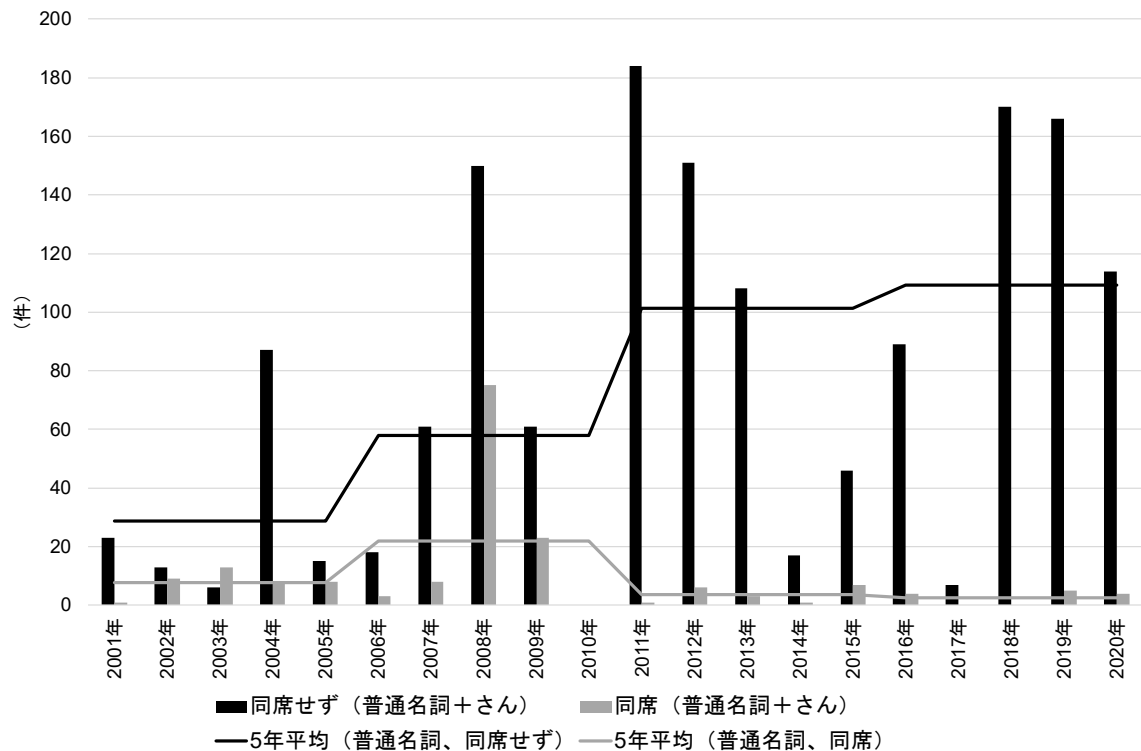


図 3-12 同席の別による「普通名詞+さん」の使われ方の推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 15 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

また同席していない対象に対する「さん付け」の推移を「組織名+さん」と「普通名詞+さん」に分けて図示したのが、図 3-13 である。同席していない対象の「組織名」に「さん付け」する事例は、年を経るごとに増加しているとは言えない状況である。しかし、「普通名詞」に対する「さん付け」は、2010 年代に入り大幅に増加し、その後も大きな変動はないものの、2016 年から 2020 年の 5 年平均で 109.2 件と、前期 2011 年から 2015 年の 101.2 件から増加した。

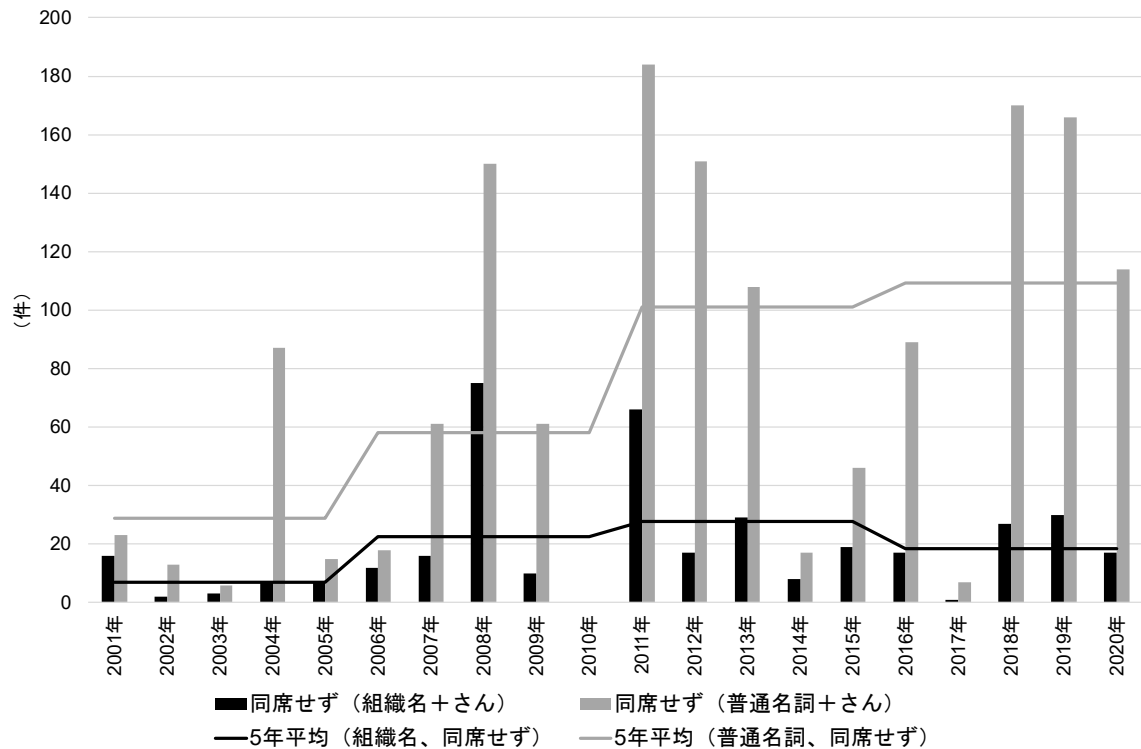


図 3-13 同席しない環境下における「組織名+さん」、「普通名詞+さん」の使われ方の推移

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

以上のことから、その場にいる対象に「敬意」を払う傾向は高まったが、「普通名詞」に関しては、同席者以外へも「さん付け」が大幅に増加していることが判明した。単にその場にいる対象に「敬意」を払うのではなく、そうではない語にも「さん付け」する傾向は、自分の品格の保持、すなわち「美化語」的な用法が増加した結果と考えられる。

5.3.3 同席者以外への配慮の有無

発言者が金融審議会の同席者に「さん付け」を行うか否かで分類し、更に発言者が「さん付け」の相手に対して「配慮」を払っていたかに着目して再分類を行った。

なお「配慮」の有無の判断に当たっては、以下の基準に依った。

- 広い意味で同業かどうか（公務員の場合は他省庁かどうか、金融機関に対する事業会社同士かどうか、等）
- 顧客、取引先、業務提携先等かどうか

「配慮」をここでは、2.1 で定義した「相手の社会的立場を尊重する行為」である「敬意」よりも狭く「利害関係のある者又は組織への一種の心配り」とした。

公務員が同席者以外に配慮を払って「さん付け」したのは、彼らにとっての「同業他社」である他省庁に言及したときのみだった。具体的には、用例（22）にあるように、金融審議会においては「各省庁さん」との用例が見られた。

- (22) 各省庁さんでどんな考え方で個人情報の保護に取り組んで頂くかということは、今年の春ごろにつくります基本方針の中で、これは閣議決定でございますから、いろいろお願いしていくようなことなのかなと思います。（金融審議会金融分科会特別部会（第7回）、長谷川内閣府前推進室長）

また、用例（23）は、みずほフィナンシャルグループの発言者が SMFG（三井住友フィナンシャルグループ）に言及した際に「さん付け」した例である。これは、みずほフィナンシャルグループにとって SMFG が、同じ銀行グループ、3メガバンクという、同業他社だから配慮したと言える。

- (23) SMFG さんのことをどれぐらい理解しているか、比較がなかなか難しいんですけども、13 ページのところで、持株会社の機能強化というスライドを入れています。（金融審議会「金融グループを巡る制度のあり方に関するワーキング・グループ」（第2回）、武英克）（武氏は、みずほフィナンシャルグループ戦略企画部長。）

また用例（24）は「普通名詞＋さん」の用例である。東京証券取引所にとって上場会社は、東京証券取引所に上場する際に上場審査料といった手数料をもらう「顧客」に当たることから、配慮が働いたと考えられる事例である。

- (24) 実務的には、上場会社さんにおける意思決定手続が完了しているときについては、正式な内容の迅速な開示を求めていますし、意思決定手続の途上にある場合ですとか、…。（金融審議会「インサイダー取引規制に関するワーキング・グループ」（第5回）、武田太老）（武田氏は、東京証券取引所自主規制法人常任理事。）

このような分析を行った結果をまとめたのが表 3-23 である。上述のとおり金融審議会同席者への「さん付け」は、「組織名+さん」741 件、「普通名詞+さん」が 179 件、その他が 18 件の計、表 3-22 (A) の 938 件だった。同席者以外の残り、同 (B) の 1,987 件について、発言者が「さん付け」の相手に対して何らかの「配慮」をしていたかに着目して再分類を行った。

同席していない用例は、「配慮なし」と判断できる用例及び配慮の有無を判断しかねた用例を合わせた延べ語数は、同 (F) の 1,750 件、「配慮あり」と判断した用例の延べ語数は同 (E) の 237 件と整理できた。なお、同席者に対して「さん付け」を行った同 (D) の 938 件は、全て「配慮あり」として扱った。

「さん付け」対象への配慮が見られるのは、同席の用例 938 件と同席していない用例 237 件の計 1,175 件で、金融審議会における「さん付け」用例延べ語数 2,925 件の約 4 割に相当した。

表 3-23 金融審議会における「さん付け」対象の同席の別と配慮の有無

同席か 否か	件数	配慮の有無	件数	配慮の別による 件数	比率	名詞の種類	件数
同席	938 (A)	配慮あり	938 (D)	1,175	40.2%	組織名＋さん	741
						普通名詞＋さん	179
						その他	18
同席せず	1,987 (B)	配慮あり	237 (E)			組織名＋さん	105
						普通名詞＋さん	119
						その他	13
		配慮なし	1,750 (F)	1,750	59.8%	組織名＋さん	274
						普通名詞＋さん	1,367
						その他	109
計	2,925 (C)		2,925	2,925	100.0%		2,925

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

同席していない対象を「さん付け」する場合、一般的には、同業他社や広い意味での顧客等、発言者と何らかのつながり（又は利害関係）があり、「配慮」する必要があるとの認識が働くためと考えられる。しかしそれは、表 3-23 の (E) の 237 件で、同席していない

先への「さん付け」用例の件数、すなわち同 (B) で示した 1,987 件の 11.9% (= (E) / (B) = 237/1,987) と、1 割強に過ぎないことが分かった。

5.3.4 「列挙時」の「さん」の扱われ方

ここで「列挙時」とは、名詞が例えば、金融庁、農水省、経産省と並んだ時のことを言う。この時「さん」がどのように付けられるか、具体的には、「金融庁、農水省、経産省さん」と列挙された名詞の一部のみに「さん」が付くのか、それとも、「金融庁さん、農水省さん、経産省さん」と各名詞が「さん付け」されるのかに着目した。

用例 (25) は前者の、また、用例 (26) は後者の例である。

- (25) 法務省と経済産業省さん、もしご発言があればお願いします。(金融審議会「ディスクロージャーワーキング・グループ」(平成 27 年度)(第 5 回)、神田秀樹)
- (26) それはやはり銀行というライセンスを持っていないとできないことというのを、やはりヤフーのこういったコマースを利用するユーザーさん、もしくは事業者さん、中小企業の出店者さん、そういった方たちに銀行のサービスを提供したい、…。(金融制度スタディ・グループ(平成 30 事務年度)第 1 回)

金融審議会について、列挙事例の延べ語数をまとめたのが、表 3-24 である。

なお、名詞の全てには「さん」が付かない用例、例えば用例 (25) は、「さん付け」件数は、「経済産業省さん」の 1 件であり、「列挙時 A、B、C さん」件数も 1 件と勘定した。一方、名詞全てに「さん」が付く用例である用例 (26) は、「さん付け」件数は 3 件だが、「列挙時 A、B、C さん」件数は 1 件と勘定した。「さん付け」の延べ語数 2,925 件との差異は、これによって生じたものである。

表 3-24 金融審議会における列挙時の「さん付け」の使われ方

項目	件数	比率	列挙事例比率
列挙事例でない	2,688	95.3%	—
列挙事例	132	4.7%	100.0%
A、B、C さん	44	—	33.3%
A さん、B さん、C さん	88	—	66.7%
計	2,820	100.0%	—

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

表 3-24 から分かりますとおり、名詞を複数並べる「列挙事例」は、全体の 5%弱しかなかった。

5%弱の列挙事例を見ると、金融審議会では三分の二が名詞にそれぞれの名詞に「さん」を付けていた。換言すれば、列挙されたときの三分の一は、複数の名詞のうち一つにしか「さん」が付けられていないことを意味する。人名の場合、例えば、田中、鈴木、佐藤に敬称を付けて呼ぶ場合には必ず「田中さん、鈴木さん、佐藤さん」と呼び、「田中、鈴木、佐藤さん」とは呼ばないことを考えると、「組織名等＋さん」には敬意の揺れが存在し、尊敬語としての機能に欠ける点があることを示していると考えられる。

5.4 「組織名等＋様」の使われ方

5.4.1 同席者への配慮の有無

本項では、組織名等への「様付け」について分析した。

同席者とそうでない対象に対する、「組織名等＋様」の用いられ方の違いをまとめたのが、表 3-25 である。

組織名に対する「様付け」は、全体の 157 件の用例のうち、四分の三に当たる 119 件が同席者に対するものだった。一方、普通名詞に関しては、同席しない対象への「様付け」が 213 件と、「普通名詞＋様」の用例 224 件の 95%に上った。

表 3-25 同席の別による「組織名＋様」及び「普通名詞＋様」の使用件数

	組織名＋様	比率	普通名詞＋様	比率	計	比率
同席せず	38	24.2%	213	95.1%	251	65.9%

	組織名＋様	比率	普通名詞＋様	比率	計	比率
同 席	119	75.8%	11	4.9%	130	34.1%
計	157	100.0%	224	100.0%	381	100.0%

(出所) 金融庁より筆者作成。

また、使用件数の推移を見ると、近年、「組織名＋様」は同席の対象への使用件数が多いが(図 3-14)、「普通名詞＋様」は同席していない対象に付ける例が、2010 年以降顕著であることが判明した。(図 3-15)。

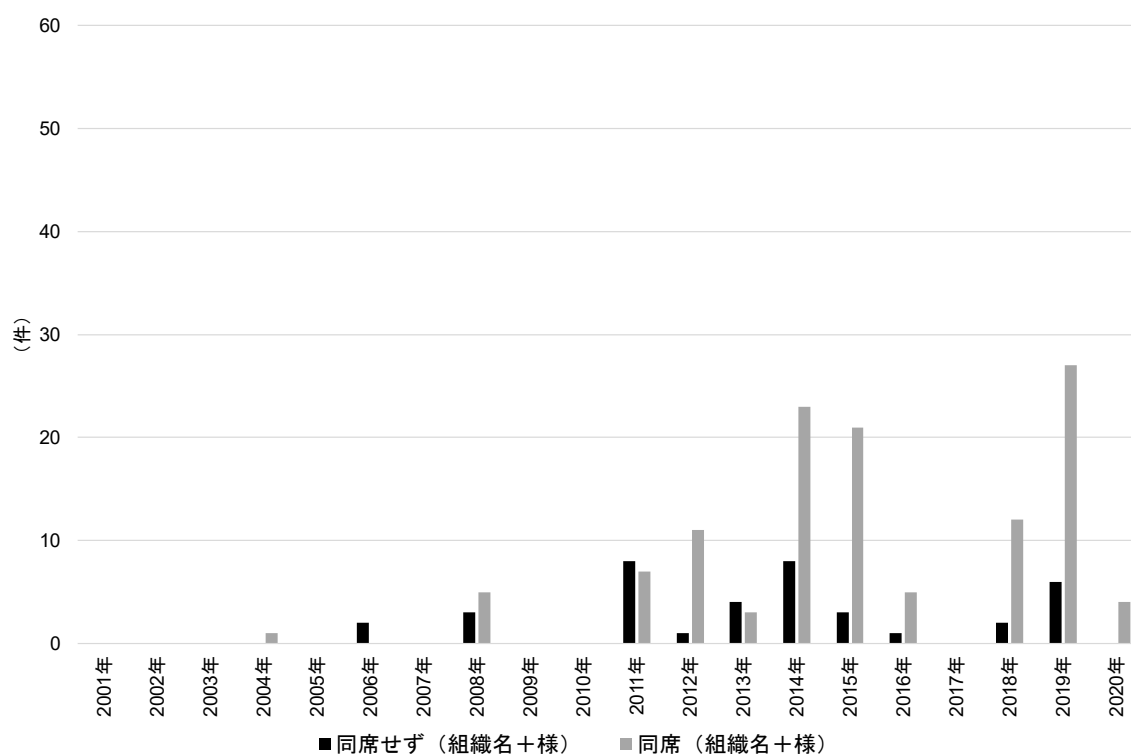


図 3-14 同席の別による「組織名＋様」の延べ語数推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 16 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

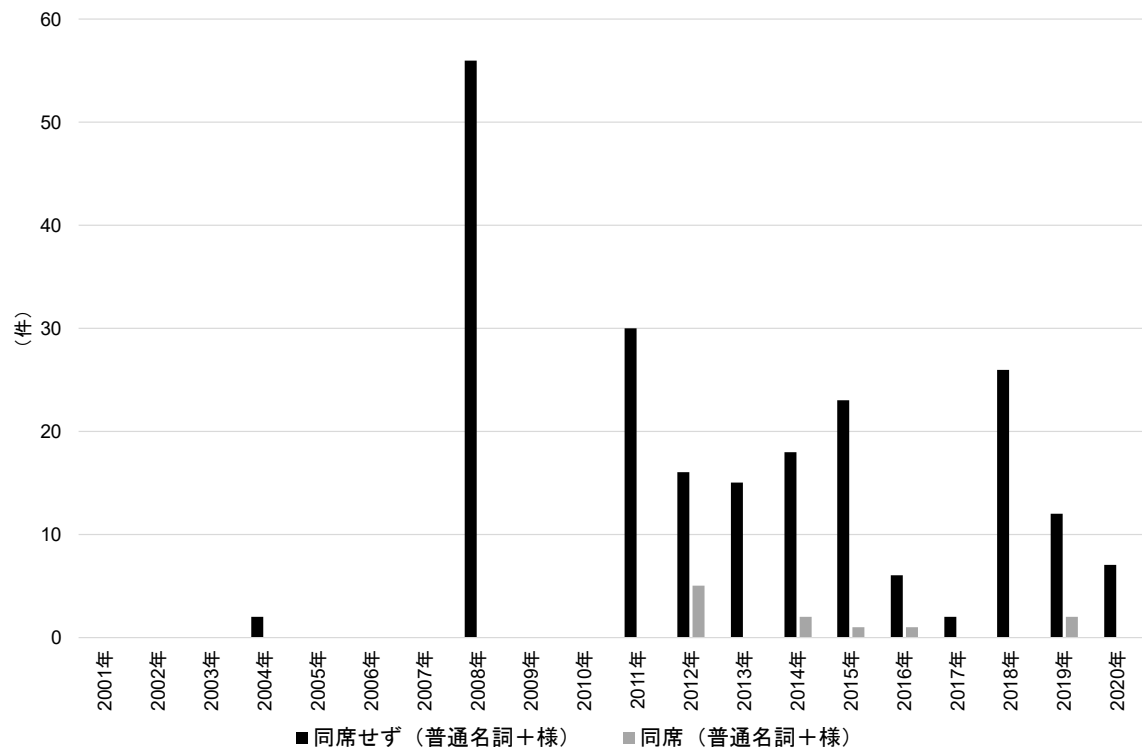


図 3-15 同席の別による「普通名詞+様」の延べ語数推移

(注) 本件の詳細なデータは巻末＜資料集＞の資料 16 に掲載。

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

次に、同席していない対象に対して「様」を付ける際、当該対象に対して配慮が働いているかを分析したのが、表 3-26 である。用例は少ないが、同席しない対象に対して「様」を付けていた用例のうち表 3-25 の (E) の 20 件で、用例 (27) のような「配慮」が認められた。同席者に対して「様」を付けた同 (D) の 132 件と併せて、「組織名等+様」の全用例 394 件の 4 割弱に当たる 152 件に配慮があると認められた。

- (27) 2001 年の時点で JAL マイレージバンクの会員様は 900 万人ぐらいだったんですが、2008 年 3 月の時点で 2,100 万人の規模になっております。(金融審議会 金融分科会第二部会「決済に関するワーキング・グループ」(第 3 回)、種田参考人)

表 3-26 金融審議会における「様付け」対象の同席の別と配慮の有無

同席か 否か	件数	配慮の有無	件数	配慮の別による件数	比率	名詞の種類	件数		
同席	132 (A)	配慮あり	132 (D)	152	38.6%	組織名＋様	119		
						普通名詞＋様	11		
						その他	2		
同席せず	262 (B)	配慮あり	20 (E)			242	61.4%	組織名＋様	12
								普通名詞＋様	8
								その他	0
		配慮なし	242 (F)	組織名＋様	26				
				普通名詞＋様	205				
その他	11								
計	394 (C)		394	394	100.0%		394		

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

5.4.2 「列挙時」の「様」の扱われ方

「A、B、C 様」と一部にしか「様」が付かない例の延べ語数が 8 件、また「A 様、B 様、C 様」のように各名詞にそれぞれ「様」が付く例の延べ語数が 17 件と用例が乏しく、具体的な分析には至らなかった。用例 (28)「A、B、C 様」と一部にしか「様」が付かない用例、また、用例 (29) は「A 様、B 様、C 様」のように各名詞にそれぞれ「様」が付く用例である。

(28) 本日は、金融機関ヒアリングをさせていただきます。みずほ銀行、三井住友信託銀行、第一生命保険、大和証券、野村アセットマネジメント、城南信用金庫様より、それぞれの会社における退職世代の顧客に対する先進的な取組みや商品についてのご報告をしていただきます。(金融審議会「市場ワーキング・グループ」(第 16 回)、神田秀樹)

(29) また、主要取引先は、富士通様、日立様、東芝様、その他大手の組み立てメーカーが主でございます。(金融審議会「我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ」(第 6 回、高須俊行))

6. まとめ

6.1 結論

本研究で明らかになったことを以下にまとめる。

① 「組織名等＋さん」はいつ頃から使われるようになったのか

国会会議録による用例検索結果から、組織名への「さん付け」は戦後すぐの国会で既にご利用が見られたように決して新しいものではないことが分かった。

他方、団体名に「さん付け」することもある旨の語釈は、ようやく 20 世紀の終わりから今世紀にかけて、一部の国語辞典で見られるようになったことから、まだ、規範的な用法とは言い難い。ただ、本研究で使用した金融庁審議会を対象とするコーパスの分析結果においては、2010 年以降、増加傾向が見られることが判明した。

② 「組織名等＋さん」の使われ方にどのような特徴があるのか

「組織名等＋さん」の使われ方について、本研究の結果、以下の 3 点が明らかになった。

第一に、統一的な使われ方か否か、すなわち発言者が自身の発言で組織名等に「さん付け」る際、対象となった語全てに「さん」を付けているかどうかを分析した結果、約 4 割で不統一な使われた方がなされていることが判明した。

第二に、「配慮」の有無、すなわち、「さん付け」の対象者が同じ会議に同席しているかどうかによる「さん付けの傾向については、「組織名＋さん」は同席者への「配慮」が見られる。同席者以外について「さん付け」する場合、発言者と何らかのつながり又は利害関係があり、「配慮」する必要があるためと考えられるが、そうした例は限定的であることが分かった。

第三に、「列挙時」「さん」の使われ方を分析したところ、列挙事例は全体の 5%弱だが、その三分の一は列挙した語の一部しか「さん付け」していないことが判明。「組織名等＋さん」には敬意の揺れが存在し、尊敬語としての機能に欠ける点があることも判明した。

③ 「組織名等＋さん」既に社会で一般に広まった現象かどうか

「組織名等＋さん」の現在の評価、すなわち筆者の周りの卑近な例に過ぎないのか、それとも、既に社会で一般に広まった、又は今後広まる現象かどうかについては、発言者が発言の中で「さん付け」した対象を常に「さん付け」した「統一的」な使用例は、調査の

結果、6割程度だった。そのため、四分の三くらいに使われる「慣用」の段階には至らず、まだ「揺れ」の段階にあると言える。

また、人名に敬称を付ける際には、通常、上述のブレはないと考えられることから、組織名等への「さん付け」に、「尊敬語」としての働きが十分に備わっているとは言い難い。このことは、列挙事例分析からも明らかである。すなわち、複数の組織名等を並べて発言する際、「さん付け」をしない例が総事例の三分の一もあることが今回の調査で確認できた。

同席者への「さん付け」が増加しており、その場にいる人に対して「敬意」を払う傾向が高まってきていることが確認できた。また、その場にいない対象に対しては、具体的な対象を示す組織名ではなく、普通名詞に対して「さん付け」する例が増加している。金融関係者は相対的に組織名等に「さん付け」を行う傾向が高く、公務員は低いといった違いはあるものの、自分の品格を保持する「美化語」的な役割が敬称「さん」に強まっているためと考えられる。

冒頭の研究目的で筆者が呈したもう一つの疑問である「組織名等+さん」を使わない人に対する周囲の見方については、金融関係者、金融関係の規制監督を行う公務員が多数を占めるコーパスをもって一般化は出来ないが、まだ「揺れ」の段階にある現時点では、「組織名等+さん」を使わなくとも周囲から「敬意の足りない表現を使う失礼な人」とは見られていないと考えられる。

6.2 今後の課題

本研究では、金融審議会における20年間の発言、延べ1,000人強、800時間強のコーパスを分析した。しかしながら、金融関係者や金融関係の規制監督を行う公務員が多数を占めるコーパスであるため、本研究の結果をもって組織名等への「さん」の多用を一般化することは難しい。

本研究の結果も用いながら、組織名等への「さん」の多用が一般的な現象かどうかを解明すること、また、本研究の過程で疑問に思い、また、周囲からも指摘のあった「さん付け」多用の起源、具体的には種々の語に「さん付け」することは関西から始まったとするいわゆる「関西起源説」等に関する調査・分析、及び「さん付け」と前接語のモーラ数の関係についての解明は、今後の課題としたい。

参考文献

- 秋山智美（2009）「接尾辞型敬称「さん」の使用の一変化」『日本大学大学院国文学専攻論集』6 pp.90-99
- 井上史雄（2007）『その敬語では恥をかく』PHP 研究所
- 梶原しげる（2008）『すべらない敬語』新潮社
- 菊池康人（1994）『敬語』角川書店（再刊：講談社学術文庫、1997）
- 木村義之（2014）「敬語接尾辞「さん」「さま」の用法再考」『国文学踏査』26 大正大学国文学会 pp.266-282
- 小磯花絵（2022）「『日本語日常会話コーパス』本公開版の構築」言語処理学会『自然言語処理』Vol. 29 No. 1
- 国語審議会（1952）『これからの敬語（建議）』
- スリーエーネットワーク編（2000）『みんなの日本語 初級 I 教え方の手引き』スリーエーネットワーク
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター編（2002）『初級 ひらけ日本語 使用の手引き』拓殖大学
- 辻村敏樹編（1991）『敬語の用法』（角川小辞典 6）角川書店
- 新野直哉（2020）『近現代日本語の「誤用」と言語規範意識の研究』ひつじ書房
- 野口恵子（2009）『バカ丁寧化する日本語 敬語コミュニケーションの行方』光文社
- 河正一・金井勇人（2017）「過剰敬語の規範性と印象について—大学生への意識調査から—」『埼玉大学日本語教育センター紀要』11 pp.15-27
- 文化審議会（2007）『敬語の指針』
- 文化庁（2017）「平成 28 年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」
- 前川喜久雄（2015）『『日本語話し言葉コーパス』の概要 Version. 2.0』国立国語研究所
- 水谷修・水谷信子（1977）*An Introduction to Modern Japanese* The Japan Times
- 森田良行（1980）『基礎日本語：意味と使い方 2』角川書店
- 森山由紀子（2003）「謙譲語から見た敬語史、丁寧語からみた敬語史—『尊者定位』から『自己定位』へ—」北原保雄監修、菊池康人編『朝倉日本語講座 8 敬語』朝倉書店 pp.200-224

国語辞典

- 日本国語大辞典第二版（2000～2002）小学館
- 国語大辞典（1981）小学館
- 角川国語大辞典（1982）角川書店
- 国語大辞典言泉（1986）小学館
- 学習国語大辞典第二版（1988）学習研究社
- 新辞林（1999）三省堂
- 講談社カラー版日本語大辞典第二版（1995）講談社
- 広辞苑第七版（2018）岩波書店
- 大辞林第四版（2019）三省堂
- 旺文社標準国語辞典新訂版重版（1992）旺文社
- 新潮国語辞典—現代語・古語—第二版（1995）新潮社
- 新潮現代国語辞典第二版（2000）新潮社
- 新選国語辞典第九版（2011）小学館
- 大辞泉第二版（2012）小学館
- 集英社国語辞典第 3 版（2012）集英社
- 学研現代標準国語辞典改訂第 3 版（2016）学研プラス
- 現代国語例解辞典第五版（2016）小学館
- 学研現代新国語辞典改訂第六版（2017）学研プラス
- 岩波国語辞典第八版（2019）岩波書店
- 新明解国語辞典第八版（2020）三省堂
- 明鏡国語辞典第三版（2021）大修館書店
- 三省堂国語辞典第八版（2022）三省堂
- 旺文社国語辞典第十二版（2023）旺文社
- 三省堂現代新国語辞典第七版（2024）三省堂
- 基礎日本語辞典（1989）角川書店

参照ウェブサイト

国会会議録検索システム <http://kokkai.ndl.go.jp/>

金融庁ウェブサイト https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html

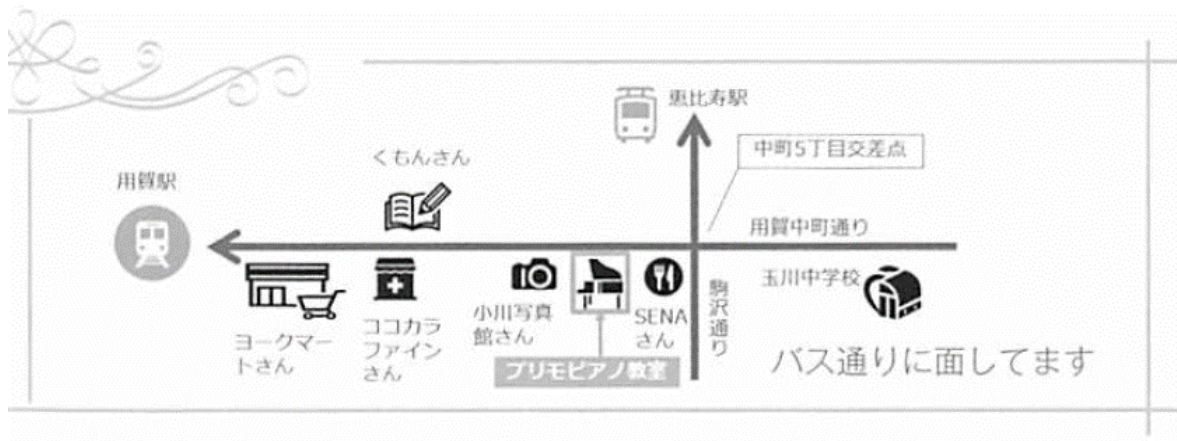
¹ 田中将大選手のこと。

² 「田中選手はすでにプロ野球、東北楽天ゴールデンイーグルス入りが決まっていたので、気分はすでに社会人。大人社会では相手チームに『さん付け』するのがエチケットという意識が働いていたのかもしれませんが。違和感はありませんが、嫌な感じはしませんでした」と評価している。(梶原 2008 : 177-178)

³ 奥付には「2024 年 1 月 10 日 第七版発行」とあるが、前年の 2023 年 10 月には店頭に並び入手していた。

⁴ 第八版から新たに設けられた「豆知識」は、「この辞書のきまり」によれば、「その言葉を使う上で知っておくと役立つ情報です。コミュニケーションを円滑にするためのヒントなどを示すほか、独特な表現の理由を説明したり、言葉に関する俗説を指摘したりする場合があります」と説明している。辞書中では「!」の後に記載されている。

⁵ 地図上の会社名にまで「さん付け」した例。2023 年 10 月に筆者の自宅郵便受けに投函された 2023 年 9 月に新規オープンしたピアノ教室の案内チラシ。全て店舗名に「さん付け」。



⁶ Corpus of Spontaneous Japanese

⁷ Corpus of Everyday Japanese Conversation

⁸ 国立国語研究所『『日本語日常会話コーパス』の概要』『多世代会話コーパスに基づく話し言葉の総合的研究』<https://www2.ninjal.ac.jp/conversation/cejc/design.html>

⁹ みずほ証券株式会社出身の熊谷五郎委員に直接確認した。

¹⁰ https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html

¹¹ 「さん付け」と前接語のモーラとの関係については、2021 年 12 月の語彙・辞書研究会第 60 回研究発表会の際、慶應義塾大学の木村義之教授の示唆を得た。

第 4 章 各論 (2) 「しかない」の多用の実態と「違和感」の理由

1. はじめに

1.1 研究の動機

近年、「感謝しかない」、「可愛さしかなかった」等、「違和感」のある「しかない」の表現を見聞きすることが多くなった。

2020 年からのコロナ禍で、情報収集と息抜きの一環としてスマートフォンを用いて情報等の検索を頻繁に行っていると、コロナに関するニュースや個人がインターネットや SNS で発信している情報の中に、他と比較をした上で限定する副助詞「しか」、より具体的には「～しかない」が、他との比較や限定の意味を持たず、単に強調として用いられている文が多数あることに気が付いた。以下はその例である。

(インターネットニュースの例)

- (1) (事故車を助けようとした人の車が事故車の運転手らに盗まれてあ然とする盗難車の運転手 (= 事故車を助けようとした人) のインタビューでの発言)
「...そうしたら男女 3 人が車から出てきて、この車に乗って逃げて行った。あ然とするしかないです。財布とか全部乗りっ放しなんで。」(2020 年 12 月 15 日付け『excite ニュース』、下線は筆者、以下同)
- (2) (マリファナを吸った芸能人の報道があると、「日本はマリファナが非合法だが合法の国もある」との記事をよく見るが、それに対する反対意見を載せた武闘家、武井壮の SNS を取り上げた記事に対する読者コメント)「ほんとそれ！賛成でしかない。合法的な国があるとか、なんで平気で言えるのかわからない。...」(2020 年 9 月 1 日付け『excite ニュース』)
- (3) (日本に否定的だった中国人筆者が日本料理店に入って考えを改めたとの、スマホ向けアプリエッセーを取り上げたエッセー本文)「...日本に来て日本を見直したという中国人は多いが、中国にある日本料理店も日本への理解を変えてくれるようだ。筆者は店に足を踏み入れた瞬間から、好感しかなかったと伝えている。静かな店内にレトロでおしゃれな内装など、「居心地のよい空間」を感じたという。...」(2020 年 6 月 6 日付け『サーチナ』)

(雑誌の例)

- (4) (対談記事における西川きよしの発言)「いやいや、まずはひとえにお客様のおかげですよ。それと、忘れてはいかんのが相方です。ほんまに(横山)やすしさんには感謝しかない。…」(2020年12月31日・2021年1月7日合併号『週刊文春』「飯島勲の激辛インテリジェンス 特別対談西川きよし」)

また、「しかない」ではないが、「違和感」のある「～しか…ない」の例として、以下がある。

(テレビのバラエティー番組の例)

- (5) (新作映画の宣伝を兼ねたバラエティー番組に出演した女優が当該映画に出られたことについて)「喜ぶことしかできない」(2020年7月12日放映「行列のできる法律相談所 『今日から俺は!!』豪華キャスト大集合&クレーム合戦!?'」に出演した橋本環奈の発言)
- (6) 「君しか勝たん」(2021年5月にリリースされた「日向坂 46」のシングルタイトル)

第3章で分析した組織名等への「さん」付けと異なり、この「～しかない」を限定以外に用いた例は勤務先で見聞きすることはなく、文字にしたものとしては、もっぱらインターネットや SNS 上の情報、及び話し言葉としてはテレビのバラエティー番組で見聞きするものであった。形式的な文法上の誤りはないものの使用方法が本来の用法とは異なること、組織名等への「さん」の多用と異なりビジネスの場面では用いられているのを見聞きしたことがないことに非常に興味を持ち、その使用時期、使用範囲、使用頻度等を明らかにしたいと思ったのが本研究の動機である。

1.2 研究の目的

「違和感」のある「名詞+しかない」は、インターネットニュースやそのニュースに対する読者のコメント、またブログや SNS 等、インターネット上での記事、投稿に多く見られるほか、テレビのバラエティー番組等でも耳にする機会が多くなった。また、「名詞+しかない」のほか、「賛成でしかない」のような「名詞+助動詞『だ』の連用形『で』

＋しかない」や、「可愛いしかない」といった「形容詞の連体形（又は終止形）＋しかない」といった表現も散見される。

ここでいう「違和感」は、「周りのものとの関係がちぐはぐで、しっくりしないこと」（『大辞林』第四版）、「いつもと変わっていたり今までいただいていたイメージや価値観と合わない点があったりして、その場（その事物）をそのまま受け入れることがためらわれる感じ」（『新明解国語辞典』第八版、以下『新明解』という。）、つまり、これまであまり見聞きすることのなかった表現に接したときに感じる「おかしい」と思う気持ちを意味する。ここでは、筆者にとっての「違和感」の有無を糸口として論を進めていく。「しかない」を見聞きしたときに感じるこの「違和感」について、本章では以下の点を探っていく。

- ① その「違和感」がどこから生じているのか、例えば、規範的な表現や文法から逸脱しているのか、逸脱しているとすればどのような傾向があるのか。
- ② 「違和感」のある「しかない」はどのような場所で用いられているのか、例えば、当該語の前に来る語、「前接語」にはどのような品詞が来るのか。
- ③ 「違和感」のある「しかない」はいつ頃から多く出現するようになったのか。

1.3 研究の方法

研究に当たって、まず、「しか」の使われ方やその効果を確認する（2 節）。具体的には、国語辞典に「しか」がどう定義されているかを調べ、規範の確認を行う（2.1 項）。次に文法の観点から限定の副助詞の効果の確認を行う（2.2 項）。また、規範的な用法をどのように教えているか日本語教科書や誤用辞典を用い日本語教育における「しか（ない）」の取扱いを確認する（2.3 項）と共に、意味論の観点から「しか」の特徴を確認する（2.4 項）。さらに、「違和感」のある例を洗い出すため、各種コーパスを用いて具体的な用例を収集し、その分析を行う（3 節）。最後にこれらの調査によって判明したこと及び今後の課題についてまとめる（4 節）。

2. 「しか」の使われ方とその効果

2.1 国語辞典の記述

本章においても、第 3 章で用いた、現在容易に入手できる又は図書館で閲覧できる 24

の国語辞典で助詞「しか」の語釈及び用例を調査した。その結果をまとめたのが表 4-1 である。

表 4-1 国語辞典による「しか」の語釈と用例

辞書名	品詞	語釈と用例
日本国語大辞典第二版	副助詞	体言・活用語の連体形・形容詞の連用形・格助詞・副助詞当をうけ、下に打消の語を伴う。肯定し得るものをそれだけと限定し、それ以外のものを否定する。
国語大辞典	副助詞	体言・活用語の連体形・形容詞の連用形・格助詞・副助詞等をうけ、下に打消の語を伴う。肯定できるものをそれだけと限定し、それ以外を否定する。
角川国語大辞典	限助 (一説、副助詞・係助詞)	《文語の副詞「しか(然)」から転じたものという》〔体言・動詞の連体形。形容詞の連用形などについて〕常に否定的な意味を持つ語と呼応して、特定の事柄だけを取り上げて、他をまったく否定する意を表す。「このまま歩いて行くしか方法がない」
国語大辞典 言泉	副助詞	否定の文で、主語または連用語を受け、それだけが肯定されて、それ以外のものが排除されることを示す。数量に関しては、少ないという評価を含む。…よりほかはない。…以上のもではない。「この店には安物しかない」「片言しか話せない」「たまにしか会えない」「上役の命令には従うしかない」「今、千円しか持っていない」
学習国語大辞典第二版	副助詞	(「ほか」の転という。体言または体言あつかいのもの、動詞に連体形、形容詞・形容動詞の連用形、格助詞などにつき、いつも打ち消しの「ない」を伴い、「A しか B しない」の形で用いられる) ① (範囲を表し得る語 A について) B する (B した) のは A だけだ。「女には、どうしても女しかもっていないというものがある。〈森本・女の一生〉」② (程度を表し得る語 A について) B する (B した) のはたった A 程度だ。「あたし四十円しかないのよ〈堀田・広場の…〉」
新辞林	—	—
講談社カラー版日本語大辞典第二版	副助詞	《体言、動詞の連体形、形容詞・形容動詞の連用形などに付く。下に打ち消しをともなうて》それだけであり、とても少ない、あるいは足りない意を表す。 用例 ぼく—しらない。一〇〇円—ないから買えない。
大辞泉第二版	係助詞	名詞、名詞的な語、動詞の連体形、形容詞・形容動詞の連用形、一部の助詞・助動詞などに付く。打消しの語を伴って、特定の事柄以外のものを全く否定する意を表す。「この道を行く—ない」
広辞苑第七版	助詞	後に打消の語が来て、わずかにそれだけである意を表す。「これ—できない」「三人だけ—来ない」
大辞林第四版	係助詞	体言またはそれに準ずるもの、動詞の連体形、形容詞・動詞の連用形、格助詞などに付き、下に常に打ち消しの語を伴って用いる。『特定の事柄・条件だけを取りあげて、それ以外のものをすべて否定する意を表す。また「だけしか」の形で一層強い限定の意を表す。「その事を知っているのは彼—いない」「正解者はたった一人だけ—おりませんでした」
旺文社標準国語辞典新訂版	副助詞	限定の意を表す。…よりほかに。 例 「三人—いない」「これ—ありません」 注意 あとに「ない」「ません」などの打ち消しのことばがくる。

辞書名	品詞	語釈と用例
重版		
新潮国語辞典 ー現代語・古語ー第二版	係助詞	下に否定の語を伴い上の語を強調して、それだけに限定する意を表す。「嘘と一思われ ない」
新潮現代国語 辞典第二版	係助詞	下に打消を伴って、それだけで他にはないことを表す。「三百人ーない〔ヘボン〕」「生 憎夜で是丈ー見当りません〔坊つ〕」「不都合であつたのだ位にー思はなかつた〔大発 見〕」「いつも島田か丸髷にー結つてゐないお雪の〔濯東〕」
新選国語辞典 第九版	係助詞	〔いつも下に打ち消しを伴って〕それと限る意味をあらわす。「十メートルー泳げな い」
集英社国語辞 典第3版	副助詞	（体言・動詞連体形、形容詞・形容動詞連用形、その他連用の文節に下接して）常に 打消を下に伴って、一つの特定のものを取り上げ、その他一般を否定する関係を表 す。「だけしか」「きりしか」のように重なって、その限定性を強めることもある。「太 郎ー来なかつた」「泣くーない」「あなたにだけー教えません」
学研現代標準 国語辞典改訂 第4版	副助詞	事がらを限定する意味を表す。 例 解決する方法はこれしかない。 用法 下に打ち消しや 否定のことばがくる。
現代国語例解 辞典第五版	副助詞	店は荒物屋に煙草や位しかなかつた<森鷗外「雁」> いろいろな語について「野菜しか食べない」「この品物は東京にしかない」のように 「ない」など文末の打消の語と呼応してものである事柄に限定されて行われ、他には 一切行われなことを表す。
学研現代新国 語辞典改訂第 六版	係助詞	〈「…しか…ない」の形で〉特定の物事・事柄以外は全面的に否定される意を表す。 〔数値につくときは、「わずか」の意がそえられる。「鉛筆と筆箱しか持ってこなかつ た」「こうなったらやるしかない」「一〇人しかいない（＝たったの一〇人だ）〕
岩波国語辞典 第八版	係助詞	《打消しに係る》それと限る意を表す。「火の手が早く、手さげ金庫ー持ち出せなかつ た」「週に一度ー水をかえない」「逃げたとー思えない」「行きずりの人でーない男」 「安物だけー置いていない店」「頼れる人はあなただけーないのです」
新明解国語辞 典第八版	副助詞	〔否定表現と呼応して〕話し手にとって狭いと意識される範囲（少ないと感ぜられる 数量）に限定されることを表す。「きょうの会には一人ーこなかつた／これは僕ー知ら ない話だ／この切符では新宿までー行かれない／いやならやめるーない／この花は高 山にー咲かない／私のーない」
明鏡国語辞典 第三版	副助詞	〈「…しか…ない」の形で〉ある物事を取りあげて、それ以外をすべて否定する。「百 円しかない」「たったこれだけしかない」「私しか知らない」「思いきってやるしか ない」「初めは不安しかありませんでした」使い方（1）数量に付くときは「わずか」の 意がこめられる・「あと三日しかない」（2）略 注意 「名詞＋しかない」「しかありま せん」の場合は、その名詞部分に「ある／ない」で言わないものがくると、不適切な 言い方に感ぜられる「〇感謝の気持ち〔思い〕がある／ない→「感謝の気持ち〔思 い〕しかありません」→△「感謝しかありません」
三省堂国語辞 典第八版	副助詞	〔後ろに否定が来る〕①程度が小さいことをあらわす。「半分ーない〔『半分もある』 は、程度が大きいように言う表現〕七百年ーかからない。」②それ以外のものがないこ とをあらわす。「高級品ー置いていない〔＝高級品だけ置いてある〕・おかゆー食べら れない」③ほかに方法がないことをあらわす。「やるーない〔＝やるべきだ〕・じつと 見守るー（すべが）ない・これ買うーない〔俗〕④〔でーしかない〕それ以外でない

辞書名	品詞	語釈と用例
		ことをあらわす。「言い逃れで—ない」 ① ④は「それでは〈よくない／不十分だ〉」という語感であるが、二〇一〇年代に、「〈心配／楽しみ〉（で）しかない」のように、「〈まったく／非常に…だ〉」の意味で使う例が増えた。
旺文社国語辞典第十二版	係助詞	それ以外はすべて否定する意を表す。「そうと—考えられない」「君だけに—教えない」 用法 種々の語（体言、動詞の連体形、形容詞・形容動詞の連用形など）に付き、あとに打ち消しの語を伴う。
三省堂現代新国語辞典第七版	副助詞	限定する意味をあらわすことば。「そうする—ない」 用法 下に打ち消しの語がくる。

（注）本章に関連する語釈のみ記載。

（出所）各国語辞典より筆者作成。

表 4-1 に掲げた各辞書の語釈をまとめると、副助詞（係助詞と分類する辞書もある）「しか」は以下のように説明される。

- （イ）下に打消の語を伴う。肯定し得るものをそれだけと特定し、それ以外のものを否定する（『日本国語大辞典』（以下『日国』という。）第二版）。
- （ロ）後に打消の語が来て、わずかにそれだけである意を表す。（『広辞苑』第七版）
- （ハ）打消しの語を伴って、特定の事柄以外のものを全く否定する意を表す（『大辞泉』第二版）。
- （ニ）〔否定表現と呼応して〕話し手にとって狭いと意識される範囲（少ないと感じられる数量）に限定されることを表わす（『新明解』第八版）。
- （ホ）《打消しに係る》それと限る意を表す（『岩波国語辞典』（以下『岩波』という。）第八版）。
- （ヘー①）〈「…しか…ない」の形で〉ある物事を取りあげて、それ以外をすべて否定する（『明鏡国語辞典』（以下『明鏡』という。）第三版）。
- （ヘー②）注意「名詞＋しかない〔しかありません〕」の場合は、その名詞部分に〔ある／ない〕で言わないものがくると、不適切な言い方に感じられる。「○感謝の気持ち〔思い〕がある／ない→感謝の気持ち〔思い〕しかありません」「△感謝がある／ない→△感謝しかありません」（『明鏡』）
- （トー①）〔後ろに否定が来る〕①程度が小さいことをあらわす。②それ以外のものがないことをあらわす。③ほかに方法がないことをあらわす。④〔で—ない〕それ以外でないことをあらわす（『三省堂国語辞典』（以下『三国』という。）第八版）。

(トー②) 豆知識 ④は「それでは〈よくない／不十分だ〉」という語感があるが、二〇一〇年代に、「〈心配／楽しみ〉(で) しかない」のように、「〈まったく／非常に〉…だ」の意味で使う例が増えた(『三国』)。

以上から、「しか」には、①下に打消の語を伴い、②(狭いと意識される範囲、少ないと感じられる数量、それ以外のものや方法がないことに) 限定し、それ以外のものを否定する意を表する特徴がある。

また、「しか」に係る文法としては、「体言・活用語の連体形・形容詞の連用形・格助詞・副助詞等をうけ」る(『日国』)、「名詞、名詞的な語、動詞の連体形、形容詞・形容動詞の連用形、一部の助詞・助動詞などに付く」(『大辞泉』)、「体言(名詞、またそれに準ずる句)、副詞、活用語の連用形及び連体形、「が」以外の格助詞、副助詞「だけ、ばかり」など、接続助詞「て」に接続する。ただし、連用形に接続する活用語は、用言・助動詞「れる／られる・せる／させる」などに限られ、連体形に接続する場合も、形容動詞型の活用語と助動詞「う／よう・だ」にはつかない」(『新明解』)とあり、体言や助詞(格助詞、副助詞等)に接続するほか、用言の場合は、動詞は連体形、その他は連用形に接続するとされている。

「言葉の使い方や誤用・類語まで調べられる¹⁾」ことをうたっている『明鏡』第三版では、2.1 項(ヘー②)に示したように「注意」として、「名詞+しかない[しかありません]」の場合は、その名詞部分に「ある／ない」で言わないものがくると、不適切な言い方に感じられる。「○感謝の気持ち[思い]がある／ない→○感謝の気持ち[思い]しかありません」「△感謝がある／ない→△感謝しかありません」との、第二版までにはなかった記述がある。

また、「新語に強く、説明はやさしい²⁾」ことをうたっている『三国』第八版では、2.1 項(トー②)に示したように「豆知識³⁾」として、④([でーない])は「それでは〈よくない／不十分だ〉という語感があるが、二〇一〇年代に、「〈心配／楽しみ〉(で) しかない」のように「〈まったく／非常に〉…だ」の意味で使う例が増えたとの、それまでの版にはなかった説明があり、本章で調査の対象となっている「しかない」に対する「違和感」の所在と時期を説明していると考えられる。

また表 4-1 に掲げた各辞書の用例を見ると、「この店には安物しかない」、(『国語大辞典 言泉』)、「あたし四十円しかないのよ」(『学習国語大辞典』第二版)、「一〇〇円しかない

から買えない」(『講談社カラー版日本語大辞典』第二版)、「三百人しかない」(『新潮現代国語辞典』第二版)、「百円しかない」、「初めは不安しかありませんでした」(『明鏡』第三版)、「半分しかない」(『三国』第八版)の6辞書7例のみで、『明鏡』の用例「初めは不安しかありませんでした」を除く6例は、前接語が数詞(又は価値を表す語)だった。

2.2 文法概論書における説明

金水他(2000)では、「も」や「しか」等の副助詞を、「文構成には直接関与しない任意の要素で、もっぱらとりたての機能を果たすとりたて詞」(金水他 2000 : 153)として扱っている。

またとりたて詞には、一定の制限はあるものの「文中での分布は相当自由で、種々の要素に承接」(金水他 2000 : 155)する「分布の自由性」、「構文論的な観点から見て、一文の構成に直接関与するか否かで言えば否である。つまりとりたて詞は任意の要素である」(金水他 2000 : 156)とする「任意性」等があるとしている。

とりたて詞の意味論的特徴の1つとして、本書は「肯定と否定」を挙げている。特に「しか」の用法には注意が必要として1節割いて説明を行っている。すなわち、「しか」にはとりたて詞がとりたてる文中の要素である「自者について明示的に主張するけれども、それは『だけ』など他のとりたて詞のように素直な主張の仕方ではない。あらかじめ前提とされる集合から他者を引き出すための手段として自者を明示するだけ⁴⁾」(金水他 2000 : 192-193)として、自者に形式的な視点がありながら、真の視点が他者にあるとする二次特徴を持つとしている。このことは、分析の際に念頭に置くべき点と考えられる。

2.3 日本語教育における取扱い

日本語教育の場においては規範的な日本語を教え、非母語話者の誤用は規範的な日本語と比較の上で認知させ、正しい用法の習得に導いている。日本語教科書、文型辞典、及び誤用辞典において「しか」の用法をどのように説明し教えているのかを見ることで、その規範性を確認する。

2.3.1 教科書における使用例

1970年代から2010年代に出版された主要な日本語教書において「しか」がどのように教えられているのかをまとめたのが、表4-2である。

表 4-2 各種教科書における「しか」の取扱い

教科書名	出版年	数詞＋ しかない	名詞＋ しかない	数詞＋ しか＋ 動詞＋ ない	名詞＋ しか＋ 動詞＋ ない	例文
An Introduction to Modern Japanese	1977 年	○	—	○	—	もう二十分しかありませんね。 人が五人しか来ませんでした。
コミュニケーションのための日本語	1992 年	○	—	○	—	あと六日しかないわね。今日の授業には学生は十人しか来ませんでした。
日本語初歩改訂版	1993 年	○	—	—	—	みかんは三つしかありません。
新日本語の基礎Ⅱ	1993 年	—	—	○	○	20 メートルぐらいしか泳げません。 ローマ字しか書けません。
日本語初級	2000 年	○	—	—	—	クラスに学生が 6 人しかいません。
初級ひらけ日本語新装版	2004 年	○	—	—	—	このコンサートの切符、1 枚しかないんですが、…。
日本語初級 2 大地	2009 年	—	—	—	○	昼間のようにすしか見られないでしょう。
初級日本語げんきⅡ 第 2 版	2011 年	—	—	○	—	僕は一個しかもらえませんでした。
みんなの日本語初級Ⅱ 第 2 版	2013 年	—	—	○	○	私の会社は 1 週間しか休めません。 わたしはひらがなしかわかりません。
改訂版はじめよう日本語初級 2	2013 年	—	—	○	—	20 メートルしか泳げない。

(注) 表中の「数詞」には、「少し」といった程度を表す副詞を含む。

(出所) 各種教科書より筆者作成。

日本語教育において「しか」は、『日本語初級 2 大地』を除き、数詞（又は表 4-2 には挙げていない、程度を表す副詞）との組み合わせで教えている。特に『初級日本語げんきⅡ』では「しか」の用法の説明を、「も」と併せて「number＋も／number＋しか＋negative」の表題の下、“You can add しか to the number word, *and* turn the predicate into the negative when you want to say ‘as few as’ or ‘only’.”（『初級日本語げんきⅡ』：58）と、数詞と組み合わせる旨の説明を行っている。

「しか」を用いた用例として「女の子は三人しかいません」（『日本語初歩』：33）や「このクラスにアメリカの学生は 1 人しかいません」（『日本語初級』：40）が挙げられているが、単純に数の少なさを強調する表現（存在）やそれに付随した練習問題は、調査対象の教科書のうち 2009 年以降に出版された教科書には見られなくなった。

また 2.1 項 (ハ) 等で説明した「特定の事柄以外のものを全く否定する意を表す」用法や、金水他 (2000 : 193) で指摘のあった真の視点が他者にあるとする二次特徴に焦点を当てた「しか」の用法の学習までは、今回調査した教科書では教えていないことも判明した。

2.3.2 文型辞典による説明

グループ・ジャマシイ (1998) では「しか…ない」について、(イ) N (+助詞) しか…ない、(ロ) N でしかない、(ハ) V-るしかない、の 3 つに分類の上、例文を示しながら解説している。

(イ) については、「朝はコーヒーしか飲まない」、「1 時間しか待てません」等の例文を示した上で、「否定表現と共に使い、ひとつの事だけを取りあげて、他を排除するのに用いる」(グループ・ジャマシイ 1998 : 136-137) と解説している。

(ロ) については、「かれは学長にまでなったが、親の目から見るといつまでも子どもでしかないようだ」、「時間がなくて出来ないと言っているが、そんなのは口実でしかない。ほんとうはやりたくないのだろう」等の例を挙げ、『N だ』ということを強調する言い方だが、N にくるものをあまり評価しない、価値がそれだけに限られるという意味で使うことが多い。『にすぎない』に言いかえられる」(グループ・ジャマシイ 1998 : 137) と解説している。

また、(ハ) については、「そんなに学校がいやならやめるしかない」、「燃料がなくなったから、飛行機は落ちるしかない」等の例を掲げ、『そうするだけだ』という意味で、他に方法がない、他の可能性がないから仕方がないという文脈で使われることが多い」(グループ・ジャマシイ 1998 : 137) としている。

2.3.3 誤用辞典による説明

市川 (2010) は「(日本語) 学習者の貴重な誤用と、誤用から得た貴重なヒントや指導のポイントをまとめた」(市川 2010 : 3) 辞典である。この中で「しか」については、「規則があっても、たばこのコマーシャルが禁止しても、人々はまだたばこを吸っている。一つしか変えなかったのは、今公共の場所でたばこを吸えない」、「卒業表を下さる人は昔から王様である。たくさん的人是その日が一生一度しか王様の手から物をもらえないと言うから、卒業式の日が一生一番大切な日だと考えている」(市川 2010 : 155-156) という外

国人学習者の作文例を挙げている。この誤用例に対して「その事態（中略）を少なすぎると非難するのではなく、唯一の良いこととして評価するならば、『しか＋否定』ではなく『だけ＋肯定』が適している。『だけ＋肯定』は唯一のものの存在を肯定的に述べており、『しか＋ない』は少なすぎるため良くないというニュアンスで使われる。『少なすぎる』という意味合いが不要なのに『しか＋ない』の形だけ正しく使えるのは、かえって危険である」（市川 2010：157）と解説し、「指導のポイント」でも、「『だけ＋肯定』は唯一のものの存在を肯定的に述べており、『しか＋否定』はそれが少なすぎるためよくないというニュアンスで使われる。『少なすぎる』という意味合いがない場合は、『しか＋否定』の形を使わないように指導し、話し手のとらえ方を正確に伝えられるように練習する」（市川 2010：158）と、「しか」の使用場所を明確に伝えている。

なお市川（2010）は誤用辞典であるが、本章の調査対象の「違和感」のある「名詞＋しかない」についての記述はなかった。

2.3.4 類義表現との比較

市川（2018）では、類義表現との比較を行いながら、それぞれの語の特徴と使用すべき状況を説明している。

本書の中で、まず、取り立て助詞「だけ・しか・ほど・も・は」等による対比を行い、「『だけ』と『しか』は限定を表すが、『だけ』が肯定的な限定を表すのに対し、『しか』は否定と結びついて『少ない』という気持ちを表す」（市川 2018：310）と解説して表 4-3 を掲げ、取り上げた取り立て助詞の意味を対比している。

表 4-3 取り立て助詞「だけ・しか・ほど・も・は」等による対比

	限定の意味 を持つ	少ないとい う気持ち	「だいたい」 の意味を持つ	長い、多い ととらえる	少 なく と も、最低限
だけ	○				
しか	○	○			
ほど／くらい／ぐらい			○		
も				○	
は					○

（出所）市川（2018：310）。

その上で、「しか」については、『だけ』と同じく限定を表すが、後ろに否定表現を伴う。話し手の『少しである』という気持ちを表す。日本人は実際それほど『少なく』なくても、『お金は少ししかない』『英語はちょっとしか話せない』のように否定的に表現する傾向がある」との解説を加えている。

また同書は「変化」の説明の章で、前接語が動詞の例を挙げながら「～しかない」について『～だけだ』とほぼ同じだが、変化を消極的にとらえ、残念な気持ちを含ませている。それ以外の方法がないことに対する悲観的な気持ちがある」と説明。この表現に残念、悲観的な気持ちがあることを説明している。

2.4 意味論の観点からのとりたて詞の特徴

沼田（2009）では、とりたて詞⁵の意味論的特徴を次のように説明している。すなわち、

- ① とりたて詞がとりたてる文中の要素である「自者」と、自者に端的に対比される「自者」以外の要素である「他者」
- ② とりたて詞が明示する意味である「主張」と、とりたて詞が暗示する意味である「含み」
- ③ 「自者」についての非とりたて形式の文を「真」とする「肯定」と、「自者」についての非とりたて形式の文を「偽」とする「否定」
- ④ 主張及び含みにおいてある事柄に対して話し手自身が真偽を下す「断定」と、とりたて詞の表す意味に真偽を下さない「想定」⁶

の 4 組 8 個の基本的特徴とその組み合わせで体系的に記述が可能としている（沼田 2009 : 37-40）。

その上で、とりたて詞の意味特徴は、「主張」と「含み」とに分けて記述される。それぞれにおいて、「断定」か「想定」か、「自者」か「他者」か、「肯定」か「否定」かが示される（沼田 2009 : 244）。

「しか」については、「主張：自者－否定」、「含み：他者－肯定」となる。「主張：自者－否定」とは、例えば、「太郎しか学校へ行かなかった」という文においては、「自者」は「太郎」、「主張」は「太郎は学校へ行った」で、非とりたて形式の「太郎が学校へ行かなかった」は「否定」されるということである。「含み：他者－肯定」は、「太郎しか学校へ行

かなかった」という文においては、「他者」は「太郎以外」、「含み」は「太郎以外は学校へ行かなかった」で、非とりたて形式の「太郎以外が学校へ行かなかった」は「肯定」されるということである（沼田 2009 : 40-41）。沼田（2009）は、「しか」は、「自者」について明示的に「主張」するが、それは「他者」を引き出すための手段であり、「しか」には、「自者」におかれる形式的視点と「他者」におかれる真の視点の二重視点があると述べている（沼田 2009 : 218）。

以上、副助詞「しか」の規範的な扱われ方を記載したが、「違和感」の所在は、この規範的な用法からの逸脱にあると思われる。

以下、「違和感」のある「名詞+しかない」の用法を洗い出していくこととする。

3. コーパスを用いた用例の収集と分析

3.1 調査対象

本節では、「はじめに」で言及した本章の研究目的である、「しかない」に「違和感」が生じる理由、「違和感」のある「しかない」の所在、及び「違和感」のある用法の出現時期を探るべくために、以下のコーパスを用いることとした。すなわち、

- ① 書き言葉の代表的なコーパスとしての現代日本語書き言葉均衡コーパス
- ② 話しことばの代表的なコーパスとしての日本語日常会話コーパス
- ③ フォーマルな話し言葉として筆者が作成した審議会議事録コーパス
- ④ 後述の「打ち言葉」における用例収集を目的に筆者が作成した特定の個人ブログを対象としたコーパス
- ⑤ 同じく「打ち言葉」における用例収集を目的に筆者が作成した多数の個人による個人ブログを対象としたコーパス

の5つを用い、書き言葉から話し言葉に至る幅広い用例を収集する。

3.2 中納言を用いた現代日本語書き言葉均衡コーパスによる用例収集と分析結果

中納言を用いて現代日本語書き言葉均衡コーパス（以下「BCCWJ⁷」と言う。）における「しかない」の用例を収集した。BCCWJ は、「現代日本語書き言葉のできるだけ多く

の変種をとりあげ、日本語の全体像を明らかにするための偏りのないサンプルを提供することを目標とした設計が施され」（前川 2015：1-2）たものである。収録対象は 1976 年から 2005 年までの刊行物だが、その主たる部分の書籍は 1986 年から 2005 年に刊行されたものである。（前川 2015：31）

「しかない」の用例検索の前に、副助詞のうち「しか」を含む「とりたて助詞」、具体的には「しか、だけ、ばかり、こそ、のみ、さえ、すら」がどの程度あるのかを調べてみた結果が表 4-4 である。

表 4-4 BCCJ におけるとりたて助詞の使用頻度

とりたて助詞	語数 (A)	検索対象語	記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数 (C)	とりたて助詞計に対する割合 (A) / (B)	検索対象語（除く記号等）に対する割合 (A) / (C)
だけ	118,362	101,874,618	88,442,312	54.3%	0.13%
しか	26,737			12.3%	0.03%
ばかり	24,538			11.3%	0.03%
こそ	16,620			7.6%	0.02%
のみ	15,175			7.0%	0.02%
さえ	12,309			5.6%	0.01%
すら	4,226			1.9%	0.00%
計	217,967 (B)			100.0%	0.25%

（注）長単位検索、[書字形出現形] が（検索対象語）AND [品詞] の [大分類] が [助詞] で検索を行った。
（出所）BCCWJ より筆者作成。

表 4-4 から、とりたて助詞を「しか、だけ、ばかり、こそ、のみ、さえ、すら」の 7 語に限定した場合、「だけ」が全体の 54.3%と、使用頻度で過半を占めていることが分かった。続いて、「しか」（12.3%）、「ばかり」（11.3%）、「こそ」（7.6%）との結果だった。

「しか」は、2.4 で見たように沼田（2009）が指摘する「二重視点」がある等、他のとりたて助詞に比べ運用が難しい面があるにもかかわらず使用頻度が多いのは意外だった。

次に「しか」、「しかない」がどのような語と共起しているのか、前接語に着目してその数を調べた結果が表 4-5 である。

表 4-5 BCCWJにおける「しか」、「しかない」の前接語の品詞別用例数

前接語 の品詞	しか				しかない	
	書字形出現形		語彙素			
	件数	比率	件数	比率	件数	比率
検索対象語数：88,442,312						
名詞	12,484	47.3%	12,491	47.4%	369	9.2%
普通名詞	9,006	34.1%	9,012	34.2%	226	5.6%
固有名詞	309	1.2%	309	1.2%	11	0.3%
数詞	3,169	12.0%	3,170	12.0%	132	3.3%
代名詞	736	2.8%	744	2.8%	37	0.9%
形状詞	20	0.1%	17	0.1%	0	0.0%
連体詞	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
副詞	782	3.0%	798	3.0%	7	0.2%
接続詞	3	0.0%	3	0.0%	0	0.0%
感動詞	2	0.0%	4	0.0%	0	0.0%
動詞	1,964	7.4%	1,943	7.4%	2,659	66.3%
形容詞	36	0.1%	35	0.1%	0	0.0%
助動詞	1,740	6.6%	1,733	6.6%	848	21.1%
助詞	8,631	32.7%	8,580	32.6%	92	2.3%
接頭辞	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
接尾辞	6	0.0%	5	0.0%	0	0.0%
計	26,407	100.0%	26,356	100.0%	4,012	100.0%

(注) 長単位検索、キーの〔品詞〕の〔大分類／中分類〕が〔対象品詞〕、後方共起 1〔キーから〕[1]〔語〕、〔語彙素〕が〔しか／しかない〕で検索を行った。表 4-4 との差は、表 4-4 では補助記号等を含んでいることによるもの。

(出所) BCCWJ より筆者作成。

対象検索語（長単位）88,442,312 語のうち、後方共起する語「しか」を書字形出現形で検索するか語彙素で検索するかで若干差があるが、語彙素⁸でみると、名詞が 12,491 件で全体の 47.4%、次に動詞の 1,943 件で全体の 7.4%、助動詞の 1,733 件で全体の 6.6% との結果だった。

また、後方共起する語を「しかない」で検索すると、その用例は全部で 4,012 件あった。

これは、BCCWJにおいて26,356件ある副助詞「しか」の用例の約15%に当たる。

この用例を前接語の品詞で分類すると、前接語として動詞が来る用例が全体の約三分の二の2,659件、次に助動詞（「先送りではない」の「だ」の連用形「で」等）が来る用例が全体の2割強の848件、そして名詞が来る用例が全体の1割弱の369件だった。

この前接語に名詞が来る用例を、中納言の品詞の中分類に沿って更に細分化してみた。前接語が普通名詞の用例が226件（全体の5.6%、以下同）、固有名詞が11件（0.3%）、「十年」、「二日間」等の数詞が132件（3.3%）だった。

次に、前接語の名詞を見ていくと、「違和感」のない語には数詞や文法的に限定（definite）されるもの（「限定語句＋形式名詞」等）が含まれていることが分かる。これは国語辞典に「しか」の特徴として2.1項で示した「(二) 話し手にとって狭いと意識される範囲（少ないと感じられる数量）に限定されることを表わす」（『新明解』）用法、「(イ) 肯定し得るものをそれだけと特定し、それ以外のものを否定する」（『日国』）、又は「(ハ) 特定の事柄以外の者を全く否定する意を表す」（『大辞泉』）用法であり、数詞や文法的に限定（definite）されるもの（「限定語句＋形式名詞」等）が含まれている前接語は規範的な用法として分析の対象（「違和感」のある「しかない」）から除外できる。これらを踏まえ本研究では、前接語が普通名詞の用例を詳しく分析していくこととする。

前述のとおりBCCWJでは品詞の分類に数詞があり、前接語が数詞の用例をあらかじめ取り出すことができるが、普通名詞の用例の中にも以下に示すように数詞に分類できる用例が29件あり、これは分析対象から除外した。

- (7) という方法である。分厚い予算書類を議員たちにどさっと渡す。議員がそれを審議するのに数日しかない頃にである—とても正常な頭で吟味や分析ができる日数ではない。（サンプルID：OB3X_00210、以下同。）（下線は筆者。以下同。）

また、前接語が数詞ではないがその修飾節に数値が含まれており、以下の(9)のように前接語とその修飾節が全体で「数詞化」しているものが30件あり、これも数詞と同様分析対象から除外した。

- (8) 一心は即答に窮した。コークス炉で蒸し焼きする期間を考えると、交渉には二ヶ月の余裕しかない。一心は、石炭部、対外貿易部、国家計画委員会原材料局

へ手を打ち、オーストラリア炭のスポット (OB4X_00013)

また「こと」及び「もの」という形式名詞は、その前に必ず限定 (definite) の修飾節が付くため、例文 (9) のような前接語が形式名詞の用例 12 件も分析対象から除外した。

- (9) 実際のところ。人を規制するということは非常に困難、やはり行為を規制する
ということしかない。これは別な話ですが、よく市町村に立候補するので右翼
なんかが郵便で (OM31_00002)

さらに、前接語の品詞分類が誤っていると考えられる用例が 2 件あった。

- (10) 「そんなことって、本当はあなただって欲しいくせに」「欲しかないよ。今日
はこのまま寝るからね」 (OB2X_00128)
- (11) 「それもお前ら自身のケツだ。騒がれようが、不自由になろうが、ふくしか
ないだろう」「やめてよ、ケツ、ケツって。ドキドキしちゃうじゃない」
(OB5X_00248)

用例 (10) は、語彙素読みを「ヨク」としているが、「欲 (ほ) しくない」の口語表現と考えられ、「名詞+しかない」ではなく品詞は動詞と考えられる。また用例 (11) は語彙素を「服」としているが「拭く」の誤りで、これも品詞は動詞と考えられる。

以上、普通名詞 226 件から、数詞に分類できる用例 29 件、前節後とその修飾語全体が「数詞化」している用例 30 件、「こと」、「もの」等の形式名詞 12 件及び品詞分類の誤り 2 件を除く 153 件が更なる分析対象となる。

表 4-6 「しかない」の前接語の普通名詞の分析

対象	件数	備考
普通名詞	226	(A)
数詞に分類できる用例	29	(B)

対象	件数	備考
前接語とその修飾節全体が「数詞化」	30	(C)
形式名詞	12	(D)
BCCWJ の品詞分類の誤り	2	(E)
分析対象	153	(A) - (B) - (C) - (D) - (E)

(出所) BCCWJ より筆者作成。

以上、精査した 153 件の前接語は表 4-7 に挙げたとおり、方法（用例数 6。以下同。）、効果、今（以上 4）、印象（3）、イメージ、セックス、チャンス、とき、家、言葉、勝利、心、製造業、幅、返還（以上 2）、他 114 件だった。

表 4-7 BCCWJ における「しかない」の前接語の名詞

方法（6）、効果、今（以上 4）、印象（3）、イメージ、セックス、チャンス、とき、家、言葉、勝利、心、製造業、幅、返還（以上 2）、金、CMC、ESP 超念力、キャベツ、グレープフルーツ、ココ、この世、ジープ、ズウォチ、ソフト、タイム、ちがい、バス、バック転、ペーパーレス、メリット、やり方、ワイン、違い、雨サン、運動会、価格、価値、家計調査、花色、絵、開催、開頭手術、開頭術、外国人、学校、株、干拓堤防、機会、機能、記憶、泣き寝入り、恐怖、形態、経済力、減量、御答弁、攻め、構造改革、行為、高さ程度、国会、左側、支出、施設、資金需要、飼い殺し、時間、自動販売機、自分、手応え、手紙、手続、衆参同日選挙、処理、商品、唱題、小窓、場合、情熱、情報関係、政府紙幣、整形、接客、接触、設定、戦争、選択肢、訴訟、挿絵、総退陣、村、対立、短期勝負、談合、知的創造力、兆（きざし）、町家、超人的宇宙エリート、直撃、泥、伝統、努力、道、内股、認識、排気ガス、判断、反対、瓶詰、部、部分、副作用、片っぽう、返事、方策、方式、法律、滅亡、優勝経験、予算、予定、予防、余裕、裸木、料理、療養型病床群、霊能、枠内（以上 1）

(注) カッコ内は件数。

(出所) BCCWJ より筆者作成。

この用例、153 例の前接語を分析すると、①前接語の前に修飾節が付き、肯定し得るものをそれだけと特定しているもの、②前接語の前に「か」や「と」で結ばれた対になる語が示され前節語が限定されているもの、の 2 つに分けられた。①、②の具体的な用例は、以下の例文（12）、（13）である。

- (12) それまでは、キア夫人とは、パーティで二、三度、短い挨拶を交す機会しかなかったが、その後は薔薇の栽培にこと寄せて、しばしば訪問し、三十分ほどお喋りしてて（OB1X_00075）

- (13) やはり焦点の郵政民営化法案の話題が出ましたが、“賛成か反対しかない。中立はありえない”と断言し、秋の組閣でも、郵政に協力する (PM51_01143)

この 153 例の中で唯一、筆者や登場人物の感情を表す語として用例 (14) に挙げた「情熱」があつたが、これも文脈から「学力、技術はないが情熱はあつた」((イ)や(ハ)の例)と理解でき、「違和感」のない用法と判断した。

- (14) ある非常に繁盛しているチェーン店に就職したいと考えました。そして、「自分には情熱しかない」と思い、熱意だけで勝負しようとしたのです。そのチェーン店は全部で (OB5X_00306)

以上から BCCWJ には、「名詞+しかない」の用法について「違和感」の元になる、規範的な用法から逸脱しているものはないと結論付けられる。

3.3 中納言を用いた日本語日常会話コーパスによる用例収集と分析結果

日本語日常会話コーパス (以下「CEJC⁹⁾という。)は、国立国語研究所が 2022 年 3 月に公表した、様々なタイプの日常会話約 200 時間をバランスよく収録した大規模なコーパスで、2016 年度から 2021 年度に行われた国立国語研究所機関拠点型基幹研究プロジェクト「大規模日常会話コーパスに基づく話し言葉の多角的研究」で構築されたものである。

BCCWJ 同様 CEJC についても「しかない」の用例検索の前に、副助詞のうち「しか」を含む「とりたて助詞」、具体的には「しか、だけ、ばかり、こそ、のみ、さえ、すら」がどの程度あるのかを調べてみた。その結果を取りまとめたのが表 4-8 である。

表 4-8 CEJC におけるとりたて助詞の使用頻度

とりたて助詞 \	語数 (A)	検索対象語	記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数 (C)	とりたて助詞に対する割合 (A) / (B)	検索対象語 (除く記号等) に対する割合 (A) / (C)
だけ	3,284	2,190,917	2,189,952	62.8%	0.15%
しか	1,223			23.4%	0.06%

とりたて助詞	語数 (A)	検索対象語	記号・補助記号・空白を除いた検索対象語数 (C)	とりたて助詞計に対する割合 (A) / (B)	検索対象語（除く記号等）に対する割合 (A) / (C)
こそ	296			5.7%	0.01%
ばかり	256			4.9%	0.01%
さえ	76			1.5%	0.00%
すら	59			1.1%	0.00%
のみ	35			0.7%	0.00%
計	5,229 (B)			100.0%	0.24%

(注) 長単位検索、[書字形出現形] が (検索対象語) AND [品詞] の [大分類] が [助詞] で検索を行った。

(出所) CEJC より筆者作成。

表 4-8 から、CEJC におけるとりたて助詞の使用頻度が分かる。BCCWJ 同様、「だけ」が最も多く用いられており、「しか、だけ、ばかり、こそ、のみ、さえ、すら」の 7 語に限定した全体の 62.8% と、BCCWJ における「だけ」以上に使用頻度が多いことが分かった。次に、「しか」が来るのは BCCWJ と同様だが、その比率は 23.4% で、BCCWJ の約 2 倍の比率だった。以下、「こそ」(5.7%)、「ばかり」(4.9%)、「さえ」(1.5%) と続くが、CEJC では「だけ」と「しか」の使用比率が高い分、「こそ」以下の使用頻度は相対的に低くなっているとの結果だった。

次に「しか」、「しかない」がどのような語と共に起しているのか、前接語に着目してその数を調べた結果が表 4-9 である。

表 4-9 CEJC における「しか」、「しかない」の前接語の品詞別用例数

前接語 の品詞	しか		しかない	
	書字形出現形		語彙素	
	件数	比率	件数	件数
検索対象語数 : 2,189,952				
名詞	693	57.1%	0	0.0%
普通名詞	457	37.7%	0	0.0%
固有名詞	49	4.0%	0	0.0%
数詞	187	15.4%	0	0.0%

前接語 の品詞	しか		しかない	
	書字形出現形		語彙素	
	件数	比率	件数	件数
代名詞	96	7.9%	0	0.0%
形状詞	0	0.0%	0	0.0%
連体詞	0	0.0%	0	0.0%
副詞	49	4.0%	0	0.0%
接続詞	0	0.0%	0	0.0%
感動詞	3	0.2%	0	0.0%
動詞	14	1.2%	95	86.4%
形容詞	6	0.5%	1	0.9%
助動詞	15	1.2%	14	12.7%
助詞	337	27.8%	0	0.0%
接頭辞	0	0.0%	0	0.0%
接尾辞	0	0.0%	0	0.0%
計	1,213	100.0%	110	100.0%

(注) 長単位検索、キーの〔品詞〕の〔大分類／中分類〕が〔対象品詞〕、後方共起 1〔キーから〕〔1〕〔語〕、〔書字形出現形／語彙素〕が〔しか／しかない〕で検索を行った。「しか」の語彙素での検索結果は書字形出現形と同等だったので記載省略。合計が 1,213 語と表 4-8 より 10 語少ない理由は不明。

(出所) CEJC より筆者作成。

検索対象語（長単位）2,189,952 語のうち語彙素としての「しかない」を含む用例は、全部で 110 件あった。これは、CEJC において 1,213 件ある副助詞「しか」の用例の約 9%に当たる。この 110 の用例を「しかない」の前接語の品詞で分類すると、前接語に動詞が来る用例が 95 件（86%）、次に助動詞 14 件（13%）、その他（形容詞）が 1 件（1%）で、CEJC には「名詞+しかない」の用例はないとの結果だった。

CEJC に収録された話者の属性をまとめたのが表 4-10 である。ここから以下のことが分かる。

まず、話者の年代は 10 歳未満から 90 歳までと幅広いが、10 代から 20 代の若年層が異なり話者数、発話時間及び語数で約 2 割であるのに対して、30 代から 60 代が、異なり話者数では約 55%、発話時間及び語数では約 7 割を占めている。また、職業を見ると会社員・役員・公務員・専門職員が異なり話者数、発話時間及び語数で約三分の一を占めてい

る。CEJC は日常会話をバランスよく収録したため、学生や青年層ではない世代がコーパスの中心を占めている。

表 4-9 から判明したが、2016 年度から 2021 年度の間に収録された発話時間約 200 時間のこのコーパスでは、「名詞＋しかない」の表現は使われていない。しかし、同時期の若い世代の会話を収めたコーパスがあれば異なる結果が出たとも考えられるため、この結果をもってこの時期の会話で「名詞＋しかない」の表現が使われなかったと一般化することは難しいと考えられる。

表 4-10 CEJC の年代別、職業別話者数、発話時間、語数

		異なり話者数（人）		発話時間（時間）		語数（千語）	
年齢別	～9 歳	16	1.9%	2.0	1.1%	19	0.8%
	10 代～20 代	165	19.1%	36.0	20.1%	505	20.9%
	30 代～60 代	474	55.0%	127.3	70.4%	1,689	70.0%
	70 代～	81	9.4%	13.7	7.6%	182	7.6%
	不明	126	14.6%	1.4	0.8%	17	0.7%
	計	862	100.0%	180.7	100.0%	2,413	100.0%
職業別 全体	会社員等	305	35.4%	68.9	38.1%	932	38.6%
	自由業等	100	11.6%	36.1	20.0%	480	19.9%
	パート等	74	8.6%	18.3	10.1%	243	10.1%
	専業主婦	87	10.1%	21.1	11.7%	260	10.8%
	無職・定年等	51	5.9%	10.5	5.8%	141	5.9%
	学生	113	13.1%	23.2	12.8%	327	13.5%
	その他	132	15.3%	2.6	1.4%	29	1.2%
	計	862	100.0%	180.7	100.0%	2,413	100.0%

（注）四捨五入のため、各行の和が計にならないものがある。

（出所）国立国語研究所（2022）より筆者作成。

3.4 審議会議事録をコーパスとした用例収集と分析結果

長期間にわたる対話の記録で、文字化されたものが容易に入手可能で分析対象とすることが出来るものとして国の審議会の議事録がある。国の多くの審議会の議事録が公開され

ているが、この中から金融庁が所管する金融審議会、及び農林水産省が所管する食料・農業・農村政策審議会の議事録を用いて「名詞＋しかない」の用例を収集しコーパスとして用いることとした。

審議会議事録を調査対象に用いることにした理由は、第3章の「敬称「さん」の組織名等への多用と敬意の揺れ」の調査・研究においても言及したが、①原則として2001年以降の審議会議事録が、要旨ではなく発言録として、役所のウェブサイトで公表されていること、②特定のテーマに係るフォーマルな議論の場における対話であること、③発言者が特定できること、④発言者が、学者、公務員、金融関係者、農業関係者、その他有識者と、多様かつ構成が明らかであること¹⁰、⑤発言者の中で、特に学者及び公務員は、長期にわたって委員や事務局を務めることが多く、必要であれば経年の変化を追うことが可能であること、による。

調査対象期間は、2001年1月から2020年12月までの20年間である。対象となる会議は、調査対象期間に開催され金融庁ウェブサイトに掲載された金融審議会全会議¹¹（ただし、一部議事録の公開のない部会等を除く。）、総審議時間871時間、及び農林水産省ウェブサイトに掲載された食料・農業・農村政策審議会¹²、総審議時間323時間である。

なお、調査期間の発言者総数は、金融審議会は1,058人、また、食料・農業・農村政策審議会は512人だった。

BCCWJ等と異なり審議会議事録からの語彙素による用例収集は容易に出来ないため、審議会議事録からは「しかない」、「しかなかった」、「しかありません」に限定して用例を収集し、BCCWJ等と同様、前接語の品詞で分類した結果をまとめたのが、表4-11である。

表 4-11 審議会議事録による「しかない」等の前接語の品詞別用例数

	金融庁		農林水産省		計	比率
	「違和感」なし	「違和感」あり	「違和感」なし	「違和感」あり		
名詞	133	0	51	1	185	45.3%
普通名詞	68	0	27	1	96	23.5%
形式名詞	11	0	0	0	11	2.7%
固有名詞	3	0	1	0	4	1.0%
数詞	51	0	23	0	74	18.1%

	金融庁		農林水産省		計	比率
	「違和感」なし	「違和感」あり	「違和感」なし	「違和感」あり		
代名詞	7	0	4	0	11	2.7%
副詞	1	0	0	0	1	0.2%
動詞	87	0	43	0	130	31.9%
助動詞	27	0	14	0	41	10.0%
助詞	31	0	7	0	38	9.3%
誤用例 ¹³	1	0	0	1	2	0.5%
総計	287	0	119	2	408	100.0%

(出所) 金融庁、農林水産省ウェブサイトより筆者作成。

20 年にわたる審議会議事録から「しかない」、「しかなかった」、「しかありません」の用例は 408 件が確認できた。この 408 語を対象に、「しかない」、「しかなかった」、「しかありません」の前接語を BCCWJ 及び CEJC と同様の分析をした。

その結果、名詞が全体の 45.3% の 185 件、動詞が 31.9% の 130 件、助動詞が 10.0% の 41 件あった。

BCCWJ では、名詞について、数詞に分類できる用例、前接語とその修飾節全体が「数詞化」、形式名詞、品詞分類の誤りに該当する語を除いた名詞について分析を行ったが、表 4-11 の名詞 185 件のうち、BCCWJ 等における分析と同様の理由で固有名詞、数詞、形式名詞を除く普通名詞 96 件を確認したところ、「違和感」があるのは、次の農林水産省審議会の 1 件だけだった。

- (15) …本当に農家さんには感謝しかないというところなんです。僕は醤油を作る農産加工という形で、… (2019 年 5 月 21 日開催、第 72 回食料・農業・農村政策審議会企画部会における農業関係者の発言)

本例は、農業関係者の農林行政の実態を聞くべく行ったヒアリングにおける農業関係者の発言だが、近年聞かれた改まった席での話し言葉における「違和感」のある「名詞＋しかない」の記録例として記憶すべきである。

この「違和感」の原因としては、『明鏡』の「注意」にある、名詞部分が「ある／ない」で言わないものであること、「②わずかにそれだけである意」(『広辞苑』)を表しておらず、

また、「⑥ある物事を取りあげて、それ以外をすべて否定する」(『明鏡』)「それ以外」が不明なこと、すなわち、沼田(2009)にいう自者に端的に対比される「他者」が暗示されないことがあったと考えられる。

この審議会議事録における前接語が名詞である用例は異なり語数 81、延べ語数 96 で、具体的には表 4-12 のとおり、金融や農業に関する語を中心としたものだった。

表 4-12 審議会議事録における「しかない」の前接語の名詞

ABS、FSR、TOPIX、おつき合い、シェア、つながり、ディスクロージャー、データ、ところ、ハードランディング、パテント、ファイナリティ、ユーロ、維持、印象、運用、価値、会社、感謝、監督、関係、基準、機械、機能、規制、義務、供給量、教育、業務、区域、区分、刑事罰、形態、権限、現金、効果、厚生年金、工事、考え方、国、残高、仕方、支店、資産、資料、事務、時間、質権、準備金、書き方、償還、情報、条項、数字、税、選択権、態勢、調達、程度、店舗、同意権、内訳、農業、売り上げ、半分、保険、募集、報酬、放牧、方向、方向性、方法、墨字、役職、預貯金、利用、力、例、歴史、枠組み、鉄
--

(出所) 筆者作成。

審議会では、法律を作る際に国が考えている法制度案について広く有識者の意見を聞き、そこでの議論を経て取りまとめた結論を基に法案を作成する重要な議論の場である。出席委員の初回発言は発言要領を作成の上臨むことも多いと見られ、非常にフォーマルな対話が繰り返される場である。したがって、規範から外れた表現が使われる可能性は低く、また、審議会が広く意見を聞き議論を行う場であるとの性格上、「しかない」といった特定の要素を取り立て断定する表現は少ないと考えられることから、上記の結果となったと推察する。

3.5 特定の個人によるブログをコーパスとした用例収集と分析結果

個人がその時々の想いや雑感等を書き連ねるブログでは、論文やレポート、雑誌等への投稿記事のような、従来の書き言葉とは異なるくだけた表現が用いられることが多い。これは話し言葉とも異なり、書き言葉と話し言葉の中間に位置するといった意味で「打ち言葉」との語も用いられる。

「打ち言葉」については今野(2021)に以下の記述がある。

電子メールを使い始めたころは、「拝啓」からメールを始める人がいたと記憶する。

これは、手紙を電子的に送っている感覚だろう。このような時期においては、電子メールは一般的な「書きことば」に包摂されていたといえよう。現在では、電子メールやSNSのことばは、「話しことば」に接近しているといつてよい。両者との異なる言語態として「打ちことば」という呼称もある。「打ちことば」は新語に強いことを謳う『三国』の最新版である第七版（二〇一四年一月十日刊）にもまだ見出しとして採用されていない。『岩波』第八版にも『新明解』の第八版にも『明鏡』の第三版にも見出しとして採用されていない。（中略）「打ちことば」の発生によって、「書きことば」は「話しことば」側にひっぱられているようにみえる。少し前であれば、「ひっぱられることがある」と表現しただろうが、現在では確実にひっぱられているといつてよい。特に「書きことば」の特徴であった「構造」という点においてはそれが顕著にみえる。（中略）これと同じように、特定の相手を想定して「打った」メールは相手が想定されているだけに、「情報」が極端に限定されやすい。これは特定の人の間でかわされる「話しことば」にちかい。そういう「想定」のもとに「打って」いるから、「書き手」の気分もそういう気分になっている。ある程度の人数を「聞き手」として想定している「話しことば」よりもさらに限定されていることもあろう。（今野 2021 : 104-108）

このように「打ち言葉」は、話し言葉側に引っ張られた書き言葉と表現されている。もっとも、今野（2021）執筆時に刊行されていなかった『三国』第八版には、「うちことば [打ち（言葉）] メールやSNSでよく使うことばや文字（を使った表現）。例、「了解_{りょうかい}」を「り」と書くなど。[二十世紀末からのことば]」と規定されている。本章では「打ち言葉」を、メール、SNS、ブログ等の電子媒体に書かれた話し言葉側に引っ張られた書き言葉として用いることとする。

一個人が長く書き続けているブログを過去に遡って確認できるのであれば、そのブログを、特定の語の使われ方の変遷をたどることのできるコーパスとして利用できると考えられる。そこで、双日総合研究所のエコノミスト、吉崎達彦氏¹⁴が1999年10月に始めたブログ「溜池通信¹⁵」を用いることにした。この「溜池通信」は、吉崎氏が内外経済や政治の話題から自身の趣味の競馬や将棋の話まで、その時々話題を自由に取り上げたブログで、本研究ではブログ開始時の1999年10月から2022年9月末までの丸23年間を対象に、用例収集と分析を行った。

前述の審議会議事録と同様の理由、すなわち BCCWJ 等と異なり語彙素による用例収集は容易に出来ないため、「しかない」、「しかなかった」、「しかありません」の 3 表現に限定して検索した結果をまとめたのが、表 4-13 である。

表 4-13 溜池通信による「しかない」等の前接語の品詞別用例数

	件数	比率
名詞	119	23.4%
普通名詞	37	7.3%
形式名詞	2	0.4%
固有名詞	8	1.6%
数詞	72	14.1%
代名詞	21	4.1%
副詞	24	4.7%
動詞	326	64.0%
助動詞	8	1.6%
助詞	11	2.2%
計	509	100.0%

(出所) 溜池通信より筆者作成。

溜池通信では「しかない」、「しかなかった」、「しかありません」の 3 表現を用いた用例が全部で 509 件が確認できた。このうちこれらの前接語の品詞を分析したところ、動詞が全体の 64.0% の 326 件、名詞が 23.4% の 119 件、助動詞が 1.60% の 6 件だった。名詞 119 例のうち、BCCWJ 等における分析と同様の理由で固有名詞、数詞、形式名詞を除く普通名詞 36 例を確認したところ、用例 (16) のような「しかない」本来の用法のみで、「違和感」を覚える用例はなかった。

- (16) ところが実は、他国でもあんまり事情は変わらないらしい。シカゴ大学の研究によれば、米国におけるロックダウンは外出を 7.6% 減らす効果しかなかったという。

また、本ブログにおける前接語が名詞である用例は、異なり語数 32、延べ語数 36 だった。

表 4-14 「溜池通信」における「しかない」の前接語の名詞

ABS、知識、効果、水鉄砲、物語、A 案、コメイフレンド、シチュエーション、ハンマー、愛人、一瞬、価値、会談、関係、経済力、警察力、雇用、作戦、視聴率、出馬、政府、選択、選択肢、大連立、知恵、地上戦、程度、道、得票、文学賞、野球、梓連

(出所) 筆者作成。

溜池通信は、現在 60 代前半のエコノミストの書き物としてかなりくだけた表現を用いているが、大人の節度ある話し言葉へ引っ張られていること、また内容が政治・経済を中心としたものであることから、仮に著者が話し言葉で「若者言葉」や「流行り言葉」を使っていたとしても、自身のブログに載せるには「若者言葉」や「流行り言葉」を使って書けるテーマではないことから、「違和感」のある「名詞+しかない」の表現はなかったものと考えられる。

3.6 多数の個人によるブログをコーパスとした用例収集と分析結果

次に本研究では、「名詞+しかない」が頻繁に現れる「打ち言葉」の実態を探るため、以下の方法で用例を収集し分析を行った。

- (作業 1) Ameba ブログを検索対象として、「芸能人・有名人」と「一般ブログ」に分けて、「しかない」の例を、最も記載時期の新しいものから各 1,000 例集め、各例、見出し及び当該語を含む 2 行をデータベース化する¹⁶。
- (作業 2) 「しかない」の前接語を分析し、BCCWJ 等と同様、前接語が普通名詞の用例に着目し「違和感」の有無で分類、そのうちの特定の語について再度、語数を Ameba ブログで調査する。
- (作業 3) 「芸能人・有名人」と「一般ブログ」で出現件数の多かった「違和感」のある用例で、件数が 1,000 件未満の語を取り出し、「当該語+しかない」の用例を Ameba ブログから「芸能人・有名人」と「一般ブログ」

に分けて検索し、その記載時期の分布を調査する¹⁷⁾。

この方法による収集と分析を行った（作業 1）。その結果を前接語の品詞ごとに分類したのが表 4-15 である。

表 4-15 Ameba ブログによる「しかない」等の前接語の品詞別用例数

	「違和感」なし			「違和感」あり			総計	比率
	芸能人	一般人	計	芸能人	一般人	計		
名詞	269	219	488	152	98	250	738	37.6%
普通名詞	112	120	232	152	98	250	482	24.5%
形式名詞	12	19	31	0	0	0	31	1.6%
固有名詞	4	0	4	0	0	0	4	0.2%
数詞	141	80	221	0	0	0	221	11.3%
代名詞	42	26	68	0	0	0	68	3.5%
副詞	2	5	7	4	3	7	14	0.7%
動詞	332	448	780	0	0	0	780	39.7%
形容詞	0	0	0	5	9	14	14	0.7%
形容動詞	0	0	0	1	0	1	1	0.1%
助動詞	11	55	66	18	50	68	134	6.8%
助詞	125	56	181	33	0	33	214	10.9%
接尾辞	0	0	0	1	0	1	1	0.1%
計	781	809	1,590	214	160	374	1,964	100.0%

（出所）Ameba ブログより筆者作成。

全用例 1,964 件¹⁸⁾のうち、前接語が動詞の用例が全体の 39.7% の 780 件、以下名詞が 37.6% の 738 件、助動詞が 6.8% の 134 件だった。名詞のうち、形式名詞、固有名詞、数詞を除く普通名詞 482 件のうち、上述したと同様の分析を経て「違和感」ありと認定したものが 250 件あった。5 件以上の用例のあった普通名詞は、具体的には、感謝（94 件）、不安（9 件）、予感（8 件）、尊敬（6 件）、楽しみ、期待、好き、心配（各 5 件）だった。

次にこれらの語を前接語とする「名詞+しかない」の用例が Ameba ブログでどのくら

い検出できるかを調べた（表 4-16）（作業 2）。

表 4-16 Ameba ブログ執筆者別前接語別「名詞＋しかない」用例数

前接語	芸能人	一般	前接語	芸能人	一般
感謝	12,203	22,779	恐怖	160	958
不安	1,219	7,286	絶望	87	772
イメージ	822	3,186	可能性	141	729
予感	495	2,593	感動	153	614
愛	768	2,150	要素	172	572
気	1,279	1,553	未来	184	472
期待	240	2,414	希望	158	381
楽しみ	768	1,669	心配	84	548
尊敬	563	1,523	共感	50	492
違和感	418	1,601	伸び代	85	457
自信	686	829	不信感	15	519
後悔	181	1,315	お得	82	392
幸せ	362	908	反省	112	355
メリット	109	1,046	好き	36	187

（注）表中の「一般」は一般ブログを、「芸能人」は芸能人・有名人（ブログ）を指す。

（出所）Ameba ブログより筆者作成。最終アクセスは、2022 年 10 月 8 日。

本表を基に、「違和感」のある「しかない」の出現時期の調査を行うのだが、Ameba ブログでは 1,000 件超の用例は表示されない。そのため、「感謝、不安、予感、期待、楽しみ、尊敬」の 6 語（表 4-6 の灰色の網掛け部分）は一般ブログの用例数が 1,000 件を超えており Ameba ブログでは出現時期と頻度の特定ができない。また、「心配」と「好き」（表 4-6 の灰色の網掛け部分）は、芸能人・有名人ブログでの検出件数が 100 件未満と非常に少ないことから、出現時期と頻度の有効な確認ができないと判断した。そこで、芸能人・有名人ブログと一般ブログでそれぞれ 100 件以上 1,000 件以下の用例が検出された「自信、幸せ、恐怖、可能性、希望、反省」の 6 語（表 4-16 の黒の網掛け、文字白抜き部分）について、出現時期と頻度を分析した（表 4-17）¹⁹（作業 3）。

表 4-17 前接語別「名詞＋しかない」の出現年推移

前接語	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	総計
自信	2	1	6	23	11	27	44	71	99	95	76	63	58	46	49	846	1,517
芸能人	2	1	6	23	11	27	44	69	99	95	75	58	57	41	41	39	688
一般	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	5	1	5	8	807	829
幸せ	0	1	1	5	3	5	9	24	43	31	62	43	44	48	54	897	1,270
芸能人	0	1	1	5	3	5	9	23	43	30	60	43	35	42	37	25	362
一般	0	0	0	0	0	0	0	1		1	2	0	9	6	17	872	908
恐怖	0	1	0	0	7	4	8	8	6	18	18	32	27	19	31	939	1,118
芸能人	0	1	0	0	7	4	8	8	6	18	18	29	21	12	19	9	160
一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	6	7	12	930	958
可能性	0	0	1	3	0	7	7	9	6	12	17	17	21	14	30	736	870
芸能人	0	0	1	3	0	7	7	9	6	12	16	17	20	14	21	8	141
一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	9	718	729
希望	0	2	0	2	5	7	8	13	15	14	12	13	15	15	30	388	539
芸能人	0	2	0	2	5	7	8	13	14	14	12	13	14	15	21	18	158
一般	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	0	9	370	381
反省	0	2	0	3	2	6	15	9	11	11	15	12	12	5	12	352	467
芸能人	0	2	0	3	2	6	15	9	11	11	14	12	9	5	9	4	112
一般	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	0	3	348	355
総計	2	7	8	36	28	56	91	134	180	181	200	180	177	147	206	4,148	5,781

(注) 表中の「芸能人」は芸能人・有名人ブログを、また「一般」は一般ブログを指す。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。最終アクセスは2022年10月。

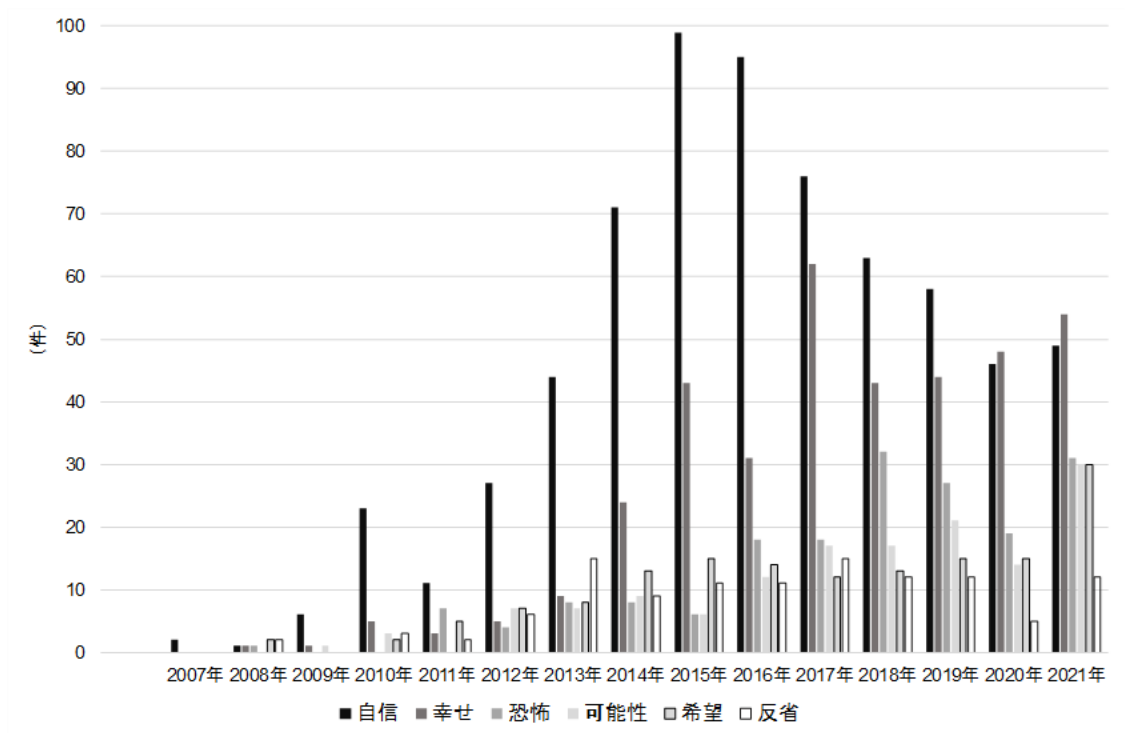


図 4-1 前接語別「名詞＋しかない」の出現年推移

(注) 表 4-17 の芸能人・有名人ブログ及び一般ブログの計をグラフ化したもの。ただし、2022 年は出現件数が桁違いに多いため略。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。最終アクセスは2022年10月。

「自信、幸せ、恐怖、可能性、希望、反省」の6語の具体例は、下記のとおりである。

- (17) …てください。初ライブ来るとよいですよ。己龍には他のアーティストにならない魅力を見せられると思います。ぶっちゃけ自信しかないんで☆笑 ただ・・・神・・・（芸能人・有名人ブログ 2007 年）
- (18) …スタッフさんの結婚パーティーの二次会の余興に行ったチロ(^o^)笑顔(*^▽^*)笑顔(*^▽^*)で、そこには、幸せしかないチロ~ε=ヾ(*~▽・・・（芸能人・有名人ブログ 2008 年）
- (19) …チョコ付いてたりするし、色気なんて出る訳ないさ青年と大人の中間ケンタウロスメデューサシーマン半人半獣の生き物と一緒に恐怖しかない子供の心を持った大人・・・（芸能人・有名人ブログ 2008 年）
- (20) …したが、最近じゃあ、サウンドクリエイター、漫画家さん、CG 屋さんに、出版の方々、海外出品のための翻訳家さんなど、可能性しかない状況で、さあ、やり・・・（芸能人・有名人ブログ 2010 年）
- (21) …普通に歌って普通に聴いてYrYn 最後に胸の中にぱあーと雲間から夏空が確かにのぞいた。YrYn あ、わたしたちには希望しかないのである。と思った。・・・（芸能人・有名人ブログ 2010 年）
- (22) …くらいですが、出演できて見ることができて本当に嬉しかった。ただ自分の演技がものすごくぎこちなくて、演技については反省しかないです・・・。（芸能人・有名人ブログ 2008 年）

この分析結果から、以下のことが読み取れる。

まずこれら 6 語を用いた「名詞＋しかない」の初出は、「自信しかない」が 2007 年、「幸せ」、「恐怖」、「希望」、「反省」が 2008 年、また、「可能性」が 2009 年で、そのいずれも芸能人・有名人ブログでの記載例だった。また、芸能人・有名人ブログでは 2010 年以降、また一般ブログでも 2017 年以降、「名詞＋しかない」の記載が増えており、2010 年代に「違和感」のある「しかない」の使用が増えたとする『三国』の「豆知識」の記述とも一致する。

また、各語の 2022 年の件数が突出して多いが、急増しているのは一般ブログであり、芸能人・有名人ブログのヒット件数は、前年までの推移から大きな変化はない。一般ブログでこれら 6 語を用いた「名詞＋しかない」が急増した理由は、この分析結果からは読み取れず、今後、更なる調査・検証が必要である。

また用例を分析した結果、その語の持つ意味と二重視点の観点から、「表現内容を強化」し「変化をつけ注意をひく」（中村 2003：193）効果を狙って「しか」を用いているが、かえって逆効果になってしまっている、すなわち語そのものに「しか」と結びつけてはいけない内容を有していると考えられるものが見つかった。具体的には、次に挙げる「伸びしろ」である。

- (23) ……ボシさんグウ〜っとくる・・・かも!しれませんがぜひチェックのほどを。
コンビ結成してまだ1ヶ月!!!!!!伸びしろしかないですな。応援してまーー…
(Ameba ブログ、芸能人・有名人ブログ、2022年8月31日)

今後の成長性や可能性を強調する、非常に前向きな自己評価を示した文なのであろうが、「しか」の持つ二重視点の観点からは、伸びしろだけがあり、成功もしていなければ名声も得ていない、なんでもない存在の自分を「自虐ネタ」として取り上げているとも読めてしまう。これなどは、「しかない」の使用がかえって逆効果になっている例ではないかと考えられる。

3.7 「違和感」のある「しかない」の用例収集と分析結果

冒頭の研究の動機で示したとおり、筆者の「違和感」の元となった「感謝しかない」、「可愛さしかなかった」等の「名詞+しかない」の表現を多数見聞きしたのは、インターネット掲載のニュースに対するコメント欄や個人の趣味に関する投稿サイト記事のいわゆる「打ち言葉」であった。具体例をいくつか挙げると以下のとおりである。

- (24) （某国に関するインターネットニュース記事に対する読者コメント）普通に見れば違和感しかないが？見抜けなかったのか？不自然すぎるだろうに。（インターネットニュースに対する個人のコメント 2020年12月25日）
- (25) （新型コロナの変異種で2人の陽性者が確認されたインターネットニュース記事に対する読者コメント）嫌な予感しかない。今までの無策を反省するなら早めに手打った方がよいでしょう。（インターネットニュースに対する個人のコメント 2020年12月26日）
- (26) （柴犬愛好家の投稿サイトの見出し）初めてのお外に微妙な面持ちの柴犬パピ

一。しかしどこからどう見ても、どの瞬間も可愛さしかなかった。(SHIBA-
INU LIFE 2020 年 4 月 15 日)

この「違和感」のある表現「名詞＋しかない」表現は、投稿者の「打ち言葉」だけではなく、インターネット上ではニュースの見出しや本文でもしばしば見られるものである。具体例を示すと以下のとおりである。

- (27) (福袋の内容にびっくりしたことを伝えるインターネットニュース見出し)
「妖怪福靱」には感謝しかない…!!水木しげるさんの遺してくれたものの偉大さを改めて思い知りました (ロケットニュース 2021 年 1 月 4 日)
- (28) (「ユニクロ」を展開するファーストリテイリングが、今夏にもマスクを売り出すことが分かり、NHK など複数のメディアが報じたことを伝える、スマホ向けアプリニュースの見出し) ユニクロが“エアリズムマスク”販売へ⇒「需要しかない」の声 (ハフポスト日本版 2020 年 5 月 24 日)
- (29) (東京のコロナ罹患者急増を報じるテレビ朝日のスマホ向けアプリニュースの見出し) 東京急増で…保健所が崩壊危機「絶望しかない…」 (テレ朝ニュース 2020 年 12 月 23 日)

また、話し言葉の例としては、テレビのバラエティー番組で聞かれた以下の例が挙げられる。

- (30) (新作映画の宣伝を兼ねたバラエティー番組の司会者側のタレントが、映画に出演した女優の発言を聞いて、「私も出たかった」の意で) ほんとにうらやましさしかないですし… (2020 年 7 月 12 日放送「行列のできる法律相談所『今日から俺は!!』豪華キャスト大集合&クレーム合戦!!」に出演の滝沢カレンの発言)

また、「打ち言葉」ほど頻繁ではないが、最近では、小説や伝記といった書き言葉でもこの「違和感」のある「名詞＋しかない」が見られた。

(31) …ちゃんと見慣れた料理が並んでいるし、そのうえ、最先端の料理まであるんだからよ、感動しかなかったぜ。」(湊かなえ (2020)『カケラ』 p92、集英社)

(32) 公式表明では、自分の決断は「教会の教えを心に留め、キリスト者の結婚は分かつことができないもので、英連邦での私のつとめを十分に理解した」から出したものだとした。エリザベスは、この結果にただ安堵しかなかった。
(マシュー・デニソン著／実川元子訳 (2022)『ザ・クイーン』 p311、カンゼン)

これらを分析しながら、「しかない」の「違和感」がどこから来ているのかを考えたい。

「しかない」に対する「違和感」の要因としては、2.1 項等で見たとある規範的な「しかない」の持つ特徴（(イ) 肯定し得るものをそれだけと特定し、それ以外のものを否定する、(ハ) 特定の事柄以外のものを全く否定する、(ニ) 話し手にとって狭いと意識される範囲（少ないと感じられる数量）に限定される、(トー②)「それでは〈よくない／不十分だ〉」という語感がある）からの逸脱、コロケーション（(ヘー②) 名詞部分に「ある／ない」で言わないものがくると、不適切な言い方に感じられる）からの逸脱があると思われる。

これを細分化すると、規範的な「しかない」の持つ特徴からの逸脱は、以下の3つと考えられる。

- (A) 否定される他者を暗示しない（(イ)・(ハ) からの逸脱）
- (B) 狭い範囲に限定されず、不十分さが感じられない（(ニ)・(トー②) からの逸脱）
- (C) コロケーション（(ヘー②)「名詞＋ある」→「名詞＋しかない」）からの逸脱

上述の「違和感」のある用例を、この3分類に当てはめると、以下の通りとなる。

- (A) : (24)、(27)、(28)、(29)、(30)、(31)、(32)
- (B) : (24)、(25)、(26)、(27)、(28)、(29)、(30)、(31)、(32)
- (C) : (27)、(29)、(30)、(31)、(32)

(C) はいずれも『明鏡』の「注意」にある「その名詞部分に『ある／ない』で言わないものがくると、不適切な言い方に感じられる」に該当するほか、例文(15)の「違和感」の理由として挙げた、自者に端的に対比される「他者」が暗示されない例である。また、「違和感」のある前接語の名詞には、「感謝」、「感動」、「不安」、「恐怖」、「楽しみ」、「幸せ」といった、筆者／話者の「感情」を表す語が多いことも確認できた。

4. まとめ

4.1 結論

① 「しかない」の「違和感」はどこから生じているのか

副助詞「しか」は本来、「下に打消の語を伴う。肯定し得るものをそれだけと特定し、それ以外のものを否定する」(2.1 項(イ)、『日国』)、「打消しの語を伴って、特定の事柄以外のものを全く否定する意を表す」((ロ)、『大辞泉』)意を持つ。一方、「違和感」のある「しかない」の表現は、例(27)の『妖怪福靴』には感謝しかない」からも分かるように、否定される「感謝」以外にもものが文脈から特定できず、否定される他者を暗示していないため、それが原因となって「違和感」が生じていると考えられる。

また、副助詞「しか」には、「[否定表現と呼応して]話し手にとって狭いと意識される範囲(少ないと感じられる数量)に限定されることを表わす」((ニ-①)、『新明解』)、「[で-ない]は『それではくよくよく／不十分だ』という語感がある」((ト-②)、『三国』)が、例(29)の「保健所が崩壊危機『絶望しかない…』」などは、これらの規範的な「しかない」が持つ特徴から逸脱していることが、「違和感」の生じる要因となっていると考えられる。

また副助詞「しか」には、「名詞+しかない[しかありません]の場合は、その名詞部分に「ある／ない」で言わないものがくると、不適切な言い方に感じられる」((ヘ-②)、『明鏡』)とされているが、例(32)の「この結果にただ安堵しかなかった」などは「安堵がある」とは言わないことから、コロケーションからの逸脱が「違和感」を生じさせる元となっていると考えられる。

② 「違和感」のある「しかない」は、どのようなところで使われているか

本研究における「名詞+しかない」の用例収集は、書き言葉としての「日本語の種々の

るものの、メインとなる書籍の刊行年が1986年から2005年の20年間であることを示す。
(出所) 筆者作成。

③ 「違和感」のある「名詞+しかない」はいつ頃現れたか

今回調査を行った Ameba ブログは、2004 年以降に書かれたものが対象になっている（図 4-2 参照）。この Ameba ブログを用いて調査した結果、「自信、幸せ、恐怖、可能性、希望、反省」の 6 語を用いた「名詞+しかない」の初出は、「自信しかない」が 2007 年、「幸せ」、「恐怖」、「希望」、「反省」が 2008 年、また、「可能性」が 2009 年で、そのいずれも芸能人・有名人ブログでの記述例だった。また、一般ブログにおける初出は 2014 年であった。ここから、「違和感」のある「しかない」の使用が増えたのは 2010 年代と思われる。これらは、「二〇一〇年代に、（中略）『くまったく／非常に』…だ』の意味で使う例が増えた」との 2.1 項（ト一②）に挙げた『三国』の「豆知識」を裏付ける結果となっている。

一方、「違和感」のある「しかない」の使用が見られなかった審議会議事録でも、例（16）に挙げたように、2019 年の食料・農業・農村政策審議会企画部会における農業関係者の農林行政の実態を聞くべく行ったヒアリングにおける農業関係者の発言に「本当に農家さんには感謝しかないというところなんです」との使用例が見られた。これは、近年聞かれた改まった会合での話し言葉の記録例として記憶すべきである。

4.2 今後の課題

本研究では、「しかない」の多用の実態について、前接語が名詞の場合に限定して分析を試みた。BCCWJ 他の分析で示したとおり、「しかない」の前接語で最も多いのは動詞であるが、「動詞+しかない」には「違和感」のある表現はないのか、また、前接語が助動詞「だ」の連用形「で」（又は形容動詞の連用形）の用例も非常に多く、これらの用例に「違和感」がないのか、あるとすればどのような場合かを分析することが今後の課題である。

また、今回は限定的な用例分析しかできなかった「打ち言葉」の用例を広く集め、「違和感」のある「～しかない」の表現がいつ頃から使われ始めたのかを特定すること、及び「しかない」を多用する背景を探ることも今後の課題である。

併せて、現在は「違和感」のある表現が今後、規範化するのか、その変化の動向を注視していきたい。

参考文献

- 市川保子編著（2010）『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』スリーエーネットワーク
- 市川保子（2018）『日本語類義表現と使い方のポイントー表現意図から考えるー』スリーエーネットワーク
- 海外技術者研修協会（1993）『新日本語の基礎Ⅱ』スリーエーネットワーク
- 金水敏・工藤真由美・沼田善子（2000）『[日本語の文法 2] 時・否定と取り立て』岩波書店
- グループ・ジャマシイ編著（1998）『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- 国際交流基金日本語国際センター（1993）『日本語初歩』
- 国立国語研究所（2022）『『日本語日常会話コーパス』ー設計・構築・特徴ー』『日常会話コーパス』プロジェクト報告書 6
- 今野真二（2021）『うつりゆく日本語をよむーことばが壊れる前に』岩波書店
- 坂野永理、池田庸子、大野裕、品川恭子、渡嘉敷恭子（2011）『初級日本語げんきⅡ』ジャパントイムズ
- 佐久間まゆみ編（2003）『朝倉日本語講座 7 文章・談話』朝倉書店
- スリーエーネットワーク編著（2013）『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』スリーエーネットワーク
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター（2000）『日本語初級』拓殖大学
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター（2004）『初級ひらけ日本語新装版【下】』拓殖大学
- 田坂康浩（2021）「敬称『さん』の組織名等への多用に見る敬意の揺れの考察」第60回 語彙・辞書研究会予稿集
- デニソン、マシュー著／実川元子訳（2022）『ザ・クイーン』カンゼン
- 中西久美子（2012）『現代日本語のとりたて助詞と習得』ひつじ書房
- 中俣尚己（2021）『「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門』ひつじ書房
- 中村明（2003）「文章・談話のレトリック」佐久間まゆみ編（2003）『朝倉日本語講座 7 文章・談話』朝倉書店
- 沼田善子（2009）『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房
- 能登博義（1992）『コミュニケーションのための日本語入門』創拓社
- 前川喜久雄（2015）「第1章 『現代日本語書き言葉均衡コーパス入門』」大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所コーパス開発センター（2015）『『現代日本語書き言葉均衡コーパス』利用の手引第1.1版』
- 水谷修、水谷信子（1977）*An Introduction to Modern Japanese* The Japan Times
- 湊かなえ（2020）『カケラ』集英社
- 山崎佳子、石井怜子、佐々木薫、高橋美和子、町田恵子（2009）『日本語初級2大地』スリーエーネットワーク

国語辞典

- 日本国語大辞典第二版（2000～2002）小学館
- 国語大辞典（1981）小学館
- 角川国語大辞典（1982）角川書店
- 国語大辞典言泉（1986）小学館
- 学習国語大辞典第二版（1988）学習研究社
- 新辞林（1999）三省堂
- 講談社カラー版日本語大辞典第二版（1995）講談社
- 広辞苑第七版（2018）岩波書店
- 大辞林第四版（2019）三省堂
- 旺文社標準国語辞典新訂版重版（1992）旺文社
- 新潮国語辞典ー現代語・古語ー第二版（1995）新潮社
- 新潮現代国語辞典第二版（2000）新潮社
- 新選国語辞典第九版（2011）小学館
- 大辞泉第二版（2012）小学館
- 集英社国語辞典第3版（2012）集英社

学研現代標準国語辞典改訂第3版（2016）学研プラス
現代国語例解辞典第五版（2016）小学館
学研現代新国語辞典改訂第六版（2017）学研プラス
岩波国語辞典第八版（2019）岩波書店
新明解国語辞典第八版（2020）三省堂
明鏡国語辞典第三版（2021）大修館書店
三省堂国語辞典第八版（2022）三省堂
旺文社国語辞典第十二版（2023）旺文社
三省堂現代新国語辞典第七版（2024）三省堂

参照ウェブサイト

アメーバブログ <https://www.ameba.jp/>
金融庁ウェブサイト https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html
国会会議録検索システム <http://kokkai.ndl.go.jp/>
溜池通信 <http://tameike.net/>
中納言コーパス検索アプリケーション <https://chunagon.ninjal.ac.jp>
農林水産省ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/j/council/index.html>

-
- ¹ 『明鏡』第三版の帯の広告。
 - ² 『三国』第八版の帯の広告。
 - ³ 第八版から新たに設けられた「豆知識」について「この辞書のきまり」では、「その言葉を使う上で知っておくと役立つ情報です。コミュニケーションを円滑にするためのヒントなどを示すほか、独特な表現の理由を説明したり、言葉に関する俗説を指摘したりする場合があります」と説明している。
 - ⁴ 金水他（2000）では、「自者」と「他者」の説明をしていない。「自者」と「他者」については、本章2.4項を参照。
 - ⁵ 本書ではとりたて詞として、「も、まで、すら、だけ、のみ、ばかり、しか、こそ、など」を対象に研究している。
 - ⁶ 沼田（2009）では、「想定」は「さえ」の意味を記述するために必要と説明。「太郎さえ学校に来る」の文意は「太郎以外は勿論学校に来るが、太郎は学校に来ないと思った。ところがその太郎が学校に来た。」下線部が「含み」を表すが、これは「…と思った」内容のため、話し手の「断定」でなく「想定」。
 - ⁷ Balanced Corpus of Contemporary Written Japanese
 - ⁸ 語彙素で検索したことで、「しかない」以外に「しかなかった」、「しかありません」等を含む。
 - ⁹ Corpus of Spontaneous Japanese
 - ¹⁰ 年齢は主に40代から60代。
 - ¹¹ https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html
 - ¹² <https://www.maff.go.jp/j/council/seisaku/index.html>
 - ¹³ 「私のほうの資料の15ページ目も、私どもではないですけど、ほかの会社さんがやられているものの例を出させていただいていますけれども、しかないのかなというところがございます。」（金融庁ウェブサイトより）（「…これしかない」とすべきところか。）、「あとは法人協会の方々、いろいろな方々が連携して、情報がある程度一緒に持ちながら推進しかないと、なかなか法人化自体は進まないかなというふうに思っております。」（農林水産省ウェブサイトより）（「推進するしかない」とすべきところか。）の2例を誤用例とした。
 - ¹⁴ 1960年生まれ。1984年、日商岩井に入社。広報、秘書、調査、ワシントンのシンクタンクの研究員や経済団体への出向等を経て、2002年から商社系シンクタンクの企業エコノミスト。「溜池通信」は本人39歳から62歳の現在に至るまでに書き溜めた記録。
 - ¹⁵ <http://tameike.net/>。正確にはブログ『溜池通信』にある「かんべえの不規則発言」を対象にコーパスを作成した。
 - ¹⁶ <https://www.ameba.jp/>
 - ¹⁷ Amebaブログを調査対象とした理由は、Yahoo!ブログ等、これまで日本語分析で用いられていた多く

のブログが閉鎖されたこと、また、現在、利用されているブログでも検索窓がなく用例分析に使用できないことが挙げられる。また、分析対象とする語を用例件数が 1,000 以下としたのは、Ameba ブログでは 1,000 件超の用例があっても、1,000 件までしか表示されないことによる。

¹⁸ 「しかない」の表現がブログ内にあるものの、見出し及び検索結果として表示される 2 行に「しかない」を含む表現が表示されないものがあるため、総数が 2,000 件とならなかった。

¹⁹ 「芸能人・有名人ブログ」において、自身が売り出した CD の宣伝文言として「名詞+しかない」を繰り返し記載した用例、及び自身のブログに繰り返し表示された広告の文言の用例は削除した。

²⁰ 中俣（2021）

第 5 章 各論 (3) 元氣、やる気、勇気のやりもらい考

1. はじめに

1.1 多用される“気になる”表現「勇気をもらう」

スポーツ選手の活躍を伝えるインターネット記事に対する読者コメントやブログ等に、そのスポーツ選手の偉業から「勇気」を「もらった」との記述をしばしば見かける。筆者は、「勇気」は自分の中に「出たり」「湧いたり」するものであって、他人から「もらったり」他人に「あげたり」するものではないとの言語感覚を有している。インターネット記事に対する読者コメントやブログ等で同じように「やりもらい」されている気持ちには「元氣」と「やる気」もあるが、これらについても筆者は「勇気」と同様、自分自身の中に「元氣が出たり」「元氣になったり」するものと感じている。

「勇気をもらう」との表現は、インターネット記事に対する読者コメントのみならず、新聞記事にも多く見られる。以下はその例である。

- (1) そんな姿を見かねた母の勧めで院内患者会に参加した。「私が失ったものは 1 つの胸だけ。私自身は何も変わらない」。先輩患者が笑顔で語る姿に勇気をもらった。(2023 年 5 月 9 日付け『日本経済新聞』朝刊 27 面「向き合う」)(下線筆者、以下同)
- (2) 運動不足の日々ですが「何歳になっても筋肉はつく。運動していない人の方が伸びしろがある」とのお言葉に勇気をもらいました。(2023 年 5 月 26 日付け『日本経済新聞』朝刊第二部「人生 100 年の羅針盤」編集後記)
- (3) 傍聴した中京大教授で同性愛者の風間孝さん(55)は「想像を超える素晴らしい判決で、生きていく上で勇気をもらった。(中略)」と判決内容をかみしめた。
(2023 年 5 月 31 日付け『日本経済新聞』朝刊 39 面「同性婚認めぬ規定『違憲』」)

筆者は、自分自身の感情を言い表す語として「勇気」の語を使った記憶がないが、上述の例文にあるような状況を書き(言い)表そうとした場合、例えば、「…笑顔で語る姿を見て勇氣が出た」、「…とのお言葉で勇氣が出た」、「…今後生きていく勇氣が湧いた」と書く(言う)のでないかと考える。

一方、例文（1）～（3）と同じ日本経済新聞に掲載されたエッセイに「勇気づけられた」との記述がみられた。

- （4） もう二度と会えなくなってしまった人のことを思うと、いつもただ、不義理を悔やむばかりだ。もっとお会いしておけばよかった。声をかければよかった、と。その方に勇気づけられたり、共に笑いあったりしたことを思うと、胸が鈍くうずく。（新浪剛志「不義理を悔やみながら」2023年6月26日付け『日本経済新聞』夕刊1面「あすへの話題」）

例文（4）が「勇気」の「本来の」使い方だと思うが、昨今、逆にめったに見聞きしない珍しい表現となったといえよう。

また、新聞や雑誌では以下のような「元気をもらう」の表現も見られた。

- （5） 「元気と勇気をいただいた。日本の文化発展にもっと役立ちたい」と榮譽を喜ぶ。
（2022年11月3日『日本経済新聞』朝刊40面「秋の叙勲 喜びの声」におけるコシノジュンコの旭日中綬章受章記事）
- （6） そして、思い出の掉尾は、彩堀の「鏡獅子」になった六世菊五郎。劇場ロビーで四囲を睥睨し、「わしがやらねば誰がやる（平櫛田中）」と咆哮する姿に、いつも元気を貰って来たものです。（『あぜくら』（国立劇場あぜくら会会報）No. 681、2023年8月号における80代男性の投稿「初代国立劇場 思い出の半世紀」）

用例（5）が、当時83歳のコシノジュンコが実際に発した言葉とは限らないが、用例（6）の投稿のように、「元気のやりもらい」は80代でも用いる表現であり、元気や勇気のやりもらい表現の広がりを示す一例と言える。

1.2 作家の指摘

1.2.1 林真理子

作家の林真理子は『文藝春秋』2013年6月号の特集「『現代の名文』入門」で、「嫌いな日本語、気になる敬語」と題する一文を寄せている。

この中で林は、「卒業¹⁾」、「マジっすか?」、「一般人」、「美魔女」と並んで「好感度を狙う空疎な言葉」として「元気をもらう」、「勇気を与える」を挙げている。「聞き苦しい常套句」として「東日本大震災の被災地を訪れたタレントが必ず『反対に私たちが元気をもらいました』と口にする」として、これを林は「裏を返せば、自分は他者に何かを与えるようとして被災地に出向くほど傲慢ではない、彼らと痛みを共有できるナイーブな人間です、というアピールなのではないか」と指摘する。「その証拠に、『元気をもらった』主体は誰かといえば、被災者ではなく自分自身なの」だと、問題の所在を明らかにした。

同様にスポーツ選手らが多用する『ファンの皆さんの声援から勇気をもらった』…。「感動をもらった」「勇気を与えてくれました」といった文言は、広告代理店…がマニュアル化した、好感度アップのための、心が通っていない空疎な言葉に思えて」ならないと断じている。(林 2013 : 296-301)

1.2.2 逢坂剛

推理作家の逢坂剛は、新聞夕刊のエッセイで、「気づきをもたらった」、「新たな気づきがある」との表現には閉口するとし、エッセイストの酒井順子の近著に同じ指摘があるとして、我が意を得たりとの感に浸る。同書が指摘する「感動をありがとう」や「勇気をもらった」との表現については、「このような言い方は、もと外国語の翻訳文脈から生まれて、それが更に進化?した結果と思われる。とはいえ、これらは伝統的な日本語の文脈には、なじまない言い回しだ」と指摘する²⁾。

1.2.3 酒井順子

エッセイストの酒井順子は、近著(酒井 2022 : 49-59)の中で、知人の若者が好きなアーティストのライブに行った時の感想を SNS で「いろいろな気づきをもたらった。感動をありがとう」とつぶったことを「今風」と指摘。2001年に当時の小泉首相が横綱・貴乃花の相撲に対して「痛みを耐えてよく頑張った。感動した!」と言及したことを挙げ、この感動を生み出したのは小泉首相本人であって、これを「感動をもたらした!」と表現すれば、感動は小泉首相が生み出したのではなく、貴乃花から小泉氏に進呈されたものとなると指摘。「感情を自らの中から湧きでたものではなく、他者から『もらった』ことにしたいという傾向の源泉をたどると、2011年の東日本大震災に行き着くのではないか」とも指摘。被災者を勇気付けたいアスリートがスポーツをとおして被災者を元気付ける行為も、(その

行為を被災者が見て)「元気を出してください」としては、「元気を出すのも自己責任」との突き放したムードが漂うとして、「何らかの心理的なやりとりがあるという形式をとりたいと思って、彼等は『勇気を与えたい』と言ったのではないか」、それが同様のことを思っていた国民に広がり、「勇気を謹呈することによって感謝が戻ってくるという贈答の図式が、あちこちで成立」したと推察している。

1.2.4 桜木紫乃

小説家の桜木紫乃は、「昨今、誰が言い出したか知らないが『元気をもらった』『勇気をもらった』、という表現をよく見るし聞く」が、そのたびに貧乏だった子供の頃の経験を思い出し、「もらった元気で勇気を得るより、湧いた勇気で元気を手に入れろ」、「『元気と勇気は』は自分の内側から湧いてなんぼの無形燃料なのだ」と「勇気」や「元気」の入手方法と使い方を特定する。その後「元気と勇気を『もらう』という言葉が生まれた背景には、責任の所在を曖昧にすることで面倒を回避しようとする昨今の世情もあるのだろう。おそらくどこにも悪者がおらず便利な使い方だったのだ」と、この表現多用の理由も特定している³。

1.2.5 まとめ

ここで取り上げた4人の作家は、元気や勇気のやりもらいについて、「マニュアル化した…空疎な言葉」(林真理子)、「伝統的な日本語の文脈に、なじまない言い回し」(逢坂剛)、「今風」(酒井順子)、「どこにも悪者がおらず便利な使い方」(桜木紫乃)と指摘している。これが、辞書が記す「いつもと変わっていたり今までいっていたイメージや価値観と合わない点があったりして、その場(その事物)をそのまま受け入れることがためられる感じ」(『新明解国語辞典』第八版、以下『新明解』という、における「違和感」の運用上の説明。)であろう。筆者が見聞きして“気になっていた”元気や勇気のやりもらい表現に対する、作家の指摘には筆者も同感である。

1.3 多数の個人によるブログの実態

筆者が気になっている、「元気」、「やる気」、「勇気」と動詞「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の組合せについて、現状どの程度用いられているかを確認した。利用した

のは、話し言葉に近い書き言葉の「打ち言葉」が記録されている多数の個人によるブログ、Ameba ブログ⁴である。

通常「やりもらい動詞」というと、「やる・あげる⁵・さしあげる／くれる・くださる／もらう・いただく⁶」の3種7動詞を指すが、本章では「あげる」、「くれる」、「もらう」に「与える」を加えた4つの動詞を総称して「やりもらい動詞」とし、また「元気」、「やる気」、「勇気」の3つの「気」を「やりもらい動詞」を用いてやり取りすることを「気のやりもらい」と総称することとする。

Ameba ブログは、芸能人・有名人が投稿する「芸能人・有名人⁷」とそれ以外の一般人が投稿する「一般ブログ」から成るが、どちらも検索を行うと、結果が例えば「7,902 件中 1-10 件を表示」と全体のヒット件数は示すものの、用例は最も記載時期の新しいものから 1,000 例しか表示されないとの制約がある。例えば「元気」と「あげる」の用例を検索する際、Ameba ブログでは語彙素検索ができないため、下一段活用の動詞である「あげる」は、語幹プラス活用語尾の不変部分である「あげ」までを用い、「元気をあげ」で検索をかける。その場合、その用例が 1,000 件以下に収まればよいが、1,000 件を超える場合、用例が全て表示されないため、「元気をあげ」での検索例は使用できなかった。そのため、「元気をあげる」の用例は、ヒット件数が 1,000 件以下となる「元気をあげる」で検索した。一方、「やる気」や「勇気」は「あげる」と一緒に用いた例が少なく、語幹プラス活用語尾の不変部分である「あげ」までを用いた検索結果がどちらも 1,000 件以下に収まったため、「やる気をあげ」、「勇気をあげ」の用例を検索し、その推移を調べることにした。

同様に動詞「もらう」の場合、活用の不変部分である語幹「もら」で検索したが、用例が 1,000 件以下だったのは「やる気」のみで、「元気」は「もらえて」、「勇気」は「もらう」の形でないと、検索結果の用例数が 1,000 件以下に収まらなかった。

また、「一般ブログ」は、以下の問題があることが分かった。すなわち、「芸能人・有名人」の年別の用例ヒット件数は、2020 年 576 件、2021 年 416 件、2022 年 437 件、2023 年 204 件だったのに対し、「一般人ブログ」におけるヒット件数は、2020 年 272 件、2021 年 510 件、2022 年 2,332 件、2023 年 6,829 件と、2021 年まではヒット件数が「芸能人・有名人」と大きく変わらなかったものの、2022 年は 2,000 件台、2023 年は 6,000 件台の記載事例が検索され、Ameba ブログで検索可能な最も古い 2004 年からの収集例を広く分析できない欠点があることが判明した⁸。そのため「芸能人・有名人」を対象に検索した結果のみを用いることにした。

以上のことから、以下に示す Ameba ブログを用いた「気のやりもらい」状況の検索結果は、現状をあまねく示した姿ではなく、上述の制約の下、現状の一部を示したものに過ぎない点に注意する必要がある。

なお、2023 年のデータは、2023 年 1 月 1 日から同年 5 月 24 日までのものである。

1.3.1 「元気のやりもらい」の実態

Ameba ブログは 1.3 で述べたように、用例が 1,000 件を超えると、最も記載時期の新しいものから 1,000 例しか表示されないとの制約がある。「芸能人・有名人」において「元気」とやりもらい動詞との組合せを見ると、まず「与える」との組合せについては、「元気を与え」は 5,240 件、「元気を与える」は 1,098 件、「元気を与えて」でも 1,432 件もの用例が検索できた。「元気を与えた」に至ってようやく 1,000 件以下となったため、「元気」と「与える」の関係については、「元気を与えた」で検索することとした。同様に、「あげる」は「元気をあげる」、「くれる」は「元気をくれた」、「もらう」は「元気をもらえて」で検索した結果が表 5-1 である。また、それを個々の動詞ごとにグラフで示したものが、図 5-1 から図 5-4 である。

表 5-1 Ameba ブログにおける「元気のやりもらい」件数の推移

動詞 \ 年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計
与えた	0	1	0	4	5	22	21	97	28	27	32	37	25	18	25	20	25	14	8	5	414
あげる	0	0	0	5	12	13	14	54	29	39	30	27	25	16	13	10	6	4	4	1	302
くれた	0	0	5	5	20	36	52	70	55	44	40	35	35	29	35	19	29	9	9	6	532
もらえて	0	0	1	5	6	38	41	39	17	32	33	48	45	28	17	10	13	22	18	13	424
計	0	1	6	19	43	109	128	260	129	142	135	147	130	91	90	59	73	49	39	25	1,672

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

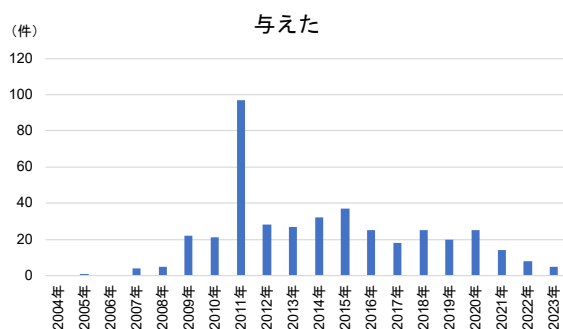


図 5-1 「元気を与える」の件数推移

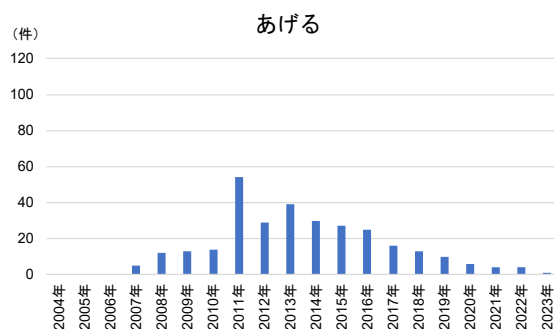


図 5-2 「元気をあげる」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

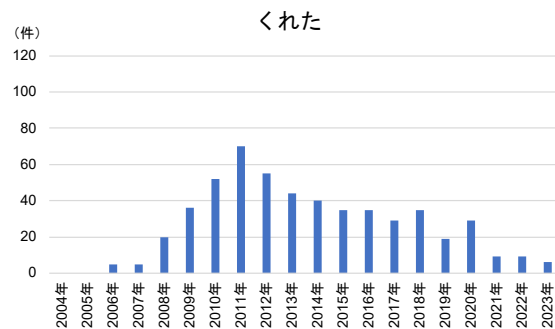


図 5-3 「元気をくれる」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

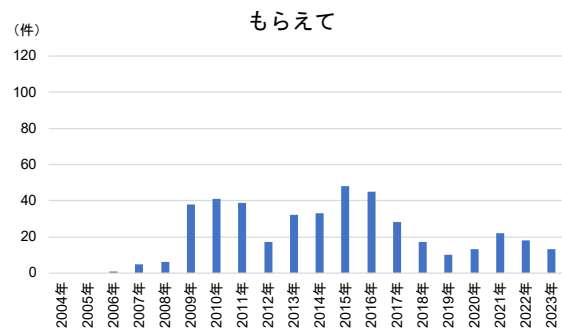


図 5-4 「元気をもらう」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

「元気」のやりもらいについては、初出が 2005 年（「与える」）から 2007 年（「あげる」）であること、「与える」、「あげる」、「くれる」については 2011 年がピークであること、「元気」のやりもらいについては、多少の凸凹はあるものの、全体的に減少傾向が続いていることが判明した。

2011 年については、1 月が 16 件、2 月が 8 件だったところ、3 月が 73 件、4 月が 47 件と急増している。これは、同年 3 月に起きた東日本大震災を機に、用例（7）から（10）のような「元気のやりもらい」が急増したことによると考えられる。

- (7) こんな時だからこそ頑張って、試合に勝って、被災された皆さんや未だに東北／関東地方で余震に苦しむ、家族や友達に元気を与えたい!と思っているので(2011 年 3 月 29 日華彩な公式ブログ【なな日和】)
- (8) 一緒にお仕事出来る事がとても嬉しく思います。そして、たくさんのコメントをありがとうございます。何か少しでも勇気や元気をあげる事が出来るならと思います (2011 年 3 月 25 日引地敬澄オフィシャルブログ「雑種の冒険」)
- (9) カズさんのゴールは、鳥肌というか涙が出ました。東日本の被災された方達へ向けての試合でしたが、今の日本中に元気をくれたと思います!! (2011 年 3 月 30 日大西結花オフィシャルブログ「Yuka Onishi」)
- (10) みなさんそれぞれ頑張っていらっしゃいます。私たちも生徒さんたちの話し声や笑い声が聞こえてくると、とても元気をもらえています! (2011 年 3 月 23 日岡

野あつこのオフィシャルブログ「夫婦問題解決・修復・離婚カウンセリング 明日、元気にな~あれ!」)

1.3.2 「やる気のやりもらい」の実態

「元気」と異なり「やる気」について、4つのやりもらい動詞のどれとの組合せも1,000件以下だった。そのため、検索の際、下一段活用動詞について語幹プラス活用語尾の不変部分、また、五段活用動詞については語幹までを用い、「与える」は「やる気を与え」、「あげる」は「やる気をあげ」、「くれる」は「やる気をくれ」、「もらう」は「やる気をもら」で検索した。その結果が表 5-2 である。また、それを個々の動詞ごとにグラフで示したのが、図 5-5 から図 5-8 である。

表 5-2 Ameba ブログにおける「やる気のやりもらい」件数の推移

動詞 \ 年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計
与え	0	0	4	10	13	15	20	25	16	8	17	12	5	11	12	6	8	10	4	1	197
あげ	0	0	0	0	0	0	1	2	3	1	1	8	3	2		4	1	2	6	1	35
くれ	0	0	0	0	1	11	11	10	11	11	5	10	6	3	3	2	2	3	3	2	94
もら	0	0	4	7	32	28	61	59	50	48	48	32	42	33	27	18	19	11	11	7	537
計	0	0	8	17	46	54	93	96	80	68	71	62	56	49	42	30	30	26	24	11	863

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

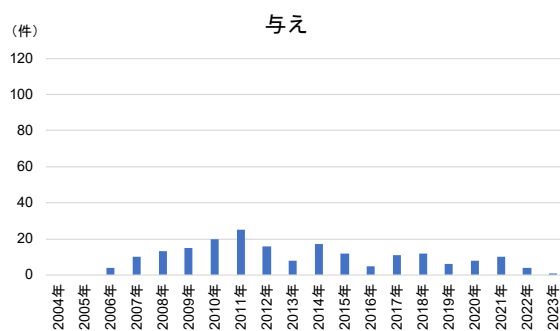


図 5-5 「やる気を与える」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

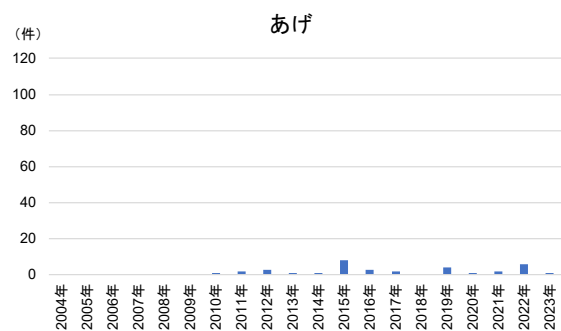


図 5-6 「やる気をあげる」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

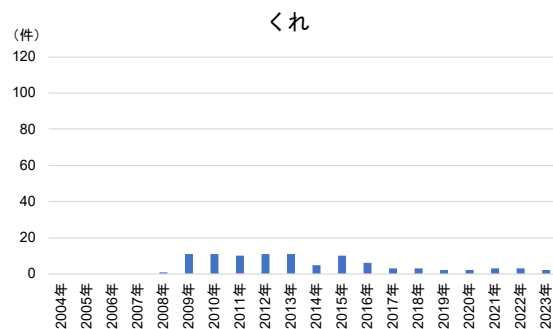


図 5-7 「やる気をくれる」の件数推移

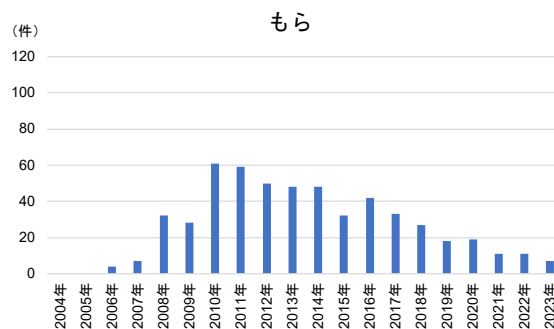


図 5-8 「やる気をもらう」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

「やる気」のやりもらいについては、そもそも 1,000 件を超える例がなかったことからわかるように、全体的に件数が少なかった。特に「与える」、「あげる」、「くれる」の用例は非常に少なく、「やる気」は「もらう」ものというのが、ブログにおける言語感覚と考えられる。用例 (11) は「やる気をもらう」の一例である。

- (11) まだまだ傷跡が残る町。短期間でごめんなさい。お仕事があるので東京に戻ります……。私が元気と優しさとやる気をもらっちやいました! (2011 年 9 月 15 日 高木ふみオフィシャルブログ「本日のおもてなし料理」)

1.3.3 「勇気のやりもらい」の実態

「勇気」については、「元気」と同様、動詞「与える」との組合せが非常に多かった。「勇気を与え」は 5,273 件、「勇気を与えて」は 2,145 件、「勇気を与える」は 1,281 件もあり、「勇気を与えた」に至ってようやく用例の検索結果が 1,000 件以下に収まった。同様に動詞「もらう」との組合せも多く、「勇気をもら」は 9,745 件、「勇気をもらえ」は 2,381 件、「勇気をもらった」は 1,894 件もあり、「勇気をもらう」に至ってようやく検索結果が 1,000 件以下となった。「くれる」との組合せは、「勇気をくれ」は 2,125 件あったが、「勇気をくれた」に至って検索結果が 1,000 件以下となった。一方、「あげる」との組合せ例は少なく、「勇気をあげ」も 100 件台だったため、これを分析対象とすることとした。これらの検索結果をまとめたのが表 5-3 である。また、それを個々の動詞ごとにグラフで示したのが、図 5-9 から図 5-12 である。

表 5-3 Ameba ブログにおける「勇気のやりもらい」件数の推移

動詞 \ 年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	計
与えた	1	0	3	4	12	25	26	61	29	29	47	20	33	36	29	23	28	31	32	9	478
あげ	0	0	0	0	5	14	13	16	15	12	12	5	9	5	7	1	1	2	4	1	122
くれた	0	0	6	5	26	36	37	52	47	42	53	57	39	121	54	31	30	18	30	10	694
もらう	0	2	3	3	15	28	35	41	36	20	38	26	42	33	30	28	35	29	17	13	474
計	1	2	12	12	58	103	111	170	127	103	150	108	123	195	120	83	94	80	83	33	1,768

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

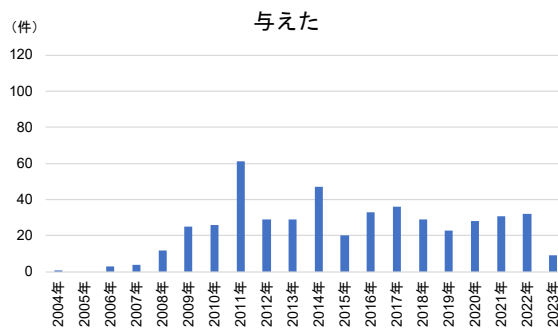


図 5-9 「勇気を与える」の件数推移

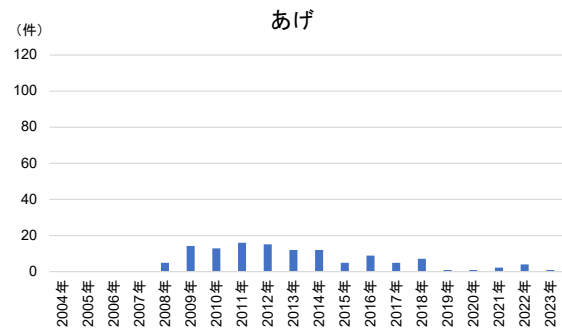


図 5-10 「勇気をあげる」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

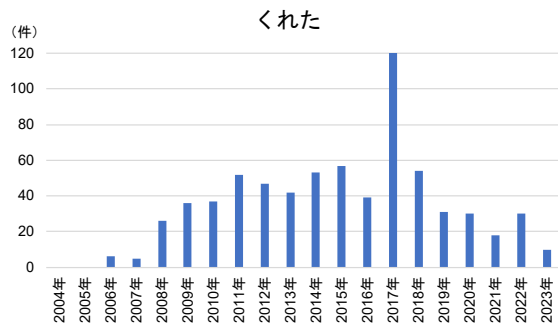


図 5-11 「勇気をくれる」の件数推移

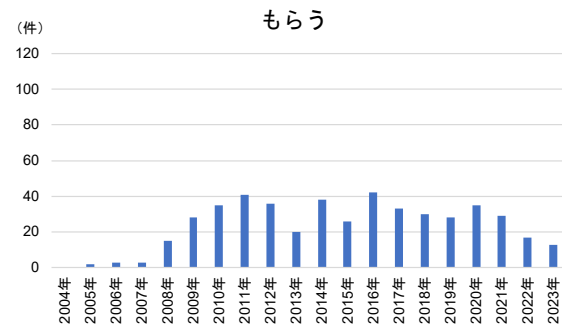


図 5-12 「勇気をもらう」の件数推移

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

(出所) Ameba ブログより筆者作成。

「勇気のやりもらい」については、2008 年から 2009 年から使用例が増えていること、2020 年代になって使用例が多少減ってはきているものの、調査対象期間を通じてあまり増減がないこと、また、本項の冒頭、動詞のどの活用との組合せを検索するかについても言及したが、勇気は「あげる」ものではないことが、グラフから読み取れる。

また「勇気をあげる」の用例 122 件中、その約三分の二に当たる 79 件は、「勇気をあげたい」、「勇気をあげれる（人間になりたい）」といった表現だった。希望、願望、可能という「非現実」を表す表現となっている点については、注意を払って分析を行うこととする。

(12) そして、なにしようかなって考えた時に人生で唯一ハマった AKB が頭に浮かんで。僕もあんな風に歌って踊ってみんなに勇気をあげたい。僕みたいなやつで
(2022 年 9 月 14 日 BMK オフィシャルブログ)

(13) 事なのかな?とか思ふさいきんは心にマイメロ飼い始めた 🍡 笑とそんなわけで
…みなさまの日常の密かな楽しみでも癒しでも勇気をあげれる存在でもなれて
たら (2021 年 8 月 26 日 中村紀雄オフィシャルブログ 「元 県会議員日記・人生フル回転」)

1.4 調査の目的

1.3 で、「元気」、「やる気」、「勇気」の 3 つの「気」を、4 つのやりもらい動詞を用いて「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」ことを「気のやりもらい」と語釈したが、本章では筆者にとって“気になる”気のやりもらいについて、以下の点について探っていくこととする。

- ① 「気のやりもらい」はいつ頃から多く出現するようになったのか、またそれは書きことばに多い表現なのか、それとも話しことばにも見られるのか。
- ② 「気のやりもらい」を行う対象、すなわち、何に／から「気」を受け渡し、どのような特徴や傾向があるのか。
- ③ 「違和感」はどこから生じているのか。

1.5 調査の方法

調査に当たっては、まず、国語辞典で「元気」、「やる気」、「勇気」の 3 語について、用例を中心に確認する (2.1 項)。具体的には、気のやりもらい表現が用例にあるかどうかを確認し、併せて「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の意味、用法等についても、国語辞典で確認する。次に先行研究における指摘を挙げるとともに (2.2 項)、インターネット上での本件に係る議論についても取り上げ考察する (2.3 項)。次に気のやりもらいの

実態を探るべく、各種コーパスを用いて用例を収集し、用例の時期や特徴等についての分析を行う（3 節）。最後にこれらの調査によって判明したこと及び今後の課題についてまとめる（4 節）。

なお、3 節における気のやりもらいの用例検索・分析の際、「頂戴する」は「もらう」に、また、「下さる」は「くれる」に含めて行った。

2. 「気のやりもらい」の語釈

2.1 国語辞典の語釈と用例

2.1.1 元気、やる気、勇気の語釈

第 3 章及び第 4 章でも用いた、現在容易に入手できる又は図書館で閲覧できる 24 の国語辞典で「元気」、「やる気」、「勇気」の語釈及び用例を調査した。その結果をまとめたのが表 5-4 である。

各語の語釈について、概要をまとめると以下のとおりである。

まず「元気」は、その後の本来の意味である、「天地間に広がり、万物が生まれ育つ根本となる精気」（『日本国語大辞典 第二版』）との語釈が、対象 24 辞書中 14 の辞書に記載されていた。具体的には、大型辞典（日本国語大辞典第二版）及び広辞苑等の中型辞典は皆、当該語釈を記載していたが、その他の小型辞典は、新潮社及び岩波書店発行の辞書を除き当該語釈の記述はなかった。また「やる気」は、連語として独立した見出し項目に挙げていない辞書がある（対象 24 辞書中 7 の辞書は見出し項目とせず。）、という目立った違いがあるほかは、語釈に大きな差異は見られなかった。また、「元気」は、「一を出す(せ)」、「一で（に）暮らす」、「一がある」、「やる気」は、「一がない」「一を起こす」、「勇気」は、「一を出す」といった用例が多数挙げられていた。

表 5-4 国語辞典の語釈と用例

辞書名	元気	やる気	勇気
日本国語大辞典 第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・天地間に広がり、万物が生まれ育つ根本となる精気。 ・活動のみなもとになる気力。身心の活動力。また、国家や組織が存続する上で必要な活力。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで何事かをしようという気持。意欲。「やるきがない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・勇ましい意気。物事を恐れない強い気力。

辞書名	元気	やる気	勇気
	<ul style="list-style-type: none"> ・体の調子がよくて健康なこと。気力、勢力がさかんなこと。また、そのさま。 		
国語大辞典	<ul style="list-style-type: none"> ・天地間に広がり、万物が生まれ育つ根本となる精気。 ・活動のみなもとになる気力。身心の活動力。 ・体の調子がよくて健康なこと。気力、勢力が盛んなこと。また、そのさま。 ・病気がなおること。健康が回復すること。減気。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・勇ましい意気。物事を恐れない気力。「勇気を出す」「勇氣凛々」
角川国語大辞典	<ul style="list-style-type: none"> ・体を活動させる力。活動のもととなる気力。また、その気力の盛んなこと。旺盛な意気。 ・物事の根本となる気力。「一国の一」 ・万物生成のもとになる精気。 ・活動力や気力が盛んで、はつらつとしているさま。 ・体の調子がよく健康なさま。 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を恐れない意気。
国語大辞典 言泉	<ul style="list-style-type: none"> ・天地間に広がり、万物が生まれ育つ根本となる精気。 ・活動のみなもとになる気力。「旺盛な元気」「元気を回復する」「元気がない人」「元氣よく駆け出す」「元氣を出せ」 ・体の調子がよくて健康なさま。「元気で暮らす」「元氣な顔を見て安心した」「どうかお元気で」 	—	<ul style="list-style-type: none"> ・勇ましい意気。物事を恐れない気力。「勇気を出す」「勇氣百倍」「勇氣凛々」
学習国語大辞典 第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・万物発生の元になる大気・精気。 ・活動のもとになる気力。体を活動させる力。また、そのような気分・力の盛んなこと。「一を落とす」「一がある」「一がいい」 ・体の状態がよくて健康なようす。 ・〔気持ちや行動が〕はつらつとしているようす。活発な活動力を持つようす。「一な子供」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで何かをしようという意志。「一十分」「一がない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものおじしない、強い意気・気力。「一を出す」
新辞林	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のもとになる気力。また活力の盛んなさま。 ・健康。「一で暮らす」 ・中国の宇宙生成論で、万物生成の根本となる精気。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事をやりとげようとする積極的な気持ち。「一を起こす」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を恐れない強い心。
講談社カラー版日本語大辞典 第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・万物生成のもととなる精気。 ・活動のもととなる気力や活力にあふれていること・さま。「一がいい」「一に働く」「一をなくす」 ・体調がいいこと・さま。「お一ですか」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に積極的に取り組もうとする気持ち。「一をなくす」 	<ul style="list-style-type: none"> ・なにものも恐れない強い気力。勇ましい心。「一を出す」「一凛々」

辞書名	元気	やる気	勇気
大辞泉 第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・心身の活動の源となる力。「一が出る」「一横溢」 ・体の調子がよく、健康であること。また、そのさま。「一な子供」「お一ですか」 ・天地の間にあって、万物生成の根本となる精気。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで物事をなしとげようとする気持ち。「一を起こす」「まるで一がない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・いさましい意気。困難や危険を恐れない心。「一がわく」「一を出す」「一凛々」
広辞苑 第七版	<ul style="list-style-type: none"> ・天地間に広がり、万物生成の根本となる精気。 ・活動のみなもととなる気力。「一を出す」「仕事をする一がない」 ・健康で勢いのよいこと。「お一ですか」「二日休んで一になる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を積極的に進めようとする気持ち。「一を起こす」「一がない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・いさましい意気。物に恐れない気概。「一をふるう」「一がわく」
大辞林 第四版	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のもとになる気力。また、いきいきとして活力の盛んなさま。「一がある」「一を出す」「一に歌う」「一な子」 ・国家などが存続・発展するための、もとになる力。 ・体に悪い所がないさま。健康。「一で暮らす」 ・中国の宇宙生成論で、万物生成の根本となる精気。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事をやりとげようとする積極的な気持ち。「一が出る」「一をそがれる」「一を起こす」「一満々」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事を恐れない強い心。いさましい意気。「一を奮い起こす」「一百倍」
旺文社標準国語辞典 新訂版重版	<ul style="list-style-type: none"> ・気力。活動力。「一がある」 ・健康なようす。「一に暮らす」 ・いきいきして、活力のあふれているようす。勢いのよいようす。「一な声」 	一	<ul style="list-style-type: none"> ・物事におそれず立ち向かう強い心。「一を出す」「一をふるう」
新潮国語辞典－現代語・古語－第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・万物生成の根本となる精気。 ・物事をする根本となる気力。身体を維持していく力。 ・すこやかなこと。勢いのよいこと。 	一	<ul style="list-style-type: none"> ・いさましい心。物事を恐れない意気。
新潮現代国語辞典 第二版	<ul style="list-style-type: none"> ・天地の間に広がっていて、万物の生成の根本となると考えられている精気。 ・物事の根本となる気力。 ・身体を維持していく力。 ・健康で勢いがあること。 	一	<ul style="list-style-type: none"> ・危機や困難にたじろがず、積極的に対処しようとする気力。いさましい心。物事を恐れない意気。
新選国語辞典 第九版	<ul style="list-style-type: none"> ・心やからだの活動力。「一をやしなう」 ・心やからだがすこやかなこと。「一な人」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に積極的に取り組もうとする気持ち。「一を起こす」 	<ul style="list-style-type: none"> ・ものおじしない意気。「一を出す」
集英社国語辞典 第3版	<ul style="list-style-type: none"> ・体の調子がよくて活力に満ち、健康であること。「一に暮らす」 ・活動の原動力となる気力・精気。「一が満ちあふれる」 	<ul style="list-style-type: none"> ・何かをしようとする前向きな気持ち。気力。「一を出す」「一がある」「一満満」 	<ul style="list-style-type: none"> ・勇ましい心。物を恐れない意気。「一ある発言」
学研現代標準国語	<ul style="list-style-type: none"> ・活動のもとになる気力。また、気力がさかんなこと。「元気がある」 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分から進んで何かをしようという気持ち。「やる気がない」 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事をおそれない、強い気持ち。「勇気ある行動」

辞書名	元気	やる気	勇気
辞典 改訂第4版	・体の調子がよく、健康なこと。「お元気で すか」		
現代国語 例解辞典 第五版	・活動の源になる気力。心身の活動力。「元 気が出てくる」「元気のない返事」「元気づ ける」 ・体の調子がよくて健康なこと。気力、体力 が盛んなさま。「老いてなお元気だ」「早く 元気になれ」	ー	・勇ましい意気。物事 を恐れない気力。「勇 気を出す」「勇氣百 倍」
学研現代 新国語辞 典 改訂 第六版	・活動のもとになる気力。「ーがある」「ーを 出す」 ・体の状態がよくて健康なようす。「おーで何 よりです」 ・〔気持ちや行動が〕はつらつとしているよ うす。「ーな子供」	・自分から進んで何か をしようという意 志。「ー十分」「ー 満々」「ーがない」	・ものおじしない、強 い気力。「ーを出す」 「ーがある」「ー百 倍」
岩波国語 辞典 第 八版	・活動のもとになる気力。また、それがあふ れている感じであること。「ーを出せ」「ー に歩く」▷万物生成の元である精気の意か ら。 ・体の調子がよいこと。「早くーになってく ださい」	・仕事などに積極的に 取り組もうとする気 構え。「ー満々」「ー がない」	・（勇んで）ものおじ せずに立ち向かう気 力。「ーを出す」
新明解国 語辞典 第八版	・〔病気がよくなる意の古語「減気」の変化 という〕 ・ー〔体力・休養が十分で〕進んで物事を やろうとする気力。「ーを出す（取り戻 す）／ーをつける／ーが無くなる／ー一杯 歩き続ける／ーづける／空ー」 ・「元気ー」があって、活発に活動する様子 だ。「ーに遊ぶ子供たち／すくすくとーに 育つ」 ・取り立ててぐあいの悪い所がなく、日常の 生活に支障がない様子だ。「八十歳の父 は、耳は遠いがまだまだーだ」	・何かをしようとする 積極的な気持。「ーが 出る／ーを起こす （失う）／ー満々」	・普通の人が不安・恐 れをいだいたり躊 躇・恥ずかしさを感じ たりするところを 屈しないで、自分が 正しいと思った通り やってのけようとい う積極的な気力。「ー のある決断／ーを試 す／ー凛々」
明鏡国語 辞典 第三版	・ものごとをやろうとする気力。「ーがある 〔出る〕」「ーもりもり」 ・健康であるさま。「病気が治ってーにな る」 ・気力にあふれ、生き生きしたさま。「ーな 子供」「ーに返事をする」	・みずから物事をなし とげようとする積極 的な気持ち。「ーがな い」「ー満々」	・おそれないで向かっ ていく強い気力。い さましい意気。「ーが 出る」「ー凛々」
三省堂国 語辞典 第八版	・①心やからだの活動のもとになると考えら れる力。「ーがある・ーをつける・ <u>ーをも らう</u> 」 ・②「元気①」のあらわれた状態。「ーがい い」 ・健康。「ーですか・では、おーで」	・何かをしようとする 積極的な気持ち。「ー を出す・ーをなく す」	・いさましい気持ち。 ものごとをおそれな い強い意気ごみ。「ー をふるう・ーを出 す・みんなに <u>ーをも らう</u> ・ーある少年」

辞書名	元気	やる気	勇気
	・「元気②」であるようす。活発「一な子ども」		
旺文社国語辞典第十二版	・活動の根本となる気力。生命の活力。「一を出せ」 ・健康なさま。体の調子がよいさま。「いつまでもおーで」 ・生き生きとして活力のあふれているさま。勢いのよいさま。「一な子供」	・自分から進んで物事をやろうという積極的な気持ち。「一満々」	・ものを恐れず積極的に立ち向かう気力。雄々しく勇ましい心。「一凛々」「一を出す」
三省堂現代新国語辞典第七版	・はりきって、ものごとをしようとする気持ち。「一をなくす・一を出せ・一さかん」 ・健康なようす。「おーですか」 ・いきいきして、いきおいのいいようす。「一な子ども」	・なにかをしようとする積極的な気持ち。「一が出る・一になる・一満々・一なし」	・ものごとをおそれない、強い気持ち。「一がある・一をだす」

(注) 下線は筆者。

(出所) 各国語辞典より筆者作成。

ここで注目すべきは、『三省堂国語辞典』（以下『三国』という。）第八版の用例である。

「新語に強く」、「時代^{いま}を写す辞書」を謳って 2022 年 1 月に出版された⁹『三国』第八版には、「元気」の用例として「元気をもらう」を、また、「勇気」の用例として「勇気をもらう」を挙げており（表 5-4 下線部）、これは他の辞書には見られない用例である。

そこで『三国』の過去の版でこれらの用例が記載されているかどうか、1992 年刊の第四版以降を調査した結果が表 5-5 である。

表 5-5 『三省堂国語辞典』における「元気」と「勇気」の用例の有無の推移

版	出版年月	「元気をもらう」	「勇気をもらう」
第八版	2022 年 1 月	○	○
第七版	2014 年 1 月	○	○
第六版	2008 年 1 月	×	×
第五版	2001 年 4 月	×	×
第四版	1992 年 3 月	×	「勇気」の用例なし

(注) ○は、「元気」の用例の一つとして「元気をもらう」が、また、「勇気」の用例として「勇気をもらう」があることを、×は他の用例はあるが「元気をもらう」や「勇気をもらう」はないことを意味する。第四版の勇気の項には、用例そのものがない。

(出所) 『三省堂国語辞典』各版より筆者作成。

この表から、以下のことが分かる。

第一に、第七版が出版された 2014 年に『三国』の編者が、用例として取り上げてよいと思われるほど一般的に使われているとの認識に至った表現であること。

第二に、2008 年出版の第六版には「元気をもらう」、「勇気をもらう」の用例が出ていないことから、「元気をもらう」、「勇気をもらう」の表現が（『三国』編者の目から）一般化したと認識されたのは 2010 年前後であること。

第三に、「元気」の用例として「元気をもらう」を、また、「勇気」の用例として「勇気をもらう」を掲載しているのは『三国』のみで、規範的な用例を載せる国語辞典としてはまだ揺れがあること。すなわち、2019 年 9 月に『大辞林』第四版、2019 年 11 月に『岩波国語辞典』（以下『岩波』という。）第八版、2020 年 11 月に『新明解』第八版、2021 年 1 月に『明鏡国語辞典』（以下『明鏡』という。）第三版、2022 年 1 月に『三国』第八版と、令和の世になって相次いで新版の国語辞典が出版されたが、「元気をもらう」、「勇気をもらう」を用例に挙げたのは『三国』のみである。新語の採用として注目すべき独立した見出し項目ではなく用例の有無であるため、『三国』以外の国語辞典が「元気をもらう」、「勇気をもらう」を用例として採用しなかったことをもって、必ずしも規範的な用例として認知していなかったことを示す訳ではないが、まだ、「揺れ」があるとの示唆が得られる。

2.1.2 与える、あげる、くれる、もらうの語釈

次に動詞「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」（及び「やる」）について、辞書の語釈を確認する。ここでは、これらの動詞の、辞書による、また、時期による語釈の違いや変化に着目する訳ではないので、令和になって出版された代表的な中・小型国語辞典、すなわち 2.1.1 の表 5-4 で取り上げた『大辞林』第四版、『岩波』第八版、『新明解』第八版、『明鏡』第三版、及び『三国』第八版の語釈と用例を確認した。

その内容をまとめたのが表 5-6 である。

表 5-6 「与える・あげる・くれる・もらう（・やる）」の語釈と用例

動詞	辞書	語釈・用例
与える	大辞林 第四版	・ 自分の所有する物を目下の相手に渡しその者の物とする。やる。授ける。「子供におもちゃを一・える」「家畜にえさを一・える」〔古くは目上の相手に渡す場合にも使われた〕 ・ 時間・条件など相手が利用できる状態にしてやる。「弁明の機会を一・える」「部下に権限を一・える」 ・ 相手にそれを課す。「生徒に課題を一・える」

動詞	辞書	語釈・用例
		・他者に何らかの影響を及ぼす。「聴衆に感銘を一・える」「ショックを一・える」
	岩波国語辞典 第八版	・自分の物を他人に渡し、その人のものとする。やる。▷現在では上の者が恩恵的な意味で授ける場合に使う。
	新明解国語辞典 第八版	・その人自身の意志では得ることの出来ない、役に立つことの期待される（欲しいと願っている）事物や条件を得させる。「子供に本（小遣い）を一／旅行中の注意を一／ノーベル賞が与えられる／弁明の機会（重要な任務）を一／社員に育児休暇を一／天、二物を与えず」 ・好むと好まざるとにかかわらず、他からの働きかけによる影響を受け（感じ）させる。「損害（衝撃・ショック・ダメージ）を一／信頼感（安心感・脅威・苦痛）を一」
	明鏡国語辞典 第三版	・自分の領域に属するもの（特に、所有するもの）などを他に渡して、その人のものとする。授ける。「ノーベル賞を一」「子供に小遣いを一」「特権を一」「買い一・分け一」▶「与（與）」の漢文訓読から一般化した。多く、上の者から下の者への授ける行為にいう。 ・相手が有利になるような状況を作ってやる。「恩恵〔便宜〕を一」「敵に反撃の機会を一・えてしまう」
	三省堂国語辞典 第八版	・自分の持ち物や自由になるものを、相手のくほうへ移す／自由にさせる。▷。「ほうびを一・考える時間を一」 ・やらせるために、出す。「問題を一」 ・〔反応・結果などを〕相手が得るようにする。「いい印象を一・損害を一〔こうむらせる〕」
あげる	大辞林 第四版	・「与える」「やる」の丁寧な言い方。「この本、あなたに一・げます」「ほうびを一・げる」「子供におやつを一・げる」「鳥にえさを一・げる」
	岩波国語辞典 第八版	・敬語としての用法。「与える」「やる」のへりくだった言い方。「君に一・げよう」「あとで使いを一・げます」
	新明解国語辞典 第八版	・「与える・やる・送る・とどける」などの丁寧語。「誕生日のお祝いを一」
	明鏡国語辞典 第三版	・「やる」を上品にいう語。軽い謙譲の意を伴うこともある。「君にこの本を一・よ」 使い方 本来は動作の及び人物を高めて言う謙譲語だが、今は同等またはそれ以下の人にも使う。
	三省堂国語辞典 第八版	・「やる一」よりもていねいな言い方。〔それほどあらたまる必要のない相手に使う〕「いいものを一・よ・それあげますから持って行ってください」
くれる	大辞林 第四版	・他者が話し手または話し手側の人に物を与えることを受け手の側から言う。「君が一・れた万年筆」「また連絡を一・れ」
	岩波国語辞典 第八版	・与える。 ・他人が好意・親切から、物をこちらに与える。「金を一」「お祝い（お土産・記念）に一・れた人形」
	新明解国語辞典 第八版	・〔人が自分と対等か下の立場の相手に物を〕与える。「それを僕にくれ／友達が妹にくれた本／欲しいのならくれてやる」
	明鏡国語辞典 第三版	・相手が自分または自分側の人にものを与える。「兄が僕に手紙を一・れた」「友人が娘に入学祝いを一・れた」「何か変わったことがあったら電話を一・れ」
	三省堂国語辞典 第八版	・利益になるものを、相手が自分にあたえる。「友だちが漫画をくれた・水を一・ばいくれ」
もらう	大辞林 第四版	・他から与えられて自分のものとする。「手紙を一・う」「くれる物は何でも一・う」

動詞	辞書	語釈・用例
	岩波国語辞典 第八版	・他人の行為・親切による行為を受ける。贈物や恩恵的な措置を受ける。「旅のみやげを―」「だるまをみやげに―」「時間を―・って追加説明をする」「かえって田中老人から <u>元氣を―</u> 」 ・与えるように頼んで引き取る。「サインを―」「身柄を―・い受け」。家に迎える。「嫁を―」「嫁に―」
	新明解国語辞典 第八版	・人がくれると言うものを（頼んで）自分の物にする。「手紙（お菓子・おこづかい）を―／娘（嫁）を― [=自分の配偶者として迎える]
	明鏡国語辞典 第三版	・贈られて自分の手に入れる。また、頼んだりきちんと断ったりして自分の手に入れる。「父に入学祝いを―・った」「小遣い〔手紙〕を―」「薬を―・いに行く」「許可を―」 ・人のアイディアなどをちゃっかりと自分（側）のものにする。借りる。盗む。「映画からアイディアを―」
	三省堂国語辞典 第八版	・利益になるものを、自分が相手から受け取る。自分のものにする。「月給を―・ <u>勇氣をもら</u> う・許可を―・先方に（面会の）時間を―・勝負はもらった [=自分の勝ちだ]・命を―ぞ [=殺すぞ]」
やる	大辞林 第四版	・他人に物を与える。同等またはそれ以下の人に物を与える。「孫に小遣いを―・る」「犬にえさを―・る」「植木に水を―・る」
	岩波国語辞典 第八版	・（同等以下のものに）与える。「子供に小遣いを―」
	新明解国語辞典 第八版	・下の立場の者（自分の力では得ることができないもの）に何かを与える。「兄が妹に人形をやった／犬にえさを―／花に水を―」
	明鏡国語辞典 第三版	・同等以下の人や動植物に物を与える。「家来に褒美を―」「孫に小遣いを―」「犬にえさを―」「花に水を―」
	三省堂国語辞典 第八版	・利益になるものを、自分またはだれかが、自分以外にあたえる。〔同等・目下の人、動植物などに使う〕「そんなにほしいなら、一ぞ・子どもにこづかいを―・犬にえさを―・花に水を―」

（注）下線は筆者。

（出所）各国語辞典より筆者作成。

各辞書の語釈の検討は、これを基にした「気のやりもらい」における「違和感」の所在を3節で検証する際に詳しく行うこととして、ここでは「もらう」の用例に着目する。『岩波』第八版では「もらう」の用例として、「かえって田中老人から元氣をもらう」が、また『三国』第八版では、2.1.1で「勇氣」の用例で見たように、「もらう」の用例として「勇氣をもらう」の用例が記載されている。そこで『岩波』及び『三国』の過去の版における「もらう」の用例を調査した。併せて同じ版における「元氣」と「勇氣」の用例を確認した結果をまとめたのが表 5-7 である。

表 5-7 『三国』と『岩波』における「もらう」と「元氣」・「勇氣」の用例の有無の推移

辞書名・版 （出版年月）	「もらう」の用例	「元氣」の用例	「勇氣」の用例
『三国』第八版 （2022 年 1 月）	月給を―・ <u>勇氣を―</u> ・許可を―・先方に（面会の）時間を―・勝負はもらった	―がある・―をつける・ <u>―をもらう</u>	―をふるう・―を出す・ <u>みんなに―をもらう</u> ・―ある少年

辞書名・版 (出版年月)	「もらう」の用例	「元気」の用例	「勇氣」の用例
	[＝自分の勝ちだ]・命を 一ぞ [＝殺すぞ]		
『岩波』第八版 (2019 年 11 月)	旅のみやげを一、だるまを みやげに一、時間を一・つ て追加説明をする、 <u>かえつ て田中老人から元気を一</u>	一を出せ、一に歩く	一を出す
『三国』第七版 (2014 年 1 月)	月給を一・ <u>勇氣を一</u> ・許可 を一・先方に(面会の)時 間を一・勝負はもらった [＝自分の勝ちだ]・命を一 [＝殺す]	一がある・一をつける・ <u>一 をもらう</u>	一をふるう・一を出す・ <u>み んなに一をもらう</u>
『岩波』第七版新版 (2011 年 11 月)	旅のみやげを一、だるまを みやげに一、時間を一・つ て追加説明をする、 <u>かえつ て田中老人から元気を一</u>	一を出せ、一に歩く	一を出す
『岩波』第七版 (2009 年 11 月)	旅のみやげを一、だるまを みやげに一、時間を一・つ て追加説明をする、 <u>かえつ て田中老人から元気を一</u>	一を出せ、一に歩く	一を出す
『三国』第六版 (2008 年 1 月)	月給を一・ <u>勇氣を一</u> ・時間 を一 [＝作業時間を保証さ れる]・勝負はもらった [＝自分の勝ちだ]・命を一 [＝殺す]	一がある・一づく・一をつ ける・一づけ(る)	一をふるう・一を出す
『三国』第五版 (2001 年 3 月)	月給を一・時間を一 [＝作 業時間を保証される]・勝 負はもらった [＝自分の勝 ちだ]・命を一 [＝殺す]	一がある・一づく・一をつ ける・一づけ(る)	一をふるう・一を出す
『岩波』第六版 (2000 年 11 月)	旅のみやげを一、時間を 一・つて追加説明をする	一を出せ、一に歩く	一を出す
『岩波』第五版 (1994 年 11 月)	旅のみやげを一、時間を 一・つて追加説明をする	一を出せ、一に歩く	一を出す
『三国』第四版 (1992 年 2 月)	月給を一・時間を一 [＝作 業時間を保証される]・勝 負はもらった [＝自分の勝 ちだ]・命を一 [＝殺す]	一がある・一づく・一をつ ける・一づけ(る)	用例なし

(出所) 各国語辞典より筆者作成。いずれも各語の最初の語釈の用例。下線は筆者。

表 5-7 から分かるとおり、「もらう」の用例としての「勇氣をもらう」は、2008 年 1 月発行の『三国』第六版から、また、「もらう」の用例としての「元気をもらう」は 2009 年 11 月発行の『岩波』第七版から「かえって田中老人から元気をもらう」との用例が掲載されていた。

一方、「元気」や「勇気」の用例を見ると、『岩波』にはいずれの版でも「元気をもらう」や「勇気をもらう」の用例はなかった。一方『三国』には、第六版には「元気」や「勇気」の用例として「元気をもらう」や「勇気をもらう」の記述はなかったが、第七版及び第八版では、「元気をもらう」及び「みんなに勇気をもらう」との用例が掲載されていた。

用例の取上げ方について、『三国』には説明はないが、『岩波』には凡例の説明の 10 として「意味の理解を助け、また実際の使い方が分かるように、つとめて用例を「 」に包んで掲げた」（『岩波』凡例 17 ページ）とあり、『岩波』では「かえって田中老人から元気をもらう」を「実際の使い方」の例として挙げていることが分かる。

以上から、『三国』では「勇気をもらう」は遅くとも 2007 年までに、また『岩波』では「元気をもらう」は 2009 年までには「実際に使われて」いる表現として認知されたと考えられる。

2.2 先行研究、教養書及びインターネットの指摘

2.2.1 先行研究

2.2.1.1 『日本語文法百科』における解説

はじめに、やりもらい動詞に関する解説をいくつか挙げておく。

「わかりづらい文法事項をすばやく、かつ容易に理解できる事典的も合わせ持った総合的概説書であることをめざし」た『日本語文法百科』では、授受動詞（やる（あげる）／くれる／もらう）について独立した項目建ての下 1 ページ弱を割いて授受動詞の特徴を解説している。

英語等の多くの言語では、授受を表す動詞は *give/receive* のように、二つ組であるのに対して、日本語は「やる（あげる）／くれる／もらう」の三つ組であり、「渡し手が主格となるか、受け取り手が主格となるか」以外の観点も関わっているとして、「視点」を取り上げて説明している。すなわち渡し手が受け取り手のいずれかを「私」に置き換えるかことができれば、「話し手がそちらの人物の立場に立つ表現であるということであり、そちらに人物的視点が置かれていると解釈できる」、「『やる（あげる）』は渡し手に視点があり、『くれる』『もらう』¹⁰は受け取り手に視点があるということになる」と説明している。

（沖森 2021：412-413）

2.2.1.2 『基礎日本語－意味と使い方』における指摘

『基礎日本語一意味と使い方』は、日本語の基本語彙について「ことばの意味・用法の細かい分析、関連する語をできるだけ多く取り上げて、その違いや使い分けを詳しく述べていく辞書ということを念頭において執筆した」（森田 1977：1）もので、本書は「あたえる」、「くれる」、「やる」についても解説を行っている。

2.2.1.2.1 あたえる

森田（1977）では「あたえる」をまず、「主体者 A が、自己に属する事物 C を相手 B の側へと移す行為。A 側から見た語で、B 側から見れば『受ける』。C が具体的な品物となる例は少なく、一般に事柄の賦与・賦課などに用いられる」と説明する。（森田 1977：22-23）その上で以下の 3 つの分析を行っている

分析 1 では、①事物 C が A 側の所有物である場合。A の意志によって、ことさら B へと所有権を移す（例：子供たちに金を与える）、②A の判断によって生じる事柄、もしくは A の意志によって決定する義務・責任・恩恵、もしくは損害などを B に加える意志的な行為（例：忠告を与える）、③A の行為が結果的に B にある種の結果を招く。無意志的な作用。B がある作用を間接に受けたことを、本人 A は意識していない（例：相手に迷惑を与える）、の 3 つに分けて分析を行っている。（森田 1977：22-23）

分析 2 では、A と B の立場に注目し、「A は、物品や恩恵・損害などの提供者（発し手）であり、B は受け手である。A は恩を売る側ないしは加害者。B は恩にきる側ないしは被害者。つまり A は立場上 B より優位に立ち、A-B 間で上下の人間関係を構成する」と分析し（森田 1977：23）、「与える」という語は、この動詞を介した事物の移動の主体者と受け手の上下関係をも規律している点に注意したい。

2.2.1.2.2 くれる・もらう

「くれる」については、まず、『やる／もらう』とともに、事物の所有者 A から他者 B へその所有権を無償で移行する行為」と説明する。次に『くれる／やる／もらう』には、「事物の授受にあずかる“行為主体”と、“話者の立つ側”および A・B いずれを“主語”とするかによって使い分けの体系を持つ点、特筆すべき語群」としている。

この項の分析 1 では、『くれる／やる／もらう』を、与え手 A、受け取り手 B、授受される事物 C の三者関係から文型を見ると、（中略）『叔父さんは自分の息子に小遣いをくれた』とか、『叔父さんは私に小遣いをやった』ではおかしい」と指摘、『与える』『授け

る」などは、A－B間の授受関係を第三者間のこととして客観的に述べているが、『くれる／やる／もらう』は、話し手の立場が関与して使い分けに一つの規則を設け、それに反すると変な日本語になる」として、「くれる／やる／もらう」の第一の特徴を解説している（森田 1977：191-192）。しかしながら、本章で取り上げた「違和感」はこの第一の特徴に由来するものではない。

第二に、「もらう」には「くれる／やる」と異なり、受身表現と同様「彼は弟に金をやった／くれた→弟は彼に／から金をもらった」のように「A カラ／A ニ」の二つが並立すると指摘。これが「預かる」の場合には、「彼は弟に金を預けた→弟は彼から金を預かった」と「カラ格」しか取れず、これは、B から A への積極的な働きかけが強いだけでなく、B 側による一方的意図による行為も可能だと指摘している。その上で『もらう』の場合は「に／から」いずれも成り立つゆえ、受身的基盤が相当に強い受け取り行為であると思われる」（森田 1977：192-193）とまとめ、「ニ格」を取るか「カラ格」を取るかによるニュアンスの違いを、表 5-8 のように整理している。

表 5-8 格による「もらう」のニュアンスの違い

格	例文	解説
ニ格	（B が A に）何度も頼んでやっと許可をもらった。	A の意志一つで決まる行為。 B の働きかけが起点だが、A の意志で決定。
	叔母さんにお年玉をもらったの。 そのお金、だれからもらったの？ 叔母さんにもらった。	叔母さん側からの一方的なプレゼント。B は完全に受動者側。 叔母さんの発意で一方的によこしたとの気持ち強い。
カラ格	そのお金、だれからもらったの？ 叔母さんからもらった。	叔母さんの発意とも、私の発意で叔母さんにせがんで、叔母さんから金をせしめたとも解せる。

（出所）森田 1977：192-193 より筆者作成。

2.2.1.2.3 やる

「やる」については、まず「あちら側へと進ませる意志的行為」とその意味をごく短く説明した後、本動詞としての分析として、分析 1 では、「物の場合は、こちら側からあちら側へと移動させる行為」、分析 2 では「受給を表す『やる』は『くれる／もらう』と対応して一つの受給表現の体系を作る」として、A 側（物が動く元の側）から表現するか B 側（物

が動いた先)から表現するかの違い、どちらの立場に立つかで使用する動詞を異にする」(括弧内は筆者注)」と説明している。

「～(て)やる」という補助動詞としての「やる」については、「意志的な行為を表す動詞について、その動詞の表す動詞に付いて、その動詞の表す行為を、行為主体が他者のために行う労をとることを表す」「利益の供与としての恩恵表現の一種といえる」と説明している。(森田 1977 : 454-456)

2.2.1.3 日本語コミュニケーションにおける授受形式の役割について

横倉(2018)は、元気や感動といった目に見えないモノの授受表現を目にすることが多いとして、敬語の簡素化とそれを補う配慮表現としての授受形式の発展を、形のないモノのやり取りにまで授受形式が多用される傾向が、現代の日本語のコミュニケーションにおいてどのような役割を果たしているか考察する意義についてまとめている。

目に見えないモノのやりとりに対する「違和感」の原因を、授受形式の特徴と歴史的特徴を踏まえて考察した本論文では、「感動」、「夢」、「勇氣」、「元気」の4語を対象に現代日本語書き言葉均衡コーパスから抽出した例を分析した結果、①「あげる」はほとんど使用されておらず、代わりに「与える」を使用、②「感動」、「夢」、「勇氣」については、モノが与え手から受け手へ移動したことを与え手の立場から事態化する「与える」の使用頻度に比べ、同現象を受け手の立場から事態化する「くれる」、「もらう」の使用頻度が少ないこと、③「元気」については②の傾向と反対に、モノの移動を受け手の立場から事態化する「もらう」の使用頻度の方が多い、と分析した。(横倉 2018 : 32-33)

その理由として、「感動」、「夢」、「勇氣」については「与え手は受け手に供与しているつもりになっていても、受け手にそうした感情を生起させ、受け取ったことを認識させることは難しいモノ、すなわち与え手には「与える(た)」という意図があるにせよ、受け手はこれらの感情を生じさせることが難しいとことがうかがえる」と指摘している。その上で、安易な多用が、個人の内面にある感情の発生を押し付け、与える側が他に対して上位に位置付ける記述となってしまう危険が生じることが「違和感」を覚える原因の一つと指摘している。(横倉 2018 : 33-34)

一方、「元気」を「もらう／くれる」表現の多用は、何気ない行為やモノから「元気」を受け取りありがたい気持ちになり、そのことを表現する人が増加したことを示唆するものと整理した。(横倉 2018 : 36)

2.2.2 教養書の指摘

2.2.2.1 『NHK 気になることば—調べてナットク意外な発見！—』

世間で多く見聞きする「気になる表現」について NHK アナウンス室がその気になる理由について解説した『NHK 気になることば—調べてナットク意外な発見！—』では、「感動」、「勇気」、「元気」、「力」を人からもらう表現を良く聞くが、本来、「心の中の自然な動きで、外からもらうものではなさそうだ」と指摘。同書は併せて、これらの表現は「1990年代後半から使われるようになり、2000年のシドニーオリンピックのとき、『感動をありがとう』などという観客の姿がテレビに映し出されるなどして、急速に広がったといわれている」とその時期と起源を示唆している。子供の運動会では「感動したよ！」とは言っても、「感動をもらった」とは表現しないことから、スポーツ等のイベントならではの表現と言えるかもしれない、とその用法の制限についても言及している。一方、「感動を与える」との表現について「違和感」のある人がいるかもしれないとして、その理由については、自分のものを目下の相手にやる、相手に施す等の意味を持つ「与える」に「違和感」の原因があると指摘している。本稿は最後に、「以前は、自分の心の中で感じていた『感動』『勇気』を、応援する側は求め、選手もそれに応えようという意識が生まれ、『与える』『もらう』という表現が使われるようになったのかもしれない」とまとめている。(NHK アナウンス室 2008 : 100-101)

2.2.2.2 『不適切な日本語』

『不適切な日本語』は、フリーアナウンサーの梶原しげるが「日常生活でだれかの言葉にひっかかること多い」ため、周囲や関係者、そして専門家に問い合わせた、梶原の「(タチの悪い) アンテナにひっかかってしまった言葉、物言いの数々を集めた」(梶原 2016 : 4) 本である。その中で一章を『『元気』は他人にもらうものなのか』と気のやりもらいへの「違和感」をまとめている。

被差別の厳しい実態を語る会の参加者の「元気をもらった」との感想に戸惑う会の主催者(差別の現場に比べれば自分は幸せと感じての発言か)、『『元気と勇気』はもらったり、あげたりするものではなく、自分の中からわき上がる『自発的な感情』だという方は多い』、「他人の成功に『あやかり』という『安直で卑しい感じ』が、『元気をもらう』への違和感の根っこにある」と示唆する意見もあり」と各種意見を紹介している。梶原の照会に対して国立国語研究所は、『正しい』『正しくない』『本来的な日本語としてはなじまない』

と言う場合は、その根拠を『コーパス研究』から探するのが言語学の一般的アプローチ」として直接的な回答を避けた上で、梶原の疑問は「言語そのものというより、言語の『文化的な側面』」とし、「常套句は、陳腐でプア」と回答、これを受け「これを口にすれば誰からもおとがめがない、他人を傷つける事はない『言語の記号化』」であり、『『元気をもらった』という、記号化された常套句は、事を構えたくない、恥をかきたくない、という場合に便利」とまとめている。(梶原 2016 : 21-29)

2.2.3 インターネットにおける議論

インターネット上に掲載されるブログには、個人が様々な意見や感想を記載する「日記」機能だけでなく、そのブログを読んだ読者がブログの内容に対する意見や感想を投稿する機能もあり、これによりブログの筆者とその読者との双方向のコミュニケーションが可能なツールとなっている。

インターネットにはこのほか「Yahoo!知恵袋」のように、ある利用者が尋ねたい項目を投稿し、その質問に対する知見を有する他の利用者が回答を投稿し、その質疑応答の双方を、当事者のみならず他の利用者也閲覧できる機能もある。

また近年、技術の進展により生成 AI（人工知能）を利用し、インターネット上の多数の情報を検索・分析し、利用者の質問に答える機能まで出現している。

「気のやりもらい」に対する世間の意識の現状の一端を確認するため、インターネット上で「気のやりもらい」についてどのような意見が取り交わされているかを調査した。

2.2.3.1 インターネット上における「気のやりもらい」に関する意見

インターネット上で「勇気のやりもらい おかしい」と入力したところ、個人ブログで 4 件、Yahoo!知恵袋で 8 件、また Yahoo!知恵袋のような質疑応答サイトの Quora で 1 件、及び毎日新聞の特集記事がヒットした¹¹。このうち毎日新聞の特集記事を除くブログ等を時系列にまとめ、質問や意見（以下「質問等」という。）の概要、及び質問等に対する回答や意見（以下「回答等」という。）の数をまとめたのが表 5-9 である。

表 5-9 インターネット上の「気のやりもらい」表現に関する質疑応答の内容と回答数

投稿年月日	投稿先	質問等の概要	回答等の数
2007 年 10 月 22 日 ¹²	個人ブログ 1	元気／勇気をもらうとの表現はいつから用いられているのか	12
2011 年 4 月 5 日 ¹³	個人ブログ 2	元気／勇気をもらうのはまだわかるが、与えるは上からの発言のようで違和感あり	41
2011 年 7 月 18 日 ¹⁴	Yahoo!知恵袋	元気／勇気をもらうとの表現はムカつかないか	4
2011 年 8 月 21 日 ¹⁵	Yahoo!知恵袋	勇気はもらうものか	7
2012 年 7 月 9 日 ¹⁶	個人ブログ 3	感動／元気／勇気をもらうといった表現はこれまでなかった	0
2014 年 9 月 1 日 ¹⁷	Yahoo!知恵袋	人から元気をもらう感覚がよくわからない	1
2015 年 4 月 22 日 ¹⁸	Yahoo!知恵袋	元気／勇気をもらうとの表現に違和感を覚える、日本語としておかしくないか	8
2015 年 11 月 14 日 ¹⁹	Yahoo!知恵袋	勇気／元気を与えるとは何様か	8
2016 年 5 月 31 日 ²⁰	個人ブログ 3	「元気をもらう」は間違った日本語か	0
2018 年 6 月 2 日 ²¹	Yahoo!知恵袋	日本中が勇気をもらった、というのは本当に適当な表現か	16
2020 年（注） ²²	Quora	勇気をもらうとの表現を違和感なく受け入れられるか	12
2022 年 2 月 11 日 ²³	Yahoo!知恵袋	勇気をもらった／与えたい、との発言をよく耳にするが、どういう意味か	4
2022 年 9 月 28 日 ²⁴	Yahoo!知恵袋	「勇気をもらう」はよいが、「勇気を与える」は偉そうではないか	4

（注）個人ブログ 1：goo、個人ブログ 2：発言小町、個人ブログ 3：Hatena Blog

Quora は質問の掲載年が「3 年前」とだけ記載されていて特定不可。

（出所）各種ブログ等より筆者作成。

この検索結果からは、以下のことが読み取れる。

まず、質問等の掲載時期が 2007 年から 2022 年と、2011 年の震災後に集中していると考えていた筆者の予想に反して長いことが挙げられる。「気のやりもらい」に関する質問等は、2007 年に 1 件あった後、3 年間掲載がなかった。東日本大震災のあった 2011 年に 3 件と多かったが、その後も 1～3 年に 1 回質問等の掲載のない年があるものの、「気のやりもらい」に対する「違和感」や疑問はインターネット上で 2022 年まで呈されている。

次に、質問等の掲載時期 15 年にわたる「気のやりもらい」に対する質問等の内容に大きな変化が見られないことである。具体的には、『元気／勇気をもらう』との表現は、昔は使われていなかった、「違和感」がある、間違った表現ではないか」といったもののほかに、『勇気を与える』との表現は上からの表現／偉そう」との内容で、後述する「気のやりもらい」表現に対する「違和感」の所在を端的に示したものとなっている。

表 5-9 の回答等の数が「0」なのは、投稿した意見等に対して寄せられた意見がなかったことを示しているが、これらは個人ブログにおける記述であり、同一筆者の他の記事を見てもブログの読者からの意見が掲載されていないことから、当該ブログでは意見は受け付けていないものと考えられる。その他の質問等に対しては、数件から十数件、多いものは40件を超える回答や意見が寄せられており、「気のやりもらい」表現は、インターネット上でも一定の関心をもって受け止められているテーマと考えられる。

次に掲載された「気のやりもらい」に関する質問等に対する回答等の内容を分析した。

質問等のほか、回答等も「気のやりもらい」表現に対して否定的かどうか、又は肯定的、すなわち、「元気／勇気をもろう」等の表現は問題ないとするのか、そのどちらでもない回答を寄せたのかを筆者が判断して勘定し、対象となったのが「元気」、「やる気」、「勇気」のどれかについて言及したものか、その「気」の種類及びやりもらい動詞の種類と一緒に整理したのが表 5-10 である。表 5-9 は、質問等に対する回答等の数を記しているため、前述のように回答等が寄せられなかったものについては当該欄が「0」になっている。しかし、表 5-10 では意見の傾向を見るため、「気のやりもらい」表現に疑問を呈した当初の質問等は「否定的」な意見として勘定した。したがって表 5-10 の各行の計は、表 5-9 のそれより1件多く表示されている点に注意が必要である。

表 5-10 インターネット上の「気のやりもらい」表現に関する質疑応答の内容の分類結果

年月	気			やりもらい動詞				意見（括弧内は比率）				出所
	元気	やる気	勇気	与える	あげる	くれる	もらう	否定的	どちらでもない	肯定的	計	
2007年10月	○	-	○	-	-	-	○	7 (53.8%)	2 (15.4%)	4 (30.8%)	13 (100.0%)	個人ブログ
2011年4月	○	-	○	○	-	-	○	35 (83.3%)	3 (7.1%)	4 (9.5%)	42 (100.0%)	個人ブログ
2011年7月	○	-	-	-	-	-	○	2 (40.0%)	0 (0.0%)	3 (60.0%)	5 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2011年8月	-	-	○	-	-	-	○	4 (50.0%)	2 (25.0%)	2 (25.0%)	8 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2012年7月	○	-	○	-	-	-	○	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	個人ブログ
2014年9月	○	-	-	-	-	-	○	2 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2015年4月	○	-	○	-	-	-	○	6 (66.7%)	0 (0.0%)	3 (33.3%)	9 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2015年11月	○	-	○	○	-	-	-	4 (44.4%)	1 (11.1%)	4 (44.4%)	9 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2016年5月	○	-	-	-	-	-	○	1 (100.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	1 (100.0%)	個人ブログ
2018年6月	-	-	○	-	-	-	○	7 (41.2%)	4 (23.5%)	6 (35.3%)	17 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2020年	-	-	○	-	-	-	○	2 (15.4%)	1 (7.7%)	10 (76.9%)	13 (100.0%)	Quora
2022年2月	-	-	○	○	-	-	○	4 (80.0%)	0 (0.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)	Yahoo!知恵袋
2022年9月	-	-	○	○	-	-	-	3 (60.0%)	1 (20.0%)	1 (20.0%)	5 (100.0%)	Yahoo!知恵袋

（出所）各種ブログ等より筆者作成。

ここで筆者が「否定的」と判断した回答や意見には、以下がある。

- (14) 私も常々そのように思っていました。「勇気をもらう」「感動をもらう」「感動をありがとう」これらの言い回しにいつも違和感を覚えていました。どこか変ですよ。 (2011 年 8 月 21 日投稿の Yahoo!知恵袋の質問に対する回答)
- (15) テーマをはじめ、同感レスの皆様は全く同感です。(2011 年 4 月 5 日投稿の個人ブログに対する意見)

一方、「肯定的」と判断した回答や意見には、以下がある。

- (16) おかしくはないでしょう。違和感を覚えるポイントとしていくつかあると思いますが、(中略) この場合の「もらう」は「影響を受ける」という意味です。影響を受けた結果として自分が元気になったことをいうのであり、日本語の表現として特に問題視すべきだとは思いません。(2015 年 4 月 22 日投稿の Yahoo!知恵袋に対する回答)
- (17) 特に違和感はありません。もちろん比喩的な表現ですが、それを言ったら「湧く」という表現も元々は水の激しい動きを連想させる比喩的な表現です。(2020 年投稿の Quora に対する回答)

次に「気のやりもらい」に関する質問等に対する回答等が否定的か肯定的かに分類した結果を考察するに当たり、表 5-10 のうち、投稿日を横軸に、当該質問等に寄せられた回答等の総数に対する否定的又は肯定的な回答等の比率を縦軸に、また、意見数を表中の丸の大きさで表したバブルチャートを作成した。図 5-13 が否定的な回答等の傾向で、図 5-14 が肯定的な回答等の傾向である。

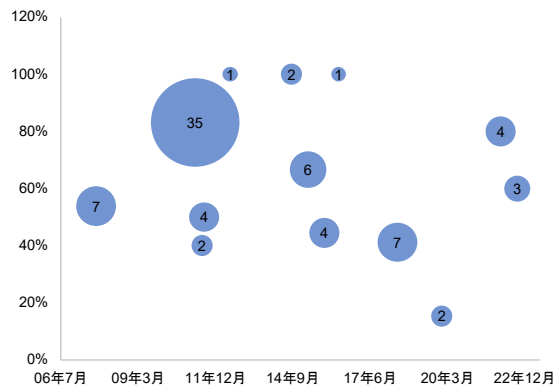


図 5-13 否定的な回答等の比率・件数の推移

(出所) 各種ブログ等より筆者作成。

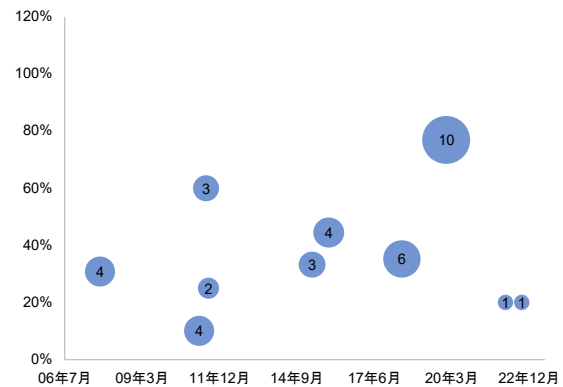


図 5-14 肯定的な回答等の比率・件数の推移

(出所) 各種ブログ等より筆者作成。

インターネットの質問サイトか個人ブログかといった質問等の掲載場所の違いや、質問等の書かれ方、すなわち質問の仕方等がバラバラで、それが回答等の数にも表れたものと考えられる。そのため、これらの図表からではその傾向を断定することは難しいが、今回インターネットに掲載されていた質問等の記載時期である 2007 年から 2022 年の 15 年間の概観すると、記載期間の当初は「気のやりもらい」表現に対して否定的意見が多かったが、中盤の 2015 年以降は「気のやりもらい」表現を肯定的に受け止める意見が増加していることが図 5-13 及び図 5-14 からうかがえる。

ここで、特に反応が多かった 2011 年 4 月の個人ブログと 2020 年の質問コーナーに対する回答や意見を見ることにする。

2011 年 4 月の個人ブログでは「以前から気になっていたが、震災後さらに耳にする機会が増えたので意見を伺いたい」と切り出し、「元気とか勇気を『もらう』のは受ける側の感じ方の問題なのでまだわかるが、『与える』は一方的な上からの発言のようで違和感がある。元気や勇気など目に見えないものを「与える」というのは傲慢な気がする。同じように目に見えない『愛』を与えるといわれた「神様かよ」と思わないか」との質問が掲載された。

これに対して、「そんなに深く考えるものじゃないと思う」、「そんなに目くじらをたてなくても…」といった「気のやりもらい」に対する肯定的な意見が散見される。一方、「芸能人やアスリートが『元気／勇気／感動を与えたい』というのは、以前から不快感を感じていた」、「非常にわかります。…『与える』という言葉には図々しさも含まれるかもしれません」、「そうそう、激しく同意します。私もかねがねそう思っていました」といった「気のやりもらい」に対する否定的な意見が寄せられた意見の大多数を占めていた。

これが 2020 年になると、質問サイト Quora に「最近勇気をもらおうと言う表現をよく耳にする。勇気は人にもらうものではなく自分の中から湧くものだと思うが、勇気をもらおうとの表現を違和感なく受け入れられているか」との質問が掲載された。これに対しては「よく人は誰々から勇気をもらった、あのプレーから勇気をもらったというが、なぜアカの他人からもらえるのか」が唯一の否定的な回答（ただし、前述のとおり表 5-10 では、質問自体が「気のやりもらい」に対して否定的なものなので、否定的な意見数を合わせて「2」と勘定している。）で、「勇気をもらうことは少ないが、違和感を感じるかと言うとそうではない」、「違和感は特に感じていない」、「特に違和感はない。もちろん比喩的な表現だが、それを言ったら『湧く』も比喩的な表現」と、「気のやりもらい」表現を受け入れている回答がほとんどを占める結果となっていた。

2011 年から 2020 年の 10 年の間に「気のやりもらい」に対する受け止め方が大きく変化したことを示す好例の一つと考えられる。

2.2.3.2 毎日新聞の「元気をもらおう」に関する特集記事

2.3.1 でみたインターネット上で「勇気のやりもらい おかしい」と入力したところ Yahoo!知恵袋等と併せて検出された記事に、「『元気』は『もらう』ものか…自ら『出す』ものでしょ タダだから広まった？」と題する「気のやりもらい」に関する特集を組んだ 2019 年 6 月 24 日付毎日新聞夕刊がある。

元気／勇気のやりもらいは改元前後²⁵の街頭インタビューで頻繁に聞き、それ以前から知ってはいたが、近年多用されていることからこの表現の起源を探ってみた、というのが当該記事執筆の動機である。

新聞や雑誌のバックナンバーを調べた結果、「元気をもらおう」は、1986 年 4 月 11 月号の写真週刊誌『フライデー』に、「当時『三越の女帝』と呼ばれたデザイナー、竹久みちさんが取材に、若い人から元気をもらうためにカフェバーに通っている、と答えています。その後、女性誌などで『パリが私に元気をくれる』といった表現が広まりました」と書かれたのが活字化の初出だとしている。

一方「勇気をもらおう」について同記事は、ある日本語学者の 2006 年のブログに書かれた、1988 年 1 月 24 日付け朝日新聞の読者投稿欄に掲載された「彼（尾崎豊―筆者注一）の歌に、自らは言葉に出来なかったいらだちや悲しみを見つけて共感して勇気をもらった」との一文が主要全国紙での最も古い事例、との内容を引用している。

この特集記事は、政治家による「元気／勇気をもらう」の使用例や識者の意見を載せた後、ノンフィクション作家の高橋秀実の、タダで何かを受け取る語感のある「もらう」という表現がいけないとの指摘を受け、「本来なら、自分の中から湧いてくるはずの元気や勇気が、外からもたらされると考える人々の心の奥底には、何かを待ち望んでいる『受け身の姿勢』があるのではないか。ある日、救世主がどこからやってくるという期待。自分の力だけではどうにもならない苦境から抜け出したい、という心理が『もらう』の中に隠れているのではないか。そんなふうに思えた」とまとめている。

2.2.3.3 生成 AI

技術の進展により、利用者がインターネット上の「テキストボックスに質問を入力し、AI（人工知能）が質問の内容を解析して、回答となるテキストを生成するシステム²⁶⁾」である生成 AI が広く使われるようになった。回答内容は正確性の面でまだ課題が多いものの、インターネット上の膨大な情報を検索、分析し、利用者の質問に応じた回答を文章で表示してくれる機能には、目を見張るものがある。

この生成 AI に「気のやりもらい」に対する「違和感」を尋ねることで、この表現に対するインターネット上の“コンセンサス”が得られるのではないかと考えた。

生成 AI の一つである Bing²⁷⁾に『『勇気をもらう』って表現に違和感はないですか?』と問いかけてみたところ、以下の回答があった²⁸⁾。

- (18) 「勇気をもらう」という表現に違和感を覚える人もいますが、一方で、スポーツを見た後などに「元気をもらえる」「勇気をもらった」のような表現を聞くことがよくあるそうです^{イ)}。また、勇気は人にもらうものではなく、自分の中から湧くものだと思われる方もいるようです^{ロ)}。ただ、この表現が使われる背景には、相手から受けた刺激や感動が自分自身の中で何かしらの感情や行動につながったという意味が含まれていると考えられます。^{ハ)} それぞれの人によって感じ方や解釈は異なるかもしれませんが、この表現が使われる背景には、相手から受けた刺激や感動が自分自身の中で何かしらの感情や行動につながったという意味が含まれていると考えられます。^{イ)、ハ)}

イ) <https://www.dailyshincho.jp/article/2016/05270554/?all=1> (梶原 (2016) を解説した 2016 年 5 月 27 日付け『デイリー新潮』記事)

ロ) Quora2020 年の質疑応答、章末注 22 参照

ハ) <https://note.com/flowlife/n/nbc1921027634> (2020 年 7 月 28 日掲載個人
ブログ) 29

Bing は「気のやりもらい」表現に「違和感」を覚える人がいることを肯定し、その理由について解説しつつこの表現の効果についてまとめたもので、全体としては「勇気をもらう」との表現に対する違和感の有無について回答していない。

一方、ChatGPT³⁰を用いて、Bing と同様、「『勇気をもらう』って表現に違和感はないですか？」と問いかけてみたところ、以下の回答があった³¹。

(19) 「勇気をもらう」は、日本語で一般的に使用される表現ですし、違和感はありません。この表現は、他人や状況から勇気を得るという意味を表しています。たとえば、友人の行動や言葉から勇気をもらう、あるいは困難な状況で他人の勇気を見て自分も勇気づけられる、といった風に使用されます。もちろん、言葉のニュアンスは人によって異なることがありますが、一般的には違和感は少ないと思われます。

Bing と異なり ChatGPT は、「気のやりもらい」表現について、はっきり「違和感はありません」と断言した。利用した ChatGPT は 3.5 で、回答に用いる情報は 2021 年 9 月までのものである。直近 2 年間の状況は反映していないにも関わらず、「日本語で一般的に使用される表現」と言い切る内容だった。ChatGPT は Bing のように参照サイトを注記しておらず、これら生成 AI の回答は、何をどのように分析しているか具体的には分からない。インターネット上における「気のやりもらい」表現の「量的な傾向」を集約したものと考えられる。

3. コーパスを用いた用例の収集と分析

3.1 調査対象

本節では、「はじめに」で言及した本章の研究目的である「気のやりもらい」に対する

「違和感」について、①「気のやりもらい」の出現時期と、その表現の所在（書き言葉か話し言葉か）、②「気のやりもらい」を行う対象、すなわち、何から気をやりもらいし、どのような特徴や傾向があるのか、③「違和感」はどこから生じているかを、「元気」、「やる気」、「勇気」と4つのやりもらい動詞「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の組合せについて、各種コーパスを用いて調査する。

具体的には、以下の7つのコーパスを用いて、「気のやりもらい」の用例を収集・分析する。

- ① 話し言葉の代表として、筆者が作成した国会会議録コーパス（以下「国会会議録」という。）（対象年：1947年～2022年）
- ② 第4章で用いた、「打ち言葉」における用例収集を目的として筆者が作成した特定の個人ブログ（「溜池通信³²」を対象としたコーパス（以下「溜池通信」という。）（対象年：1999年～2022年）
- ③ 書き言葉の代表的なコーパスとして、中納言を用いた「現代日本語書き言葉均衡コーパス」（以下「BCCWJ」という。）（対象年：1976年～2008年）
- ④ BCCWJの対象となっていない時期の書き言葉を補う意味で作成され、2023年6月に完成・公表された、中納言を用いた「昭和・平成書きことばコーパス」（以下「SHC」という。）（対象年：1933年から2013年まで8年おきに11ヶ年）
- ⑤ JapanKnowledgeLibを用いて検索した「文藝春秋」から筆者が作成したコーパス（以下「文藝春秋」という。）（対象年：1924年～1950年）
- ⑥ 東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーを用いて検索した「週刊東洋経済」から筆者が作成したコーパス（以下「週刊東洋経済」という。）（対象年：1997年～2022年）
- ⑦ JapanKnowledgeLibを用いて検索した『明治文学全集³³』から筆者が作成したコーパス（以下「明治文学全集」という。）（対象年：1870年～1914年）

これら7つのコーパスを用い、話し言葉、打ち言葉、そして書き言葉について、明治から大正、昭和、平成を経て令和に至る約150年にわたる長期の幅広い用例を収集・分析する。

区分	作成者	コーパス名	1870年代	1880年代	1890年代	1900年代	1910年代	1920年代	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代
話し言葉	筆者	国会会議録								1947								2022
打ち言葉	筆者	溜池通信													1999			2022
書き言葉	国立国語研究所	BCCWJ										1976					2005	
	国立国語研究所	SHC					1933	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	2013
	筆者	文藝春秋					1924				1950							
	筆者	週刊東洋経済													1997			2022
	筆者	明治文学全集	1870					1914*										

図 5-15 調査対象コーパスとデータ収録年

*『明治文学全集』には「解題」等と称して昭和期以降の作品も収められているが、本年表では大正 2（1914）年までとした³⁴。
（出所）筆者作成。

ここで SHC 及び明治文学全集について補足する。

SHC、『昭和・平成書き言葉コーパス』(Showa-Heisei Corpus of written Japanese) は、「昭和・平成期の日本語を通時的に研究できるように設計したコーパス」で、『日本語歴史コーパス』と 2001－2005 のデータを中心とする現代語の書き言葉のコーパスである『現代日本語書き言葉均衡コーパス』の間の空白期間をつなぐコーパスであるとともに、『現代日本語書き言葉均衡コーパス』以降のデータも一部含む通時コーパスとして構築され、2023 年 6 月に完成・公開されたものである。

SHC には、「(1) 広く読まれて社会的な影響が大きい、(2) 明治から平成まで継続的に刊行されてきた、(3) 『日本語歴史コーパス 明治・大正編』や『現代日本語書き言葉均衡コーパス』に収録されておりコーパスを接続可能である、という観点から雑誌・書籍・新聞の 3 つのレジスターを採用」、また、『日本語歴史コーパス 明治・大正編 I 雑誌』が 1874 年から 1925 年までのおよそ 8 年おきにデータが収録されていることを承けて、各レジスターの 1933 年から 2013 年までの 11 か年データを収録、「収録語数は、雑誌レジスター 2740 万語、ベストセラー小説 345 万語、新聞 256 万語、合計 3340 万語」となっている³⁵。

『明治文学全集』（全 99 巻＋総索引）は、筑摩書房が 1965 年から 1989 年にかけて刊行した、「小説・詩歌の枠を超えた広義の文学の視野に立って、明治期の思想・文学の流れを歴史的・系統的にたどれるよう編集され」た「開花期の戯作・啓蒙思想から、（中略）政治小説・翻訳文学をはじめ、文学・思想・宗教・史論・言論を中心に、民権運動・国粹主義運動・社会主義文学等を収録」し「明治期の文学遺産を多方面にわたって網羅した」大全

集である³⁶。この『明治文学全集』のジャパンナレッジ版が2023年9月1日に公開され、全100巻にわたる膨大な収録作品の全文検索が可能となった。

『明治文学全集』にいつからいつまでの作品が収録されているかは、ジャパンナレッジや同全集の2013年の特別限定復刻販売の際のチラシからも明らかではない。『明治文学全集』は各巻がジャンル別、作家別となっており、巻を追うごとに収録作品が新しくなっている訳ではないが、第1巻が「明治開化期文学集（一）」であること、その冒頭の収録作品である假名垣魯文篇「萬國航海西洋道中膝栗毛」が、同巻の「解題」や第2巻「明治開化期文学集（二）」の年表から、明治3（1870）年の作品で収録最古のものと考えられることから、図5-15上ではデータ収録初年を明治3（1870）年とした。また、『明治文学全集』には「解題」等と称して昭和期以降の作品も収録されているが、図5-15上ではデータ収録最終年を便宜上、大正2（1914）年とした。

3.2 調査方法

3.2.1 元気、やる気、勇気を含む用例の収集

3.2.1.1 国会会議録

国会会議録は、対象の院を衆議院とし、1947年の第1回国会から2022年の第220国会を対象に、「元気」、「やる気」、「勇気」の3語を検索し、その結果をエクセルシートに収めた。国会会議録では「元気」の入力で「元気」と「元氣」の用例が、「やる気」の入力で「やる気」と「やる氣」の用例が、また、「勇気」の入力で「勇気」と「勇氣」が検索できた。分析の際は、「元気」と「元氣」の用例を「元気」に、「やる気」と「やる氣」の用例を「やる気」に、また「勇気」と「勇氣」の用例を「勇気」にまとめて行った。

3.2.1.2 溜池通信

溜池通信は、第4章でも言及したように、双日総合研究所のエコノミスト、吉崎達彦氏が1999年10月に始め、現在も続く個人ブログである。今回の調査では、この溜池通信の1999年10月から2022年9月末までの丸23年間を対象に、「元気」、「やる気」、「ヤル気」、「勇気」の4語を順に入力の上検索した。なお分析は、「やる気」と「ヤル気」を「やる気」にまとめて行った。

3.2.1.3 BCCWJ、SHC

BCCWJ 及び SHC については中納言を用いて以下の検索を行った。

「短単位検索」で「キー」を『品詞』の『大分類』が『助詞』とし、また、「前方共起」を『キー』から『1』『語』とした上で、『書字形出現形³⁷⁾』が『●●』の●●部分に、「元気」、「元氣」、「やる気」、「ヤル気」、「勇氣」、「勇氣」の6語を順に入力の上検索した。分析の際は、「元気」と「元氣」の用例を「元気」に、「やる気」と「やる氣」の用例を「やる気」に、また「勇氣」と「勇氣」の用例を「勇氣」にまとめて行った。

3.2.1.4 文藝春秋

データベース「JapanKnowledge Lib」の「文藝春秋アーカイブ」を用いた。「文藝春秋アーカイブ」には『文藝春秋』創刊号である1923年（大正12年）1月の第1巻第1号より、1950年（昭和25年）12月の第28巻第26号までが収められている。「文藝春秋アーカイブ」で「全文」に「元気」、「やる氣」、「勇氣」の3語を入力の上、検索結果をエクセルシートに収めた。なお、「文藝春秋アーカイブ」の対象号には、「氣」の現代表記である「気」を用いた「元気」、「やる気」、「勇氣」の表記を用いた用例はなかったが、後の作業の際は、それぞれ「氣」を「気」に変換の上、「元気」、「やる気」、「勇氣」として分析を行った。

3.2.1.5 週刊東洋経済

データベース「東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー」に収められている『週刊東洋経済』誌1997年1月4日号より2022年12月24日－31日合併号までを対象に、「元気」、「やる気」、「ヤル気」、「勇氣」の4語を順に入力の上検索した。なお、「やる気」と「ヤル気」は「やる気」にまとめた上で分析を行った。

3.2.1.6 明治文学全集

データベース「JapanKnowledge Lib」の「明治文学全集」を用いた。JapanKnowledge Lib上で「明治文学全集」を対象に、範囲を「全文」とした上で、「元氣を与」、「元氣をあげ」、「元氣をくれ」、「元氣をもら」の各フレーズを入力・検索し用例を収集した。次に「元氣」を「やる気」、「勇氣」に変え、同様に検索を行った。収集した用例のうち、公表年が明らかなものを対象に分析を行った。

3.2.2 「気のやりもらい」例の収集

国会会議録、溜池通信、文藝春秋、週刊東洋経済は自家製のデータベースのため、①「元気」、「やる気」、「勇氣」の3語の直後の語のうち格助詞「を」が続くものを抽出、②「に」や「へ」のような格助詞が続く例や「元気滄刺」「勇氣凛々」といった熟語を除いたもの、具体的には「も」や「こそ」といった副助詞に続く語のうち、格助詞「を」に置き換え可能なものを抽出した。①と②の作業を経た用例の中から、「与える」、「あげる」、「もらう」、「くれる」の4つの動詞と結び付く用例を、本研究のデータベースとした。なお、これら4つの動詞との結び付く用例を抽出する際、漢字の字体の別（「与える」と「與える」）、受身（与えられる）や敬意表現（いただく、くださる）は区別せず、「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」に分類し、研究対象とした。

明治文学全集も自家製データベースではあるが、収録の各作品の発行年を特定することが容易ではないことから上述の手法を取らず、3.2.1.6 で述べた方法で検索できた用例のみを対象に分析する「簡易分析」とした。

なお、以下の用例（20）は、「（勇氣を）いただく」ではなく「（勇氣を）もらう」の用例として分類した。

（20） 最後、頑張ったら何とかなるんだ、そして、勇氣と力をいただくというのが今の世界の取組じゃないかなというふうに思うわけです。（国会会議録、第196回国会衆議院環境委員会第8号、平成30年5月15日、田村貴昭、発言番号066）
（下線は筆者。以下同。）

3.3 分析

3.3.1 話し言葉－国会会議録

1947年の第1回国会から2022年末の第220回国会までの75年間の衆議院における「気のやりもらい」を調査した結果が表5-11である。

表 5-11 国会会議録における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1940 年代	1950 年代	1960 年代	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
	元気	78	461	435	604	552	1,078	2,338	2,409	308	8,263

		1940 年代	1950 年代	1960 年代	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
国会会議録における「気」の用例数 (A)	やる気	18	206	558	1,065	791	890	1,611	1,137	217	6,493
	勇気	166	1,153	1,489	1,359	943	1,016	1,023	903	219	8,271
	計	262	1,820	2,482	3,028	2,286	2,984	4,972	4,449	744	23,027
「やりもらい」の用例数 (B)	元気	0	2	5	0	0	4	21	24	7	63
	やる気	0	0	0	1	2	2	3	2	0	10
	勇気	0	13	21	18	20	42	77	134	24	349
	計	0	15	26	19	22	48	101	160	31	422
(B) / (A)	元気	0.0%	0.4%	1.1%	0.0%	0.0%	0.4%	0.9%	1.0%	2.3%	0.8%
	やる気	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.2%	0.2%	0.0%	0.2%
	勇気	0.0%	1.1%	1.4%	1.3%	2.1%	4.1%	7.5%	14.8%	11.0%	4.2%
	計	0.0%	0.8%	1.0%	0.6%	1.0%	1.6%	2.0%	3.6%	4.2%	1.8%

(出所) 国会会議録より筆者作成

「元気」、「やる気」、「勇気」の3語はそれぞれ、「元気」が8,263回、「やる気」が6,493回、「勇気」が8,271回の計23,027回言及があった。「元気」、「やる気」、「勇気」の総言及回数に対する「元気」の総発言回数の比率は35.9%、「やる気」は28.2%、また「勇気」は35.9%であった。1940年代は、1947年から1949年までで、第1回国会は1947年の7月に召集されたものなので実質2年半、また2020年代は2020年から2022年までの3年間なので他の期間と比較して件数が少ない点には留意が必要なものの、「元気」の言及回数は1990年代以降急増、「やる気」は1970年代以降増加し、特に2000年代に言及回数が多かったこと、また「勇気」は、調査対象期間を通じて一定して言及されていることが判明した。

一方、これらの語が「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の4つのやりもらい動詞と一緒に用いられた件数は、「元気」が63件、「やる気」が10件、「勇気」が349件の計422件あった。やりもらいの用例数は、75年に及ぶ調査対象期間の平均は年5.6件であることが分かった。また気のやりもらい比率は、「元気」が0.8%、「やる気」が0.2%、「勇気」が4.2%で、全体では1.8%であった。次に、気のやりもらい用例422件がどのやりもらい動詞と一緒に用いられているかを、10年ごとの年代別にまとめたのが表5-12である。

表 5-12 国会会議録における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1940 年代	1950 年代	1960 年代	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
元気	与える	0	2	5	0	0	3	14	19	2	45
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	もらう	0	0	0	0	0	1	6	5	5	17
	小計	0	2	5	0	0	4	21	24	7	63
やる気	与える	0	0	0	1	2	2	3	2	0	10
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	1	2	2	3	2	0	10
勇気	与える	0	13	21	18	20	42	72	114	14	314
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	もらう	0	0	0	0	0	0	4	20	10	34
	小計	0	13	21	18	20	42	77	134	24	349
計		0	15	26	19	22	48	101	160	31	422

(出所) 国会会議録より筆者作成

元気は、1950年に言及のあった用例(21)の「元気を与える」が初出で、ほかにもう1件用例があり、1950年代は2件、1960年代には5件あったが、1970年代及び1980年代には用例がなく、2000年代に14件、2010年代に19件を数えるのみだった。「元気をくれる」は2005年に言及のあった用例(22)が初出で、これが75年に及ぶ国会会議録の調査対象中、「元気をくれる」の唯一の用例だった。「元気をもらう」の初出は1999年で用例(23)に挙げたが、その後、2000年代に6件、2010年代に5件に過ぎなかった。なお、「元気をあげる」の使用例はなかった。

(21) いかなる会議等でも議題になるし、また実際にそういうような人たちに非常に元気を與えまして、こんな十四、五歳ぐらいの、まるで鼻たらしの娘がこれだけの

ことを(国会会議録、第7回国会衆議院考査特別委員会第30号、昭和25(1950)年6月15日、青木重臣、発言番号19951)

- (22) お話でありました。アメリカのADA法もそうですし、みんなに元気をくれたと思います。ありがとうございます。(国会会議録、第162回国会衆議院厚生労働委員会第24号、平成17(2005)年5月19日、阿部知子、発言番号076)

「やる気」については調査対象期間の75年を通じて用例が全部で10件と少なく、やりもらいの動詞との組合せ用例として挙げたのは「やる気を与える」のみだった。初出は1973年の用例(23)で、1970年代の用例はこの1件のみだった。その後1980年代から2010年代まで、年代ごとの検出例は2・3件だった。

- (23) そういう多様化傾向を学校教育以外にも求められる一つの基礎というか意欲、まあやる気を与えてやるということが必要なのであるか、その辺のことは今後の問題として(国会会議録、第71回国会衆議院文教委員会第14号、昭和48(1973)年4月20日、有島重武、発言番号068)

「勇気」についても「元気」と同様、「あげる」と一緒に用いられた例はなかった。「勇気を与える」の初出は用例(24)の1950年で、1950年代から1980年代まではおおむね20件前後だったが、1990年代に42件、2000年代に77件、2010年代に134件と急増したことが分かった。

- (24) 打開策として、長期金融、不動産金融、中小金融等をさらに拡大し活用して、立ち上る勇気を與えるべきであると信ずるのであります。なおこのことについては、自由党本来の(国会会議録、第7回国会衆議院本会議第24号、昭和25(1950)年3月10日、上林山榮吉、発言番号007)

3.3.2 打ち言葉－溜池通信

「溜池通信」は総合商社に勤務する企業エコノミストが39歳から62歳の現在に至るまで、内外経済や政治話題から趣味や交友についてまで、幅広い話題を書き留めたブログで

ある。特定の個人による 23 年にわたる「打ち言葉」の変遷をたどることができるコーパスであるため、第 4 章における「しかない」の用例研究に続いて用いることにした。

国会会議録と同様、コーパスとして作成した溜池通信の対象期間における「元気」、「やる気」、「勇気」の 3 つの語が年代別にどの程度用いられているか、またこれらの語が「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 つのやりもらい動詞と一緒に用いられているかどうかを調査した結果が表 5-13 である。なお、溜池通信は 1999 年 10 月に開始したブログのため、1990 年代は 3 ヶ月しかないこと、また 2020 年代も最後の 2022 年は 9 月までの記録である点に留意が必要である。

表 5-13 溜池通信における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
溜池通信における「気」の用例数 (A)	元気	0	136	114	20	270
	やる気	0	28	12	2	42
	勇気	1	69	24	6	100
	計	1	233	150	28	412
「やりもらい」の用例数 (B)	元気	0	3	1	0	4
	やる気	0	0	0	0	0
	勇気	0	2	1	0	3
	計	0	5	2	0	7
(B) / (A)	元気	0.0%	2.2%	0.9%	0.0%	1.5%
	やる気	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勇気	0.0%	2.9%	4.2%	0.0%	3.0%
	計	0.0%	2.1%	1.3%	0.0%	1.7%

(出所) 溜池通信より筆者作成。

「溜池通信」は一人の筆者がブログに記した打ち言葉の記録であるため、特に言及件数については、多数の国会議員の発言を記録した国会会議録とは単純に比較できないものの、表 5-13 から溜池通信では、「元気」、「やる気」、「勇気」への言及回数は、23 年間で 412 件（年平均 17.9 回）と、年平均 307 回の国会会議録と比して少ないことが分かった。「気」の各語の言及比率は、「気」の用例数 412 件に対して、「元気」が 270 件で 65.5%、「やる

「気」が 42 件で 10.1%、「勇気」が 100 件 24.3%と、「気」の各語への言及が、「気」の用例数のほぼ三分の一ずつだった国会会議録とは異なることも判明した。

「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 つのやりもらい動詞と一緒に用いられた例は極めて少なく、23 年間の調査対象期間を通じて総数わずか 7 件で、やりもらいの用例数の溜池通信における「気」の用例数に対する比率は 1.7%だった。また、「やる気」とやりもらい動詞を組み合わせ用いた例は 1 件もなかった。

またこの数少ない気のやりもらい用例 7 件がどのやりもらい動詞と一緒に用いられているかを 10 年ごとの年代別にまとめたのが表 5-14 である。

表 5-14 溜池通信における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
元気	与える	0	0	0	0	0
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	3	1	0	4
	小計	0	3	1	0	4
やる気	与える	0	0	0	0	0
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
勇気	与える	0	2	0	0	2
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	1	0	1
	小計	0	2	1	0	3
計		0	5	2	0	7

(出所) 溜池通信より筆者作成。

「元気」は「もらう」のみで、2000年代に3件、2010年代に1件の計4件を数えたのみだった。また、「勇気」についても「与える」と「もらう」のみで、「与える」は2000年代の2件のみ（ただし、うち1件は他の人の「勇気を与える」との言の引用。）、また、「もらう」に至っては2010年代の1件のみだった。

全用例が7件のため、以下に全件を表示した。

（「元気」の用例）

- (25) 短い間でしたが、故郷の皆さんに元気をいただき、午前9時過ぎに富山を出発。順調に行くもんだから...（溜池通信、2002年8月15日）
- (26) トヨタ自動車もイチローも、「世界に通じるニッポン」は、みんなアメリカに元気をもらっているのです。（溜池通信、2006年3月24日）
- (27) 気がつけば、「かずき」と「はづき」という馴染みの店に元気を頂戴した一日がありました。感謝であります。（溜池通信、2007年4月18日）
- (28) 世の中がどんどん制度化して個人の自由度が低下している中で、こんな風に野性味あふれる人間は出にくくなっているような気がする。だからこそ、あー、いいよなー、今日の岡本綾子は、と毎朝元気をもらっている。あたしゃゴルフをやらない人なんだけどねえ。（溜池通信、2013年5月22日）

（「勇気」の用例）

- (29) さて、今日の帰りの電車で読んだのが、『ぼくたちは、銀行を作った』（十時裕樹／集英社インターナショナル）。ソニー銀行を作った人が、メルマガで書いていた内容の単行本化である。本の帯には、「読む人に勇気と希望を与えてくれる、不思議な本だ」（中谷巖氏）と書いてある。（溜池通信、2001年8月29日）
- (30) 祝、駒沢苫小牧優勝。優勝旗は一気に津軽海峡を越えた。この勝利、日ハムの札幌移転と無関係ではないと思う。新庄のプレーと派手な言動が、北海道の高校生たちに勇気を与えた、というのは考え過ぎか。（溜池通信、2004年8月22日）
- (31) 最良の引き倒しでメダルへの期待をあおっておいて、違う色のメダルに内心悔しがっているアスリートにコメントを求め、「でも勇気をもらいました」なんていうまとめ方は、感心いたしませんなあ。（溜池通信、2012年7月30日）

溜池通信は日々感じたことをつづったブログのため、用例（25）から（31）のように、気のやりもらい表現を、自分が元気になった要因、すなわち誰のおかげで元気になったのか、また誰に勇気を与えたのかを動詞「もらう（頂戴する／いただく）」や「与える」の前に明示している。（ただし用例（31）の「勇気をもらう」を除く。用例（28）についてはニ格が明示されていないが、文脈から「今日の岡本綾子」と推察される。）

第4章の「しかない」の分析でみたように、“壮年ブロガー”は表現に関しては保守的で、気のやりもらいについても、世間の「多用の流れ」には乗っていないことが判明した。

3.3.3 書き言葉

3.3.3.1 書き言葉－BCCWJ

書き言葉の均衡コーパスである BCCWJ を用いて、1975 年から 2008 年までの書き言葉における「気」の件数及び年代別の気のやりもらいを調査した結果をまとめたのが表 5-15 である。

表 5-15 BCCWJ における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	計
BCCWJ における「気」の用例数 (A)	元気	8	118	363	1,472	1,961
	やる気	7	24	141	929	1,101
	勇気	15	141	441	1,489	2,086
	計	30	283	945	3,890	5,148
「やりもらい」の用例数 (B)	元気	0	0	2	106	108
	やる気	0	0	0	5	5
	勇気	0	2	16	97	115
	計	0	2	18	208	228
(B) / (A)	元気	0.0%	0.0%	0.6%	7.2%	5.5%
	やる気	0.0%	0.0%	0.0%	0.5%	0.5%
	勇気	0.0%	1.4%	3.6%	6.5%	5.5%
	計	0.0%	0.7%	1.9%	5.3%	4.4%

（出所）BCCWJ より筆者作成。

1970年代は1975年のものからの5年間、また2000年代は2000年から2008年までの9年間のため注意が必要だが、「元気」は1,961回、「やる気」は1,101回、また「勇氣」は2,086回の計5,148回（年平均151回）言及されていることが分かった。「気」の総言及回数に対する「元気」の総言及回数の比率は38.1%、「やる気」は21.4%、「勇氣」は40.5%だった。

各語とも、年代を経るごとに件数が増加し、1990年代に比して2000年代は「元気」は4倍に、「やる気」は6.6倍に、また「勇氣」は3.4倍に増加した。

やりもらいの4動詞と組み合わせた用例数は、1970年代は0件、1980年代は「勇氣」との組合せ例の2件、1990年代は18件、2000年代は「元気」と「勇氣」の例が急増し全体で208件となった。気のやりもらい件数は調査対象全体で228件と少なく見えるが、「元気」、「やる気」、「勇氣」に対する気のやりもらい件数の比率は全体で4.4%と、国会会議録における同比率1.8%より多いとの結果だった。

以下は、「元気」、「やる気」、「勇氣」のBCCWJにおける初出の用例である。

(32) あなたが送ってくれたたくさんの葉書が、あたしにたくさんの元気をくれました。

ほんとにどうもありがとう」。伸一と勝利は、思わず乾三を（BCCWJ、LBj9_00031、1995年）

(33) 誇りとなりました。私が少しずつ進歩していくことは、私にやる気を与えました。

残念なことに、運動のプログラムにおいて、健常者とは（BCCWJ、OB6X_00100、2002年）

(34) は愛なのだそうです。愛の力が二人に死を恐れぬ強い勇気を与えたのようです。違

うだろう。二人に勇気を与えたのは「魔笛（BCCWJ、LBb7_00020、1987年）

また、気のやりもらい用例228件がどのやりもらい動詞と一緒に用いられているかを、10年ごとの年代別にまとめたのが表5-16である。

表 5-16 BCCWJにおける動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	計
元気	与える	0	0	0	24	24
	あげる	0	0	0	3	3

名詞	動詞	1970 年代	1980 年代	1990 年代	2000 年代	計
	くれる	0	0	1	9	10
	もらう	0	0	1	70	71
	小計	0	0	2	106	108
やる気	与える	0	0	0	2	2
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	1	1
	もらう	0	0	0	2	2
	小計	0	0	0	5	5
勇気	与える	0	2	16	65	83
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	13	13
	もらう	0	0	0	19	19
	小計	0	2	16	97	115
計		0	0	18	208	228

(出所) BCCWJ より筆者作成。

「元気」は「あげる」との組合せが 2000 年代にあるほか、「やる気」についても「くれる」、「もらう」の用例があるなど、国会会議録の用例とは異なる様相を呈している。

BCCWJ は、Yahoo! のユーザーの問いに他のユーザーが答えを投稿する「Yahoo! 知恵袋」もコーパスの対象としている。そのため、「気のやりもらい」の用例は Yahoo! からの用例が多いと仮定し、ジャンル別の用例数の検索を行った。その際、書籍については日本十進分類法に基づき、その他のジャンルについては、BCCWJ のジャンルでは細分化されすぎているため、「書名／出典」を参考に、筆者が「国会会議録」から「Yahoo!」までの 7 ジャンルにまとめたのが、表 5-17 である。

表 5-17 BCCWJ におけるジャンル別「気」の用例数及び「気のやりもらい」用例数の推移

対象語 ジャンル	BCCWJにおける用例数 (A)				「やりもらい」の用例数 (B)				比率 (B) / (A)			
	元気	やる気	勇気	計	元気	やる気	勇気	計	元気	やる気	勇気	計
0 総記	22	10	19	51	0	0	2	2	0.0%	0.0%	10.5%	3.9%
1 哲学	75	56	165	296	3	0	12	15	4.0%	0.0%	7.3%	5.1%
2 歴史	63	11	110	184	1	0	4	5	1.6%	0.0%	3.6%	2.7%
3 社会科学	154	212	243	609	8	0	8	16	5.2%	0.0%	3.3%	2.6%
4 自然科学	77	43	47	167	0	0	3	3	0.0%	0.0%	6.4%	1.8%
5 技術・工学	65	30	33	128	0	0	4	4	0.0%	0.0%	12.1%	3.1%
6 産業	30	46	20	96	0	0	2	2	0.0%	0.0%	10.0%	2.1%
7 芸術・美術	66	35	88	189	2	0	7	9	3.0%	0.0%	8.0%	4.8%
8 言語	25	7	12	44	1	0	1	2	4.0%	0.0%	8.3%	4.5%
9 文学	611	135	684	1,430	2	1	17	20	0.3%	0.7%	2.5%	1.4%
国会会議録	11	29	28	68	0	0	0	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
教科書	1	0	8	9	0	0	1	1	0.0%	—	12.5%	11.1%
白書	1	0	3	4	0	0	1	1	0.0%	—	33.3%	25.0%
自治体広報誌	90	21	41	152	19	0	6	25	21.1%	0.0%	14.6%	16.4%
新聞	25	12	25	62	2	0	8	10	8.0%	0.0%	32.0%	16.1%
雑誌等	81	58	71	210	10	1	12	23	12.3%	1.7%	16.9%	11.0%
Yahoo!	564	396	489	1,449	60	3	27	90	10.6%	0.8%	5.5%	6.2%
計	1,961	1,101	2,086	5,148	108	5	115	228	5.5%	0.5%	5.5%	4.4%

(出所) BCCWJ より筆者作成。

この表から分かるとおり、出典が「0 総記」から「9 文学」までの通常の書籍の気のやりもらいの用例は、全体の約三分の一の 78 件にとどまっており、BCCWJ における「気」の用例数に対する比率も 1.4% から 5.1% であった。気のやりもらいの用例数が計 20 件と最も多い「9 文学」も、全体の件数が非常に多いため比率では 1.4% と、ジャンル別ではやりもらい比率は最低だった。

Yahoo! の用例は仮定のとおりに 90 件と最も多く全体の約 4 割を占めていた。しかしながら「元気」、「やる気」、「勇気」の用例も「9 文学」に次いで多く、気のやりもらい比率は 6.2% と比率別では中位に属しており、「気のやりもらいの用例は、出典が Yahoo! のものが最も多かった」とは、用例数においては言えるが比率では言えないという結果だった。

3.3.3.2 書き言葉—SHC

2023 年 6 月に完成・公開された SHC は、1933 年から 2013 年まで、8 年おきに 11 ケ年の雑誌、ベストセラー書籍及び新聞からのデータを収録したもので、BCCWJ の対象となっていない時期の書き言葉を補う意味で作成されたコーパスである。

この SHC を用いて、気やりもらいを調査した結果をまとめたものが、表 5-18 である。

表 5-18 SHC における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1933年	1941年	1949年	1957年	1965年	1973年	1981年	1989年	1997年	2005年	2013年	計
SHCにおける「気」 の用例数 (A)	元気	75	44	24	43	59	43	39	53	52	32	67	531
	やる気	0	0	0	3	14	12	21	22	29	33	42	176
	勇気	116	60	36	126	90	80	84	68	105	65	84	914
	計	191	104	60	172	163	135	144	143	186	130	193	1,621
「やりもらい」の用 例数 (B)	元気	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12
	やる気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	勇気	2	1	2	4	2	2	6	3	7	7	22	58
	計	3	1	2	4	2	2	6	3	7	7	33	70
(B) / (A)	元気	1.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.4%	2.3%
	やる気	—	—	—	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勇気	1.7%	1.7%	5.6%	3.2%	2.2%	2.5%	7.1%	4.4%	6.7%	10.8%	26.2%	6.3%
	計	1.6%	1.0%	3.3%	2.3%	1.2%	1.5%	4.2%	2.1%	3.8%	5.4%	17.1%	4.3%

(出所) SHC より筆者作成。

「元気」、「やる気」、「勇気」の3語はそれぞれ、「元気」が531回、「やる気」が176回、「勇気」が914回の計1,621回（年平均147回）だった。「元気」、「やる気」、「勇気」の総言及回数に対する「元気」の総言及回数の比率は32.8%、「やる気」は10.9%、また「勇気」は56.4%だった。これまで見た他のコーパスと異なり、「元気」も「勇気」も1933年から75件、116件と一定の用例がみられること、SHCの対象となる年によって、特に戦後の1949年は落ち込んでいる等増減はあるものの、11ヶ年にわたって一定の件数の言及が見られること、また、「やる気」については1957年の初出以降、微増している、等の特徴が判明した。

一方、これらの語とやりもらい動詞と一緒に用いられた件数は、元気が12件、やる気が0件、勇気が58件の計70件で平均は年6.4件だった。SHCにおける「気」の用例数は、11ヶ年に1,621件を数えたので、気のやりもらい比率は通期で4.3%とBCCWJの4.4%とほぼ同率だった。また、2005年が5.4%、2013年は17.1%と急増していることも判明した。

次に、気のやりもらい用例70件がどのやりもらい動詞と一緒に用いられているかを、SHCの用例最終年ごとにまとめたのが表5-19である。

表 5-19 SHC における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

		1933年	1941年	1949年	1957年	1965年	1973年	1981年	1989年	1997年	2005年	2013年	計
元気	与える	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7	7
	小計	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	11	12
やる気	与える	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
勇気	与える	2	1	2	4	2	2	6	3	6	5	12	45
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	3
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	8	10
	小計	2	1	2	4	2	2	6	3	7	7	22	58
計		3	1	2	4	2	2	6	3	7	7	33	70

(出所) SHC より筆者作成。

「元気」については、初出は用例（35）に示した 1933 年の例で、「与える」との組合せが 1 件検出されたが、その後は 2013 年まで検出されなかった。2013 年には「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 動詞で計 11 件が検出された。

(35) 狭義の遣繰りを考察して、年の暮近づき、そろそろ遣繰りに頭脳を絞る人々に元気を與へる材料を提供しやう。第一にわれら遣繰黨が意を強ふするに (SHC、70M 中公 1933_12024、1933 年)

「勇気」については、1933 年の用例（36）が初出で、以降、SHC のデータ収録 11 ヶ年にわたって「勇気を与える」の用例が検出されている。「勇気をあげる」の用例はなく、「勇気をくれる」は初出が 1997 年、「勇気をもらう」の初出は 2005 年だった。(以下は各語の初出用例。)

(36) 負けたし、第一僕の氣の弱さは僕に口を開かせる勇気を與へなかつた、そしてただ寄り添ってくる女に、離れるともなく、ところどころ灯の (SHC、70M 中公 1933_08014、1933 年)

(37) 「世界十一位の経済大国の基盤を造れたのは朴大統領が勇気をくれたためだ」と発言、路線を若干修正した)。金大中氏の (SHC、80M 文春 1997_14038、1997 年)

(38) ちょっと他人との違いを挙げるならば苦難に出会った時にある本から必ず勇気を貰っていたことだろう。実際は、その本の中のある短編からだ (SHC、80M 文春 2005_09112、2005 年)

3.3.3.3 書き言葉—文藝春秋

1924 年の創刊から 1950 年までの約四半世紀の文藝春秋を対象に、「元気」、「やる気」、「勇気」の件数と年代別の気のやりもらいを調べた結果をまとめたのが表 5-20 である。

表 5-20 文藝春秋における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1920 年代	1930 年代	1940 年代	1950 年代	計
文藝春秋における「気」の用例数 (A)	元気	516	1,407	487	106	2,516
	やる気	19	55	18	6	98
	勇気	320	752	338	59	1,469
	計	855	2,214	843	171	4,083
「やりもらい」の用例数 (B)	元気	1	2	1	0	4
	やる気	0	0	0	0	0
	勇気	4	7	4	2	17
	計	5	9	5	2	21
(B) / (A)	元気	0.2%	0.1%	0.2%	0.0%	0.2%
	やる気	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
	勇気	1.3%	0.9%	1.2%	3.4%	1.2%
	計	0.6%	0.4%	0.6%	1.2%	0.5%

(出所) 文藝春秋より筆者作成。

文藝春秋は、1924 (大正 13) 年の創刊から、1950 (昭和 25) 年までの対象としたコーパスで、対象となる 27 年で計 4,083 回 (年平均 151 回)、「元気」、「やる気」、「勇気」に言及があった。(1950 年代は 1950 年 1 年のみの数値。) それぞれ、「元気」が 2,516 回、

「やる気」が 98 回、「勇気」が 1,469 回ので、「元気」、「やる気」、「勇気」の総言及回数に対する「元気」の総言及回数の比率は 61.6%、「やる気」は 2.4%、「勇気」は 36.0%であった。

一方、これらの語が「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 つのやりもらい動詞と一緒に用いられた件数は、「元気」が 4 件、「やる気」が 0 件、「勇気」が 17 件の計 21 件に過ぎず、気のやりもらい比率も全体で 0.5%であった。次に、気のやりもらい用例 21 件がどのやりもらい動詞と一緒に用いられているかを、10 年ごとの年代別にまとめたのが表 5-21 である。（前述のとおり、1950 年代は 1950 年 1 年のみの数値。）

表 5-21 文藝春秋における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1920 年代	1930 年代	1940 年代	1950 年代	計
元気	与える	1	2	1	0	4
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0	0
	小計	1	2	1	0	4
やる気	与える	0	0	0	0	0
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0
勇気	与える	4	6	4	2	16
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	1	0	0	1
	もらう	0	0	0	0	0
	小計	4	7	4	2	17
計		5	9	5	2	21

（出所）文藝春秋より筆者作成。

まず「元気」について、4 つのやりもらい動詞のうち「与える」との組合せの「元気を与える」のみで、「あげる」、「くれる」、「もらう」との組合せ例はなかった。初出は 1928 年の用例 (39) で、その後 1930 年代に 2 件、及び 1940 年代に 1 件検出された。

- (39) 幾度この墓地の散歩によつて心を癒したことであらう。さう云ふ時、この眺めの美しい死人の庭は、例外なく私を慰め、私を休ませ、私に元気を與へてくれた。それにつけても、人間と云ふ奴は何と云ふ氣隨氣儘な動物だ (文藝春秋、昭和 3 (1928) 年 2 月号第六年第二號二月號、253 ページ)

次に「勇氣」だが、1924 年の用例 (40) の「勇氣を与える」が初出で、これを含め 1920 年代に 4 件、その後 1930 年代に 6 件、1940 年代に 4 件、1950 年代に 2 件の計 16 件を数える。「勇氣」も「あげる」、「もらう」の例はなく、かろうじて「くれる」の例 (正確には「勇氣を下さる」)) が用例 (41) として、1930 年に 1 件あったのみだった。

- (40) この點で僕はすこぶる歡迎する。僕はあの先輩が、あんな工合に東京を去つてさぞ淋しい旅ではあらうと思ふが、しかし同時にその淋しさが不思議な勇氣を彼に與へて眞人間として藝術家として、孤獨の中に藝術は懺悔で (文藝春秋、大正 13 (1924) 年 8 月号第二年第七號八月特別附録、17 ページ)

- (41) 官憲の手は決して借りない、その代り非常に厳しいのである。先づ舎生を集めて置いて祈りをする。主クリストの感化に依つて、悔い改める勇氣を下さる様にと云ふ様な祈を涙を流し乍らするのである。(文藝春秋、昭和 5 (1930) 年 7 月号第八年第七號七月號、247 ページ)

3.3.3.4 書き言葉－週刊東洋経済

1997 年から 2022 年までの週刊東洋経済における「元気」、「やる気」、「勇氣」の用例をまとめたのが、表 5-22 である。

表 5-22 週刊東洋経済における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
	元気	258	920	749	105	2,032

		1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
週刊東洋経済に おける「気」の 用例数 (A)	やる気	118	492	429	50	1,089
	勇氣	92	342	326	77	837
	計	468	1,754	1,504	232	3,958
「やりもらい」 の用例数 (B)	元気	2	12	12	4	30
	やる気	2	0	2	0	4
	勇氣	4	33	26	11	74
	計	8	45	40	15	108
(B) / (A)	元気	0.8%	1.3%	1.6%	3.8%	1.5%
	やる気	1.7%	0.0%	0.5%	0.0%	0.4%
	勇氣	4.3%	9.6%	8.0%	14.3%	8.8%
	計	1.7%	2.6%	2.7%	6.5%	2.7%

(出所) 週刊東洋経済より筆者作成。

経済誌ではあるが週刊ということもあり、「元気」、「やる気」、「勇氣」の出現回数は 26 年の収録期間の総数 3,958 件を数えた。(年平均 152 件。) 具体的には、「元気」が 2,032 件 (「気」全体に対する比率は 51.3%)、「やる気」は 1,089 件 (同 27.5%)、「勇氣」は他の 5 つのコーパスとは異なり、週刊東洋経済の中では最も少ない 837 件 (同 21.1%) だった。1990 年代は 1997 年から 1999 年までの 3 年間、また 2020 年代は 2020 年から 2022 年までの 3 年間である点に留意する必要がある。

一方、気のやりもらいの用例は、「元気」、「やる気」、「勇氣」いずれも各年代ともあるものの、総数 74 件で全体の 2.7%と、本章で用いた 7 つのコーパスの中では中位に位置する比率だった。

週刊東洋経済における動詞別の気のやりもらいの件数の推移をまとめたのが、表 5-23 である。

表 5-23 週刊東洋経済における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
元気	与える	2	5	2	2	11
	あげる	0	0	0	0	0

名詞	動詞	1990 年代	2000 年代	2010 年代	2020 年代	計
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	7	10	2	19
	小計	2	12	12	4	30
やる気	与える	2	0	1	0	3
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0
	もらう	0	0	1	0	1
	小計	2	0	2	0	4
勇気	与える	4	31	17	8	60
	あげる	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	1	0	1
	もらう	0	2	8	3	13
	小計	4	33	26	11	74
計		8	45	40	15	108

(出所) 週刊東洋経済より筆者作成。

「元気」は「与える」と「もらう」との組合せ、「やる気」は「与える」と「もらう」の組合せ、「勇気」については「与える」、「くれる」及び「もらう」との組合せで、いずれの語の場合も、「あげる」との組合せの例はなかった。また「くれる」との組合せがあるのは「勇気」だけだった。

(42) それより行き着くところ、ボクは日本の金融の片隅のイノベーターでありたい。

新しい動きをし、面白いと思われ、結果も出て、周囲に元気を与える会社であってほしい。(週刊東洋経済、2014 年 6 月 14 日号：IPO&新興市場を勝ち抜け、82～84 ページ)

(43) 中高年サラリーマンに勇気、やる気を与えてくれるだけ…(週刊東洋経済、1998 年 12 月 19 日号：「恐慌連鎖」の次を読む、82～91 ページ)

(44) 暗い閉塞感の中で、勇気と希望を与えてくれる大イベントに日本人が「直接参加」できるわけだ。だが問題は「宴のあとさき」。その場限りのお祭り騒ぎで、何も

残らないのでは、せっかくの国民の熱気も、莫大な投下資金も生きないの（週刊東洋経済、1997年12月20日号：‘98大乱の読み方、78～79ページ）

3.3.3.5 書き言葉－明治文学全集

明治文学全集における「元気」、「やる気」、「勇氣」の用例をまとめたのが、表 5-24 である。

表 5-24 明治文学全集における「気」の件数と年代別「気のやりもらい」件数の推移

		1890 年代	1900 年代	1910 年代	計
明治文学全集 「気」の用例数 (A)	元気	1,092			1,092
	やる気	26			26
	勇氣	1,218			1,218
	計	2,336			2,336
「やりもらい」 の用例数 (B)	元気	1	1	1	3
	やる気	0	0	0	0
	勇氣	1	1	2	4
	計	2	2	3	7
(B) / (A)	元気	—			0.3%
	やる気	—			—
	勇氣	—			0.3%
	計	—			0.3%

（出所）明治文学全集より筆者作成。

JapanKnowledge Lib では、明治文学全集における「元気」、「やる気」、「勇氣」それぞれの使用数は検出してくれるものの、各用例の公表年の特定が容易ではないため、総数のみを記載した。総数は「元気」は 1,092 件、「やる気」は 26 件、「勇氣」は 2,336 件だった。やりもらい動詞との一緒に使われている例は、「元気」が 3 件、「やる気」は 0 件、「勇氣」は 4 件の計 7 件だった。初出は、「勇氣」の明治 28（1895）年、「元気」が明治 32（1899）年だった。

次に、明治文学全集における動詞別の気のやりもらいの件数の推移をまとめたのが、表 5-25 である。

表 5-25 明治文学全集における動詞別「気のやりもらい」件数の推移

名詞	動詞	1890 年代	1900 年代	1910 年代	計
元気	与える	1	1	1	3
	あげる	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0
	小計	1	1	1	3
やる気	与える	0	0	0	0
	あげる	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0
勇氣	与える	1	1	2	4
	あげる	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0
	もらう	0	0	0	0
	小計	1	1	2	4
計		2	2	3	7

(出所) 明治文学全集より筆者作成。

明治文学全集における気のやりもらいは、全て「与える」との組合せで、その他の動詞との組合せはなかった。

全用例が 7 件だったため、以下に全件を表示した。

(「元気」の用例)

- (45) たるは具眼者の等しく認むる處なり。然らば此文壇の疲弊墮落を匡濟し二十世紀の曙光と共に新たなる元氣を與ふる策は如何にすべき。是れ本より一般社會の疲

弊墮落に伴ふもの（明治文学全集、1. 内田魯庵集 朝茶の子 204 ページ、明治 32（1899）年 5 月～7 月）

(46) 率ゆるに足らざるものあれば文士は須らく奮前して此難路に當り頽風汚俗を既墜に救ふて清新敏活なる元氣を與ふべし。此社會の墜落廢頽を復活せしむるは即ち世の嘲弄の標的と（明治文学全集、2. 内田魯庵集 時文小言 223 ページ、明治 33（1900）年 1 月～10 月）

(47) コレーツ」號の偉功、「ボヤーリン」の沈沒等を話した。「ワリヤーク」等の功名話は、我等に多大の元氣を與へ、若き血を沸騰させたのである。（一三） 無事旅順に入る（明治文学全集、3. 明治戦争文學集 旅順籠城 劍と戀 （抄） 234 ページ、明治 45（1912）年 2 月）

（「勇氣」の用例）

(48) なりと云ひ、想像雄偉、氣象快活、理想純潔の三特質を挙げ日本人の爲に大氣焰を吐きしは戦争が國民に勇氣を與へたる好證例にあらずや。古來歴史の跡を索るに戦争が（明治文学全集、1. 内田魯庵集 戦後の文學³⁸（國民をして機運に乗ぜしめよ） 185 ページ、明治 28（1895）年 4 月 13、23 日）

(49) これが讀書に夢を與え、資本主義體制の固定しかけたきびしい空氣をよそに、腕一本でスタートする勇氣を與えてくれる。「當世三人兄弟」でも、三男の雄三郎が莫大な負債（明治文学全集、11. 明治歴史文學集（一） 虚像と實像・村上浪六 414 ページ、明治 34（1901）年 10 月）

(50) 友達の寢息を窺ひながら蚊帳の裾をまくつて出た。恐ろしさに手が震へた。生きたい心が私に妙な勇氣を與へた。その明けがた、私はお伽噺の勇者が不思議な劔で武裝でも（明治文学全集、10. 初期白樺派文學集 君と私と 223 ページ、大正 2（1913）年 4 月～7 月）

(51) 柴崎嬢の感化は道德的修養の困難に優しい力を與へられて、且其人の聖者のやうな品格に肉薄せんとする勇氣を與へられて、道德的要求の人性に於ける深さをしみと\と味ふこと（明治文学全集、6. 金子筑水 田中王堂 片山孤村 中澤臨川 魚住折蘆 集 二十年のおもひで 331 ページ、大正 3（1914）年 12 月）

3.4. 「氣のやりもらい」の考察

3.3.1 から 3.3.3.5 まで、話し言葉、打ち言葉、書き言葉を対象とした 7 つのコーパスを用いて、「元気」、「やる気」及び「勇気」の「気」に関する 3 語がいつからどの程度使われてきた、また、これら 3 語が「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 つのやりもらい動詞を組み合わせ用いられる例の有無、時期、頻度を調査した。

その結果、使用コーパスと年代別に分類したのが表 5-26、「気」の 3 語がどのやりもらい動詞と組み合わせ用いられているかを年代別に分類したのが表 5-27、そしてやりもらい動詞がどの「気」の語と結び付いて用いられているか、やりもらい動詞に焦点を当て年代別に分類したのが表 5-28 である。

表 5-26 コーパス別「気のやりもらい」件数の推移

年代		1890年代	1900年代	1910年代	1920年代	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	計
コーパス	対象語															
国会会議録	元気						0	2	5	0	0	4	21	24	7	63
	やる気						0	0	0	1	2	2	3	2	0	10
	勇気						0	13	21	18	20	42	77	134	24	349
	小計						0	15	26	19	22	48	101	160	31	422
溜池通信	元気											0	3	1	0	4
	やる気											0	0	0	0	0
	勇気											0	2	1	0	3
	小計											0	5	2	0	7
BCCWJ	元気									0	0	2	106			108
	やる気									0	0	0	5			5
	勇気									0	2	16	97			115
	小計									0	2	18	208			228
SHC	元気					1	0	0	0	0	0	0	0	11		12
	やる気					0	0	0	0	0	0	0	0	0		0
	勇気					2	3	4	2	2	9	7	7	22		58
	小計					3	3	4	2	2	9	7	7	33		70
文藝春秋	元気				1	2	1	0								4
	やる気					0	0	0								0
	勇気				4	7	4	2								17
	計				5	9	5	2								21
週刊東洋経済	元気											2	12	12	4	30
	やる気											2	0	2	0	4
	勇気											4	33	26	11	74
	小計											8	45	40	15	108
明治文学全集	元気	1	1	1												3
	やる気	0	0	0												0
	勇気	1	1	2												4
	小計	2	2	3												7
計		2	2	3	5	12	8	21	28	21	33	81	366	235	46	863

(注) 網掛け部分は、当該コーパスの対象年でないことを示す。

(出所) 各種コーパスより筆者作成。

表 5-27 対象語別「気のやりもらい」件数推移

年代		1890年代	1900年代	1910年代	1920年代	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	計
対象語	動詞															
元気	与える	1	1	1	1	3	1	2	5	0	0	5	43	22	4	89
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	0	13
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	86	23	7	118
	小計	1	1	1	1	3	1	2	5	0	0	8	142	48	11	224
やる気	与える	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	5	3	0	15
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	8	4	0	19
勇気	与える	1	1	2	4	8	7	19	23	20	31	68	175	143	22	524
	あげる	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	くれる	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	14	3	0	19
	もらう	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	37	13	77
	小計	1	1	2	4	9	7	19	23	20	31	69	216	183	35	620
計		2	2	3	5	12	8	21	28	21	33	81	366	235	46	863

(出所) 各種コーパスより筆者作成。

表 5-28 やりもらい動詞別「気のやりもらい」件数推移

年代		1890年代	1900年代	1910年代	1920年代	1930年代	1940年代	1950年代	1960年代	1970年代	1980年代	1990年代	2000年代	2010年代	2020年代	計
動詞	対象語															
与える	元気	1	1	1	1	3	1	2	5	0	0	5	43	22	4	89
	やる気	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	4	5	3	0	15
	勇気	1	1	2	4	8	7	19	23	20	31	68	175	143	22	524
	小計	2	2	3	5	11	8	21	28	21	33	77	223	168	26	628
あげる	元気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4
	やる気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	勇気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	1	0	4
くれる	元気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	10	2	0	13
	やる気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	勇気	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	14	3	0	19
	小計	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	25	5	0	33
もらう	元気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	86	23	7	118
	やる気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	3
	勇気	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	27	37	13	77
	小計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	115	61	20	198
計		2	2	3	5	12	8	21	28	21	33	81	366	235	46	863

(出所) 各種コーパスより筆者作成。

表 5-26 に示したとおり、今回分析したコーパスは、話し言葉、打ち言葉、書き言葉と、言葉の使われ方が異なり、また、その分析対象も様々な、1890 年代から 2020 年代までの約 130 年間を対象にしているものである。対象期間約 130 年間の一貫したコーパスとは言えないが、それを基にやりもらい動詞に焦点を当てて作成した表 5-28 を用いて、以下、気のやりもらいの用例を分析する。

3.4.1 「気」を与える

今回、研究対象とした 7 つのコーパスの中で最も古い用例が検索できる明治文学全集では、1895 年に以下の「勇気を与える」の用例があった。明治文学全集では「勇気を与える」の用例が 1901 年、1913 年及び 1914 年に見られた（用例（49）、（50）及び（51））

- （52） なりと云ひ、想像雄偉、氣象快活、理想純潔の三特質を挙げ日本人の爲に大氣焰を吐きしは戦争が國民に勇気を與へたる好證例にあらずや。古來歴史の跡を索るに戦争が（明治文学全集、1. 内田魯庵集 戦後の文學（國民をして機運に乗ぜしめよ） 185 ページ、明治 28（1895）年 4 月 13、23 日）（用例（48）と同じ。）

また、明治文学全集の次に古い文藝春秋では、発刊当初の 1924 年に以下の「勇気を与える」の用例がある。

- （53） 経験するのは事實だ。そして、そんな時よく父の言つたことを思ひ出すのも事實だ。この愚かともいふべき父の言葉ほど、僕に不思議な勇気を與へて來たものは、これまで僕の見聞した、どんな人の言葉の中にも發見されな（文藝春秋、大正 13（1924）年 8 月号第二年第七號八月特別附録號、41 ページ）
- （54） この點で僕はすこぶる歡迎する。僕はあの先輩が、あんな工合に東京を去つてさぞ淋しい旅ではあらうと思ふが、しかし同時にその淋しさが不思議な勇気を彼に與へて眞人間として藝術家として、孤獨の中に藝術は懺悔で（文藝春秋、大正 13（1924）年 8 月号第二年第七號八月特別附録號、17 ページ）（用例（40）と同じ。）

また「元気を与える」の初出用例は 1899 年のもので明治文学全集に見られる。

- （55） たるは具眼者の等しく認むる處なり。然らば此文壇の疲弊墮落を匡濟し二十世紀の曙光と共に新たなる元気を與ふる策は如何にすべき。是れ本より一般社會の疲弊墮落に伴ふもの（明治文学全集、1. 内田魯庵集 朝茶の子 204 ページ、明治 32（1899）年 5 月～7 月）（用例（45）と同じ。）

また文藝春秋では 1928 年に以下の用例が見られた。

(56) 幾度この墓地の散歩によつて心を癒したことであらう。さう云ふ時、この眺めの美しい死人の庭は、例外なく私を慰め、私を休ませ、私に元氣を與へてくれた。それにつけても、人間と云ふ奴は何と云ふ氣隨氣儘な動物だ（文藝春秋、昭和3（1928）年2月号第六年第二號二月號、253 ページ）（用例（39）と同じ。）

「やる氣を与える」が現れるのは非常に遅く、ようやく 1973 年になって国会会議録に見出すことができる。

(57) そういう多様化傾向を学校教育以外にも求められる一つの基礎というか意欲、まあやる氣を与えてやるということが必要なのであるか、その辺のことは今後の問題として（国会会議録、第 71 回国会衆議院文教委員会第 14 号、昭和 48（1973）年 4 月 20 日、有島重武、発言番号 068）（用例（23）と同じ。）

このように、「勇氣を与える」は初出から 128 年、「元氣を与える」も初出から 124 年経つこと、「やる氣を与える」ですら初出から 50 年経つこと、「氣を与える」の表現は今回の調査で計 628 件あり、今回の調査で判明した「氣のやりもらい」の用例全 863 件の 7 割強を占めることから、2000 年代から急増しているものの、「氣を与える」は既に“市民権”を得た表現と言って良いと考えられる。

しかしながらこの用法は“氣になる”、すなわち「本来の用法と異なる」と感じる。その原因がどこにあるかを考察するため、まず、誰又何が、誰又何に対して「元氣」、「やる氣」、「勇氣」を与えているのかを分析した。

「氣のやりもらい」表現の用例は全部で 863 件あるため、用例の少ない溜池通信、SHC、文藝春秋、週刊東洋経済及び明治文学全集については全用例を、また、国会会議録及び BCCWJ については、「元氣」、「やる氣」、「勇氣」ごとに、用例のある各年に 1 件ずつ無作為に抽出した用例全 342 件を対象に分析を試みることにした。この 342 件の用例を対象に、誰又何が、及び誰又何に対して「氣のやりもらい」がなされているのか、その対象を「人」又は「人以外」で分類した。そのうち「与える」224 件を抽出したのが、表 5-29 である³⁹。ここで「不明」とあるのは、用例に二格が明示されておらず、また文脈からも二格に相当する語がはっきりしなかったものを指す。

表 5-29 「与える」を用いたやりもらい表現の格別分類

誰が	誰に			
	人	人以外	不明	総計
人	29	10	3	42
人以外	96	20	4	120
不明	38	6	18	62
計	163	36	25	224

（出所）各種コーパスより筆者作成。

表 5-29 が示すように、「与える」を用いたやりもらい表現 224 件の約半数の 120 件は、人以外をガ格に取る表現である。これは用例 (53)（ガ格は明示されていないが、副助詞「ほど」を伴った語（用例 (53) 波線部の「(父の) 言葉」がガ格の語と考えられる。）や用例 (54) の「(その) 淋しさ」のように、初出の用例から人以外が主語に立っており、近年になって増加した例ではないことが分かった。

では、この「違和感」を覚える原因がどこにあるかを考察すると、「元気」、「やる気」、「勇氣」は、自ら沸き起こるものでやりもらいの対象ではないとの捉え方に加え、NHK アナウンス室（2008）が指摘するように、動詞「与える」の語釈に由来するものと考えられる。

すなわち「自分の所有する物を目下の相手に渡しその者の物とする」（『大辞林』第四版）とあるように、「与える」自身に上の者から下の者への物の移動の意、相手に施すの意があるため、「元気」や「勇氣」を与える本人がこの表現を用いると、良いことをしているにもかかわらず相手方や聞き手に不快感を引き起こし、それが「違和感」の元になっているものと考えられる。

3.4.2 「気」をあげる

表 5-28 にまとめたとおり、今回利用した 7 つのコーパスにおいて動詞「あげる」を用いた気のやりもらい例は、2000 年代に 3 件（正確には 2002 年に 1 件、2008 年に 2 件）、2010 年代（正確には 2013 年）に 1 件の計 4 件しかなかった。

以下が、その全用例である。

- (58) この一言が言えなかったんだろう。もう一度会って、今度は私が元気と笑顔をあげたい。いまとても「生きる」ことがつらいです。こんな言い方を (BCCWJ、PB23_00427)
- (59) そんなつもりないんだ…頑張ってるの分かってる　ただあなたに元気をあげたいだけなんだ… (BCCWJ、OY14_07571)
- (60) あたしが一緒に歩いてるんだもん　パワーダウンしてる時は　どっちかが元気をあげたらいい　いつも同じスピードで歩いてお互いが隣にいる事確認 (BCCWJ、OY14_07571)
- (61) 応援されることを、僕は受け入れられなかった。あくまで自分は被災者に元気をあげる側だと考えて、何も出来ないと葛藤していたんです。(SHC、80M 文春 2013_04023)

「あげる」の普通形（敬意のない形）である「やる」には、「利益になるものを、自分またはだれかが、自分以外にあたえる」(『三国』第八版)とあり、その「利益」の判断は与える側にあること、また、「(自分の力では得ることができないもの)に何かを与える」(『新明解』第八版)とある。与えるものを有している側に優位性が感じられ、そこに受け取った側の利益を測りにくい「元気」を与えるとの表現に、「違和感」の原因があると考えられる。このことは横倉(2018)にも指摘がある。この点は、上述の限られた用例のうち、(58)及び(59)は「あげたい」と希望の助動詞と一緒に用いられており、与える側の優位性を低めようとしていること、又は、利益になるものを与えるにもかかわらず利益かどうかを測りにくいため、希望の助動詞と一緒に用いることで「非現実」を表し、動詞「あげる」の使いづらさを回避したことがうかがえる。また、「やる気をあげる」、「勇気をあげる」の例がなかったのは、受けとった相手側に「やる気」や「勇気」が出させたり沸き起こしたりすることが、「元気」より更に難しいと考えられることによるものと推察される。

3.4.3 「気」をくれる

表 5-28 で見たように、「くれる」は「元気」が 13 件、「やる気」が 1 件、「勇気」が 19 件の計 33 件の用例がある。

使用した 7 つのコーパスを通した初出は 1930 年の『文藝春秋』に載った用例 (60) であるが、これ以降は 1990 年代まで「くれる」の用例は出現しなかった。

- (62) 官憲の手は決して借りない、その代り非常に厳しいのである。先づ舎生を集めて置いて祈りをする。主クリストの感化に依つて、悔い改める勇氣を下さる様にと云ふ様な祈を涙を流し乍らするのである。（文藝春秋、昭和 5（1930）年 7 月号第八年第七號七月號、247 ページ）（用例（41）と同じ。）

「くれる」は、国語辞典の語釈では、「他者が話し手または話し手側の人に物を与えることを受け手の側から言う」（『大辞林』第四版）、「他人が好意・親切から、物をこちらに与える」（『岩波』第八版）、「相手が自分または自分側の人にも物を与える」（『明鏡』第三版）、「利益になるものを、相手が自分に与える」（『三国』第八版）とあるように、①「相手」の存在、②物をこちらに移動させる相手の「意志」、③移動させる「物」の存在、の 3 要素が共通して存在し、これらに加えて、④「好意や親切の有無」（『岩波』）や⑤移動させる物の「利益性」（『三国』）を語釈に加えているものもある。

本章で調査対象とした「気」、すなわち「元気」、「やる気」及び「勇氣」はいずれも「物」ではないことが、「違和感」の所在の一つと考えられる。

次に「相手」の存在と物を移動させる相手の意志であるが、以下の用例はいずれも「ください（くださるように）」と相手方に勇氣の移動を依頼しており、①「相手」の存在、及び②物をこちらに移動させる相手の「意志」の要件は満たしている。またこちらの依頼に応えて、相手方が勇氣を移動させたのであれば、それは「好意や親切」によるものと考えられ、また、「物」かどうかは別にして、「勇氣」が移動しこちら側がそれを得ることができれば、当該「勇氣」を有していなかったこちら側にとって利益があるものなので、④や⑤の要件も満たすことになる。

以下の 6 件が、依頼文の用例である。

- (63) 初めてでもないのに・・・誰か～～！私に勇氣を下さいっ！！なんとなくわかる～～～笑でも、ファイツ（BCCWJ、OC14_08647）
- (64) なくてはいけないのですが・・・正直怖いです。大丈夫でしょうか？勇氣を下さい。人間ですから、咄嗟についてしまった嘘を後悔するのも仕方ないでしょう（BCCWJ、OC09_14997）

- (65) けど・・・大好きだけど、間違っていないですよね??みなさん勇気をください>
く頑張って!頑張って!ずるずるとハマってしまうよりイイよ!あなたはとっ
ても (BCCWJ、OC09_14987)
- (66) ないか…って、凄くためらっちゃいます。怖いです。ドキドキしちゃって…。勇
気を下さい。ドキドキは、勇気の印。戦いのドラムの音です。(BCCWJ、
OC09_06548)
- (67) 返しに行く時もそのおばちゃんでした。オレにエロビを借りる勇気をください!
ってか、堂々と借りる人いますけどなんともないのかな? (OC15_01332)
- (68) あたしが一緒に歩いてるんだもん パワーダウンしてる時は どっちかが元気
をあげたらいい いつも同じスピードで歩いてお互いが隣にいる事確認
(BCCWJ、OY14_07571) (用例 (60) と同じ。)

上記の用例以外は、依頼文(丁寧な命令文)ではない。「元気」、「やる気」、「勇氣」について、以下のとおり用例をそれぞれ一つずつ掲げてみる。

- (69) あなたが送ってくれたたくさんの葉書が、あたしにたくさんの元気をくれました。
ほんとにどうもありがとう」伸一と勝利は、思わず乾三を (BCCWJ、LBj9_00031)
(用例 (32) と同じ。)
- (70) の太陽があなたの運を引き出してくれるとき。さらに東の太陽が仕事とやる気を
くれます。そして、東南方位からのさわやかな風はすばらしい人間関係を引き寄
せてくれる (BCCWJ、PB5n_00099)
- (71) いうことがわがままなことでしょうか。せつかくのこの深夜業免除制度が二人目
を産む勇気をくれたと言っているのに、会社は働けない人は去れと言っているの
と同じでは (国会会議録、第 166 回国会衆議院厚生労働委員会第 2 号、平成 19
(2007) 年 2 月 21 日、高橋千鶴子、発言番号 225)

これらは、「元気」、「やる気」、「勇氣」をこちら側に与える相手方が、「葉書」、「太陽」、「深夜業免除制度」、等、意志をもって主体的に「気」を移動させる主体ではないことが、「物」ではないことに加えて「違和感」の原因と考えられる。なお、表 5-30 は、「くれる」

の用例の主語の分類（人か人以外か）、具体的な主語、「くれる」が用いられている文が依頼文か否かで分類したものである。

表 5-30 「くれる」の主語と文の種類

「くれる」の主語	「くれる」の具体的主語	依頼文	依頼文以外	計
人	(相手方)	6	0	6
	B 子さん	0	1	1
	樋口さん	0	1	1
	父	0	1	1
	朴大統領	0	1	1
	寅年	0	1	1
	人たち	0	1	1
	(天上人)	0	1	1
	(エンジェル達)	0	1	1
	小計	6	8	14
人以外	ADA 法	0	1	1
	あったか色	0	1	1
	黄色	0	1	1
	絵手紙	0	1	1
	信頼感	0	1	1
	深夜業免除制度	0	1	1
	日差し	0	1	1
	富士山	0	1	1
	葉書	0	1	1
	シトリン	0	1	1
	超快作	0	1	1
	時間	0	1	1
	回答	0	1	1
	太陽	0	1	1

「くれる」の主語	「くれる」の具体的主語	依頼文	依頼文以外	計
	ことば	0	1	1
	(取り組みを行っていること)	0	1	1
	小計	0	16	16
不明		0	3	3
計		6	27	33

(出所) 筆者作成。

3.4.4 「気」をもらう

「気」を「もらう」の用例は、「元気」が 118 件、「やる気」が 3 件、「勇気」が 77 件の計 198 件を数える。「もらう」の用例は 1990 年代になるまでなく、用例の出現が本格化したのは 2000 年代以降である。

「もらう」は、「くれる」と同様、他から自分または自分の側への物の移動を表す動詞だが、「くれる」は渡し手が主格、「もらう」は受け取り手が主格である(沖森 2021: 412)点が異なる。

国語辞典の語釈には、「他から与えられて自分のものとする」(『大辞林』第四版)、「他人の行為・親切による行為を受ける。贈物や恩恵的な措置を受ける」(『岩波』第八版)、「人がくれるというものを(頼んで)自分のものにする」(『新明解』第八版)、「贈られて自分の手に入れる。また、頼んだりきちんと断ったりして自分の手に入れる。人のアイディアなどをちゃんと自分(側)のものにする」(『明鏡』第三版)、「利益になるものを、自分が相手から受け取る・自分のものとする」(『三国』第八版)とある。「他人」から「与えられ」て「自分のものにする」という、「他人」と「自分」という「相対する当事者の存在」と「ものの移動」であること、移動対象を「物」とはせず「もの」としていることが共通する。一方、各国語辞典に共通する語釈ではないが、①移動する「もの」は贈物や恩恵的な措置、(受け取った側の)利益になるものであること、②当該動作には他人の行為、親切による行為、自分が頼んで実現したこと、③ちゃんと自分(側)のものとする、を載せている国語辞典もあった。

「もらう」の用例を分析するに当たって、溜池通信、SHC、及び週刊東洋経済は全用例、を、また、国会会議録と BCCWJ については、各年 1 件ずつ用例を抽出した 81 件について、「元気」、「やる気」、「勇気」を誰に／からもらったのか、もらう相手方が人なのかそれ

以外なのか、また相手方は「ニ格」を取るのか「カラ格」を取るのかを調べた結果をまとめたのが、表 5-31 である。

表 5-31 「もらう」の用例における「ニ格」、「カラ格」の属性

属性 \ 格	ニ格	カラ格	不明	計
人	9	11	11	31
人以外	12	5	11	28
不明	0	0	22	22
計	21	16	44	81

(出所) 筆者作成。

調査対象 81 件の約半数にあたる 44 件は、誰に／から「気」をもらったかが明示されておらず、したがってニ格もカラ格の表示もないものである。しかしながら、文脈からもらった相手方が判断できるものも多く、表 5-31 ではそれが人なのか人以外の何かなのか、筆者が判断の上で分類した。

(誰に／からもらったか明示されていないが文脈から判断できる例)

(72) まずけれども、子どもたち、大変強いです。元気いっぱいです。私たち大人の方が勇気をいただいているような感じがいたします。(勇気をもらった相手は「子どもたち」。) (国会会議録、第 183 回国会衆議院青少年問題に関する特別委員会 第 3 号、平成 25 (2013) 年 4 月 25 日、森まさこ、発言番号 092)

(誰に／からもらったか判明しない文)

(73) 国家自身が家ということから考えればそうじゃないかなと思うので、きょうは本当に勇気をいただいたなと思っています。(国会議員がどこかを訪問し、訪問先の人から勇気をもらったと推定できるが、この抽出された文だけでは特定できず。)(国会会議録、第 189 回国会衆議院予算委員会第 14 号、平成 27 (2015) 年 3 月 5 日、吉田豊史、発言番号 543)

残り 37 件は、誰に／からもらったかが明示されている。その約半数に当たる二格 12 件とカラ格 5 件の計 17 件は、人以外から「気」をもらっている。

(二格の例)

- (74) 気がつけば、「かずき」と「はづき」という馴染みの店に元気を頂戴した一日がありました。感謝であります。(溜池通信、2007 年 4 月 18 日)(用例(27)と同じ。)
- (75) この勢いならば、困難を蹴散らして、自分の道を切り開いていかれるだろうと思います。「元は取るからね」と話す娘さんのノリに、こちらが元気をいただきました。(週刊東洋経済、2018 年 4 月 28 日、5 月 5 日合併号：日本史再入門、86～87 ページ)

(カラ格の例)

- (76) 農民たちは、そこから遠い蘇州や無錫、さらに上海に向かうだけ。中国経済は、農村の工場から元気をもらって成長したはず。(週刊東洋経済、1997 年 2 月 15 日号：賃金ビッグバン、31～32 ページ)
- (77) ちょっと他人との違いを挙げるならば苦難に出会った時にある本から必ず勇気を貰っていたことだろう。実際は、その本の中のある短編からだ(SHC、80M 文春 2005_09112)(用例(38)と同じ。)

人に／から「気」をもらっているのは、二格 9 件、カラ格 11 件の計 20 件である。

(二格の例)

- (78) ミュージシャンと客の関係を大切にすることが、客のリピー率につながる。シニア世代が若者に元気をもらい、結果として、若い世代の成長を手助けしている好例だ。(週刊東洋経済、2018 年 6 月 9 日号：共働きサバイバル、50～53 ページ)
- (79) それだけ社会に問題を提起したというわけだ。真輝ちゃんに勇気をもらったというファンレターも、番組後にたくさん寄せられた。(SHC、80B 人間 2013_00601)

（カラ格の例）

（80）メガヒット薬の開発に貢献したのも日本人だ。先人から元気をもらっていい。「日本はこれまで製造の国でしたが、創造の国に（SHC、80P 読売 2013_32043）」

（81）萩生田国務大臣 昨年、予算委員会で、私、この問題について触れて、宮本先生から熱いエールをいただき勇気をいただきました。大臣に就任して、早速取り組む一つの大きなテーマとして、…（国会会議録、第 201 回国会衆議院予算委員会第四分科会第 1 号、令和 2（2020）年 2 月 25 日、萩生田光一、発言番号 0407）

以上から「気をもらう」の「違和感」の所在を整理すると、以下が考えられる。

第一に動詞「もらう」の側から見ると、移動の対象は「物」である必要はないが、「元気」、「やる気」、「勇気」がやりもらいの対象かどうかは疑問が残ること。

第二に、「他人」と「自分」という「相対する当事者の存在」に欠ける表現が多いこと。用例（72）のように、ものの移動元である相手が明示されていなくとも、文脈から判断がつくことが多いことも事実である。しかしながら、二格やカラ格を取るとは言え「娘さんのノリ」や「農村の工場」が「元気」や「勇気」を能動的に与えるのか、というと決してそういうことはない。受け取った側の利益になるものの移動であり、主格で表される受け取り手である自分を主体に考えることができる“都合の良い”動詞であるといえるのではないか。渡し手を主格にしなければならない動詞「くれる」はその意味で“使い勝手”が悪く、それが、用例の多寡に現れているといえる。

第三に、第二でも述べた相手方の不在と関連するが、他人の行為、親切による行為、自分が頼んで実現したこと、といった、自分からの働きかけの有無にかかわらず、「もらう」で表されるものの移動に対する相手方の関与が感じられない。

これら 3 点が「違和感」の所在と考えられる。

4. まとめ

4.1 結論

筆者は 1.4 で以下の 3 点を研究課題に掲げ、調査を行ってきた。

- ① 「気のやりもらい」はいつ頃から多く出現するようになったのか、またそれは書きことばに多い表現なのか、それとも話しことばにも見られるのか。
- ② 「気のやりもらい」を行う対象、すなわち、何に／から「気」を受け渡し、どのような特徴や傾向があるのか。
- ③ 「違和感」はどこから生じているのか。

これらの研究課題に対して、まず①について「4.1.1 「気のやりもらい」の出現時期と出現形態」において、②については「4.1.2 「気のやりもらい」を行う対象」において、また③については「4.1.3 『違和感』はどこから生じているのか」において、調査結果を総括する。

4.1.1 「気のやりもらい」の出現時期と出現形態

1.4 の①で、「気のやりもらい」はいつ頃多く出現するようになったのか、またそれはまたそれは書きことばに多い表現なのか、それとも話しことばにも見られるのか、との第一の研究目的を提示した。

これを調べるために筆者は、国会会議録、個人ブログである溜池通信、BCCWJ、SHC、文藝春秋、週刊東洋経済及び文藝春秋をデータベース化し、1895 年から 2022 年までの約 130 年間を対象に「気のやりもらい」表現の使用状況を調査した。

「元気」や「勇気」を与えるとの表現は、3.4.1 で見たように、2000 年代に以降に顕著に多く出現するようになったが、初出は、「勇気を与える」が 1895 年の明治文学全集に、また「元気を与える」は 1899 年の同じく明治文学全集に現れた、非常に古い表現であることが分かった。この「勇気を与える」は文藝春秋では 1924 年から、「元気を与える」は文藝春秋では 1928 年から見られ、SHC ではいずれも 1933 年から見られる表現である。

その他の「やりもらい動詞」、すなわち「あげる」、「くれる」、「もらう」について見ると、まず「あげる」については、3.4.2 で見たように、2002 年に 1 件、その後は 2008 年に 2 件と、極少数の使用例しか見られなかった。「くれる」については 3.4.3 で見たように、「勇気をくれる」の例が 1930 年に見られたが、その後「元気をくれる」が 1995 年に、「勇気をくれる」が 1997 年に見られるまで、対象のコーパスにおける使用例はなかった。「もらう」については、2.3.2 で述べたように、「元気をもらう」が 1986 年に、また「勇気をもらう」が 1988 年に初出例とする毎日新聞の特集記事がある。しかし本章で対象としたコーパスでは、「元気をもらう」が 1999 年、「勇気をもらう」は 2000 年が初出だった。

なお「やる気」については、全コーパスを通じて検出例が 19 件と非常に少なく、「あげる」の例はなかった。その他の初出は「やる気を与える」が 1973 年、「やる気をくれる」が 2005 年。「やる気をもらう」に至っては、初出は 2008 年だった。

今回調査対象とした 7 つのコーパスのうち唯一の話し言葉である国会会議録において、気のやりもらい表現は 422 件と、7 コーパスのやりもらい表現全体の約半数を占める。書き言葉も、BCCWJ が 228 件、週刊東洋経済が 108 件とそれなりの件数を数える。3.3 の分析で見たように、「元気」、「やる気」、「勇氣」の「気」の用例数に対するやりもらい表現の比率は、国会会議録では 1.8%であるのに対して、BCCWJ は 4.4%、週刊東洋経済は 2.7%と、書き言葉の方がやりもらい表現の比率が高い結果となっており、話し言葉の方で使われている表現と断定する訳にはいかない結果だった。

また、打ち言葉のコーパスとして用いた溜池通信では、気のやりもらい例は全体で 7 件、「気」の用例数に対するやりもらい表現の比率も 1.7%と少なかった。溜池通信の筆者が壮年男性で、趣味等の話も多いが基本的には内外経済や政治の話題を記したブログであることが、気のやりもらい表現が少ない理由と考えられる。

なお、BCCWJ の気のやりもらい表現の用例 228 件のうち 90 件は Yahoo!からの収録であった。また、1.3 の現状確認で見たように Ameba ブログを簡易検索した結果、かなりの件数がヒットしていることから、「打ち言葉」であるブログの用例を効果的に調査することができれば、より詳しい実態が判明するものと考えられる。

4.1.2 「気のやりもらい」を行う対象

次に、気のやりもらいを行う対象、すなわち、何から「気」をもらい、どのような特徴や傾向があるかについて考察する。

3.4.1 と同様、「気のやりもらい」表現の全 863 件のうち、用例の少ない溜池通信、SHC、文藝春秋、週刊東洋経済、及び明治文学全集については全用例を、国会会議録及び BCCWJ については、「元気」、「やる気」、「勇氣」ごとに、用例のある各年 1 件ずつ無作為に抽出した用例全 342 件を対象に、誰又は何が、及び誰又は何に対して気のやりもらいがなされているのか、その対象を「人」又は「人以外」で分類しやりもらい動詞ごとにまとめたのが表 5-32 である。ここで「不明」とあるのは、表 5-29 と同様、用例にガ格、ニ格、カラ格が明示されておらず、また文脈からもはっきりしなかったものである。

4.1.2.1 与える

「与える」について表 5-32 は、表 5-29 に示したとおり、「与える」を動詞として用いたやりもらい表現のうち、「…愛の力が…勇気を与えた…」といったように人以外がガ格である用例が 120 件、うち「…愛の力が二人に…勇気を与えた…」のように二格が人である用例が 96 件あることを示している。

「与える」において、人以外がガ格を取る用例数は、全用例 224 件の半数以上に上っている。しかし、3.4.1 で見たように、「与える」を用いたやりもらい表現は、その初出から人以外がガ格となっている。また、用例（82）のように人以外が人以外に与えるとの表現もあるが、与える先の約四分の三に当たる 163 件は人である。したがって「与える」を用いた気のやりもらい表現の「違和感」は、ガ格や二格に何が来るかによるものとは考えにくい。

- (82) 亀岡大臣はぐっと涙をこらえておった、こういう姿がいかに今回の災害立ち上
りに勇気を与えたか、これによって人間亀岡というものが大変ないま期待を寄せ
られている。(国会会議録、第 92 回国会衆議院農林水産委員会第 3 号、昭和 55
(1980) 年 9 月 26 日、木村守男、発言番号 21853)

表 5-32 「気のやりもらい」の対象分類

動詞	誰が	誰に／誰から			
		人	人以外	不明	計
与える	人	29	10	3	42
	人以外	96	20	4	120
	不明	38	6	18	62
	小計	163	36	25	224
あげる	人	3	0	1	4
	人以外	0	0	0	0
	不明	0	0	0	0
	小計	3	0	1	4
くれる	人	14	0	0	14
	人以外	16	0	0	16

動詞	誰が	誰に／誰から			
		人	人以外	不明	計
	不明	3	0	0	3
	小計	33	0	0	33
もらう	人	31	27	22	80
	人以外	0	1	0	1
	不明	0	0	0	0
	小計	31	28	22	81
計		230	64	48	342

(出所) 筆者作成。

4.1.2.2 あげる

「あげる」については、用例が全部で 4 つしかないことから 3.4.2 で全用例を (58) から (61) として挙げた。

「あげる」を用いたやりもらいの用例は、ガ格が人、具体的には「私」、「どちらか」、「自分」の 3 件、及び人と思われるが抽出した用例からは特定できないもの 1 件だった。

4.1.2.3 くれる

「くれる」については、3.4.3 で見たように「下さい」と依頼する文がある。主語が明示されないが、便宜上ガ格に相当するものは人に分類した。「くれる」の主語、すなわちくれる相手は「人」が 14 件、「人以外」が 16 件とほぼ半々。抽出された用例からは判断がつかないものが 3 件あり、これは表 5-32 上「不明」とした。「くれる」は「相手が自分または自分側の人にもものを与える」(『新明解』第八版) ことであり、「くれる」を用いたやりもらい表現 33 件は、二格に「オレ」、「僕」と言った一人称を取っているか、明示されていないものの文脈から「私」、「私たち」と判断できるものであった。

4.1.2.4 もらう

「もらう」については、全 81 件の用例のうち、80 件は「気」をもらったのが文脈から「人」と判断可能なものを含む人で、人以外からもらった用例は、用例 (76) の「農村の工場」だけであった。一方、表 5-31 に示したとおり、「気」を渡す主体がはっきりしているもののうち「二格」を取るものは 21 件、「カラ格」を取るものは 16 件ある。「二格」を

取るか「カラ格」を取るかにはニュアンスの違いがある、すなわち「あげる側」の発意、「あげる側」が一方的によこしたとの気持ち強い「ニ格」と、「もらう側」の一方的な発意でお願いした感の強い「カラ格」に分けることができるとしているが（森田 1977：192-193）、用例（78）から（81）を見る限り、そのようなニュアンスの違いは読み取れない。誰に／からもらったかを明示しない文は 22 件と、81 件の用例の 3 割弱を占めている。省略可能である日本語の特徴をいかし、受け取った側の利益になるものの移動を、受け取りである自分を主体に考えた表現と言える。

4.1.3 「違和感」はどこから生じているのか

「気のやりもらい」に対する「違和感」は、まずは「元気」、「やる気」、「勇氣」をやりもらいするのかとの点にあると言える。この点については、2.2.2 の教養書の指摘や 2.2.3 のインターネット上での利用者に質疑応答に見られるように「元気」、「やる気」、「勇氣」は「外からもらうものではなさそうだ」（NHK アナウンス室 2008：100）と指摘されている。一方、「元気」、「勇氣」の用例として「元気をもらう」、「勇氣をもらう」が一部の国語辞典の 2008 年以降の版に掲載される（『三国』等、社会的に容認されつつある。

次に「与える」、「あげる」、「くれる」、「もらう」の 4 つのやりもらい動詞に着目してみる。

まず「与える」については、その語釈に「自分の所有する物を目下の相手に渡しその者の物とする」（『大辞林』第四版）とある。「与える」という語自体に上の者から下の者への物の移動の意、相手に施すの意があるため、「元気」や「勇氣」を与える本人がこの表現を用いると、良いことをしているにもかかわらず相手や聞き手に不快感を引き起こし、それが「違和感」につながっていると考えられる。

次に「あげる」について、「やる」には「利益になるものを、自分またはだれかが、自分以外にあたえる」（『三国』第八版）とあり、その「利益」の判断は与える側にあること、また、「（自分の力では得ることができないもの）に何かを与える」（『新明解』第八版）とあり、与えるものを有している側に優位性が感じられる。そこに受け取った側の利益を測りにくい「元気」を与えるとの表現に、「違和感」の原因があると考えられる。用例のうち、（58）及び（59）のように「あげたい」と、希望の助動詞と一緒に用いられた用例が散見されるのも、与える側の優位性を低めようとしていること、又は、利益になるものを与

えるにもかかわらず、利益かどうか測りにくいため、希望の助動詞と一緒に用いることで「非現実」を表し、動詞「あげる」の使いづらさを回避したことがうかがえる。

「くれる」については、国語辞典の語釈では、①「相手」の存在、②物をこちらに移動させる相手の「意志」、③移動させる「物」の存在、④「好意や親切の有無」、⑤移動させる物の「利益性」が必要とされている。そのため、やりもらいをしている「気」がいずれも「物」ではないこと、物を移動させる相手の意志の存在の欠如を補うために、「ください（くださるように）」と相手方に「気」の移動を依頼する用例も散見されたが、意志のない「人以外」が主語、すなわち物を移動させる相手になっている点に「違和感」があるものと考えられる。

「もらう」の「違和感」の所在として3点指摘できる。第一に、移動の対象は「物」である必要はないが、「元気」、「やる気」、「勇氣」がやりもらいの対象かどうか疑問が残ること。第二に、「他人」と「自分」という「相対する当事者の存在」に欠ける表現が多いこと。第三に、他人の行為、親切による行為、自分が頼んで実現したこと、といった、自分からの働きかけの有無にかかわらず、「もらう」で表されるものの移動に対する相手方の関与が感じられないこと、だ。

4.2 今後の課題

今回、国会会議録（話し言葉）、溜池通信（打ち言葉）、BCCWJ、SHC、文藝春秋、週刊東洋経済、及び明治文学全集（以上、書き言葉）の7つのコーパスを対象に、1895年から2022年までの約130年間に及ぶコーパスを構築し、「気のやりもらい」の実態を明らかにした。ただし、約130年間に及ぶコーパスとは言え、図5-15や表5-26からもわかるように、長期に一貫したコーパスとはいえない。国会会議録は1947年から75年にわたる話し言葉の記録だが、書き言葉について、SHCは1933年から8年おきのデータ収録、BCCWJはデータの収集期間が30年前後、明治文学全集は明治期の広義の文学作品を集めたもの、文藝春秋は昭和前半の、また、週刊東洋経済は平成から令和にかけての書き言葉を収めたものだ。

新聞社が有する検索サイトでは明治時代の創刊からの新聞の閲覧が可能だが古い記事はデータ化されておらず、長期にわたる語彙の使用状況を検索するコーパスとしての利用には限界がある。

国立国会図書館のデジタルコレクションでも、過去文献の閲覧が可能であるが、新聞社が有する検索サイトと同様、原本のページの画像は閲覧可能ではあるものの、データ化されておらず、本章で試みたような、いつ頃から多く出現するようになったのかの包括的な確認には適さない。しかしながら、同コレクションにおいて、「勇氣」を「与える」、「くれる」及び「もらう」の用例の初出（少なくとも、本章における筆者の調査結果より古い用例）と思われるものに、以下があった。

(83) …引込思按摩に勇氣を與へ、武骨に粹超の附焼刃、…（『諸芸新聞』1881年）

(84) もし海の精が、私に勇氣をくれたのなら、それを決してなくさないようにしよう。

（水野葉舟訳（1923）『フランス小学読本第5学年』世界文庫刊行会）

(85) 熱心に病人の爲に御祈りをして、御主から新しい勇氣を貰うた（マキシム・プイサン著（1921）『実践道徳 卷之一』西堀端天主公会）

書き言葉の用例検索による日本語の使用状況や変化を分析する上で、既存のデータベースの活用と併せた、長期の一貫したコーパスの開発・利用による比較・分析が今後の課題である。

参考文献

- 市川保子編著（2010）『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』スリーエーネットワーク
- NHK アナウンス室（2008）『NHK 気になることば一調べてナットク意外な発見！』東京書籍
- 小木曾智信・近藤明日子・高橋雄太・田中牧郎・間淵洋子編（2023）『昭和・平成書き言葉コーパス』（バージョン 2023.5, 中納言バージョン 2.7.2）<https://clrd.ninjal.ac.jp/SHC/>（2023年6月4日確認）
- 沖森卓也編（2021）『日本語文法百科』朝倉書店
- 梶原しげる（2016）『不適切な日本語』新潮社
- 久野暲（1978）『談話の文法』大修館書店
- 酒井順子（2022）『「気づき」をもらいました』『うまれることば、しぬことば』集英社
- 椎名美智（2022）『「させていただく」の使い方 日本語と敬語のゆくえ』KADOKAWA
- 林真理子（2013）「嫌いな日本語、気になる敬語」「現代の名文」入門』『文藝春秋』2013年6月号文藝春秋
- 前川喜久雄（2015）「第1章 『現代日本語書き言葉均衡コーパス入門』」大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所コーパス開発センター（2015）『現代日本語書き言葉均衡コーパス』利用の手引第1.1版』
- 森田良行（1977）『基礎日本語ー意味と使い方』角川書店
- 横倉真弥（2018）「日本語コミュニケーションにおける授受形式の役割について」『岐阜経済大学論集第52巻第2号』

国語辞典

日本国語大辞典第二版（2000～200）小学館
国語大辞典（1981）小学館
角川国語大辞典（1982）角川書店
国語大辞典言泉（1986）小学館
学習国語大辞典第二版（1988）学習研究社
新辞林（1999）三省堂
講談社カラー版日本語大辞典第二版（1995）講談社
広辞苑第七版（2018）岩波書店
大辞林第四版（2019）三省堂
旺文社標準国語辞典新訂版重版（1992）旺文社
新潮国語辞典－現代語・古語－第二版（1995）新潮社
新潮現代国語辞典第二版（2000）新潮社
新選国語辞典第九版（2011）小学館
大辞泉第二版（2012）小学館
集英社国語辞典第3版（2012）集英社
学研現代標準国語辞典改訂第3版（2016）学研プラス
現代国語例解辞典第五版（2016）小学館
学研現代新国語辞典改訂第六版（2017）学研プラス
岩波国語辞典第八版（2019）岩波書店
新明解国語辞典第八版（2020）三省堂
明鏡国語辞典第三版（2021）大修館書店
三省堂国語辞典第八版（2022）三省堂
旺文社国語辞典第十二版（2023）旺文社
三省堂現代新国語辞典第七版（2024）三省堂

参照ウェブサイト

アメーバブログ <https://www.ameba.jp/>
国会会議録検索システム <http://kokkai.ndl.go.jp/>
ジャパンナレッジ・サービス <https://japanknowledge.com/library/>
溜池通信 <http://tameike.net/>
中納言コーパス検索アプリケーション <https://chunagon.ninjal.ac.jp>
東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー <https://dcl.toyokeizai.net/ap/bz/login>

¹ テレビ番組の降板や委員の任期終了を指す言葉。

² 逢坂剛「気づき、なんて日本語は…」2022年3月17日付け『日本経済新聞』夕刊「あすへの話題」

³ 桜井紫乃「もらわない勇氣」2023年2月17日付け『日本経済新聞』夕刊「くらしナビ」

⁴ <https://www.ameba.jp/>

⁵ 「やる」は、例えば『日本語誤用辞典』では独立した説明項目は立てられておらず、授受動詞を補助動詞に用いた誤用の説明においても「(～て) あげる」のみで「(～て) やる」はないなど、既にあまり使われない語になっているため、本章では調査対象としないこととした。

⁶ 後述の「頂戴する」も「いただく」と同様、「もらう」の謙譲語・丁寧語として取り上げる。

⁷ 本来「芸能人・有名人**ブログ**」とすべきところだが、Ameba ブログの表記である「芸能人・有名人」を使用した。

⁸ 2022年、2023年に使用が急増し1,000件を超えたとも考えられるが、初出の2007年から2019年までは年間2桁（「芸能人・有名人」は3桁）から1,000件台だったことを考えると理由が不明なため、今回の調査では用いないこととした。

⁹ 奥付の記述。実際には2021年12月には書店に出回っていた。

¹⁰ 久野（1978）でも、「これら（日本語の「貰ウ、聞ク」、英語の receive from, hear from のこと、筆者注）は、行為主体を主語の位置ではなく非主語の位置（輻格）に置く数少ない動詞である。この様な特殊な動詞を話し手がわざわざ用いるには、何か特別な理由、即ち、行為主体ではなくてその行為対象（与える、或いは送る相手、話す相手）に対する視点的接近が無ければならない」と説明している。（久野 1978: 163）

-
- ¹¹ 最終アクセス日は 2023 年 7 月 30 日。
- ¹² <https://blog.goo.ne.jp/yasu1958/e/2a58175e0dcdf0e841a5c32d3a49285f>
- ¹³ <https://komachi.yomiuri.co.jp/topics/id/399499/>
- ¹⁴ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1266844397
- ¹⁵ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q1269385477
- ¹⁶ <https://uncletell-sigh.hatenadiary.org/entry/20120709/1341796535>
- ¹⁷ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q12134953312
- ¹⁸ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q10144675030
- ¹⁹ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11152554421
- ²⁰ <https://moontuki.hatenablog.com/entry/2016/05/31/000200>
- ²¹ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q13191214488
- ²² <https://jp.quora.com/saikin-yuuki-wo-morau-to-iu-hyougen-wo-yoku-mimi-nishi-masu-yuuki-ha-nin-ni-morau-mono-ja-naku-te-jibun-no-naka-kara-waku-mono-da-to-omou-no-desuga-yuuki-wo-morau-to-iu-hyougen-ni-iwakan-naku-ukeire-ra-re-te-masu-ka>
- ²³ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q11256944231
- ²⁴ https://detail.chiebukuro.yahoo.co.jp/qa/question_detail/q14268723709
- ²⁵ 2019 年 6 月の記事なので、平成から令和への改元を指す。
- ²⁶ https://aismiley.co.jp/ai_news/what-is-generative-ai/
- ²⁷ <https://www.bing.com/>
- ²⁸ 2023 年 7 月 1 日検索。
- ²⁹ イ)、ロ)、ハ) は Bing の回答に表示されていた注を筆者が書き改めたもの。いずれも筆者が注に書かれた記事の存在及び内容を確認した。
- ³⁰ <https://openai.com/chatgpt>
- ³¹ 2023 年 8 月 5 日検索。
- ³² 正確にはブログ『溜池通信』にある「かんべえの不規則発言」を対象にコーパスを作成した。
- ³³ 特別限定復刻販売の際のチラシに、「小説偏重のゆがんだ文学観を是正し、広義の文学の視野に立って歴史的・系統的に編集」するとして、「時代に大きな影響を与えた思想家・宗教家・新聞人・民間史学者等」の「諸著作を積極的に収録」した、とある。
- ³⁴ 大正 2 (1914) 年の次に発表年が分かっている用例が昭和 12 (1937) 年のものであることにもよる。
- ³⁵ 昭和・平成書き言葉コーパス「概要」<https://clrd.ninjal.ac.jp/shc/index.html>
- ³⁶ <https://japanknowledge.com/contents/meijibungaku/index.html>
- ³⁷ 他のデータベースでは語彙素分析ができないので、BCCWJ 及び SHC でも、他に合わせて「語彙素」ではなく、書字形出現形で検索を行った。
- ³⁸ この「戦後」は、1894 年～1895 年の日清戦争の後を指す。
- ³⁹ 342 件全件についての分類は、後述の表 5-32 参照。

第 6 章 結論

1. まとめ

本研究は、2020 年前後に筆者が日常生活において見聞きした「気になる」言葉、「違和感」のある表現について、まず現状を捉えることを目的としたものである。

近年、日常生活で多く見聞きするようになった「気になる表現」、自分自身が「違和感」を持って接している表現、具体的には、①「法務部さん」といった組織名や、「協会さん」や「2 社さん」といった組織名以外への「さん付けの多用」、②「感謝しかない」、「可愛さしかなかった」といった対比するもののない単なる強調表現としての「しかないの多用」、そして、③元気、勇気、やる気を与えたり、あげたり、くれたり、もらったりする「気のやりもらい」表現の 3 つに焦点を当て、その起源と範囲等を調査した。

これらの表現・用法に「違和感」を覚えるのは、これらの表現・用法が規範的な語義や文法から離れており、変化の過渡期にあるためと考え、「誤用から揺れ、慣用の段階を経て正用」に至る過程の表現の「現在地」を探ってみた。

第 1 章序論に続く第 2 章総論では、まず「国語に関する世論調査」の結果を分析した。文化庁は、これまで 28 回実施した「国語に関する世論調査」を通して、社会状況の変化に伴う日本人の国語に対する意識や理解の現状について明らかにしてきた。

その中でたびたび「国語の乱れ」に対する国民の意識について調査を行っている。初回調査が 1999 年度で直近の調査が 2019 年度であるため、この 20 年間の国語に対する意識の変化をその調査結果から追うことができる。本調査では何をもって「乱れ」と言うかについて定義していないものの、1999 年度に、調査対象の約 86%だった「国語が乱れている」との回答率が、20 年後の 2019 年度には約 66%と 20%ポイント低下した。これは、国語の乱れがなくなってきた訳ではなく、「言葉は時代によって変わるものだと思うから」と言葉の変化を肯定的に捉えることが多くなったためと考えられる。しかし、それでも調査回答者全体の約三分の二は国語が乱れていると捉えており、これが現在の日本語の立ち位置（日本語母語話者の認識）である点に留意が必要であることを筆者は指摘した。

その上で、筆者は、「変化の過程」状態にある言葉を扱うに当たって、「言語的視点」の立場を取り、『乱れ』と意識されやすいことばの、形式や運用面での特徴を明らかにしたいと考え、対象となる語の本来的な意味・用法と乖離した形で用いられている現状、具体的にはその経緯、範囲、程度について明らかにすることを目的に据えた。

第3章各論（1）では、まず「組織名等へのさん付け」を取り上げた。

国会会議録による用例検索結果から、組織名への「さん付け」は戦後すぐの国会での発言に既に用例が見られるように決して新しいものではないこと、団体名に「さん付け」することもある旨の語釈は、ようやく20世紀の終わりから今世紀にかけて、一部の国語辞典で見られるようになったこと、本研究で用いた金融庁審議会を対象としたコーパスの分析結果においては、2010年以降、増加傾向が見られることが判明した。

この「組織名等+さん」の使われ方については、①発言者が組織名等に「さん付け」する際、対象となった全ての語に「さん」を付けているかどうかを分析した結果、約4割は対象となった全ての語を「さん付け」していないこと、②「さん付け」の対象者が同席している場合には同席者への「配慮」が見られ、組織名に「さん付け」されることが多いこと、また、同席者以外について「さん付け」する場合、そこには、発言者と何らかのつながり又は利害関係があり、「配慮」する必要があるとの意識が働いていると考えられるが、そうした例は限定的であること、③「さん付け」対象を列举した場合、その一部にしか「さん付け」しないこと、具体的には「みずほさん、三菱さん、三井住友さん」と言わずに「みずほ、三菱、三井住友さん」とする用例が対象の約三分の一もあり尊敬語としての機能に欠ける点があることも判明した。

そのため、「組織名等+さん」は、「慣用」の段階（四分の三くらいに使われる段階）にまでは至らず、まだ「揺れ」の段階にあり、併せて、自分の品格を保持する「美化語」的な役割が敬称「さん」に強まっていると結論付けた。

第4章では各論の（2）として、対比のない強調としての「しかない」を取り上げた。

「しかない」の多用に対する「違和感」は、否定される他者を暗示していないことに起因しているほか、「〔否定表現と呼応して〕話し手にとって狭いと意識される範囲（少ないと感じられる数量）に限定されることを表わす」（『新明解』）、「それではくよくない／不十分だ」という語感がある」（『三国』）という規範的な用法を逸脱していることが、「違和感」の生じる要因となっていると考えられる。

「違和感」のある「名詞+しかない」は、いわゆる「打ち言葉」に多く見られた。「打ち言葉」で書かれたブログを調査した結果、2010年代に「違和感」のある「しかない」の使用が増えたと結論付けた。

第5章では各論の（3）として、「気のやりもらい」に焦点を当てた。

「気のやりもらい」については、いまだに「違和感」を覚える人が多い。しかし「元気

を与える」や「勇気を与える」との表現は 2000 年代以降に顕著に多く出現するようになったものの、初出は、「勇気を与える」が 1895 年に、また「元気を与える」は 1899 年に見られる非常に古い表現であることが分かった（いずれも『明治文学全集』）。また文藝春秋では、「勇気を与える」は 1924 年から、「元気を与える」は 1928 年から見られ、「昭和・平成書き言葉コーパス」ではいずれも 1933 年から見られる表現である。

古くからある「気のやりもらい」表現に対する「違和感」は、まずは「元気」、「やる気」、「勇気」がやりもらいをする対象物かとの点にもあるが、動詞にその主因があると考えられる。具体的には、「与える」については、その語釈に「自分の所有する物を目下の相手に渡しその者の物とする」（『大辞林』第四版）とあり、「元気」や「勇気」を与える本人がこの表現を用いると、相手や聞き手に不快感を引き起こし、それが「違和感」につながるおそれがあること、「あげる」についても、語釈は「利益になるものを、自分またはだれかが、自分以外にあたえる」（『三国』第八版）、また、「（自分の力では得ることができないものに何かを与える）」（『新明解』第八版）とあり、与えるものを有している側に優位性が感じられ、併せて、これを受け取った側の利益を測りにくい「気」を与えることに、「違和感」の原因があると考えられる。「くれる」については、物を移動させる主体（主語）が意思のない「人以外」である点に「違和感」があるものと考えられる。最後に「もらう」については、「他人」と「自分」という「相対する当事者の存在」に欠ける表現が多いこと、また、「もらう」で表されるものの移動に対する相手方の関与が感じられないことが、「違和感」の所在の理由と考えられると結論付けた。

2. 日本語教育への示唆

本稿で取り上げた「気になる」表現、すなわち「さん付けの多用」、「しかないの多用」及び「気のやりもらい」は、いずれも日本語学習者用のテキストには記述がない。これは、「さん付けの多用」は「揺れ」の段階にあり、また、「しかないの多用」は「誤用」の段階にあり、規範的な用法ではないことによるものと考えられる。また「気のやりもらい」については、授受表現の学習の中心は、物理的に受渡しが可能な「もの」の授受を通して、「あげる」、「くれる」、「もらう」という日本語の特徴的な 3 つの動詞体系を理解し、併せてこれらの授受動詞を補助動詞として使った表現を習得することであることから、取り上げられていないと思われる。

しかしながら、日常生活において多く見聞きするこれらの表現について、日本語学習者

が自ら積極的に用いる必要はないものの、書かれているものを読み、話された表現を聞いた際に正しく理解できるよう、例えば初級の段階を終えた学習者に対して、友人との会話や街中、マスメディアで多用されている“街で見聞きする表現”として、理解のポイントと使用に際しての留意点を整理した上で教授すれば、理解促進の一助となると考える。

3. 今後の課題

第3章、第4章及び第5章の終わりにおいて、今後の課題を示してきた。

第3章については、「さん付け」多用の起源の解明、具体的には「関西起源説」に関する調査・分析を行うと共に、「さん付け」と前接語のモーラ数の関係について解明すること、第4章については、「打ち言葉」の用例を広く集め、「違和感」のある「～しかない」の表現がいつ頃から使われ始めたのかを特定すること、第5章については、書き言葉の用例検索による日本語の使用状況や変化を分析する上で、既存のデータベースの活用と併せた、長期の一貫したコーパスの開発・利用による比較・分析を行うことを挙げた。

しかしながら一番の課題は、「誤用から揺れ、慣用の段階を経て正用」に至る流れの「誤用」や「揺れ」の段階にあるこれらの事例が、いつ、どのようにして「慣用を経て正用」に至るか、それを見極めるために、言葉が眼前で変化している過程を把握し分析することであると考え。

謝 辞

本論文は、筆者が令和 2 年 4 月から在籍した拓殖大学大学院言語教育研究科言語教育学専攻博士後期課程在学中の研究の成果をまとめたものです。

本論文の執筆に当たって指導教授である阿久津智教授には、進捗がはかばかしくない中、常に懇切丁寧にご指導いただき、また、各章を論じる際に立ちふさがる壁を乗り越えるために、幾度となく貴重なご助言を賜りました。博士前期課程を含めると 6 年の長きわたる暖かいご指導に対し厚く御礼申し上げます。

また、授業の内外でご指導いただき、常に励ましていただいた言語教育研究科の諸先生方にも、深く感謝の意を表します。学生と先生との距離が短い、こぢんまりとした大学院ならではの良さを感じながら研究を進めることができました。

最後に、博士後期課程への進学を強く勧めてくれただけでなく、変化する言葉について異なる視点や知らない用法・用例を提供してくれ、時に議論の相手となってくれた、妻の圭子に心から感謝します。彼女の物心両面にわたる支えなくして本論文の執筆はかないませんでした。

田坂 康浩

参考文献

- 秋山智美（2009）「接尾辞型敬称「さん」の使用の一変化」『日本大学大学院国文学専攻論集』6 pp.90-99
- 飯田朝子（2002）「〈新・接客表現〉はことばの乱れか変化か」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 飯野公一・恩村由香子・杉田洋・森吉直子編著（2003）『新世代の言語学—社会・文化・人をつなぐもの—』くろしお出版
- 市川保子編著（2010）『日本語誤用辞典 外国人学習者の誤用から学ぶ日本語の意味用法と指導のポイント』スリーエーネットワーク
- 市川保子（2018）『日本語類義表現と使い方のポイント—表現意図から考える—』スリーエーネットワーク
- 井上史雄（1998）『日本語ウォッチング』（岩波新書（新赤版）540）岩波書店
- 井上史雄（2007）『その敬語では恥をかく』PHP 研究所
- 井上史雄（2022）「第7章 敬語と社会」井上史雄・田邊和子編著『社会言語学の枠組み』くろしお出版
- 江湖山恒明（1943）『敬語法』三省堂
- NHK アナウンス室（2008）『NHK 気になることば一調べてナットク意外な発見！—』東京書籍
- 大石初太郎（1976）「待遇語の体系」北原保雄編（1978）『論集日本語研究 9 敬語』有精堂出版
- 大石初太郎（1981）「現代敬語の特質、その将来」宮地裕編『講座日本語学 9 敬語史』明治書院
- 小木曾智信・近藤明日子・高橋雄太・田中牧郎・間淵洋子編（2023）『昭和・平成書き言葉コーパス』（バージョン 2023.5, 中納言バージョン 2.7.2）<https://clrd.ninjal.ac.jp/SHC/>（2023年6月4日確認）
- 沖森卓也編（2021）『日本語文法百科』朝倉書店
- 海外技術者研修協会（1993）『新日本語の基礎Ⅱ』スリーエーネットワーク
- 梶原しげる（2008）『すべらない敬語』新潮社
- 梶原しげる（2016）『不適切な日本語』新潮社
- 金澤裕之・川端元子・森篤嗣編（2021）「若者の言葉から見た日本語の未来」『日本語の乱れか変化か—これまでの日本語、これからの日本語』ひつじ書房
- 菊池康人（1994）『敬語』角川書店（再刊：講談社学術文庫、1997）
- 木村義之（2014）「敬語接尾辞「さん」「さま」の用法再考」『国文学踏査』26 大正大学国文学会 pp.266-282
- 金水敏・工藤真由美・沼田善子（2000）『[日本語の文法 2] 時・否定と取り立て』岩波書店
- 金水敏（2004）「日本語の敬語の歴史と文法化」『月刊言語』2004年4月号大修館書店
- 久野暉（1978）『談話の文法』大修館書店
- グループ・ジャマシイ編著（1998）『教師と学習者のための日本語文型辞典』くろしお出版
- 小磯花絵（2022）「『日本語日常会話コーパス』本公開版の構築」言語処理学会『自然言語処理』Vol. 29 No. 1
- 国語審議会（1952）『これからの敬語（建議）』
- 国際交流基金日本語国際センター（1993）『日本語初歩』
- 国立国語研究所（2022）『『日本語日常会話コーパス』—設計・構築・特徴—「日常会話コーパス」プロジェクト報告書 6
- 小林隆（2002）「日本語史から見た『日本語の乱れ』」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 今野真二（2021）『うつりゆく日本語をよむ—ことばが壊れる前に』岩波書店
- 酒井順子（2022）「『気づき』をもらいました」『うまれることば、しぬことば』集英社
- 坂野永理、池田庸子、大野裕、品川恭子、渡嘉敷恭子（2011）『初級日本語げんきⅡ』ジャパントイムズ
- 佐久間まゆみ編（2003）『朝倉日本語講座 7 文章・談話』朝倉書店
- 佐野直子（2015）『社会言語学のまなざし』三元社
- 椎名美智（2022）『「させていただく」の使い方 日本語と敬語のゆくえ』KADOKAWA
- 塩田雄大（2023）『変わる日本語、それでも変わらない日本語』世界文化社
- スリーエーネットワーク編（2000）『みんなの日本語 初級Ⅰ 教え方の手引き』スリーエーネットワーク

ク

- スリーエーネットワーク編著 (2013)『みんなの日本語 初級Ⅱ 第2版』スリーエーネットワーク
- 滝浦真人 (2021)『『国語に関する世論調査』に見る敬語意識—言葉と行為のはざまに見えるもの—』『日本語学』2021年夏号明治書院
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター (2000)『日本語初級』拓殖大学
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター編 (2002)『初級 ひらけ日本語 使用の手引き』拓殖大学
- 拓殖大学留学生別科・日本語研修センター (2004)『初級ひらけ日本語新装版【下】』拓殖大学
- 田坂康浩 (2021)「敬称『さん』の組織名等への多用に見る敬意の揺れの考察」第60回 語彙・辞書研究会予稿集
- 田中ゆかり (2021)「社会言語学からみた『国語に関する世論調査』—調査データの用途と活用の観点から—」『日本語学』2021年夏号明治書院
- 辻村敏樹編 (1991)『敬語の用法』(角川小辞典 6) 角川書店
- デニソン、マシュー著／実川元子訳 (2022)『ザ・クイーン』カンゼン
- 中西久美子 (2012)『現代日本語のとりたて助詞と習得』ひつじ書房
- 中俣尚己 (2021)『「中納言」を活用したコーパス日本語研究入門』ひつじ書房
- 中村明 (2003)「文章・談話のレトリック」佐久間まゆみ編 (2003)『朝倉日本語講座 7 文章・談話』朝倉書店
- 新野直哉 (2020)『近現代日本語の「誤用」と言語規範意識の研究』ひつじ書房
- 沼田善子 (2009)『現代日本語とりたて詞の研究』ひつじ書房
- 野口恵子 (2009)『バカ丁寧化する日本語 敬語コミュニケーションの行方』光文社
- 能登博義 (1992)『コミュニケーションのための日本語入門』創拓社
- 河正一・金井勇人 (2017)「過剰敬語の規範性と印象について—大学生への意識調査から—」『埼玉大学日本語教育センター紀要』11 pp.15-27
- 芳賀綏 (2002)「ことばは変わりゆくものか—観察者の眼と生活者の感覚—」『月刊言語』2002年8月号大修館書店
- 橋本行洋 (2021)「新語の定着とその条件」金澤裕之・川端元子・森篤嗣編『日本語の乱れか変化か—これまでの日本語、これからの日本語』ひつじ書房
- 林真理子 (2013)「嫌いな日本語、気になる敬語『現代の名文』入門」『文藝春秋』2013年6月号文藝春秋
- 文化審議会 (2007)『敬語の指針』
- 文化庁 (2017)「平成28年度『国語に関する世論調査』の結果の概要」
- 文化庁『国語に関する世論調査』(平成7年版～令和4年度版)
- 堀尾佳以 (2022)『若者言葉の研究—SNS時代の言語変化—』九州大学出版会
- 前川喜久雄 (2015)『『日本語話し言葉コーパス』の概要 Version. 2.0』国立国語研究所
- 前川喜久雄 (2015)「第1章 『現代日本語書き言葉均衡コーパス入門』」大学共同利用機関法人人間文化研究機構国立国語研究所コーパス開発センター (2015)『『現代日本語書き言葉均衡コーパス』利用の手引第1.1版』
- 水谷修・水谷信子 (1977) *An Introduction to Modern Japanese* The Japan Times
- 水藤新子 (2015)「第3章 文法と表現」沖森卓也他編『品詞別 学校文法講座 第七巻』明治書院
- 湊かなえ (2020)『カケラ』集英社
- 森田良行 (1977)『基礎日本語—意味と使い方』角川書店
- 森田良行 (1980)『基礎日本語：意味と使い方 2』角川書店
- 森山由紀子 (2003)「謙譲語から見た敬語史、丁寧語からみた敬語史—『尊者定位』から『自己定位』へ—」北原保雄監修、菊池康人編『朝倉日本語講座 8 敬語』朝倉書店 pp.200-224
- 森山由紀子 (2013)「第六章 敬語史」木田章義編『国語史を学ぶ人のために』世界思想社
- 森山由紀子 (2015)「第9章 敬語の史的変遷」沖森卓也他編『品詞別 学校文法講座 第七巻』明治書

院

山崎佳子、石井怜子、佐々木薫、高橋美和子、町田恵子（2009）『日本語初級 2 大地』スリーエーネットワーク

横倉真弥（2018）「日本語コミュニケーションにおける授受形式の役割について」『岐阜経済大学論集第 52 巻第 2 号』

米川明彦（2002）「誤用の拡散」『月刊言語』2002 年 8 月号大修館書店

米川明彦（2006）「若者ことば研究序説」『月刊言語』2006 年 3 月号大修館書店

渡辺実（1971）「敬語体系」北原保雄編（1978）『論集日本語研究 9 敬語』有精堂出版

「座談会 金融商品取引法施行 10 年を振り返って」『ジュリスト』2017 年 11 月号有斐閣

国語辞典

日本国語大辞典第二版（2000～2002）小学館

国語大辞典（1981）小学館

角川国語大辞典（1982）角川書店

国語大辞典言泉（1986）小学館

学習国語大辞典第二版（1988）学習研究社

新辞林（1999）三省堂

講談社カラー版日本語大辞典第二版（1995）講談社

広辞苑第七版（2018）岩波書店

大辞林第四版（2019）三省堂

旺文社標準国語辞典新訂版重版（1992）旺文社

新潮国語辞典—現代語・古語—第二版（1995）新潮社

新潮現代国語辞典第二版（2000）新潮社

新選国語辞典第九版（2011）小学館

大辞泉第二版（2012）小学館

集英社国語辞典第 3 版（2012）集英社

学研現代標準国語辞典改訂第 3 版（2016）学研プラス

現代国語例解辞典第五版（2016）小学館

学研現代新国語辞典改訂第六版（2017）学研プラス

岩波国語辞典第八版（2019）岩波書店

新明解国語辞典第八版（2020）三省堂

明鏡国語辞典第三版（2021）大修館書店

三省堂国語辞典第八版（2022）三省堂

旺文社国語辞典第十二版（2023）旺文社

三省堂現代新国語辞典第七版（2024）三省堂

基礎日本語辞典（1989）角川書店

参照ウェブサイト

アメーバブログ <https://www.ameba.jp/>

金融庁ウェブサイト https://www.fsa.go.jp/singi/singi_kinyu/base.html

国会会議録検索システム <https://kokkai.ndl.go.jp/>

ジャパンナレッジ・サービス <https://japanknowledge.com/library/>

溜池通信 <http://tameike.net/>

中納言コーパス検索アプリケーション <https://chunagon.ninjal.ac.jp>

東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリー <https://dcl.toyokeizai.net/ap/bz/login>

農林水産省ウェブサイト <https://www.maff.go.jp/j/council/index.html>

<資 料 集>

【資料 1】 国会会議録における「政党名＋さん」の使用回数推移（表 3-9）

年	自由民主 党さん (A)	(A) 10 年累計 (B)	自民党さ ん (C)	(C) 10 年累計 (D)	日本共産 党さん (E)	(E) 10 年累計 (F)	共産党さ ん (G)	(G) 10 年累計 (H)	総計 (I)	(I) 10 年累計 (J)
1955 年	1		1		0		0		2	
1956 年	8		31		0		0		39	
1957 年	5		30		0		0		35	
1958 年	4		86		0		0		90	
1959 年	3		69		0		0		72	
1960 年	7		42		0		0		49	
1961 年	15		94		0		6		115	
1962 年	6		49		0		4		59	
1963 年	2		35		0		3		40	
1964 年	4	55	33	470	0	0	0	13	37	538
1965 年	3		44		0		0		47	
1966 年	2		55		0		2		59	
1967 年	0		49		0		3		52	
1968 年	0		36		0		0		36	
1969 年	0		44		0		5		49	
1970 年	1		25		1		10		37	
1971 年	1		26		0		3		30	
1972 年	1		31		0		2		34	
1973 年	1		49		0		28		78	
1974 年	0	9	37	396	1	2	25	78	63	485
1975 年	1		43		1		10		55	
1976 年	0		38		1		14		53	
1977 年	0		42		0		9		51	
1978 年	2		40		0		6		48	
1979 年	0		41		0		6		47	
1980 年	1		55		1		8		65	
1981 年	0		79		0		6		85	
1982 年	4		99		0		30		133	
1983 年	0		49		1		11		61	
1984 年	2	10	56	542	1	5	12	112	71	669
1985 年	0		56		1		14		71	
1986 年	2		39		0		6		47	
1987 年	1		43		0		16		60	
1988 年	3		57		0		6		66	
1989 年	2		99		0		8		109	
1990 年	0		58		0		6		64	
1991 年	0		75		0		11		86	
1992 年	1		56		0		4		61	
1993 年	6		286		0		31		323	
1994 年	2	17	83	852	0	1	15	117	100	987
1995 年	3		23		0		8		34	
1996 年	2		16		0		17		35	
1997 年	3		82		0		28		113	
1998 年	3		92		0		23		118	
1999 年	2		97		0		33		132	
2000 年	2		75		2		39		118	
2001 年	1		47		2		46		96	
2002 年	5		52		1		44		102	
2003 年	0		31		2		25		58	
2004 年	6	27	57	572	0	7	16	279	79	885

年	自由民主 党さん (A)	(A) 10 年累計 (B)	自民党さ ん (C)	(C) 10 年累計 (D)	日本共産 党さん (E)	(E) 10 年累計 (F)	共産党さ ん (G)	(G) 10 年累計 (H)	総計 (I)	(I) 10 年累計 (J)
2005 年	7		56		1		18		82	
2006 年	4		79		0		42		125	
2007 年	3		71		1		33		108	
2008 年	0		65		0		10		75	
2009 年	0		41		0		28		69	
2010 年	0		160		0		37		197	
2011 年	5		124		0		15		144	
2012 年	0		169		0		16		185	
2013 年	3		232		0		16		251	
2014 年	2	24	150	1,147	2	4	16	231	170	1,406
2015 年	2		74		0		18		94	
2016 年	0		91		2		42		135	
2017 年	0		53		0		25		78	
2018 年	1		53		1		21		76	
2019 年	2		37		0		14		53	
2020 年	2		45		1		18		66	
2021 年	3		48		0		9		60	
2022 年	0	10	92	493	1	5	8	155	101	663
計	152	152	4,472	4,472	24	24	985	985	5,633	5,633

(出所) 国会会議録より筆者作成。

【資料 2】「日本語日常会話コース」における「さん付け」の状況（表 3-11）

分類記号	分野	語例	整理番号	さん	さま	異なり語数	比率	延べ語数	比率	備考
A1	人称詞	あなた	1	×	◎	0	0.0%	0	0.0%	
		こちら・そちら・どちら・どなた・おたく	2	◎	◎	0	0.0%	0	0.0%	
A2	人称詞以外の人物	みな	3	◎	◎	2	0.6%	255	6.7%	
		世間・他人（ひと）・他所（よそ）・本人（ごーさま）	4	×	◎	0	0.0%	0	0.0%	
B	親族	おやじ・おふくろ	5	◎	×	2	0.6%	8	0.2%	
		奥・旦那・おじ／おば（一ごさん／さま）	6	◎	◎	6	1.9%	683	18.0%	
		おい／めい（一ごさん／さま）・まご（おーさん／さま）	7	◎	◎	4	1.3%	58	1.5%	
		いところ	8	×	×	2	0.6%	3	0.1%	
		パパ・ママ・妹・弟・息子・娘	9	◎	×	6	1.9%	107	2.8%	*
		婿・嫁・舅・姑（おーさん）	10	◎	×	6	1.9%	64	1.7%	*
		父（とう）・母（かあ）（さん、おーさん／さま）	11	◎	◎	6	1.9%	1,520	40.1%	*
		先祖（ごーさん／さま）	12	◎	◎	1	0.3%	1	0.0%	
C1	歴史上の人物名	聖徳太子・紫式部・平清盛・徳川家康・宣長・漱石	13	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
C2	没後間もない著名人	美空ひばり・島倉千代子	14	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
C3	存命中の著名人	浜崎あゆみ・桂三枝・村上春樹・イチロー	15	○	×	0	0.0%	0	0.0%	
D	職業	大工・刑事・ガイド・デザイナー・女優・はなし家	16	◎	×	15	4.8%	45	1.2%	
		医者（おーさん／さま）	17	◎	◎	1	0.3%	42	1.1%	
		相撲（おーさん）	18	◎	×	3	1.0%	7	0.2%	
		作家・記者・ライター・レポーター	19	△	×	36	11.4%	72	1.9%	
E1	一屋	本屋・魚屋・八百屋・葬儀屋・電気屋・運送屋・ラーメン屋	20	◎	×	31	9.8%	109	2.9%	
E2	一社	商社・葬儀社・新聞社・出版社	21	△	×	0	0.0%	0	0.0%	
E3	一店	本店・支店・書店・工務店・代理店	22	△	×	0	0.0%	0	0.0%	
F1	一員	駅員・行員・工員・係員・議員・乗務員・従業員・事務員	23	◎	×	8	2.5%	49	1.3%	
		銀行員・公務員・裁判員	24	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
F2	一士	栄養士・会計士・看護師・弁護士・弁理士・保育士	25	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
F3	一師	医師・庭師・教師・道化師・奇術師	26	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
		調理師・調教師・薬剤師	27	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
F4	一手	歌手・技手・砲手	28	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
		運転手・交換手	29	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
F5	一医	女医・獣医	30	◎	×	4	1.3%	7	0.2%	*
G1	職位（一長）	部長・社長・局長・店長・工場長・センター長	31	○	×	15	4.8%	88	2.3%	

分類記号	分野	語例	整理番号	さん	さま	異なり語数	比率	延べ語数	比率	備考
G2	職位（一長以外）	教授・取締役・頭取・サブリーダー	32	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
		マネージャー・アルバイト・派遣	33	○	×	0	0.0%	0	0.0%	
		番頭・監督	34	◎	×	4	1.3%	9	0.2%	*
H1	〇〇人（ニン）	支配人	35	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
		案内人・立会人・見物人・犯罪人・怪我人	36	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
	〇人（ニン）	芸人	37	◎	×	2	0.6%	7	0.2%	
		役人（おーさん／さま）	38	△	△	0	0.0%	0	0.0%	
		死人・病人・犯人	39	*	×	0	0.0%	0	0.0%	
H2	〇〇人（ジン）	中国人・ロシア人・宇宙人・芸能人・外国人	40	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
	〇人（ジン）	愛人・異人・外人・軍人・美人	41	○	×	1	0.3%	3	0.1%	
		黒人・白人・鉄人・故人・友人	42	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
I	属性・性質	素人・迷い子・おませ・おしゃれ・おばか	43	◎	×	9	2.9%	13	0.3%	
		がんばり屋・うぬぼれ屋・気取り屋	44	◎	×	0	0.0%	0	0.0%	
J	相対的な関係の一方	部下・彼氏・彼女・恋人・配偶者・親友	45	×	×	3	1.0%	11	0.3%	
		客（おーさん／さま）	46	◎	◎	2	0.6%	153	4.0%	
		大家	47	◎	×	6	1.9%	35	0.9%	
		師匠（「おーさん／さま」）・弟子（「おーさん」）・学生・患者	48	◎	△	4	1.3%	88	2.3%	
K	階層	貴族・労働者・支配人・ホワイトカラー	49	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
		男爵・公爵・華族・（皇族の名として）高円宮／紀子	50	×	◎	0	0.0%	0	0.0%	
L	位置	隣り／二階／むかい（おーさん）	51	◎	×	1	0.3%	1	0.0%	
		近所（ごーさん／さま）	52	◎	◎	0	0.0%	0	0.0%	
		一階・三階・まえ・うしろ	53	×	×	0	0.0%	0	0.0%	
M	人数	ひとり／ふたり／三人（おーさん／さま）・四人・五名・大勢	54	◎	◎	0	0.0%	0	0.0%	
N	動物	キリン・ゾウ・ネズミ・ウサギ・カエル・サル（おーさん）	55	◎	×	6	1.9%	14	0.4%	
		イヌ（おーさま）	56	×	△	0	0.0%	0	0.0%	
		ネコ	57	×	×	1	0.3%	1	0.0%	
		蚕（おーさん／さま）	58	◎	◎	1	0.3%	2	0.1%	*
		その他の動物	59	○	×	7	2.2%	32	0.8%	
O1	宗教者	神父・牧師・神主	60	◎	◎	6	1.9%	10	0.3%	
		坊（おーさん／さま）	61	◎	◎	1	0.3%	11	0.3%	
O2	神仏	神・仏	62	△	◎	2	0.6%	4	0.1%	
		阿弥陀・天神・菩薩	63	×	◎	1	0.3%	2	0.1%	
		イエス・マリア・教祖	64	×	◎	0	0.0%	0	0.0%	
		不動・稲荷（おーさん／さま）	65	◎	◎	3	1.0%	16	0.4%	*
		だるま	66	◎	◎	1	0.3%	1	0.0%	*
P	あいさつ・慣用語	ごちそう・おつかれ・ごくろう・おまちどお	67	◎	◎	4	1.3%	20	0.5%	
		おあいにく・おきのどく・おせ	68	×	◎	2	0.6%	4	0.1%	

分類記号	分野	語例	整理番号	さん	さま	異なり語数	比率	延べ語数	比率	備考
		わ・おたがい								
Q	自然	雷・月（おーさん／さま）	69	◎	◎	2	0.6%	5	0.1%	*
W	擬人化・愛称	（お）豆（さん）、（お）揚（さん）、（お）人形（さん）、年少（さん）	70			14	4.4%	31	0.8%	*
X	店名・会社名	ひつじ書房、よね寿司（話者の身近な店舗）	71			17	5.4%	27	0.7%	*
	組織名	関東バス、クロネコ（ヤマト）	72			6	1.9%	18	0.5%	*
Y	人名	（話者の友人、知人名等）	73			19	6.0%	41	1.1%	*
Z	その他	おっ（さん）、こっくり（さん）、やー（さん）	74			3	1.0%	39	1.0%	*
YY	普通名詞	会計、業者	75			37	11.7%	69	1.8%	*
ZZ	不明	助手席、携帯	76			2	0.6%	2	0.1%	*
計						315	100.0%	3,787	100.0%	

*は筆者加筆項目。

（出所）CEJC より筆者作成。

異なり語数一覧

項番	分類記号	語	延べ語数	項番	分類記号	語	延べ語数
1	A2	みんな	2	159	I	のんびりや	1
2	A2	皆	253	160	I	ベテラン	2
3	B	おじ	165	161	I	偉い	1
4	B	おっか	1	162	I	泣き虫	1
5	B	おば	100	163	I	上り	2
6	B	おふくろ	2	164	I	素人	1
7	B	かみ	9	165	J	OG	3
8	B	じい	66	166	J	学生	7
9	B	せがれ	1	167	J	患者	59
10	B	とお	2	168	J	客	151
11	B	ばあ	105	169	J	子供	7
12	B	パパ	5	170	J	飼い主	4
13	B	ママ	13	171	J	常連	6
14	B	奥	182	172	J	新人	11
15	B	嫁	44	173	J	生徒	20
16	B	花嫁	1	174	J	大家	10
17	B	兄	53	175	J	地主	2
18	B	姑	2	176	J	弟子	2
19	B	姉	96	177	J	得意	2
20	B	子	38	178	J	妊婦	2
21	B	嬢	15	179	J	彼氏	1
22	B	親父	6	180	L	番	1
23	B	先祖	1	181	N	ウサギ	2
24	B	息子	30	182	N	カマキリ	1
25	B	孫	4	183	N	カワセミ	5
26	B	旦那	65	184	N	クマ	4
27	B	弟	9	185	N	クワガタ	2
28	B	夫	2	186	N	ハリネズミ	1
29	B	父	558	187	N	ヤギ	2

項番	分類記号	語	延べ語数	項番	分類記号	語	延べ語数
30	B	母	810	188	N	猿	2
31	B	妹	25	189	N	蟻	1
32	B	婿	6	190	N	牛	2
33	B	娘	25	191	N	鶏	3
34	B	姪っ子	1	192	N	蚕	2
35	B	舅	2	193	N	虫	3
36	D	D J	1	194	N	鳥	18
37	D	イラストレーター	3	195	N	猫	1
38	D	エリート	1	196	O1	宮司	1
39	D	オーナー	1	197	O1	大師	2
40	D	お巡り	6	198	O1	導師	1
41	D	ガイド	2	199	O1	入道	1
42	D	カメラ	1	200	O1	法師	3
43	D	ケアマネ	2	201	O1	坊	11
44	D	コック	8	202	O1	和尚	2
45	D	サラリーマン	1	203	O2	いなり	7
46	D	サンタ	6	204	O2	お釈迦	2
47	D	シッター	1	205	O2	だるま	1
48	D	スカウト	1	206	O2	寺	4
49	D	スタイル	1	207	O2	神	1
50	D	スタッフ	6	208	O2	不動	5
51	D	スチュワードス	1	209	O2	仏	3
52	D	タレント	1	210	P	あにい	3
53	D	ディストリビューター	1	211	P	おかげ	1
54	D	デザイナー	4	212	P	ごつつお	1
55	D	バイト	1	213	P	ちそう	2
56	D	バリスタ	1	214	P	苦勞	11
57	D	ピアニスト	1	215	P	疲れ	6
58	D	フォロワー	1	216	Q	月	2
59	D	ヘルパー	4	217	Q	雷	3
60	D	ボーイ	1	218	W	アボガド	1
61	D	メーカー	1	219	W	すもも	1
62	D	モデル	1	220	W	つゆ	1
63	D	ライター	12	221	W	バジル	2
64	D	リピーター	1	222	W	ブロッコリー	1
65	D	レイアウト	1	223	W	マクロファージ	1
66	D	ワーカー	1	224	W	みかん	1
67	D	医者	42	225	W	人形	4
68	D	営業	1	226	W	数の子	3
69	D	音声	2	227	W	豆	2
70	D	絵描き	1	228	W	年少	9
71	D	学者	1	229	W	年中	2
72	D	記者	2	230	W	粉	1
73	D	検事	1	231	W	揚げ	2
74	D	作家	8	232	X	サニー	1
75	D	手伝い	1	233	X	サンライズ	1
76	D	助手	2	234	X	スワン	1
77	D	女将	1	235	X	ナビ	1
78	D	女優	6	236	X	ハウス	1
79	D	照明	1	237	X	プレイルーム	1
80	D	声優	4	238	X	ヘルプ	1
81	D	相撲	3	239	X	印刷	3
82	D	大工	1	240	X	業躰	3
83	D	泥棒	2	241	X	工業	3

項番	分類記号	語	延べ語数	項番	分類記号	語	延べ語数
84	D	俳優	3	242	X	黒船	1
85	D	髪結い	1	243	X	山組	3
86	D	百姓	3	244	X	寿司	2
87	D	縫い子	2	245	X	書房	1
88	D	役者	1	246	X	読売	2
89	D	預かり	1	247	X	木材	1
90	D	臨職	2	248	X	薬局	1
91	E1	おもちゃ屋	2	249	組織名	M P D	1
92	E1	飴屋	1	250	組織名	カルチャー	2
93	E1	飲み屋	5	251	組織名	クロネコ	1
94	E1	鰻屋	1	252	組織名	コム	1
95	E1	何屋	9	253	組織名	コンピュータ	1
96	E1	花屋	8	254	組織名	バス	12
97	E1	瓦屋	1	255	Y	カヌレ	2
98	E1	居酒屋	2	256	Y	クラウド	1
99	E1	魚屋	2	257	Y	しゃかしや吊り	5
100	E1	蕎麦屋	7	258	Y	ジャバ	1
101	E1	靴屋	1	259	Y	ちゅら	2
102	E1	犬屋	1	260	Y	フィッシュ	3
103	E1	酒屋	2	261	Y	フーガ	3
104	E1	寿司屋	8	262	Y	みこ	1
105	E1	床屋	4	263	Y	何子	1
106	E1	畳屋	2	264	Y	工大	1
107	E1	石屋	1	265	Y	松	4
108	E1	炭屋	1	266	Y	信徒	1
109	E1	茶屋	5	267	Y	厨	2
110	E1	烏屋	1	268	Y	睡蓮	1
111	E1	店屋	4	269	Y	清風	1
112	E1	道具	1	270	Y	虹色	1
113	E1	肉屋	10	271	Y	朋友	1
114	E1	八百屋	5	272	Y	味噌	9
115	E1	布屋	1	273	Y	両	1
116	E1	風呂屋	4	274	Z	おっ	37
117	E1	米屋	1	275	Z	こっくり	1
118	E1	本屋	15	276	Z	やー	1
119	E1	問屋	1	277	普通名詞	P T A	1
120	E1	薬屋	2	278	普通名詞	院生	1
121	E1	窯屋	1	279	普通名詞	何組	1
122	F1	委員	3	280	普通名詞	花王	1
123	F1	駅員	4	281	普通名詞	会	1
124	F1	会員	13	282	普通名詞	会計	9
125	F1	議員	1	283	普通名詞	会社	3
126	F1	社員	1	284	普通名詞	外科	1
127	F1	職員	4	285	普通名詞	企画	1
128	F1	店員	16	286	普通名詞	企業	1
129	F1	役員	7	287	普通名詞	業者	8
130	F5	校医	1	288	普通名詞	財団	1
131	F5	樹医	1	289	普通名詞	事務	1
132	F5	獣医	4	290	普通名詞	主婦	2
133	F5	女医	1	291	普通名詞	守り	1
134	G1	課長	1	292	普通名詞	朱印	1
135	G1	会長	6	293	普通名詞	受け持ち	1
136	G1	学長	2	294	普通名詞	小僧	1
137	G1	管長	5	295	普通名詞	食堂	1

項番	分類記号	語	延べ語数	項番	分類記号	語	延べ語数
138	G1	局長	3	296	普通名詞	生協	1
139	G1	市長	3	297	普通名詞	製作	1
140	G1	師長	27	298	普通名詞	赤組	1
141	G1	社長	4	299	普通名詞	組合	2
142	G1	長男	1	300	普通名詞	装飾	5
143	G1	店長	7	301	普通名詞	代表	3
144	G1	年長	4	302	普通名詞	担当	1
145	G1	板長	1	303	普通名詞	団体	3
146	G1	班長	3	304	普通名詞	通訳	2
147	G1	婦長	1	305	普通名詞	店主	1
148	G1	部長	20	306	普通名詞	動物	2
149	G2	監督	4	307	普通名詞	農家	3
150	G2	船頭	1	308	普通名詞	売り	2
151	G2	番頭	1	309	普通名詞	白組	1
152	G2	副代	3	310	普通名詞	法人	1
153	H1	芸人	1	311	普通名詞	明け	1
154	H1	職人	6	312	普通名詞	寮母	1
155	H2	外人	3	313	普通名詞	老舗	1
156	I	おませ	1	314	不明	携帯	1
157	I	かわい子	1	315	不明	席	1
158	I	ちび	3	計			3,787

(出所) CEJC より筆者作成。

【資料 3】 調査対象金融審議会

項番	会合名	審議時間 (時間)
1	第一部会	117.5
2	第二部会	85.8
3	市場ワーキング・グループ	65.8
4	金融審議会総会	51.8
5	我が国金融・資本市場の国際化に関するスタディ・グループ	40.9
6	保険商品・サービスの提供等に在り方に関するワーキング・グループ	36.5
7	特別部会	36.1
8	第二部会－協同組織金融機関のあり方に関するワーキング・グループ	31.6
9	金融制度スタディ・グループ（平成 30 事務年度）	28.0
10	我が国金融業の中長期的な在り方に関するワーキング・グループ	27.0
11	金融システム安定等に資する銀行規制等の在り方等に関するワーキング・グループ	27.0
12	金融審議会公認会計士制度部会	26.9
13	投資信託・投資法人法制の見直しに関するワーキング・グループ	26.0
14	決済業務等の高度化に関するスタディ・グループ	25.0
15	第二部会－決済に関するワーキング・グループ	23.1
16	新規・成長企業へのリスクマネーの供給のあり方に関するワーキング・グループ	21.0
17	金融制度スタディ・グループ	20.0
18	金融グループを巡る制度のあり方に関するワーキング・グループ	18.0
19	ディスクロージャーワーキング・グループ（平成 29 年度）	17.8
20	保険会社のグループ経営に関する規制の在り方ワーキング・グループ	16.7
21	決済法制及び金融サービス仲介法制に関するワーキング・グループ	14.0
22	決済業務等の高度化に関するワーキング・グループ	13.5
23	銀行制度ワーキング・グループ	13.5
24	第二部会－保険の基本問題に関するワーキング・グループ	11.3
25	ディスクロージャーワーキング・グループ（平成 27 年度）	10.0
26	金融制度ワーキンググループ	10.0
27	市場制度ワーキング・グループ	10.0
28	投資運用等に関するワーキング・グループ	9.7
29	インサイダー取引規制に関するワーキング・グループ（平成 24 年度）	9.3
30	市場構造専門グループ	7.5
31	インサイダー取引規制に関するワーキング・グループ（平成 23 年度）	6.4
32	フェア・ディスクロージャー・ルール・タスクフォース	6.0
33	金融審議会「市場構造専門グループ」	4.0
34	金融審議会金融分科会	2.1
35	最良執行のあり方等に関するタスクフォース	2.0
計		871.7

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 4】金融審議会における審議時間とその 5 年平均の推移（図 3-2）

年	審議会審議時間（時間）	審議時間 5 年平均（時間）
2001 年	36.6	39.0
2002 年	27.2	
2003 年	25.9	
2004 年	56.9	
2005 年	48.6	
2006 年	43.7	40.6
2007 年	56.8	
2008 年	62.6	
2009 年	40.0	
2010 年	0.0	
2011 年	43.0	51.0
2012 年	88.2	
2013 年	47.5	
2014 年	29.1	
2015 年	47.1	
2016 年	49.3	43.7
2017 年	9.8	
2018 年	59.5	
2019 年	61.5	
2020 年	38.5	
計	871.7	43.6

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 5】金融審議会における「組織名＋さん」の用例（表 3-13）

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
1	金融庁ウェブサイトさん	136	173	JX ホールディングスさん	1
2	東証さん	67	174	KDDI さん	1
3	ヤフーさん	23	175	LINE さん	1
4	全銀協さん	23	176	LINE 株式会社さん	1
5	経済産業省さん	21	177	MUFG さん	1
6	ヤマトさん	18	178	NTT 東西さん	1
7	ミュージックセキュリティーズさん	17	179	S&P さん	1
8	JAL さん	15	180	UCDA さん	1
9	損保協会さん	15	181	VC 協会さん	1
10	日証協さん	15	182	Y!mobile さん	1
11	JNB さん	13	183	YJ キャピタルさん	1
12	みさき投資さん	13	184	あおぞら銀行さん	1
13	生保協会さん	11	185	アニコムさん	1
14	法務省さん	11	186	アメックスさん	1
15	CCB さん	10	187	アラタナさん	1
16	マネーフォワードさん	10	188	アント・フィナンシャルさん	1
17	ドコモさん	9	189	イーバンクさん	1
18	みずほさん	9	190	イーバンク銀行さん	1
19	協会さん	9	191	イーベイさん	1
20	経産省さん	9	192	イオン銀行さん	1
21	八千代銀行さん	9	193	ヴェルディさん	1
22	GAIA さん	8	194	エイビーロードさん	1
23	HSBC さん	8	195	エーオンアフィニティージャパンさん	1
24	トヨタさん	8	196	オリコさん	1
25	鹿児島銀行さん	8	197	オリックスさん	1
26	新経済連盟さん	8	198	カネボウさん	1
27	全情連さん	8	199	麒麟さん	1
28	野村さん	8	200	クレジット協会さん	1
29	ソニーさん	7	201	クレディ・スイス証券さん	1
30	厚労省さん	7	202	ケンタッキー・フライド・チキンさん	1
31	証券業協会さん	7	203	コインチェックさん	1
32	中央青山さん	7	204	ゴールドマンさん	1
33	日本証券業協会さん	7	205	サントリーさん	1
34	保振さん	7	206	ジェイ・エフ・イーさん	1
35	LINE Pay さん	6	207	シネカノンさん	1
36	シティバンクさん	6	208	ジャパンネット銀行さん	1
37	みずほ銀行さん	6	209	ジャパンポストさん	1
38	ローソン銀行さん	6	210	ステート・ストリートさん	1
39	経団連さん	6	211	スマートリンクさん	1
40	三井住友銀行さん	6	212	セゾン投信	1
41	城南信金さん	6	213	セップさん	1
42	第一生命さん	6	214	セブンさん	1
43	投信協会さん	6	215	ソシエテジェネラルさん	1
44	野村證券さん	6	216	ソニーフィナンシャルさん	1
45	Fintech 協会さん	5	217	ソニー銀行さん	1
46	クレディ・スイスさん	5	218	トーマツさん	1
47	セブンイレブンさん	5	219	トヨタ自動車さん	1
48	セブン銀行さん	5	220	ネットマイルさん	1

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
49	財務局さん	5	221	ビットワレットさん	1
50	新日鉄さん	5	222	ファイナンシャル・アドバイザー協会さん	1
51	全国銀行協会さん	5	223	ファミリーマートさん	1
52	日通さん	5	224	ファラロン・キャピタルさん	1
53	NTT ドコモさん	4	225	フィデリティさん	1
54	ゴールドマン・サックスさん	4	226	フィナンシャルスタンダードさん	1
55	ファイナンシャルスタンダードさん	4	227	フェイスブックさん	1
56	楽天さん	4	228	プリミーさん	1
57	三井住友さん	4	229	ベンチャー・キャピタル協会さん	1
58	三菱商事さん	4	230	ベンチャー企業さん	1
59	資金決済業協会さん	4	231	ほけんの窓口グループさん	1
60	信金中金さん	4	232	ほけんの窓口さん	1
61	総務省さん	4	233	マイクロソフトさん	1
62	大和証券さん	4	234	ミュージックさん	1
63	東京証券取引所さん	4	235	モルガン・スタンレーさん	1
64	東京電力さん	4	236	ヤマダ電機さん	1
65	日本銀行さん	4	237	ヤマト運輸さん	1
66	農中さん	4	238	リーマンさん	1
67	野村総研さん	4	239	旭硝子さん	1
68	ANA さん	3	240	岡三証券さん	1
69	FISC さん	3	241	沖縄県庁さん	1
70	JBIC さん	3	242	花王さん	1
71	JP モルガンさん	3	243	格付投資情報センターさん	1
72	NTT さん	3	244	環境省さん	1
73	SMFG さん	3	245	監督局さん	1
74	UBS さん	3	246	関経連さん	1
75	インダス・キャピタルさん	3	247	丸紅さん	1
76	エーオンさん	3	248	京都銀行さん	1
77	シー・アイ・シーさん	3	249	公認会計士協会さん	1
78	シティさん	3	250	国交省さん	1
79	ジャフコさん	3	251	国土交通省さん	1
80	ソフトバンクさん	3	252	財務省さん	1
81	ドーガンさん	3	253	札証さん	1
82	フィンテック協会さん	3	254	三井化学さん	1
83	ブラックロックさん	3	255	三井銀行さん	1
84	メルカリさん	3	256	三井住友トラスト・アセットマネジメントさん	1
85	ヤマトフィナンシャルさん	3	257	三井住友信託銀行さん	1
86	レイクさん	3	258	三井不動産さん	1
87	横浜銀行さん	3	259	三越さん	1
88	厚生労働省さん	3	260	三菱 UFJ フィナンシャル・グループさん	1
89	国民生活センターさん	3	261	三菱 UFJ リサーチさん	1
90	三井住友フィナンシャルグループさん	3	262	三菱 UFJ 投信さん	1
91	三井物産さん	3	263	三菱モルガンさん	1
92	三菱 UFJ さん	3	264	三菱東京 UFJ 銀行さん	1
93	三菱東京 UFJ さん	3	265	山田電機さん	1
94	全信協さん	3	266	産業ファンド投資法人さん	1
95	大証さん	3	267	資金移動業協会さん	1
96	大東さん	3	268	社保庁さん	1
97	仲立人協会さん	3	269	住商さん	1
98	日生さん	3	270	出光さん	1

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
99	日立さん	3	271	商工中金さん	1
100	auさん	2	272	松竹さん	1
101	CICさん	2	273	消費者委員会さん	1
102	freeeさん	2	274	城南信用金庫さん	1
103	JADAさん	2	275	信託協会さん	1
104	JA共済さん	2	276	審査会さん	1
105	JICPAさん	2	277	新興企業さん	1
106	JPXさん	2	278	政策金融公庫さん	1
107	JR東日本さん	2	279	政策投資銀行さん	1
108	NEXIさん	2	280	生保協さん	1
109	SMBCさん	2	281	生命保険協会さん	1
110	TOCOMさん	2	282	生命保険文化センターさん	1
111	インフキュリオン・グループさん	2	283	青学さん	1
112	ウェブマネーさん	2	284	青森県さん	1
113	カーライルさん	2	285	静岡銀行さん	1
114	シティグループさん	2	286	全国信用金庫協会さん	1
115	シティコープさん	2	287	全労済さん	1
116	すかいらくさん	2	288	早稲田さん	1
117	テックビューローさん	2	289	損害保険協会さん	1
118	ドトールさん	2	290	損保総研さん	1
119	パナソニックさん	2	291	多摩さん	1
120	バンガードさん	2	292	多摩信さん	1
121	ファーストリテイリングさん	2	293	多摩信金さん	1
122	ファームさん	2	294	大和証券キャピタルさん	1
123	ふくおかFGさん	2	295	第二種業協会さん	1
124	ホンダさん	2	296	第二種金融商品取引業協会さん	1
125	マザーズさん	2	297	第二地銀協さん	1
126	みずほ証券さん	2	298	地銀協会さん	1
127	ムーディーズさん	2	299	地方銀行協会さん	1
128	ゆうちょ銀行さん	2	300	中央三井アセットさん	1
129	ラクスルさん	2	301	中小企業公庫さん	1
130	銀行協会さん	2	302	中小機構さん	1
131	国際協力銀行さん	2	303	朝日信託さん	1
132	国際銀行協会さん	2	304	帝国データバンクさん	1
133	佐川さん	2	305	田中貴金属さん	1
134	佐川急便さん	2	306	投資顧問協会さん	1
135	三井さん	2	307	東京海上さん	1
136	三菱UFJ信託さん	2	308	東京海上ホールディングスさん	1
137	山梨中央銀行さん	2	309	東京三菱さん	1
138	住友化学さん	2	310	東京商品取引所さん	1
139	住友生命さん	2	311	東京都さん	1
140	新経連さん	2	312	東京都民銀行さん	1
141	全日空さん	2	313	東邦銀行さん	1
142	総務庁さん	2	314	東洋経済さん	1
143	損保ジャパンさん	2	315	内閣官房さん	1
144	代協さん	2	316	南都銀行さん	1
145	代理店協議会さん	2	317	日興証券さん	1
146	大和さん	2	318	日産さん	1
147	地銀協さん	2	319	日代協さん	1
148	内閣府さん	2	320	日本IT団体連盟さん	1
149	日銀さん	2	321	日本資金決済業協会さん	1
150	日本政策投資銀行さん	2	322	日本証券アナリスト協会さん	1
151	日本代協さん	2	323	日本生命さん	1
152	農水省さん	2	324	日本郵船さん	1

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
153	保証協会さん	2	325	日立製作所さん	1
154	豊商事さん	2	326	農林水産省さん	1
155	北の達人さん	2	327	農林中央金庫さん	1
156	名証さん	2	328	博報堂さん	1
157	野村アセットさん	2	329	八木澤商店さん	1
158	AIG さん	1	330	富士フィルム	1
159	au じぶん銀行さん	1	331	福証さん	1
160	BTC ボックスさん	1	332	保険ショップさん	1
161	Coincheck さん	1	333	保険代理店協議会さん	1
162	DBJ さん	1	334	保険仲立人協会さん	1
163	FinTech ベンチャーさん	1	335	保振機構さん	1
164	FP 協会さん	1	336	北九州銀行さん	1
165	FSA さん	1	337	北洋銀行さん	1
166	G ポイントさん	1	338	明治さん	1
167	HSBC グループさん	1	339	野村アセットマネジメントさん	1
168	JAS さん	1	340	野村総合研究所さん	1
169	JA バンクグループさん	1	341	野村本社さん	1
170	JA バンクさん	1	342	預金保険機構さん	1
171	JFE ホールディングスさん	1	343	立命館大学さん	1
172	JOGMEC さん	1	344	連合会さん	1
計					1,120

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 6】金融審議会における「組織名＋さん」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-3）

年	「組織名＋さん」発言件数	「組織名＋さん」5 年平均
2001 年	44	28.6
2002 年	9	
2003 年	12	
2004 年	57	
2005 年	21	
2006 年	38	60.0
2007 年	44	
2008 年	192	
2009 年	26	
2010 年	0	
2011 年	116	59.0
2012 年	48	
2013 年	63	
2014 年	20	
2015 年	48	
2016 年	66	76.4
2017 年	2	
2018 年	107	
2019 年	135	
2020 年	72	
計	1,120	56.0

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 7】金融審議会における「組織名＋さん」の使用者（表 3-14）

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める 比率	累積件数	累積件数の全体 に占める比率
1	Aa	金融機関勤務者	35	3.1%	35	3.1%
2	Ab	事業会社勤務者	35	3.1%	70	6.3%
3	Ac	学者	32	2.9%	102	9.1%
4	Ad	その他	31	2.8%	133	11.9%
5	Ae	金融機関勤務者	21	1.9%	154	13.8%
6	Af	公務員	20	1.8%	174	15.5%
7	Ag	金融機関勤務者	18	1.6%	192	17.1%
8	Ah	事業会社勤務者	16	1.4%	208	18.6%
9	Ai	学者	15	1.3%	223	19.9%
10	Aj	金融機関勤務者	15	1.3%	238	21.3%
11	Ak	公務員	15	1.3%	253	22.6%
12	Al	学者	14	1.3%	267	23.8%
13	Am	金融機関勤務者	14	1.3%	281	25.1%
14	An	弁護士	14	1.3%	295	26.3%
15	Ao	事業会社勤務者	13	1.2%	308	27.5%
16	Ap	弁護士	12	1.1%	320	28.6%
17	Aq	金融機関勤務者	12	1.1%	332	29.6%
18	Ar	金融機関勤務者	12	1.1%	344	30.7%
19	As	金融機関勤務者	11	1.0%	355	31.7%
20	At	金融機関勤務者	10	0.9%	365	32.6%
21	Au	金融機関勤務者	10	0.9%	375	33.5%
22	Av	その他	10	0.9%	385	34.4%
23	Aw	金融機関勤務者	10	0.9%	395	35.3%
24	Ax	公務員	10	0.9%	405	36.2%
25	Ay	学者	10	0.9%	415	37.1%
26	Az	学者	10	0.9%	425	37.9%
27	Ba	金融機関勤務者	10	0.9%	435	38.8%
28	Bb	公務員	10	0.9%	445	39.7%
29	Bc	その他	10	0.9%	455	40.6%
30	Bd	金融機関勤務者	10	0.9%	465	41.5%
31	Be	学者	9	0.8%	474	42.3%
32	Bf	金融機関勤務者	9	0.8%	483	43.1%
33	Bg	事業会社勤務者	9	0.8%	492	43.9%
34	Bh	金融機関勤務者	8	0.7%	500	44.6%
35	Bi	公務員	8	0.7%	508	45.4%
36	Bj	事業会社勤務者	8	0.7%	516	46.1%
37	Bk	金融機関勤務者	7	0.6%	523	46.7%
38	Bl	金融機関勤務者	7	0.6%	530	47.3%
39	Bm	その他	7	0.6%	537	47.9%
40	Bn	金融機関勤務者	6	0.5%	543	48.5%
41	Bo	事業会社勤務者	6	0.5%	549	49.0%
42	Bp	学者	6	0.5%	555	49.6%
43	Bq	学者	6	0.5%	561	50.1%
44	Br	事業会社勤務者	6	0.5%	567	50.6%
45	Bs	事業会社勤務者	6	0.5%	573	51.2%
46	Bt	その他	6	0.5%	579	51.7%
47	Bu	事業会社勤務者	6	0.5%	585	52.2%
48	Bv	学者	6	0.5%	591	52.8%
49	Bw	金融機関勤務者	6	0.5%	597	53.3%
50	Bx	弁護士	6	0.5%	603	53.8%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
51	By	学者	6	0.5%	609	54.4%
52	Bz	金融機関勤務者	6	0.5%	615	54.9%
53	Ca	金融機関勤務者	6	0.5%	621	55.4%
54	Cb	事業会社勤務者	5	0.4%	626	55.9%
55	Cc	金融機関勤務者	5	0.4%	631	56.3%
56	Cd	その他	5	0.4%	636	56.8%
57	Ce	金融機関勤務者	5	0.4%	641	57.2%
58	Cf	事業会社勤務者	5	0.4%	646	57.7%
59	Cg	金融機関勤務者	5	0.4%	651	58.1%
60	Ch	金融機関勤務者	5	0.4%	656	58.6%
61	Ci	公務員	5	0.4%	661	59.0%
62	Cj	その他	5	0.4%	666	59.5%
63	Ck	事業会社勤務者	5	0.4%	671	59.9%
64	Cl	金融機関勤務者	5	0.4%	676	60.4%
65	Cm	学者	5	0.4%	681	60.8%
66	Cn	金融機関勤務者	5	0.4%	686	61.3%
67	Co	金融機関勤務者	5	0.4%	691	61.7%
68	Cp	金融機関勤務者	5	0.4%	696	62.1%
69	Cq	学者	4	0.4%	700	62.5%
70	Cr	金融機関勤務者	4	0.4%	704	62.9%
71	Cs	その他	4	0.4%	708	63.2%
72	Ct	事業会社勤務者	4	0.4%	712	63.6%
73	Cu	学者	4	0.4%	716	63.9%
74	Cv	弁護士	4	0.4%	720	64.3%
75	Cw	事業会社勤務者	4	0.4%	724	64.6%
76	Cx	金融機関勤務者	4	0.4%	728	65.0%
77	Cy	弁護士	4	0.4%	732	65.4%
78	Cz	金融機関勤務者	4	0.4%	736	65.7%
79	Da	公務員	4	0.4%	740	66.1%
80	Db	金融機関勤務者	4	0.4%	744	66.4%
81	Dc	その他	4	0.4%	748	66.8%
82	Dd	学者	4	0.4%	752	67.1%
83	De	金融機関勤務者	4	0.4%	756	67.5%
84	Df	学者	4	0.4%	760	67.9%
85	Dg	事業会社勤務者	4	0.4%	764	68.2%
86	Dh	金融機関勤務者	4	0.4%	768	68.6%
87	Di	その他	4	0.4%	772	68.9%
88	Dj	学者	4	0.4%	776	69.3%
89	Dk	金融機関勤務者	4	0.4%	780	69.6%
90	Dl	公務員	4	0.4%	784	70.0%
91	Dm	金融機関勤務者	4	0.4%	788	70.4%
92	Dn	公務員	4	0.4%	792	70.7%
93	Do	政治家	4	0.4%	796	71.1%
94	Dp	金融機関勤務者	4	0.4%	800	71.4%
95	Dq	その他	4	0.4%	804	71.8%
96	Dr	金融機関勤務者	4	0.4%	808	72.1%
97	Ds	金融機関勤務者	4	0.4%	812	72.5%
98	Dt	その他	4	0.4%	816	72.9%
99	Du	金融機関勤務者	4	0.4%	820	73.2%
100	Dv	その他	4	0.4%	824	73.6%
101	Dw	事業会社勤務者	3	0.3%	827	73.8%
102	Dx	公務員	3	0.3%	830	74.1%
103	Dy	金融機関勤務者	3	0.3%	833	74.4%
104	Dz	その他	3	0.3%	836	74.6%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
105	Eb	学者	3	0.3%	839	74.9%
106	Ec	学者	3	0.3%	842	75.2%
107	Ed	金融機関勤務者	3	0.3%	845	75.4%
108	Ee	金融機関勤務者	3	0.3%	848	75.7%
109	Ef	金融機関勤務者	3	0.3%	851	76.0%
110	Eg	学者	3	0.3%	854	76.3%
111	Uh	金融機関勤務者	3	0.3%	857	76.5%
112	Ei	事業会社勤務者	3	0.3%	860	76.8%
113	Ej	その他	3	0.3%	863	77.1%
114	Ek	その他	3	0.3%	866	77.3%
115	El	金融機関勤務者	3	0.3%	869	77.6%
116	Em	学者	3	0.3%	872	77.9%
117	En	金融機関勤務者	3	0.3%	875	78.1%
118	Eo	金融機関勤務者	3	0.3%	878	78.4%
119	Ep	金融機関勤務者	3	0.3%	881	78.7%
120	Eq	その他	3	0.3%	884	78.9%
121	Er	金融機関勤務者	3	0.3%	887	79.2%
122	Es	金融機関勤務者	3	0.3%	890	79.5%
123	Et	金融機関勤務者	3	0.3%	893	79.7%
124	Eu	事業会社勤務者	3	0.3%	896	80.0%
125	Ev	金融機関勤務者	3	0.3%	899	80.3%
126	Ew	公務員	3	0.3%	902	80.5%
127	Ex	学者	3	0.3%	905	80.8%
128	Ey	金融機関勤務者	3	0.3%	908	81.1%
129	Ez	学者	3	0.3%	911	81.3%
130	Fa	その他	2	0.2%	913	81.5%
131	Fb	その他	2	0.2%	915	81.7%
132	Fc	金融機関勤務者	2	0.2%	917	81.9%
133	Fd	金融機関勤務者	2	0.2%	919	82.1%
134	Fe	事業会社勤務者	2	0.2%	921	82.2%
135	Ff	金融機関勤務者	2	0.2%	923	82.4%
136	Fg	事業会社勤務者	2	0.2%	925	82.6%
137	Fh	学者	2	0.2%	927	82.8%
138	Fi	公務員	2	0.2%	929	82.9%
139	Fj	金融機関勤務者	2	0.2%	931	83.1%
140	Fk	金融機関勤務者	2	0.2%	933	83.3%
141	Fl	金融機関勤務者	2	0.2%	935	83.5%
142	Fm	事業会社勤務者	2	0.2%	937	83.7%
143	Fn	事業会社勤務者	2	0.2%	939	83.8%
144	Fo	事業会社勤務者	2	0.2%	941	84.0%
145	Fp	公務員	2	0.2%	943	84.2%
146	Fq	金融機関勤務者	2	0.2%	945	84.4%
147	Fr	その他	2	0.2%	947	84.6%
148	Fs	金融機関勤務者	2	0.2%	949	84.7%
149	Ft	金融機関勤務者	2	0.2%	951	84.9%
150	Fu	金融機関勤務者	2	0.2%	953	85.1%
151	Fv	事業会社勤務者	2	0.2%	955	85.3%
152	Fw	金融機関勤務者	2	0.2%	957	85.4%
153	Fx	金融機関勤務者	2	0.2%	959	85.6%
154	Fy	学者	2	0.2%	961	85.8%
155	Fz	公務員	2	0.2%	963	86.0%
156	Ga	公務員	2	0.2%	965	86.2%
157	Gb	弁護士	2	0.2%	967	86.3%
158	Gc	金融機関勤務者	2	0.2%	969	86.5%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
159	Gd	金融機関勤務者	2	0.2%	971	86.7%
160	Ge	金融機関勤務者	2	0.2%	973	86.9%
161	Gf	金融機関勤務者	2	0.2%	975	87.1%
162	Gg	その他	2	0.2%	977	87.2%
163	Gh	事業会社勤務者	2	0.2%	979	87.4%
164	Gi	金融機関勤務者	2	0.2%	981	87.6%
165	Gj	公務員	2	0.2%	983	87.8%
166	Gk	その他	2	0.2%	985	87.9%
167	Gl	金融機関勤務者	2	0.2%	987	88.1%
168	Gm	金融機関勤務者	2	0.2%	989	88.3%
169	Gn	学者	2	0.2%	991	88.5%
170	Go	金融機関勤務者	2	0.2%	993	88.7%
171	Gp	事業会社勤務者	2	0.2%	995	88.8%
172	Gq	金融機関勤務者	2	0.2%	997	89.0%
173	Gr	金融機関勤務者	2	0.2%	999	89.2%
174	Gs	金融機関勤務者	2	0.2%	1,001	89.4%
175	Gt	弁護士	2	0.2%	1,003	89.6%
176	Gu	金融機関勤務者	2	0.2%	1,005	89.7%
177	Gv	その他	2	0.2%	1,007	89.9%
178	Gw	事業会社勤務者	2	0.2%	1,009	90.1%
179	Gx	公務員	2	0.2%	1,011	90.3%
180	Gy	その他	2	0.2%	1,013	90.4%
181	Gz	金融機関勤務者	2	0.2%	1,015	90.6%
182	Ha	事業会社勤務者	2	0.2%	1,017	90.8%
183	Hb	金融機関勤務者	1	0.1%	1,018	90.9%
184	Hc	金融機関勤務者	1	0.1%	1,019	91.0%
185	Hd	金融機関勤務者	1	0.1%	1,020	91.1%
186	He	金融機関勤務者	1	0.1%	1,021	91.2%
187	Hf	金融機関勤務者	1	0.1%	1,022	91.3%
188	Hg	事業会社勤務者	1	0.1%	1,023	91.3%
189	Hh	事業会社勤務者	1	0.1%	1,024	91.4%
190	Hi	金融機関勤務者	1	0.1%	1,025	91.5%
191	Hj	金融機関勤務者	1	0.1%	1,026	91.6%
192	Hk	事業会社勤務者	1	0.1%	1,027	91.7%
193	Hl	金融機関勤務者	1	0.1%	1,028	91.8%
194	Hm	公務員	1	0.1%	1,029	91.9%
195	Hn	公務員	1	0.1%	1,030	92.0%
196	Ho	金融機関勤務者	1	0.1%	1,031	92.1%
197	Hp	学者	1	0.1%	1,032	92.1%
198	Hq	その他	1	0.1%	1,033	92.2%
199	Hr	事業会社勤務者	1	0.1%	1,034	92.3%
200	Hs	公務員	1	0.1%	1,035	92.4%
201	Ht	金融機関勤務者	1	0.1%	1,036	92.5%
202	Hu	事業会社勤務者	1	0.1%	1,037	92.6%
203	Hv	事業会社勤務者	1	0.1%	1,038	92.7%
204	Hw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,039	92.8%
205	Hx	公務員	1	0.1%	1,040	92.9%
206	Hy	学者	1	0.1%	1,041	92.9%
207	Hz	金融機関勤務者	1	0.1%	1,042	93.0%
208	Ia	学者	1	0.1%	1,043	93.1%
209	Ib	事業会社勤務者	1	0.1%	1,044	93.2%
210	Ic	金融機関勤務者	1	0.1%	1,045	93.3%
211	Id	公務員	1	0.1%	1,046	93.4%
212	Ie	その他	1	0.1%	1,047	93.5%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
213	If	公務員	1	0.1%	1,048	93.6%
214	Ig	事業会社勤務者	1	0.1%	1,049	93.7%
215	Ih	事業会社勤務者	1	0.1%	1,050	93.8%
216	Ii	金融機関勤務者	1	0.1%	1,051	93.8%
217	Ij	金融機関勤務者	1	0.1%	1,052	93.9%
218	Ik	学者	1	0.1%	1,053	94.0%
219	Il	公務員	1	0.1%	1,054	94.1%
220	Im	学者	1	0.1%	1,055	94.2%
221	In	金融機関勤務者	1	0.1%	1,056	94.3%
222	Io	金融機関勤務者	1	0.1%	1,057	94.4%
223	Ip	金融機関勤務者	1	0.1%	1,058	94.5%
224	Iq	金融機関勤務者	1	0.1%	1,059	94.6%
225	Ir	金融機関勤務者	1	0.1%	1,060	94.6%
226	Is	金融機関勤務者	1	0.1%	1,061	94.7%
227	It	公務員	1	0.1%	1,062	94.8%
228	Iu	金融機関勤務者	1	0.1%	1,063	94.9%
229	Iv	事業会社勤務者	1	0.1%	1,064	95.0%
230	Iw	その他	1	0.1%	1,065	95.1%
231	Ix	学者	1	0.1%	1,066	95.2%
232	Iy	金融機関勤務者	1	0.1%	1,067	95.3%
233	Iz	金融機関勤務者	1	0.1%	1,068	95.4%
234	Ja	事業会社勤務者	1	0.1%	1,069	95.4%
235	Jb	学者	1	0.1%	1,070	95.5%
236	Jc	その他	1	0.1%	1,071	95.6%
237	Jd	事業会社勤務者	1	0.1%	1,072	95.7%
238	Je	金融機関勤務者	1	0.1%	1,073	95.8%
239	Jf	事業会社勤務者	1	0.1%	1,074	95.9%
240	Jg	その他	1	0.1%	1,075	96.0%
241	Jh	金融機関勤務者	1	0.1%	1,076	96.1%
242	Ji	金融機関勤務者	1	0.1%	1,077	96.2%
243	Jj	学者	1	0.1%	1,078	96.3%
244	Jk	事業会社勤務者	1	0.1%	1,079	96.3%
245	Jl	事業会社勤務者	1	0.1%	1,080	96.4%
246	Jm	金融機関勤務者	1	0.1%	1,081	96.5%
247	Jn	金融機関勤務者	1	0.1%	1,082	96.6%
248	Jo	金融機関勤務者	1	0.1%	1,083	96.7%
249	Jp	金融機関勤務者	1	0.1%	1,084	96.8%
250	Jq	その他	1	0.1%	1,085	96.9%
251	Jr	公務員	1	0.1%	1,086	97.0%
252	Js	金融機関勤務者	1	0.1%	1,087	97.1%
253	Jt	金融機関勤務者	1	0.1%	1,088	97.1%
254	Ju	金融機関勤務者	1	0.1%	1,089	97.2%
255	Jv	公務員	1	0.1%	1,090	97.3%
256	Jw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,091	97.4%
257	Jx	金融機関勤務者	1	0.1%	1,092	97.5%
258	Jy	金融機関勤務者	1	0.1%	1,093	97.6%
259	Jz	事業会社勤務者	1	0.1%	1,094	97.7%
260	Ka	金融機関勤務者	1	0.1%	1,095	97.8%
261	Kb	金融機関勤務者	1	0.1%	1,096	97.9%
262	Kc	事業会社勤務者	1	0.1%	1,097	97.9%
263	Kd	金融機関勤務者	1	0.1%	1,098	98.0%
264	Ke	金融機関勤務者	1	0.1%	1,099	98.1%
265	Kf	金融機関勤務者	1	0.1%	1,100	98.2%
266	Kg	金融機関勤務者	1	0.1%	1,101	98.3%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める 比率	累積件数	累積件数の全体 に占める比率
267	Kh	事業会社勤務者	1	0.1%	1,102	98.4%
268	Ki	公務員	1	0.1%	1,103	98.5%
269	Kj	金融機関勤務者	1	0.1%	1,104	98.6%
270	Kk	金融機関勤務者	1	0.1%	1,105	98.7%
271	Kl	弁護士	1	0.1%	1,106	98.8%
272	Km	学者	1	0.1%	1,107	98.8%
273	Kn	金融機関勤務者	1	0.1%	1,108	98.9%
274	Ko	その他	1	0.1%	1,109	99.0%
275	Kp	学者	1	0.1%	1,110	99.1%
276	Kq	公務員	1	0.1%	1,111	99.2%
277	Kr	弁護士	1	0.1%	1,112	99.3%
278	Ks	金融機関勤務者	1	0.1%	1,113	99.4%
279	Kt	金融機関勤務者	1	0.1%	1,114	99.5%
280	Ku	金融機関勤務者	1	0.1%	1,115	99.6%
281	Kv	金融機関勤務者	1	0.1%	1,116	99.6%
282	Kw	事業会社勤務者	1	0.1%	1,117	99.7%
283	Kx	学者	1	0.1%	1,118	99.8%
284	Ky	学者	1	0.1%	1,119	99.9%
285	Kz	金融機関勤務者	1	0.1%	1,120	100.0%
計			1,120	100.0%		

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 8】金融審議会における「普通名詞＋さん」の用例（表 3-17）

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
1	銀行さん	145	155	サイトさん	1
2	会社さん	124	156	システムインテグレーターさん	1
3	企業さん	109	157	システムベンダーさん	1
4	業者さん	70	158	スポンサーさん	1
5	金融機関さん	69	159	タレントさん	1
6	事業者さん	53	160	ツイッターさん	1
7	保険会社さん	53	161	ネットバンクさん	1
8	信用金庫さん	49	162	パートさん	1
9	投資家さん	48	163	バイヤーさん	1
10	証券会社さん	35	164	ファンドさん	1
11	地銀さん	32	165	ファンドマネージャーさん	1
12	信金さん	28	166	フランチャイズさん	1
13	テナントさん	26	167	フランチャイズ加盟店さん	1
14	代理店さん	26	168	ブレイヤーさん	1
15	機関投資家さん	25	169	プロバイダーさん	1
16	ユーザーさん	20	170	ベンチャーキャピタリストさん	1
17	信用組合さん	18	171	マイルパートナー企業さん	1
18	他社さん	17	172	メインバンクさん	1
19	運用会社さん	16	173	メガバンク 3 行さん	1
20	地域金融機関さん	15	174	移動業者さん	1
21	メガバンクさん	14	175	印刷会社さん	1
22	会員さん	14	176	引っ越し業者さん	1
23	株主さん	14	177	運営会社さん	1
24	上場会社さん	14	178	運用管理機関さん	1
25	信組さん	14	179	運用業者さん	1
26	個人投資家さん	13	180	下請けさん	1
27	邦銀さん	13	181	会計事務所さん	1
28	監査役さん	12	182	会長会社さん	1
29	アナリストさん	11	183	外国人投資家さん	1
30	事業会社さん	11	184	外国損保協会さん	1
31	メーカーさん	10	185	外資系さん	1
32	事務局さん	10	186	外資系銀行さん	1
33	乗合代理店さん	9	187	外務員さん	1
34	損保さん	9	188	各会社さん	1
35	地方銀行さん	9	189	各業界さん	1
36	販売会社さん	9	190	各銀行さん	1
37	各社さん	8	191	各事業者さん	1
38	生保さん	8	192	各省庁さん	1
39	営業職員さん	7	193	各証券会社さん	1
40	各企業さん	7	194	各保険会社さん	1
41	信託銀行さん	7	195	監査人さん	1
42	仲立人さん	7	196	管理会社さん	1
43	メガさん	6	197	記者さん	1
44	証券さん	6	198	金商業者さん	1
45	店舗さん	6	199	金融グループさん	1
46	REIT さん	5	200	金融商品取引業者さん	1
47	オーナーさん	5	201	銀行協会さん	1
48	加盟店さん	5	202	経済評論家さん	1
49	協会さん	5	203	警備保障会社さん	1
50	職員さん	5	204	顧客さん	1
51	組合さん	5	205	後見人さん	1

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
52	中小企業さん	5	206	交通事業者さん	1
53	提携企業さん	5	207	公益法人等さん	1
54	日本企業さん	5	208	航空会社さん	1
55	任意団体等さん	5	209	行員さん	1
56	販社さん	5	210	資産運用会社さん	1
57	保険仲立人さん	5	211	事業者側さん	1
58	募集人さん	5	212	事業者団体さん	1
59	2 社さん	4	213	事務所さん	1
60	A 社さん	4	214	自治体さん	1
61	ベンチャーキャピタルさん	4	215	借手さん	1
62	監査法人さん	4	216	主要銀行さん	1
63	機関さん	4	217	酒蔵さん	1
64	業界団体さん	4	218	住宅管理会社さん	1
65	公認会計士協会さん	4	219	従業員さん	1
66	社員さん	4	220	出身者さん	1
67	取引所さん	4	221	出展者さん	1
68	適格機関投資家さん	4	222	商品先物業者さん	1
69	投信会社さん	4	223	小規模企業さん	1
70	B 社さん	3	224	小規模事業者さん	1
71	FinTech 事業者さん	3	225	小売りさん	1
72	NPO さん	3	226	少短業者さん	1
73	コンビニエンスストアさん	3	227	消費者金融業者さん	1
74	スタートアップベンチャーキャピタルさん	3	228	証券各社さん	1
75	センターさん	3	229	証券業界さん	1
76	ブローカーさん	3	230	証券業協会さん	1
77	ベンチャーさん	3	231	証券業者さん	1
78	外銀さん	3	232	証券代理店さん	1
79	各金庫さん	3	233	上場保険会社さん	1
80	各団体さん	3	234	乗合保険会社さん	1
81	格付け会社さん	3	235	情報ベンダーさん	1
82	共済さん	3	236	信金グループさん	1
83	経営者さん	3	237	信託協会さん	1
84	上場企業さん	3	238	新規業者さん	1
85	生保業界さん	3	239	数行さん	1
86	生命保険会社さん	3	240	整備工場さん	1
87	損保業界さん	3	241	生協さん	1
88	大企業さん	3	242	生損保さん	1
89	大手さん	3	243	生命保険業界さん	1
90	第二地銀さん	3	244	税理士事務所さん	1
91	提携業者さん	3	245	先方さん	1
92	都市銀行さん	3	246	専業代理店さん	1
93	販売金融機関さん	3	247	専門店会さん	1
94	FinTech 企業さん	2	248	全銀システムさん	1
95	JA さん	2	249	損害保険さん	1
96	JA バンクさん	2	250	損害保険会社さん	1
97	キャリアさん	2	251	損保グループさん	1
98	クレジットカード会社さん	2	252	損保会社さん	1
99	ネット証券さん	2	253	他行さん	1
100	パートナーさん	2	254	他省さん	1
101	ベンダーさん	2	255	他証券さん	1
102	メインバンクさん	2	256	大規模業者さん	1
103	一般投資家さん	2	257	大手ネット証券 5 社さん	1
104	運送会社さん	2	258	大手銀行さん	1
105	外資系金融機関さん	2	259	大手損保さん	1

項番	用例	延べ語数	項番	用例	延べ語数
106	各業者さん	2	260	単位農協さん	1
107	各金融機関さん	2	261	地域銀行さん	1
108	共済会さん	2	262	地方金融機関さん	1
109	業界さん	2	263	畜産農家さん	1
110	契約者さん	2	264	中央銀行さん	1
111	決済業者さん	2	265	中間的事業者さん	1
112	決済事業者さん	2	266	中堅証券さん	1
113	個人事業主さん	2	267	中堅証券会社さん	1
114	子会社さん	2	268	中小金融機関さん	1
115	資金移動業さん	2	269	仲介業者さん	1
116	資金移動業者さん	2	270	仲介事業者さん	1
117	資金移動者さん	2	271	町医者さん	1
118	消費者さん	2	272	通信事業者さん	1
119	信託さん	2	273	通販業者さん	1
120	信用金庫協会さん	2	274	提携パートナーさん	1
121	親会社さん	2	275	提携金融機関さん	1
122	生保会社さん	2	276	提携先さん	1
123	生命保険さん	2	277	電子マネー事業者さん	1
124	製造業さん	2	278	電子マネー発行業者さん	1
125	相談員さん	2	279	登録業者さん	1
126	貸金業者さん	2	280	当業者さん	1
127	大会社さん	2	281	当局さん	1
128	団体さん	2	282	日系企業さん	1
129	都銀さん	2	283	年金さん	1
130	任意団体さん	2	284	売手さん	1
131	農協さん	2	285	発行企業さん	1
132	配送会社さん	2	286	販売員さん	1
133	発行会社さん	2	287	販売代理店さん	1
134	保険代理店さん	2	288	販売店さん	1
135	保険仲介人協会さん	2	289	美容整形外科医さん	1
136	利用者さん	2	290	百貨店さん	1
137	理美容師さん	2	291	評価会社さん	1
138	FinTech 業界さん	1	292	不動産会社さん	1
139	FinTech 業者さん	1	293	不動産業者さん	1
140	FP さん	1	294	部品メーカーさん	1
141	IFA さん	1	295	福祉関係機関さん	1
142	NPO 団体さん	1	296	保険ショップさん	1
143	PTS 運営者さん	1	297	保険会社側さん	1
144	アライアンス企業さん	1	298	保険業界側さん	1
145	オンラインゲーム会社さん	1	299	保険業者さん	1
146	オンラインさん	1	300	保険子会社さん	1
147	カード会社さん	1	301	法人企業さん	1
148	ガラス作家さん	1	302	郵便局さん	1
149	クライアントさん	1	303	融資先さん	1
150	クラウド会計事業者さん	1	304	理事さん	1
151	グループさん	1	305	量販店さん	1
152	コード決済事業者さん	1	306	連結子会社さん	1
153	コンサルタント会社さん	1	307	労働金庫さん	1
154	コンビニさん	1	計		1,665

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 9】金融審議会における「普通名詞＋さん」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-5）

年	「普通名詞＋さん」発言件数	「普通名詞＋さん」5 年平均
2001 年	24	36.6
2002 年	22	
2003 年	19	
2004 年	95	
2005 年	23	
2006 年	21	79.8
2007 年	69	
2008 年	225	
2009 年	84	
2010 年	0	
2011 年	185	104.8
2012 年	157	
2013 年	111	
2014 年	18	
2015 年	53	
2016 年	93	111.8
2017 年	7	
2018 年	170	
2019 年	171	
2020 年	118	
計	1,665	83.3

【資料 10】金融審議会における「普通名詞＋さん」の使用者（表 3-19）

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
1	Aa	金融機関勤務者	66	4.0%	66	4.0%
2	Ab	事業会社勤務者	39	2.3%	105	6.3%
3	Ac	公務員	38	2.3%	143	8.6%
4	Ad	金融機関勤務者	36	2.2%	179	10.8%
5	Ae	その他	35	2.1%	214	12.9%
6	Af	金融機関勤務者	31	1.9%	245	14.7%
7	Ag	学者	30	1.8%	275	16.5%
8	Ah	事業会社勤務者	30	1.8%	305	18.3%
9	Ai	金融機関勤務者	28	1.7%	333	20.0%
10	Aj	学者	26	1.6%	359	21.6%
11	Ak	金融機関勤務者	25	1.5%	384	23.1%
12	Al	その他	23	1.4%	407	24.4%
13	Am	金融機関勤務者	23	1.4%	430	25.8%
14	An	金融機関勤務者	23	1.4%	453	27.2%
15	Ao	その他	23	1.4%	476	28.6%
16	Ap	金融機関勤務者	22	1.3%	498	29.9%
17	Aq	金融機関勤務者	22	1.3%	520	31.2%
18	Ar	金融機関勤務者	21	1.3%	541	32.5%
19	As	学者	21	1.3%	562	33.8%
20	At	その他	21	1.3%	583	35.0%
21	Au	金融機関勤務者	20	1.2%	603	36.2%
22	Av	その他	19	1.1%	622	37.4%
23	Aw	事業会社勤務者	18	1.1%	640	38.4%
24	Ax	公務員	17	1.0%	657	39.5%
25	Ay	金融機関勤務者	17	1.0%	674	40.5%
26	Az	学者	17	1.0%	691	41.5%
27	Ba	事業会社勤務者	17	1.0%	708	42.5%
28	Bb	その他	16	1.0%	724	43.5%
29	Bc	金融機関勤務者	16	1.0%	740	44.4%
30	Bd	金融機関勤務者	14	0.8%	754	45.3%
31	Be	事業会社勤務者	13	0.8%	767	46.1%
32	Bf	公務員	13	0.8%	780	46.8%
33	Bg	弁護士	13	0.8%	793	47.6%
34	Bh	金融機関勤務者	13	0.8%	806	48.4%
35	Bi	金融機関勤務者	13	0.8%	819	49.2%
36	Bj	金融機関勤務者	13	0.8%	832	50.0%
37	Bk	公務員	12	0.7%	844	50.7%
38	Bl	事業会社勤務者	12	0.7%	856	51.4%
39	Bm	その他	12	0.7%	868	52.1%
40	Bn	金融機関勤務者	12	0.7%	880	52.9%
41	Bo	事業会社勤務者	12	0.7%	892	53.6%
42	Bp	学者	11	0.7%	903	54.2%
43	Bq	学者	11	0.7%	914	54.9%
44	Br	金融機関勤務者	11	0.7%	925	55.6%
45	Bs	学者	11	0.7%	936	56.2%
46	Bt	金融機関勤務者	10	0.6%	946	56.8%
47	Bu	金融機関勤務者	10	0.6%	956	57.4%
48	Bv	金融機関勤務者	10	0.6%	966	58.0%
49	Bw	事業会社勤務者	10	0.6%	976	58.6%
50	Bx	金融機関勤務者	9	0.5%	985	59.2%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
51	By	事業会社勤務者	9	0.5%	994	59.7%
52	Bz	金融機関勤務者	9	0.5%	1,003	60.2%
53	Ca	その他	9	0.5%	1,012	60.8%
54	Cb	金融機関勤務者	8	0.5%	1,020	61.3%
55	Cc	弁護士	8	0.5%	1,028	61.7%
56	Cd	事業会社勤務者	8	0.5%	1,036	62.2%
57	Ce	学者	8	0.5%	1,044	62.7%
58	Cf	金融機関勤務者	8	0.5%	1,052	63.2%
59	Cg	金融機関勤務者	8	0.5%	1,060	63.7%
60	Ch	金融機関勤務者	8	0.5%	1,068	64.1%
61	Ci	金融機関勤務者	7	0.4%	1,075	64.6%
62	Cj	その他	7	0.4%	1,082	65.0%
63	Ck	その他	7	0.4%	1,089	65.4%
64	Cl	金融機関勤務者	7	0.4%	1,096	65.8%
65	Cm	金融機関勤務者	7	0.4%	1,103	66.2%
66	Cn	学者	7	0.4%	1,110	66.7%
67	Co	弁護士	7	0.4%	1,117	67.1%
68	Cp	事業会社勤務者	7	0.4%	1,124	67.5%
69	Cq	弁護士	7	0.4%	1,131	67.9%
70	Cr	学者	7	0.4%	1,138	68.3%
71	Cs	公務員	7	0.4%	1,145	68.8%
72	Ct	事業会社勤務者	7	0.4%	1,152	69.2%
73	Cu	学者	6	0.4%	1,158	69.5%
74	Cv	金融機関勤務者	6	0.4%	1,164	69.9%
75	Cw	学者	6	0.4%	1,170	70.3%
76	Cx	事業会社勤務者	6	0.4%	1,176	70.6%
77	Cy	金融機関勤務者	6	0.4%	1,182	71.0%
78	Cz	事業会社勤務者	6	0.4%	1,188	71.4%
79	Da	事業会社勤務者	6	0.4%	1,194	71.7%
80	Db	学者	6	0.4%	1,200	72.1%
81	Dc	金融機関勤務者	6	0.4%	1,206	72.4%
82	Dd	金融機関勤務者	6	0.4%	1,212	72.8%
83	De	金融機関勤務者	6	0.4%	1,218	73.2%
84	Df	金融機関勤務者	5	0.3%	1,223	73.5%
85	Dg	金融機関勤務者	5	0.3%	1,228	73.8%
86	Dh	金融機関勤務者	5	0.3%	1,233	74.1%
87	Di	学者	5	0.3%	1,238	74.4%
88	Dj	金融機関勤務者	5	0.3%	1,243	74.7%
89	Dk	金融機関勤務者	5	0.3%	1,248	75.0%
90	Dl	金融機関勤務者	5	0.3%	1,253	75.3%
91	Dm	金融機関勤務者	5	0.3%	1,258	75.6%
92	Dn	公務員	5	0.3%	1,263	75.9%
93	Do	公務員	5	0.3%	1,268	76.2%
94	Dp	金融機関勤務者	5	0.3%	1,273	76.5%
95	Dq	公務員	5	0.3%	1,278	76.8%
96	Dr	金融機関勤務者	5	0.3%	1,283	77.1%
97	Ds	事業会社勤務者	5	0.3%	1,288	77.4%
98	Dt	事業会社勤務者	5	0.3%	1,293	77.7%
99	Du	学者	5	0.3%	1,298	78.0%
100	Dv	金融機関勤務者	5	0.3%	1,303	78.3%
101	Dw	金融機関勤務者	5	0.3%	1,308	78.6%
102	Dx	金融機関勤務者	5	0.3%	1,313	78.9%
103	Dy	学者	5	0.3%	1,318	79.2%
104	Dz	金融機関勤務者	4	0.2%	1,322	79.4%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
105	Eb	金融機関勤務者	4	0.2%	1,326	79.6%
106	Ec	金融機関勤務者	4	0.2%	1,330	79.9%
107	Ed	金融機関勤務者	4	0.2%	1,334	80.1%
108	Ee	弁護士	4	0.2%	1,338	80.4%
109	Ef	その他	4	0.2%	1,342	80.6%
110	Eg	金融機関勤務者	4	0.2%	1,346	80.8%
111	Uh	金融機関勤務者	4	0.2%	1,350	81.1%
112	Ei	金融機関勤務者	4	0.2%	1,354	81.3%
113	Ej	学者	4	0.2%	1,358	81.6%
114	Ek	公務員	4	0.2%	1,362	81.8%
115	El	その他	4	0.2%	1,366	82.0%
116	Em	その他	4	0.2%	1,370	82.3%
117	En	金融機関勤務者	4	0.2%	1,374	82.5%
118	Eo	金融機関勤務者	4	0.2%	1,378	82.8%
119	Ep	金融機関勤務者	4	0.2%	1,382	83.0%
120	Eq	事業会社勤務者	4	0.2%	1,386	83.2%
121	Er	金融機関勤務者	4	0.2%	1,390	83.5%
122	Es	金融機関勤務者	4	0.2%	1,394	83.7%
123	Et	事業会社勤務者	3	0.2%	1,397	83.9%
124	Eu	金融機関勤務者	3	0.2%	1,400	84.1%
125	Ev	事業会社勤務者	3	0.2%	1,403	84.3%
126	Ew	金融機関勤務者	3	0.2%	1,406	84.4%
127	Ex	金融機関勤務者	3	0.2%	1,409	84.6%
128	Ey	事業会社勤務者	3	0.2%	1,412	84.8%
129	Ez	学者	3	0.2%	1,415	85.0%
130	Fa	金融機関勤務者	3	0.2%	1,418	85.2%
131	Fb	事業会社勤務者	3	0.2%	1,421	85.3%
132	Fc	金融機関勤務者	3	0.2%	1,424	85.5%
133	Fd	その他	3	0.2%	1,427	85.7%
134	Fe	金融機関勤務者	3	0.2%	1,430	85.9%
135	Ff	金融機関勤務者	3	0.2%	1,433	86.1%
136	Fg	学者	3	0.2%	1,436	86.2%
137	Fh	公務員	3	0.2%	1,439	86.4%
138	Fi	その他	3	0.2%	1,442	86.6%
139	Fj	その他	3	0.2%	1,445	86.8%
140	Fk	金融機関勤務者	3	0.2%	1,448	87.0%
141	Fl	学者	3	0.2%	1,451	87.1%
142	Fm	学者	3	0.2%	1,454	87.3%
143	Fn	金融機関勤務者	3	0.2%	1,457	87.5%
144	Fo	その他	3	0.2%	1,460	87.7%
145	Fp	金融機関勤務者	3	0.2%	1,463	87.9%
146	Fq	金融機関勤務者	3	0.2%	1,466	88.0%
147	Fr	金融機関勤務者	3	0.2%	1,469	88.2%
148	Fs	公務員	3	0.2%	1,472	88.4%
149	Ft	学者	3	0.2%	1,475	88.6%
150	Fu	金融機関勤務者	3	0.2%	1,478	88.8%
151	Fv	金融機関勤務者	3	0.2%	1,481	88.9%
152	Fw	金融機関勤務者	3	0.2%	1,484	89.1%
153	Fx	金融機関勤務者	2	0.1%	1,486	89.2%
154	Fy	公務員	2	0.1%	1,488	89.4%
155	Fz	金融機関勤務者	2	0.1%	1,490	89.5%
156	Ga	金融機関勤務者	2	0.1%	1,492	89.6%
157	Gb	その他	2	0.1%	1,494	89.7%
158	Gc	その他	2	0.1%	1,496	89.8%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
159	Gd	その他	2	0.1%	1,498	90.0%
160	Ge	学者	2	0.1%	1,500	90.1%
161	Gf	金融機関勤務者	2	0.1%	1,502	90.2%
162	Gg	金融機関勤務者	2	0.1%	1,504	90.3%
163	Gh	金融機関勤務者	2	0.1%	1,506	90.5%
164	Gi	事業会社勤務者	2	0.1%	1,508	90.6%
165	Gj	学者	2	0.1%	1,510	90.7%
166	Gk	事業会社勤務者	2	0.1%	1,512	90.8%
167	Gl	事業会社勤務者	2	0.1%	1,514	90.9%
168	Gm	金融機関勤務者	2	0.1%	1,516	91.1%
169	Gn	公務員	2	0.1%	1,518	91.2%
170	Go	事業会社勤務者	2	0.1%	1,520	91.3%
171	Gp	金融機関勤務者	2	0.1%	1,522	91.4%
172	Gq	事業会社勤務者	2	0.1%	1,524	91.5%
173	Gr	公務員	2	0.1%	1,526	91.7%
174	Gs	学者	2	0.1%	1,528	91.8%
175	Gt	金融機関勤務者	2	0.1%	1,530	91.9%
176	Gu	金融機関勤務者	2	0.1%	1,532	92.0%
177	Gv	学者	2	0.1%	1,534	92.1%
178	Gw	金融機関勤務者	2	0.1%	1,536	92.3%
179	Gx	金融機関勤務者	2	0.1%	1,538	92.4%
180	Gy	金融機関勤務者	2	0.1%	1,540	92.5%
181	Gz	事業会社勤務者	2	0.1%	1,542	92.6%
182	Ha	弁護士	2	0.1%	1,544	92.7%
183	Hb	金融機関勤務者	2	0.1%	1,546	92.9%
184	Hc	金融機関勤務者	2	0.1%	1,548	93.0%
185	Hd	その他	2	0.1%	1,550	93.1%
186	He	金融機関勤務者	2	0.1%	1,552	93.2%
187	Hf	公務員	2	0.1%	1,554	93.3%
188	Hg	その他	2	0.1%	1,556	93.5%
189	Hh	事業会社勤務者	2	0.1%	1,558	93.6%
190	Hi	その他	2	0.1%	1,560	93.7%
191	Hj	金融機関勤務者	2	0.1%	1,562	93.8%
192	Hk	学者	2	0.1%	1,564	93.9%
193	Hl	金融機関勤務者	2	0.1%	1,566	94.1%
194	Hm	金融機関勤務者	2	0.1%	1,568	94.2%
195	Hn	金融機関勤務者	2	0.1%	1,570	94.3%
196	Ho	金融機関勤務者	2	0.1%	1,572	94.4%
197	Hp	金融機関勤務者	2	0.1%	1,574	94.5%
198	Hq	公務員	2	0.1%	1,576	94.7%
199	Hr	金融機関勤務者	2	0.1%	1,578	94.8%
200	Hs	事業会社勤務者	1	0.1%	1,579	94.8%
201	Ht	学者	1	0.1%	1,580	94.9%
202	Hu	公務員	1	0.1%	1,581	95.0%
203	Hv	金融機関勤務者	1	0.1%	1,582	95.0%
204	Hw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,583	95.1%
205	Hx	公務員	1	0.1%	1,584	95.1%
206	Hy	公務員	1	0.1%	1,585	95.2%
207	Hz	公務員	1	0.1%	1,586	95.3%
208	Ia	金融機関勤務者	1	0.1%	1,587	95.3%
209	Ib	金融機関勤務者	1	0.1%	1,588	95.4%
210	Ic	金融機関勤務者	1	0.1%	1,589	95.4%
211	Id	金融機関勤務者	1	0.1%	1,590	95.5%
212	Ie	事業会社勤務者	1	0.1%	1,591	95.6%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める比率	累積件数	累積件数の全体に占める比率
213	If	金融機関勤務者	1	0.1%	1,592	95.6%
214	Ig	その他	1	0.1%	1,593	95.7%
215	Ih	公務員	1	0.1%	1,594	95.7%
216	Ii	事業会社勤務者	1	0.1%	1,595	95.8%
217	Ij	金融機関勤務者	1	0.1%	1,596	95.9%
218	Ik	公務員	1	0.1%	1,597	95.9%
219	Il	その他	1	0.1%	1,598	96.0%
220	Im	金融機関勤務者	1	0.1%	1,599	96.0%
221	In	事業会社勤務者	1	0.1%	1,600	96.1%
222	Io	その他	1	0.1%	1,601	96.2%
223	Ip	公務員	1	0.1%	1,602	96.2%
224	Iq	その他	1	0.1%	1,603	96.3%
225	Ir	金融機関勤務者	1	0.1%	1,604	96.3%
226	Is	その他	1	0.1%	1,605	96.4%
227	It	公務員	1	0.1%	1,606	96.5%
228	Iu	学者	1	0.1%	1,607	96.5%
229	Iv	金融機関勤務者	1	0.1%	1,608	96.6%
230	Iw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,609	96.6%
231	Ix	事業会社勤務者	1	0.1%	1,610	96.7%
232	Iy	学者	1	0.1%	1,611	96.8%
233	Iz	金融機関勤務者	1	0.1%	1,612	96.8%
234	Ja	金融機関勤務者	1	0.1%	1,613	96.9%
235	Jb	学者	1	0.1%	1,614	96.9%
236	Jc	金融機関勤務者	1	0.1%	1,615	97.0%
237	Jd	事業会社勤務者	1	0.1%	1,616	97.1%
238	Je	金融機関勤務者	1	0.1%	1,617	97.1%
239	Jf	事業会社勤務者	1	0.1%	1,618	97.2%
240	Jg	金融機関勤務者	1	0.1%	1,619	97.2%
241	Jh	学者	1	0.1%	1,620	97.3%
242	Ji	金融機関勤務者	1	0.1%	1,621	97.4%
243	Jj	金融機関勤務者	1	0.1%	1,622	97.4%
244	Jk	事業会社勤務者	1	0.1%	1,623	97.5%
245	Jl	その他	1	0.1%	1,624	97.5%
246	Jm	公務員	1	0.1%	1,625	97.6%
247	Jn	事業会社勤務者	1	0.1%	1,626	97.7%
248	Jo	金融機関勤務者	1	0.1%	1,627	97.7%
249	Jp	その他	1	0.1%	1,628	97.8%
250	Jq	金融機関勤務者	1	0.1%	1,629	97.8%
251	Jr	金融機関勤務者	1	0.1%	1,630	97.9%
252	Js	弁護士	1	0.1%	1,631	98.0%
253	Jt	学者	1	0.1%	1,632	98.0%
254	Ju	金融機関勤務者	1	0.1%	1,633	98.1%
255	Jv	金融機関勤務者	1	0.1%	1,634	98.1%
256	Jw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,635	98.2%
257	Jx	公務員	1	0.1%	1,636	98.3%
258	Jy	金融機関勤務者	1	0.1%	1,637	98.3%
259	Jz	政治家	1	0.1%	1,638	98.4%
260	Ka	金融機関勤務者	1	0.1%	1,639	98.4%
261	Kb	金融機関勤務者	1	0.1%	1,640	98.5%
262	Kc	金融機関勤務者	1	0.1%	1,641	98.6%
263	Kd	事業会社勤務者	1	0.1%	1,642	98.6%
264	Ke	金融機関勤務者	1	0.1%	1,643	98.7%
265	Kf	公務員	1	0.1%	1,644	98.7%
266	Kg	金融機関勤務者	1	0.1%	1,645	98.8%

項番	氏名	職業分類	延べ語数	全体に占める 比率	累積件数	累積件数の全体 に占める比率
267	Kh	事業会社勤務者	1	0.1%	1,646	98.9%
268	Ki	公務員	1	0.1%	1,647	98.9%
269	Kj	事業会社勤務者	1	0.1%	1,648	99.0%
270	Kk	事業会社勤務者	1	0.1%	1,649	99.0%
271	Kl	金融機関勤務者	1	0.1%	1,650	99.1%
272	Km	金融機関勤務者	1	0.1%	1,651	99.2%
273	Kn	金融機関勤務者	1	0.1%	1,652	99.2%
274	Ko	金融機関勤務者	1	0.1%	1,653	99.3%
275	Kp	事業会社勤務者	1	0.1%	1,654	99.3%
276	Kq	学者	1	0.1%	1,655	99.4%
277	Kr	その他	1	0.1%	1,656	99.5%
278	Ks	学者	1	0.1%	1,657	99.5%
279	Kt	事業会社勤務者	1	0.1%	1,658	99.6%
280	Ku	金融機関勤務者	1	0.1%	1,659	99.6%
281	Kv	学者	1	0.1%	1,660	99.7%
282	Kw	金融機関勤務者	1	0.1%	1,661	99.8%
283	Kx	金融機関勤務者	1	0.1%	1,662	99.8%
284	Ky	弁護士	1	0.1%	1,663	99.9%
285	Kz	その他	1	0.1%	1,664	99.9%
286	La	金融機関勤務者	1	0.1%	1,665	100.0%
計			1,665	100.0%		

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 11】金融審議会における「組織名＋様」、「普通名詞＋様」の用例（表 3-21）

組織名＋様			普通名詞＋様		
項番	用例	件数	項番	用例	件数
1	金融庁ウェブサイト様	17	1	企業様	23
2	楽天様	7	2	加盟店様	18
3	東証様	7	3	ユーザー様	15
4	全銀協様	6	4	金融機関様	12
5	ファラロン・キャピタル様	5	5	投資家様	10
6	FISC 様	4	6	銀行様	9
7	NTT データ様	4	7	会社様	8
8	国民生活センター様	4	8	証券会社様	6
9	資金決済業協会様	4	9	事業者様	5
10	商工会議所様	4	10	IP 様	4
11	みずほ証券様	3	11	各社様	4
12	日本証券業協会様	3	12	機関投資家様	4
13	クレジット協会様	2	13	支払企業様	4
14	ビットワレット様	2	14	事務局様	4
15	ミュージックセキュリティーズ様	2	15	保険会社様	4
16	メルカリ様	2	16	コンビニエンスストア様	3
17	ヤフー様	2	17	ご契約者様	3
18	銀行協会様	2	18	中小企業様	3
19	経産省様	2	19	販売者様	3
20	鹿児島銀行様	2	20	利用企業様	3
21	消費者委員会様	2	21	オーナー様	2
22	信託協会様	2	22	お取引様	2
23	新経済連盟様	2	23	ご主人様	2
24	政策投資銀行様	2	24	契約者様	2
25	中小機構様	2	25	個人投資家様	2
26	東京証券取引所様	2	26	購入者様	2
27	日本クレジット協会様	2	27	資金移動業者様	2
28	日本商工会議所様	2	28	上場会社様	2
29	不動産証券化協会様	2	29	情報提供者様	2
30	Fintech 協会様	1	30	通販事業者様	2
31	GAIA 様	1	31	提供者様	2
32	JCA 様	1	32	二種業者様	2
33	KDDI 様	1	33	au ユーザー様	1
34	NTT データ経営研究所様	1	34	オンラインゲーム様	1
35	UBS 様	1	35	オンラインバンキング様	1
36	カーライス様	1	36	お取引先様	1
37	キャッシュレス推進協議会様	1	37	カード会社様	1
38	ゴールドマン・サックス様	1	38	クレジットカード様	1
39	ジャパネット銀行様	1	39	ご利用者様	1
40	タキヒヨー様	1	40	スポンサー様	1
41	でんさいネット様	1	41	パートナー様	1
42	でんさい様	1	42	ビジネスパートナー様	1
43	ハードオフ様	1	43	メンバー様	1
44	みずほ情報総研様	1	44	委員様	1
45	みずほ様	1	45	移動業者様	1
46	りそなグループ様	1	46	運用会社様	1
47	ローソン様	1	47	会員様	1
48	花王様	1	48	会長行様	1
49	株式会社エルブズ様	1	49	各協会様	1
50	株式会社マネーフォワード様	1	50	各金融機関様	1

組織名＋様			普通名詞＋様		
項番	用例	件数	項番	用例	件数
51	企業年金連合会様	1	51	各省庁様	1
52	京都銀行様	1	52	官庁様	1
53	経済産業省様	1	53	関係省庁様	1
54	経団連様	1	54	関連企業様	1
55	厚労省様	1	55	業界様	1
56	財務省様	1	56	業者様	1
57	三井信託銀行様	1	57	個人事業主様	1
58	三菱UFJフィナンシャルグループ様	1	58	個別企業様	1
59	三菱UFJリサーチ&コンサルティング会社様	1	59	事業会社様	1
60	三菱UFJ信託様	1	60	自治体様	1
61	商工中金様	1	61	実利用企業様	1
62	消費者センター様	1	62	商品先物会社様	1
63	証券化協会様	1	63	新興企業様	1
64	証券業協会様	1	64	生命保険様	1
65	証券取引等監視委員会様	1	65	全契約者様	1
66	城南信用金庫様	1	66	相手様	1
67	政策銀行様	1	67	損害保険様	1
68	生保協会様	1	68	他社様	1
69	全銀ネット様	1	69	代表者様	1
70	全国銀行協会様	1	70	代理店様	1
71	代理収納サービス協会様	1	71	大企業様	1
72	大和企業投資様	1	72	大手メーカー様	1
73	第二種金商業協会様	1	73	地銀様	1
74	投資信託協会様	1	74	地方銀行様	1
75	投信協会様	1	75	提携銀行様	1
76	東芝様	1	76	提出会社様	1
77	日弁連様	1	77	登録会員業者様	1
78	日本弁護士連合会様	1	78	投信委託会社様	1
79	日立様	1	79	二次納入企業様	1
80	肥後銀行様	1	80	日系企業様	1
81	富士通様	1	81	年金様	1
82	豊商事様	1	82	納入企業者様	1
83	北の達人様	1	83	納入企業様	1
84	琉球銀行様	1	84	販売会社様	1
計		157	85	某生命保険会社様	1
			86	本人様	1
			87	利用者様	1
			計		224

(出所) 金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 12】金融審議会における「組織名／普通名詞＋様」の発言件数とその 5 年平均推移（図 3-6）

年	「組織名＋様」 発言件数	「普通名詞＋様」 発言件数	計	「組織名／普通名詞 ＋様」5年平均
2001 年	0	0	0	0.6
2002 年	0	0	0	
2003 年	0	0	0	
2004 年	1	2	3	
2005 年	0	0	0	
2006 年	2	0	2	13.2
2007 年	0	0	0	
2008 年	8	56	64	
2009 年	0	0	0	
2010 年	0	0	0	
2011 年	15	30	45	39.8
2012 年	12	21	33	
2013 年	7	15	22	
2014 年	31	20	51	
2015 年	24	24	48	
2016 年	6	7	13	22.6
2017 年	0	2	2	
2018 年	14	26	40	
2019 年	33	14	47	
2020 年	4	7	11	
計	157	224	381	19.1

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 13】 さんの前接語の拍数別件数（図 3-7、図 3-8）

拍数	異なり語数	延べ語数
2 拍	5	29
3 拍	28	422
4 拍	43	450
5 拍	35	113
6 拍	39	124
7 拍	58	321
8 拍	34	76
9 拍	20	53
10 拍	20	38
11 拍	15	22
12 拍	5	6
13 拍	3	7
14 拍	0	0
15 拍	2	4
総計	307	1,665

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 14】金融審議会における「組織名＋さん」の使われ方の推移（図 3-10）

年	統一的	5 年平均（統一的）	不統一	5 年平均（不統一）
2001 年	17	16.6	7	10.0
2002 年	6		6	
2003 年	10		3	
2004 年	44		32	
2005 年	6		2	
2006 年	18	49.6	20	29.4
2007 年	44		20	
2008 年	159		74	
2009 年	27		33	
2010 年	0		0	
2011 年	70	45.4	44	28.8
2012 年	73		35	
2013 年	55		29	
2014 年	17		10	
2015 年	12		26	
2016 年	40	55.8	24	43.8
2017 年			4	
2018 年	97		50	
2019 年	103		63	
2020 年	39		78	
計	837	41.9	560	28.0

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 15】同席の別による「組織名＋さん」の使われ方の推移（図 3-11、図 3-12）

年	組織名＋さん（図 3-11）				普通名詞＋さん（図 3-12）			
	同席せず	同席せず 5 年平均	同席	同席 5 年平均	同席せず	同席せず 5 年平均	同席	同席 5 年平均
2001 年	16	7.0	28	21.6	23	28.8	1	7.8
2002 年	2		7		13		9	
2003 年	3		9		6		13	
2004 年	7		50		87		8	
2005 年	7		14		15		8	
2006 年	12	22.6	26	37.4	18	58.0	3	21.8
2007 年	16		28		61		8	
2008 年	75		117		150		75	
2009 年	10		16		61		23	
2010 年	0		0		0		0	
2011 年	66	27.8	50	31.2	184	101.2	1	3.6
2012 年	17		31		151		6	
2013 年	29		34		108		3	
2014 年	8		12		17		1	
2015 年	19		29		46		7	
2016 年	17	18.4	49	58.0	89	109.2	4	2.6
2017 年	1		1		7		0	
2018 年	27		80		170		0	
2019 年	30		105		166		5	
2020 年	17		55		114		4	
計	379	19.0	741	37.1	1,486	74.3	179	9.0

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。

【資料 16】同席の別による「組織名／普通名詞＋様」の延べ語数推移（図 3-14、3-15）

年	組織名＋様		普通名詞＋様	
	同席せず	同席	同席せず	同席
2001 年	0	0	0	0
2002 年	0	0	0	0
2003 年	0	0	2	0
2004 年	0	1	0	0
2005 年	0	0	0	0
2006 年	2	0	0	0
2007 年	0	0	0	0
2008 年	3	5	56	0
2009 年	0	0	0	0
2010 年	0	0	0	0
2011 年	8	7	30	0
2012 年	1	11	16	5
2013 年	4	3	15	0
2014 年	8	23	18	2
2015 年	3	21	23	1
2016 年	1	5	6	1
2017 年	0	0	2	0
2018 年	2	12	26	0
2019 年	6	27	12	2
2020 年	0	4	7	0
計	38	119	213	11

（出所）金融庁ウェブサイトより筆者作成。